

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事

契 約 参 考 図 書 (率計上項目及び概算数量、図面)

令和 8年 9月

東日本高速道路株式会社 関東支社
所 沢 管 理 事 務 所

- 契約参考図書は、契約後協議対象項目や概算数量等を提示する資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。（請負契約上拘束力はない）
- 当該内容は、受注後に協議を開始する項目であるため、内容に関する質問は受付けない。

図 面 目 次

[illegible][illegible]

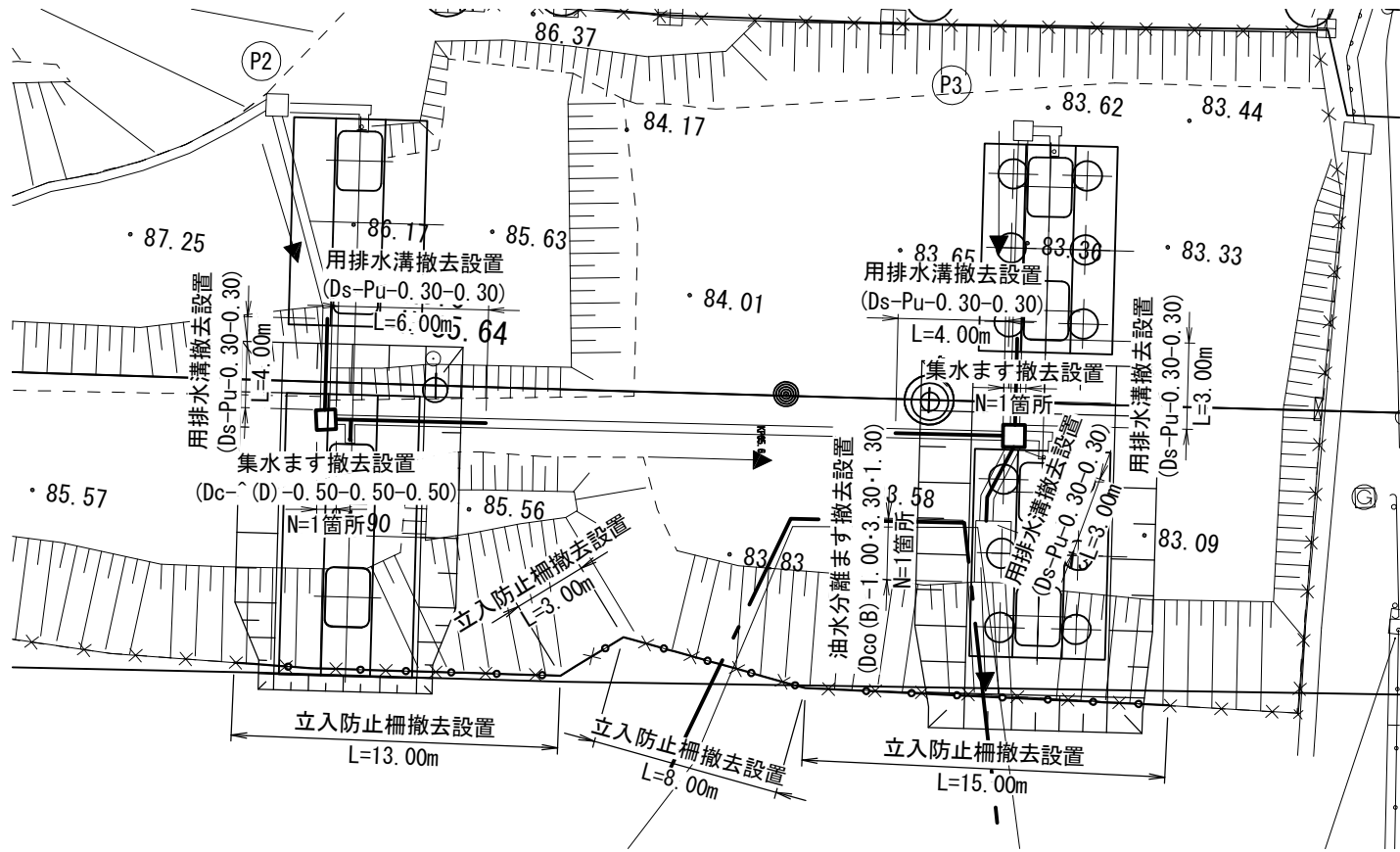
名称及び測点	No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16					
	区	15-(11)	17-(37)		特-(6)	特-(9)												特-(10)				
		立入防止柵 撤去設置工	検査路撤去再設置工		工事用進入路工	撤去・設置工												撤去工				
	分	一般型 非積雪地用	検査路		付替水路	用排水溝			用排水管 P(H) φ 0.60(A)	集水ます	油水分離ます	排水管A		アスファルト舗装	コンクリートブロック 要9 (横)控12cm	護床ブロック	落橋防止構造					
	単位		(A)	(B)		Pu・0.30・0.30	Pu・0.36・0.36	U・0.90・0.30				(A)	(B)					kg				
牛沢橋		m	t	t	箇所	m	m	m	m	箇所	箇所	m	m	m2	m2	m2						
A1橋台																						
P1橋脚				1.052									26.0				287.0					
上部工																						
牛沢橋 計				1.052									26.0				287.0					
入間川高架橋																						
P1橋脚																						
P2橋脚										1.0	1.0	7.9										
P3橋脚	39.0					20.0				1.0		9.9										
P4橋脚		112.0				117.0				1.0		9.6										
P5橋脚										1.0		9.4										
P6橋脚										1.0		9.1										
P7橋脚										1.0		9.4										
P8橋脚 (上9)			1.742							1.0	1.0	11.7					156.0					
(下9)			1.839			21.0				1.0		6.9										
P9橋脚 (上9)	9.0					17.0				2.0	1.0	6.7										
(下9)						7.0						6.7										
P10橋脚 (上9)		130.0	1.558			187.0				1.0		4.9					156.0					
(下9)			1.558									4.9										
P11橋脚										1.0		6.8										
P12橋脚										1.0		9.7										
P13橋脚										1.0		22.8										
P14橋脚										1.0		11.1										
P15橋脚	24.0		3.137			9.0				1.0		21.1					260.0					
P16橋脚															298.8	79.7						
P17橋脚															81.6							
P18橋脚	9.0																					
P19橋脚	22.0		2.175					7.7	5.4	1.0					157.1							
P20橋脚		84.0				81.0				3.0		9.8										
P21橋脚												8.0										
P22橋脚												7.6										
P23橋脚												7.0										
P24橋脚	14.0											6.4										
P25橋脚												6.0										
P26橋脚												6.0										
P27橋脚		87.0				76.0						6.0										
P28橋脚												6.0										
P29橋脚																						
P30橋脚												6.2										

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数量総括表（その1）		
縮 尺	—	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

名称及び測点	No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16					
	区 分	15~(11)	17~(37)		特~(6)	特~(9)												特~(10)				
		立入防止柵 撤去設置工	検査路撤去再設置工		工事用進入路工	撤去・設置工												撤去工				
		一般型 非積雪地用	検査路		付替水路	用排水溝			用排水管 P(H) φ 0.60(A)	集水ます	油水分離ます	排水管A		アスファルト舗装	コンクリートブロック 張り (継) 控12cm	護床ブロック	落橋防止構造					
			(A)	(B)		Pu・0.30・0.30	Pu・0.36・0.36	U・0.90・0.30				(A)	(B)									
	単位	m	t	t	箇所	m	m	m	m	箇所	箇所	m	m	m2	m2	m2	kg					
P31橋脚												6.3										
P32橋脚												6.5										
P33橋脚												6.7										
P34橋脚	22.0					81.0						6.6										
P35橋脚												6.9										
P36橋脚	6.0											7.4										
P37橋脚	6.0																					
P38橋脚												7.9										
P39橋脚												8.2										
P40橋脚												8.4										
P41橋脚						130.0						8.7										
P42橋脚												8.9										
P43橋脚												9.1										
P44橋脚												9.2										
P45橋脚 (上9)												10.9										
(下9)						5.0						12.1										
P46橋脚 (上9)						9.0						6.3										
(下9)						14.0				1.0		6.3		13.5								
P47橋脚						13.0						8.6										
P48橋脚										1.0	1.0	7.5		5.5								
P49橋脚						75.0						7.1										
P50橋脚					1.0							7.2										
P51橋脚											1.0	7.9		2.6								
P52橋脚	44.0					75.0	43.0			2.0		7.5		0.6								
P53橋脚												7.4		0.9								
P54橋脚	6.0																					
P55橋脚						251.0	124.0			3.0	1.0	7.4		0.6								
P56橋脚										3.0		7.4		1.9								
P57橋脚										3.0		7.4		2.1								
P58橋脚										3.0		7.4		3.1								
P59橋脚										3.0		7.4		2.3								
P60橋脚										2.0		7.3		2.1								
P61橋脚										2.0		6.9		1.6								
P62橋脚										2.0		6.9		2.5								
A2橋台																						
入間川高架橋 計		816.0	12.009		1.0	1,188.0	167.0	7.7	5.4	45.0	6.0	485.3		39.3	537.5	79.7	572.0					
合 計		816.0	12.009	1.052	1.0	1,188.0	167.0	7.7	5.4	45.0	6.0	485.3	26.0	39.3	537.5	79.7	859.0					

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数 量 総 括 表（その2）		
縮 尺	—	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

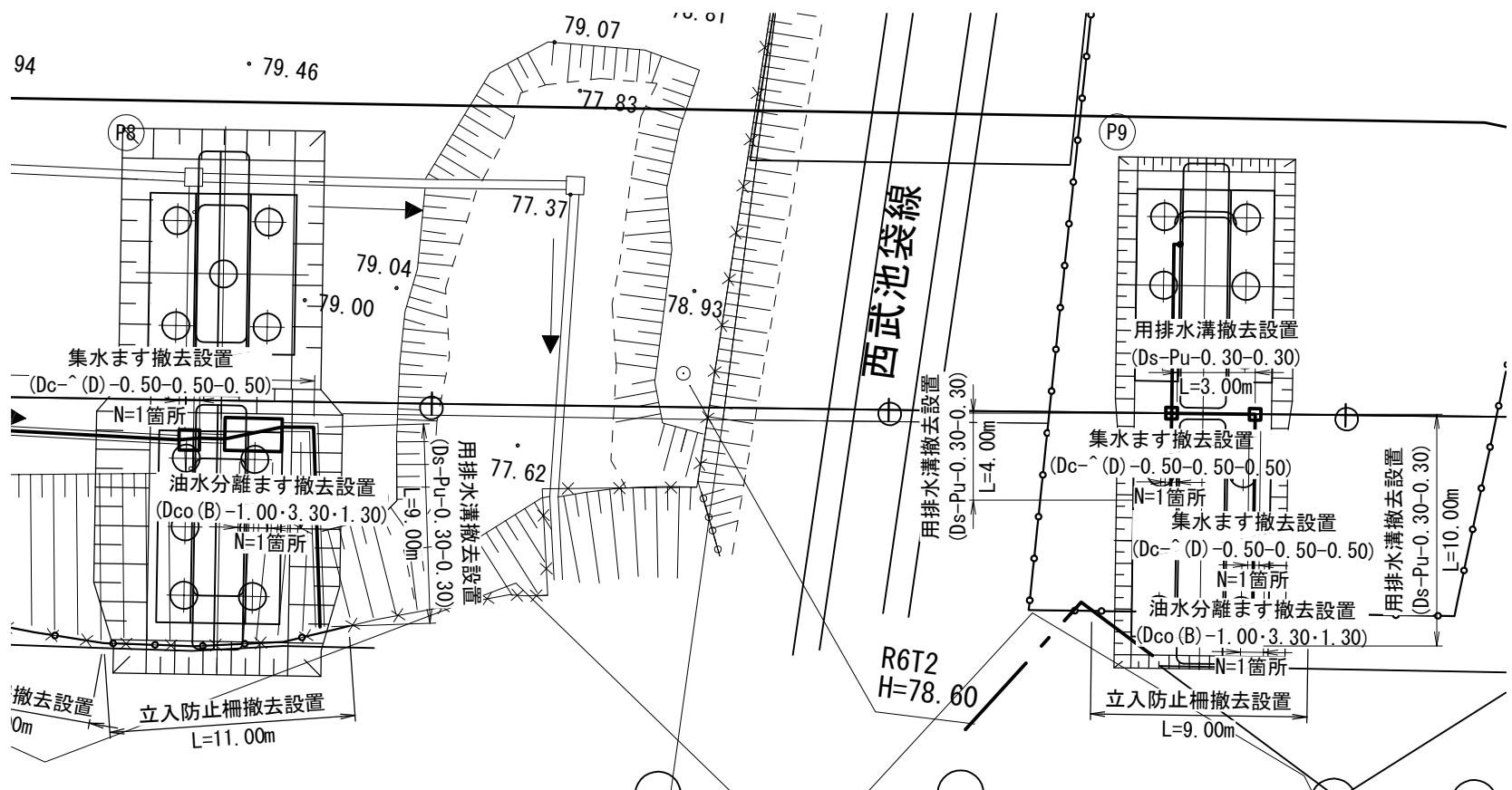
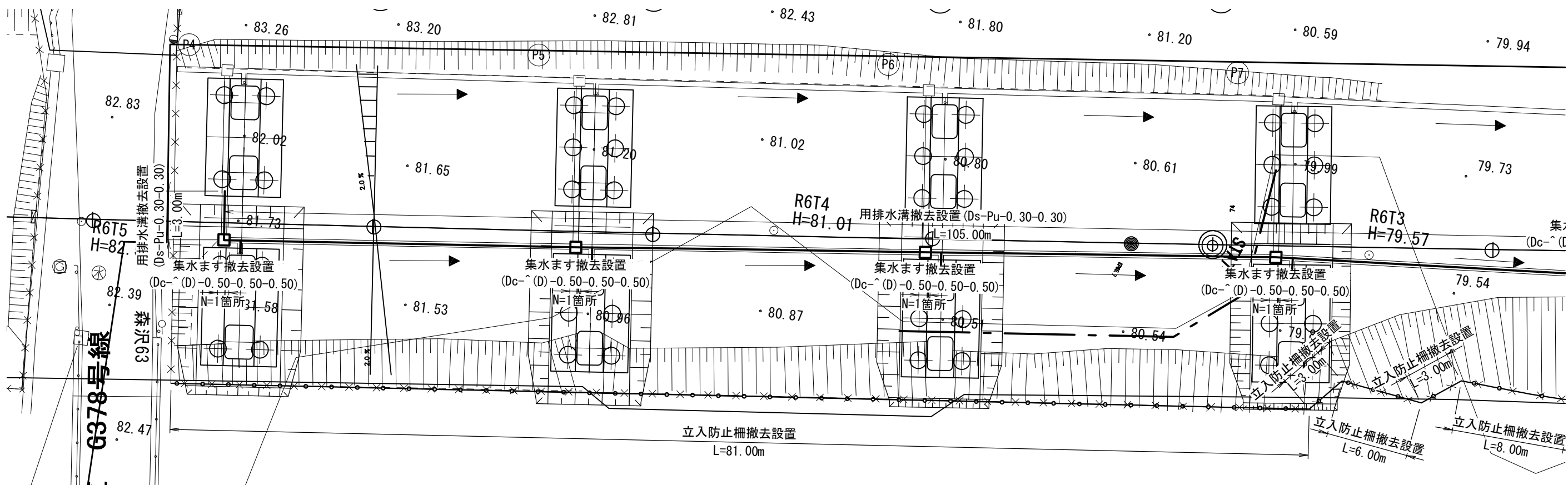
P2～P3橋脚区間



注)
1. 撤去設置数量は平面図からの読み取りである。

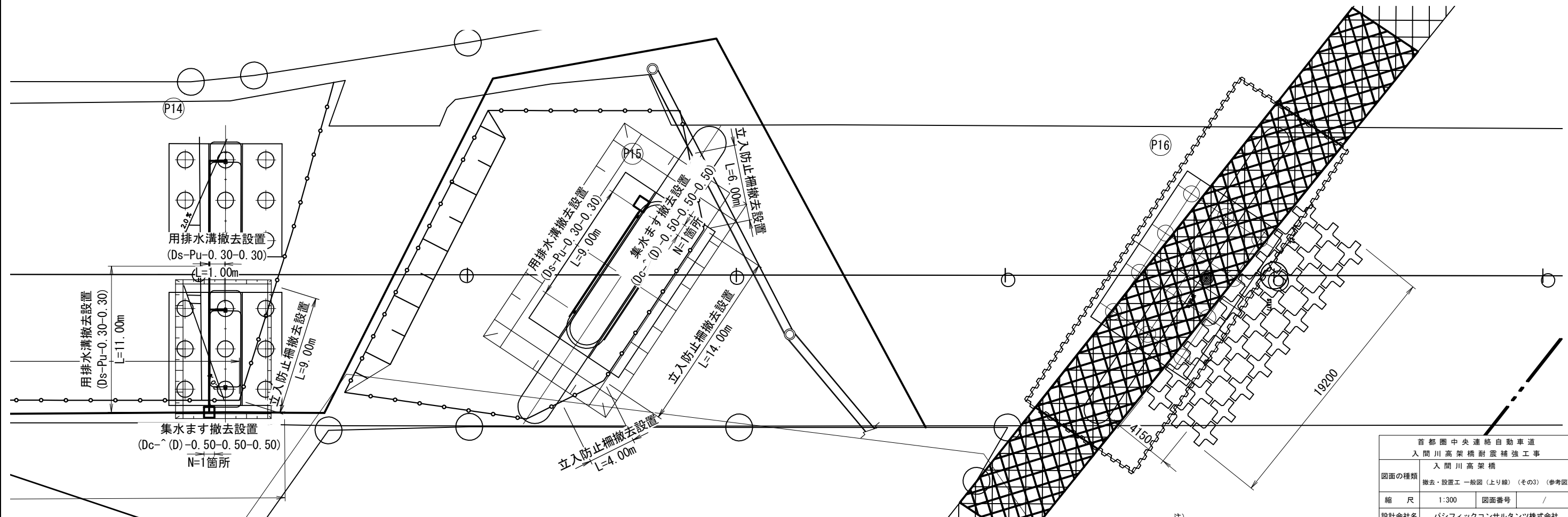
首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋		
	撤去・設置工 一般図（上り線）（その1）（参考図）		
縮 尺	1:300	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

P4～P9橋脚区間



注)
1. 撤去設置数量は平面図からの読み取りである。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 撤去・設置工 一般図（上り線）（その2）（参考図）		
縮 尺	1:300	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		



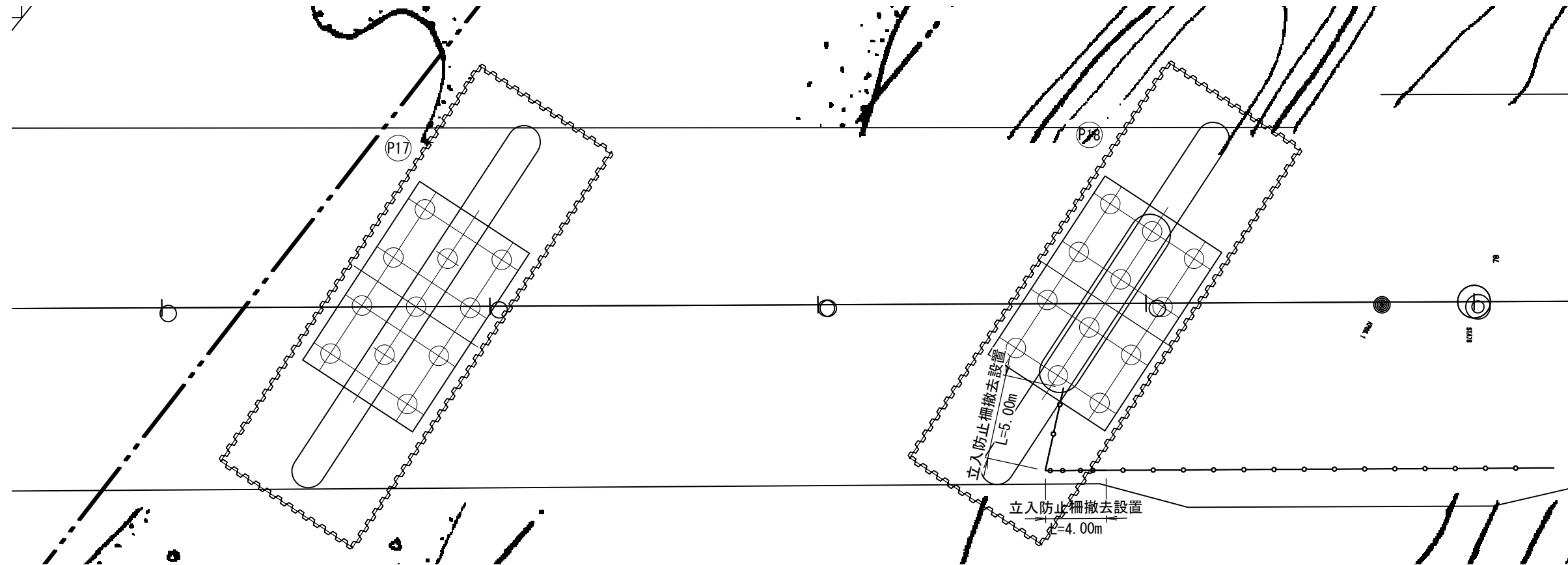
注)

1. 撤去設置数量は平面図からの読み取りである。
2. P16橋脚位置のブロック積と十字ブロックの撤去設置について、詳細は「護岸工撤去設置」を参照のこと。

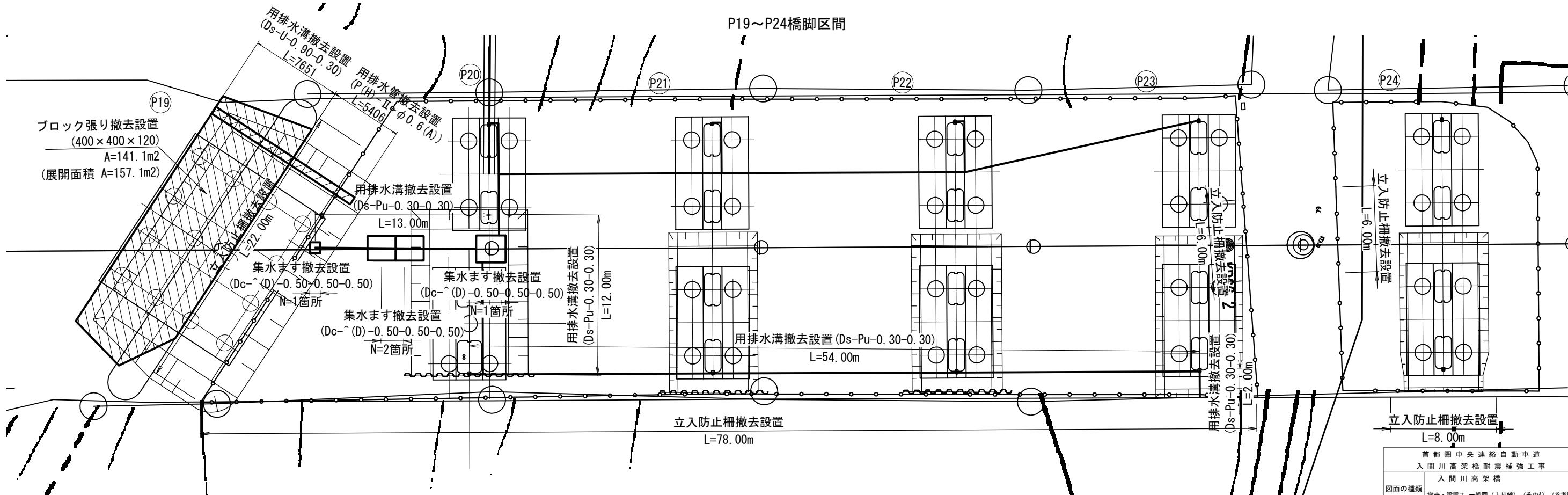
首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
入間川高架橋			
図面の種類	撤去・設置工 一般図 (上り線) (その3) (参考図)		
縮 尺	1:300	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 沼沢管理事務所		

P17～P24橋脚区間

P17, P18橋脚



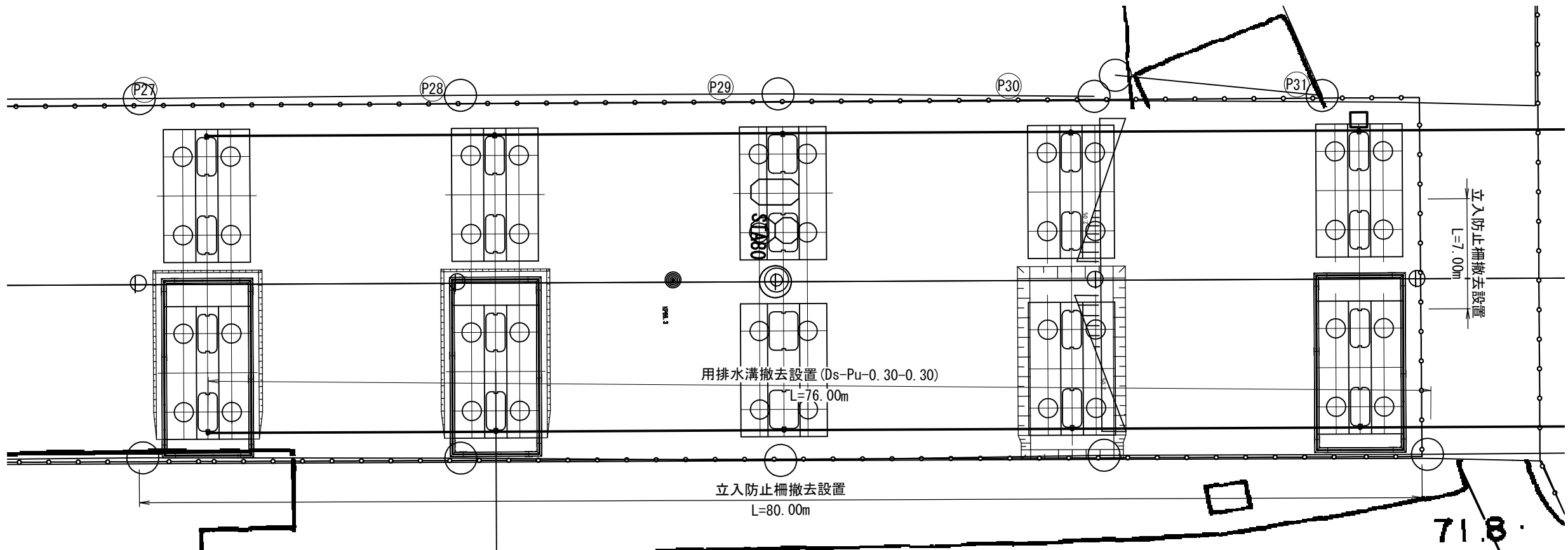
P19～P24橋脚区間



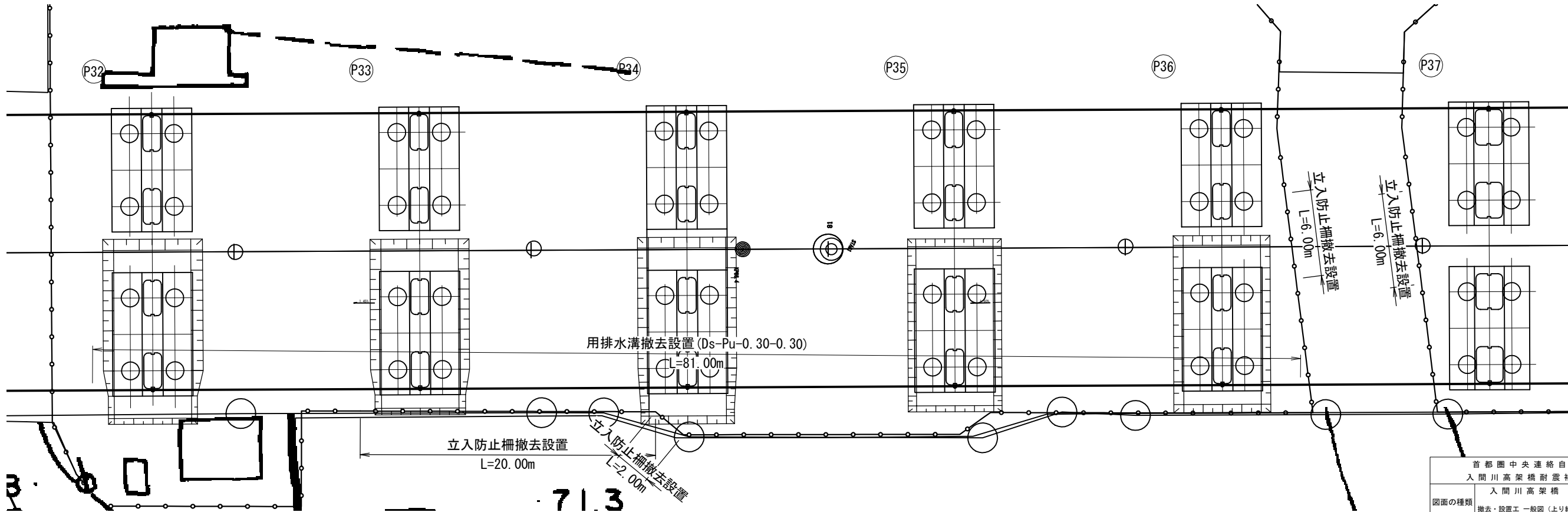
注)
1. 撤去設置数量は平面図からの読み取りである。
2. P19橋脚位置のブロック積と用排水管・用排水溝の撤去設置について、詳細は「護岸工撤去設置」を参照のこと。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 撤去・設置工一般図（上り線）（その4）（参考図）		
縮尺	1:300	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

P27～P37橋脚区間
P27～P31橋脚区間

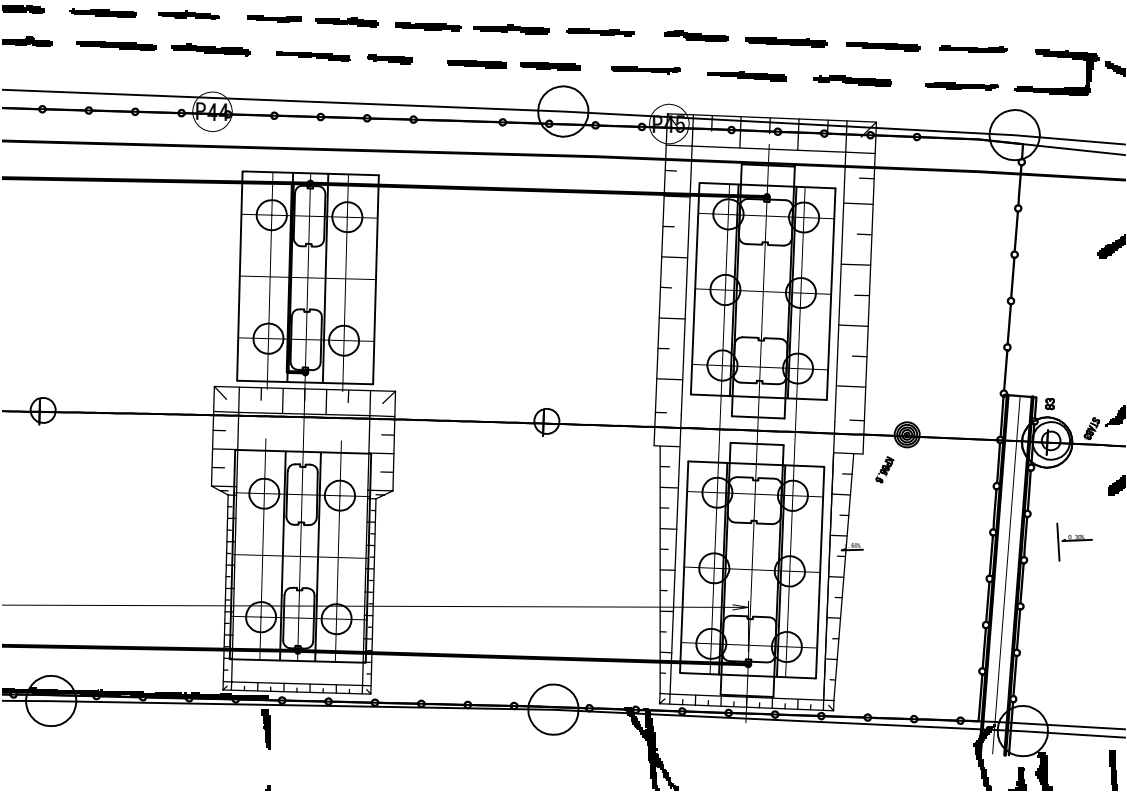
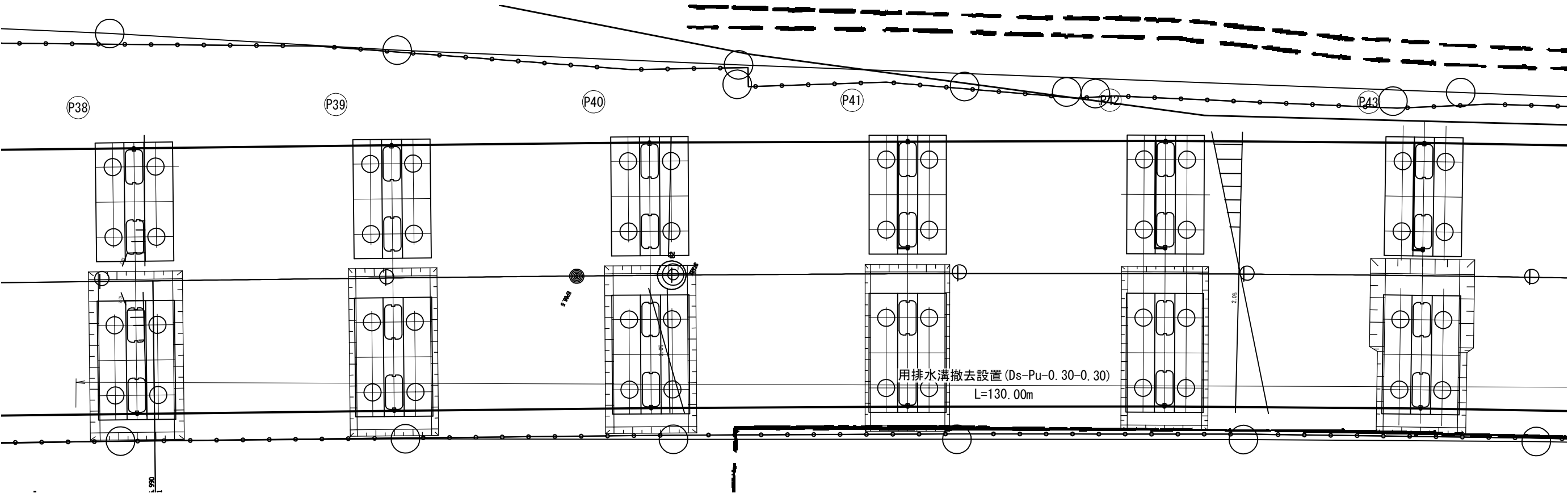


P32～P37橋脚区間



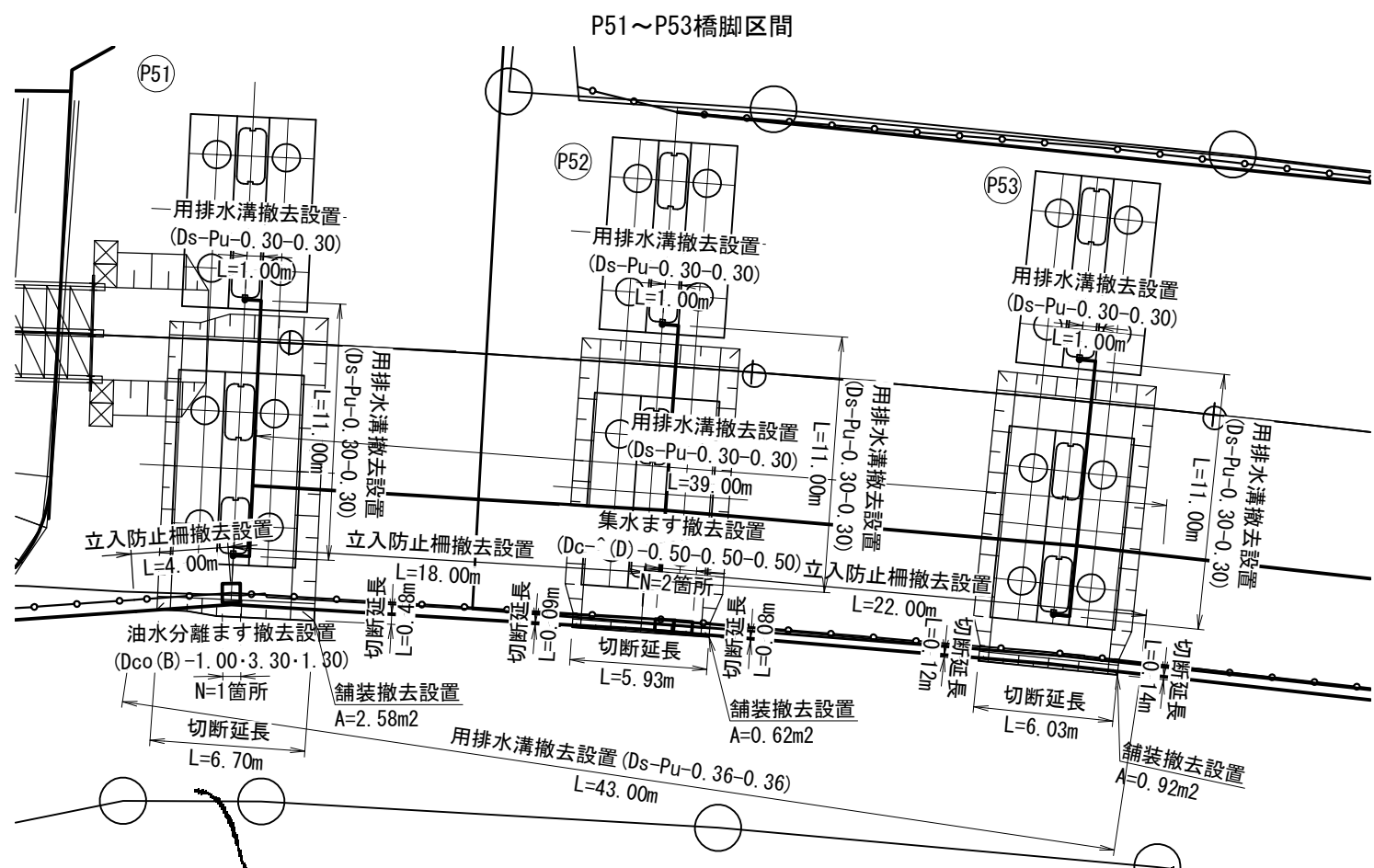
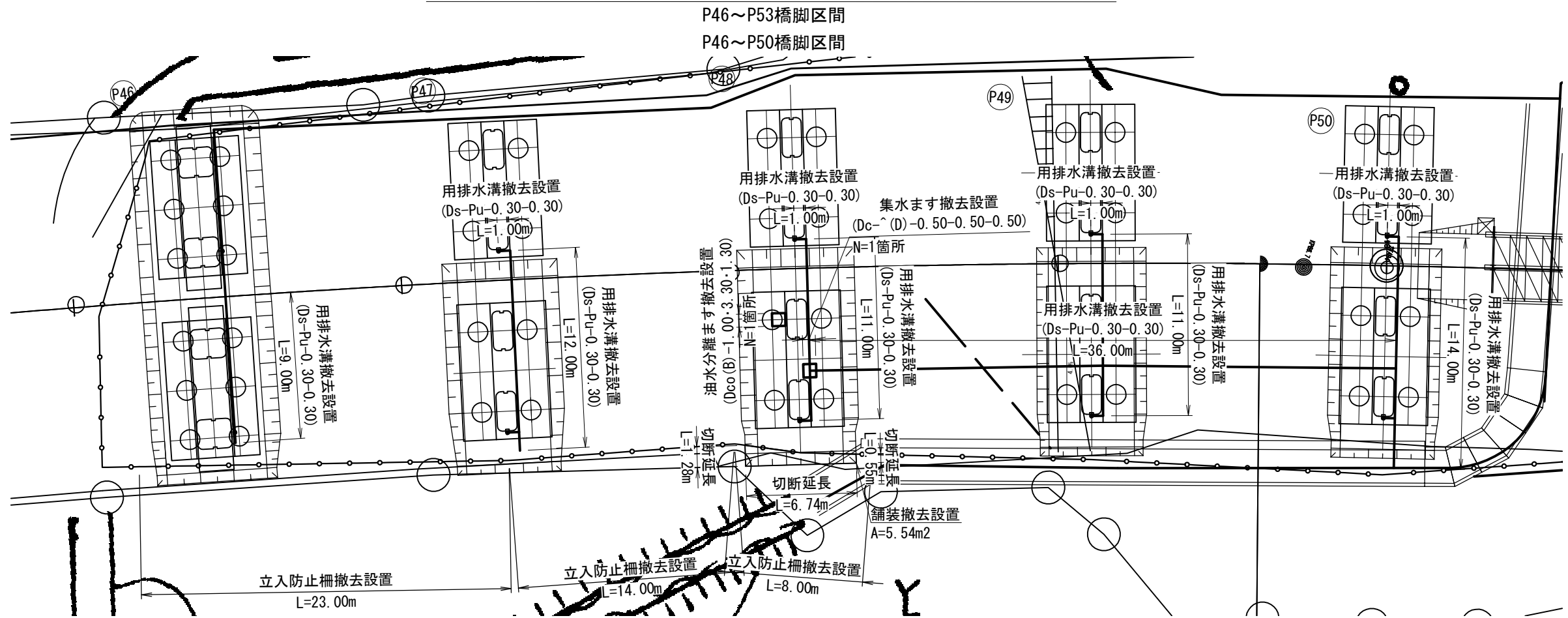
注)
1. 撤去設置数量は平面図からの読み取りである。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
入間川高架橋			
図面の種類	撤去・設置工一般図（上り線）（その5）（参考図）		
縮 尺	1:300	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		



注)
1. 撤去設置数量は平面図からの読み取りである。

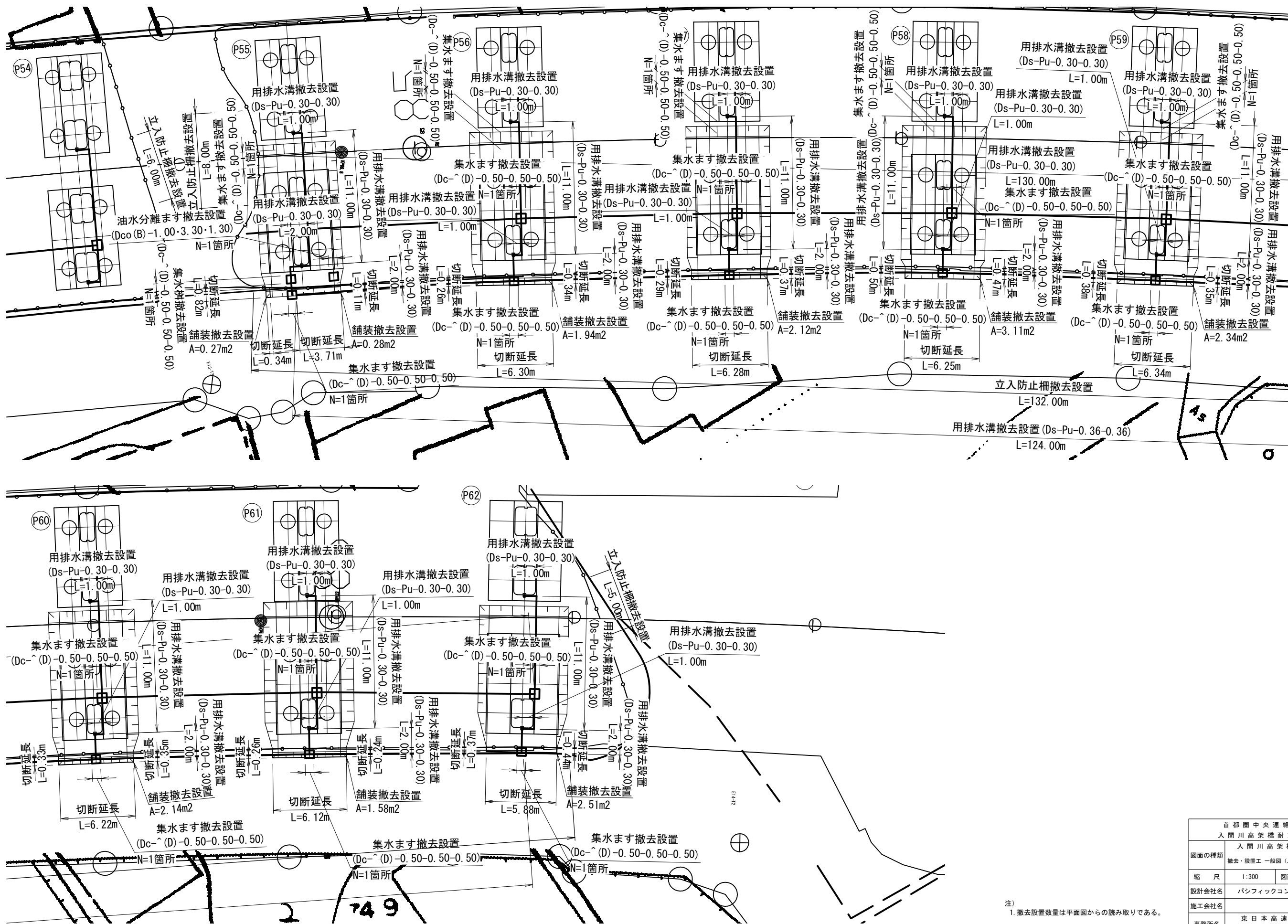
首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 撤去・設置工 一般図（上り線）（その6）（参考図）		
縮 尺	1:300	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		



注)
1. 撤去設置数量は平面図からの読み取りである。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 撤去・設置工 一般図（上り線）（その7）（参考図）		
縮 尺	1:300	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

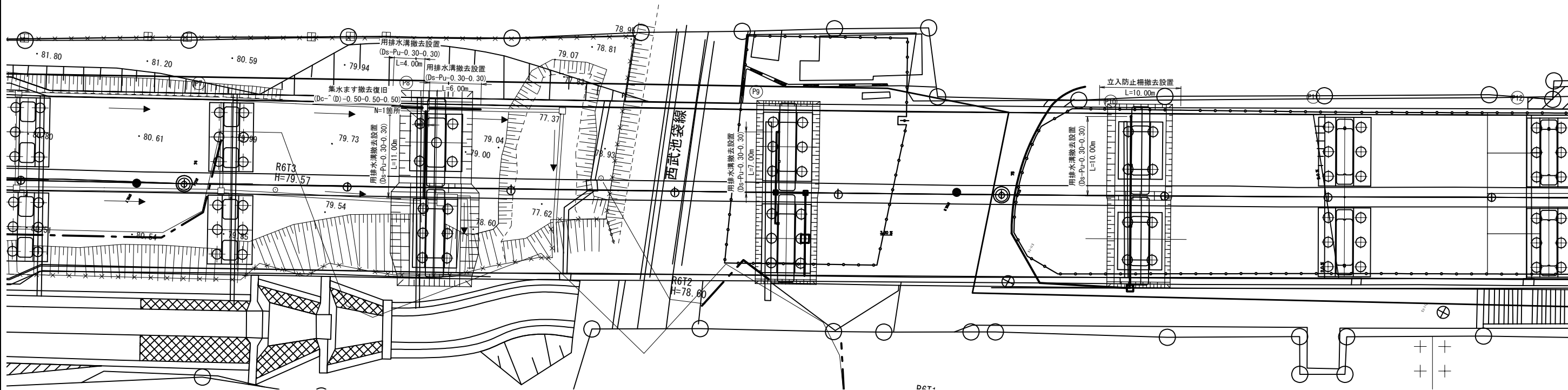
P54～P62橋脚区間



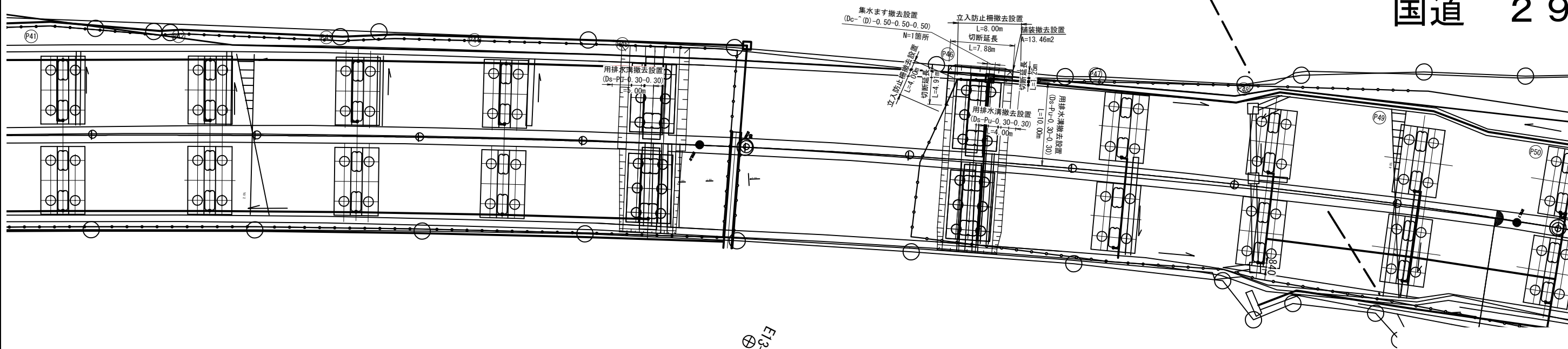
注)
1. 撤去設置数量は平面図からの読み取りである。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 撤去・設置工 一般図（上り線）（その8）（参考図）		
縮 尺	1:300	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

P8～P10橋脚区間



P45～P46橋脚区間



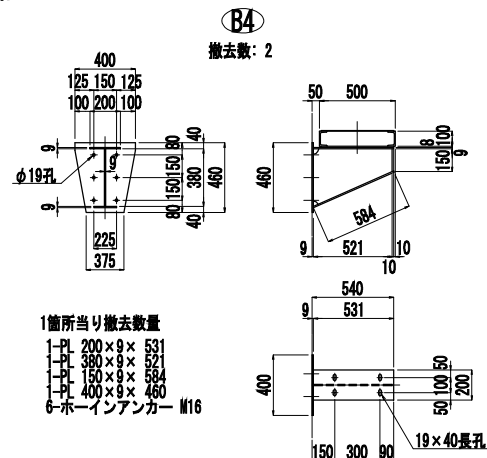
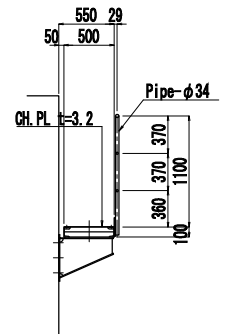
国道 29

国

注)
1. 撤去設置数量は平面図からの読み取りである。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋		
	撤去・設置工 一般図（下り線）（参考図）		
縮 尺	1:500	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

正面图 S=1:75



1-Pipe $\phi 34 \times 2.3 \times 5236$
 1-Pipe $\phi 34 \times 2.3 \times 368$
 1-Pipe $\phi 34 \times 2.3 \times 259$
 7-Pipe $\phi 34 \times 2.3 \times 1180$
 10-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 974$
 2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 129$
 2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 362$
 2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 153$
 14-PL 150 $\times 6 \times 183$
 28-BN M16 $\times 40$ (2-#)

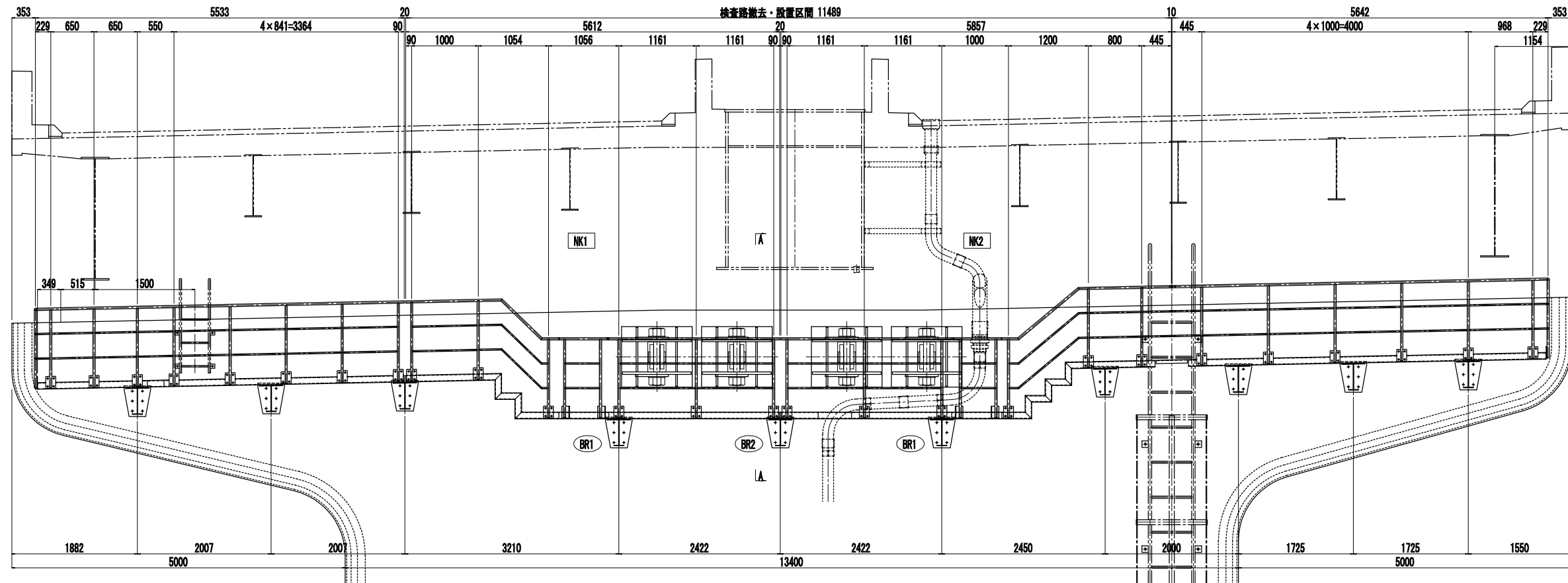
1-CH 100×50×5×7.5×1240
 1-CH 100×50×5×7.5× 374
 1-CH 100×50×5×7.5×4025
 1-CH 100×50×5×7.5× 415
 2-CH 100×50×5×7.5× 375
 1-CH 100×50×5×7.5× 450
 1-CH 100×50×5×7.5×4729
 1-L 75×75×6× 740
 1-L 75×75×6× 490
 1-CH PL 730×3.2×5474
 1-FB 50×6× 740
 5-FB 50×6× 490
 1-PL 100×8× 730
 2-PL 200×8× 480
 10-BN M16×45 (2-H)
 52-BN M10×30 (1-W, 1-TW)

1-Pipe $\phi 34 \times 2.3 \times 184$
1-Pipe $\phi 34 \times 2.3 \times 312$
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 148$
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 172$
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 306$
1-Pipe $\phi 27.2 \times 1.9 \times 90$
2-RB $\phi 13 \times 90$

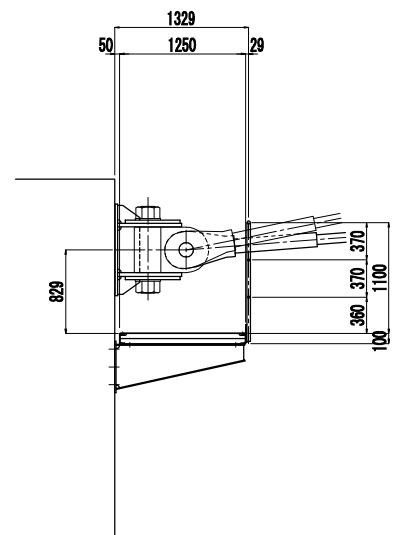
首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
牛沢橋			
図面の種類	検査路撤去再設置 詳細図（その１）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 富貴沢建設コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

牛沢橋 P1橋脚 検査路B 再設置

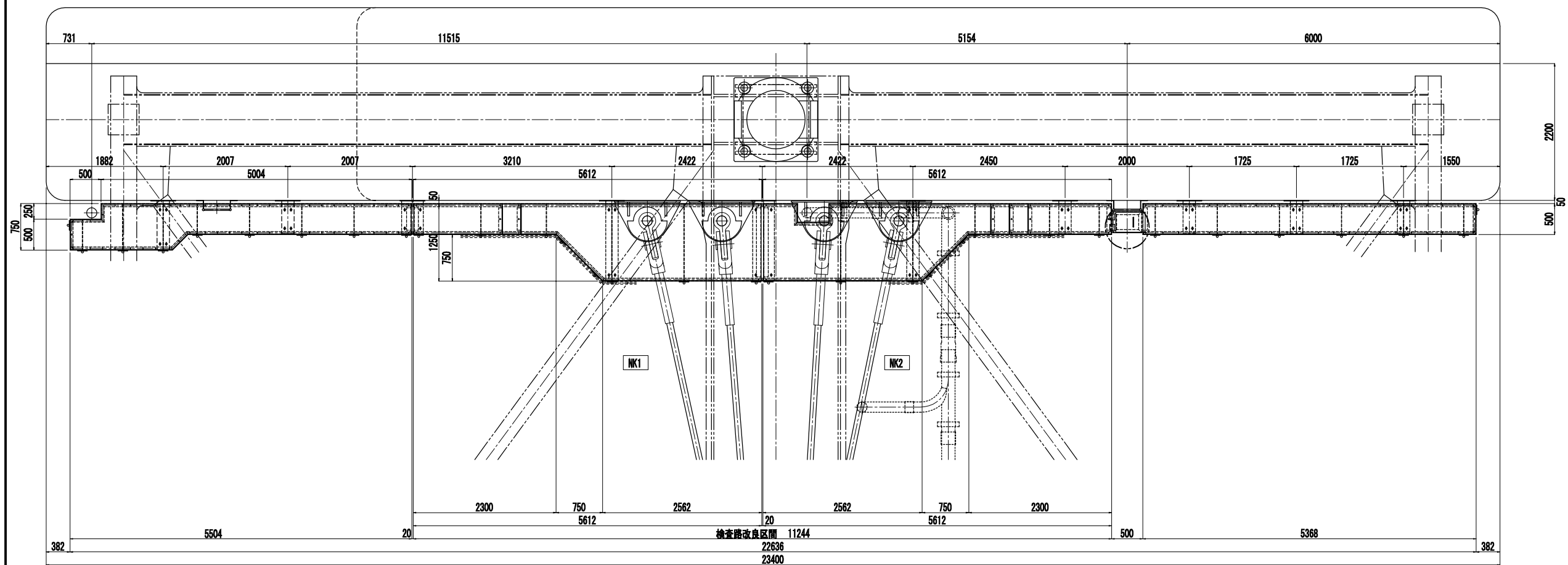
正面配置図



A - A 断面图

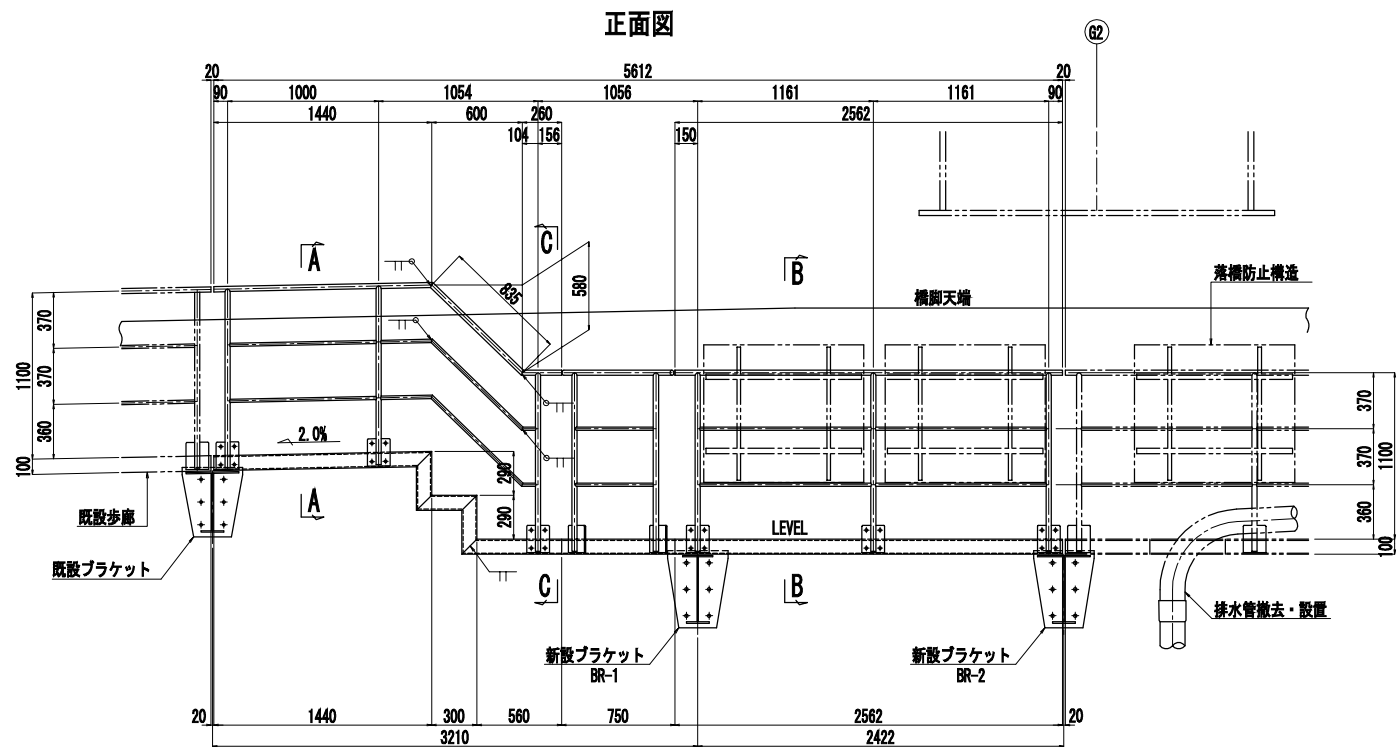


平面配置図



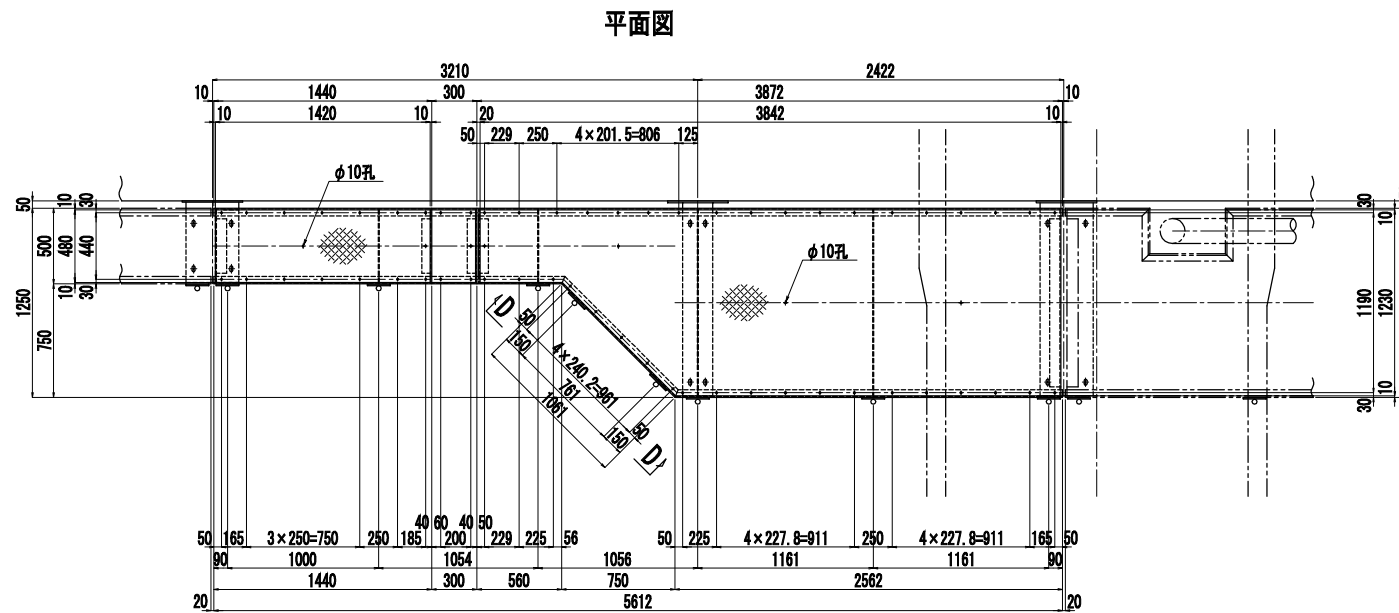
首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	水沢橋 検査路撤去再設置 詳細図 (その2) (参考図)		
縮 尺	1:75	図面番号	/
設計会社名	株式会社 富沢建設コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支所沢管理事務所		

牛沢橋 P1橋脚 検査路B 再設置
新設検査路 NK1



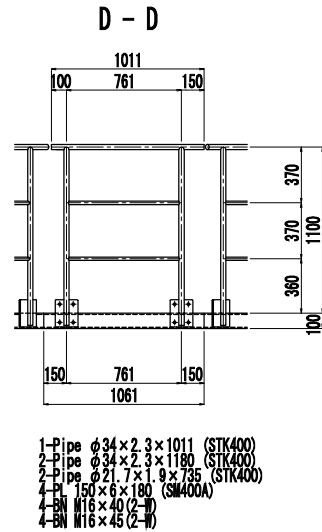
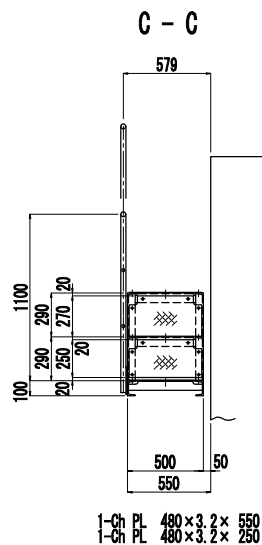
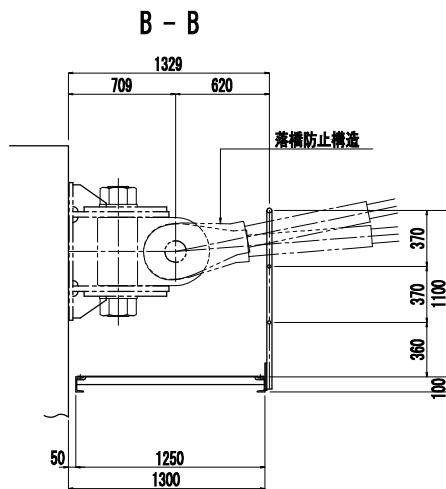
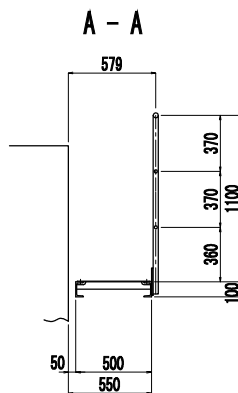
1-Pipe $\phi 34 \times 2.3 \times 1447$ (STK400)
1-Pipe $\phi 34 \times 2.3 \times 849$ (STK400)
1-Pipe $\phi 34 \times 2.3 \times 267$ (STK400)
3-Pipe $\phi 34 \times 2.3 \times 1180$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 974$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 342$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 644$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 95$ (STK400)
4-Pipe $150 \times 6 \times 183$ (SM400A)
2-Pipe $150 \times 6 \times 180$ (SM400A)
6-BN M16 $\times 40$ (2-1)
6-BN M16 $\times 45$ (2-1)

1-Pipe $\phi 34 \times 2.3 \times 2562$ (STK400)
3-Pipe $\phi 34 \times 2.3 \times 1180$ (STK400)
4-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1135$ (STK400)
6-PL 150 $\times 6 \times 180$ (SM400A)
6-BN M16 $\times 40$ (2-1)
6-BN M16 $\times 45$ (2-1)



2-CH 100 $\times 50 \times 5 \times 7.5 \times 1440$
4-CH 100 $\times 50 \times 5 \times 7.5 \times 390$
2-CH 100 $\times 50 \times 5 \times 7.5 \times 400$
1-CH 100 $\times 50 \times 5 \times 7.5 \times 3972$
1-CH 100 $\times 50 \times 5 \times 7.5 \times 581$
1-CH 100 $\times 50 \times 5 \times 7.5 \times 1081$
1-CH 100 $\times 50 \times 5 \times 7.5 \times 2562$
1-L 75 $\times 75 \times 6 \times 490$
1-L 75 $\times 75 \times 6 \times 1240$
2-L 65 $\times 65 \times 6 \times 400$
1-L 65 $\times 65 \times 6 \times 490$

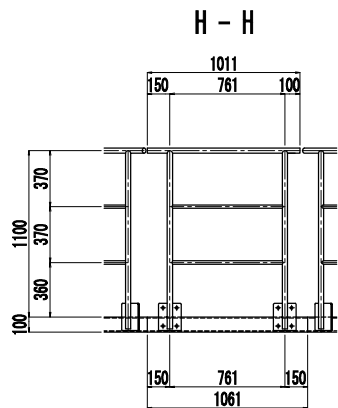
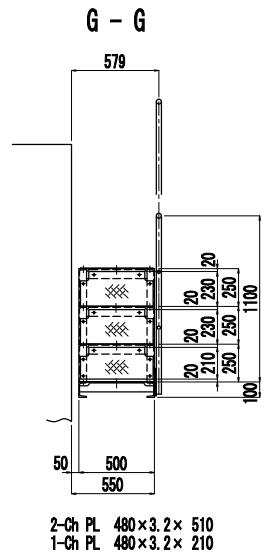
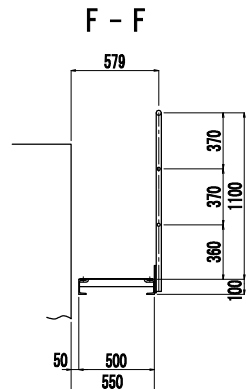
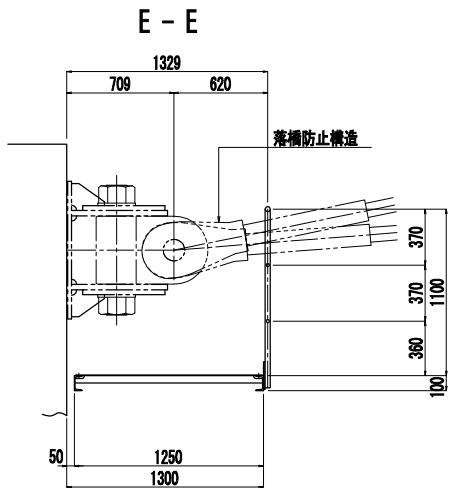
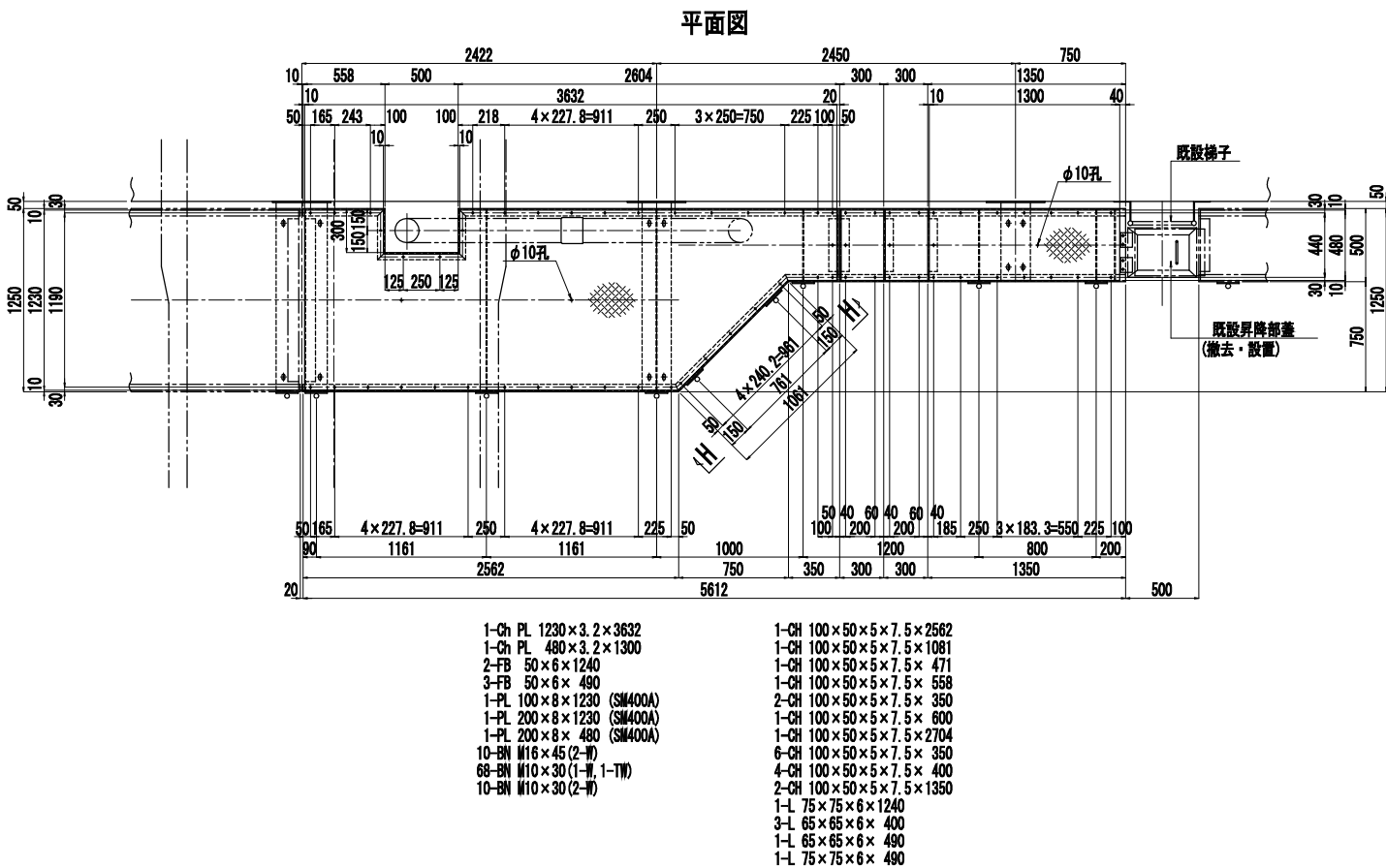
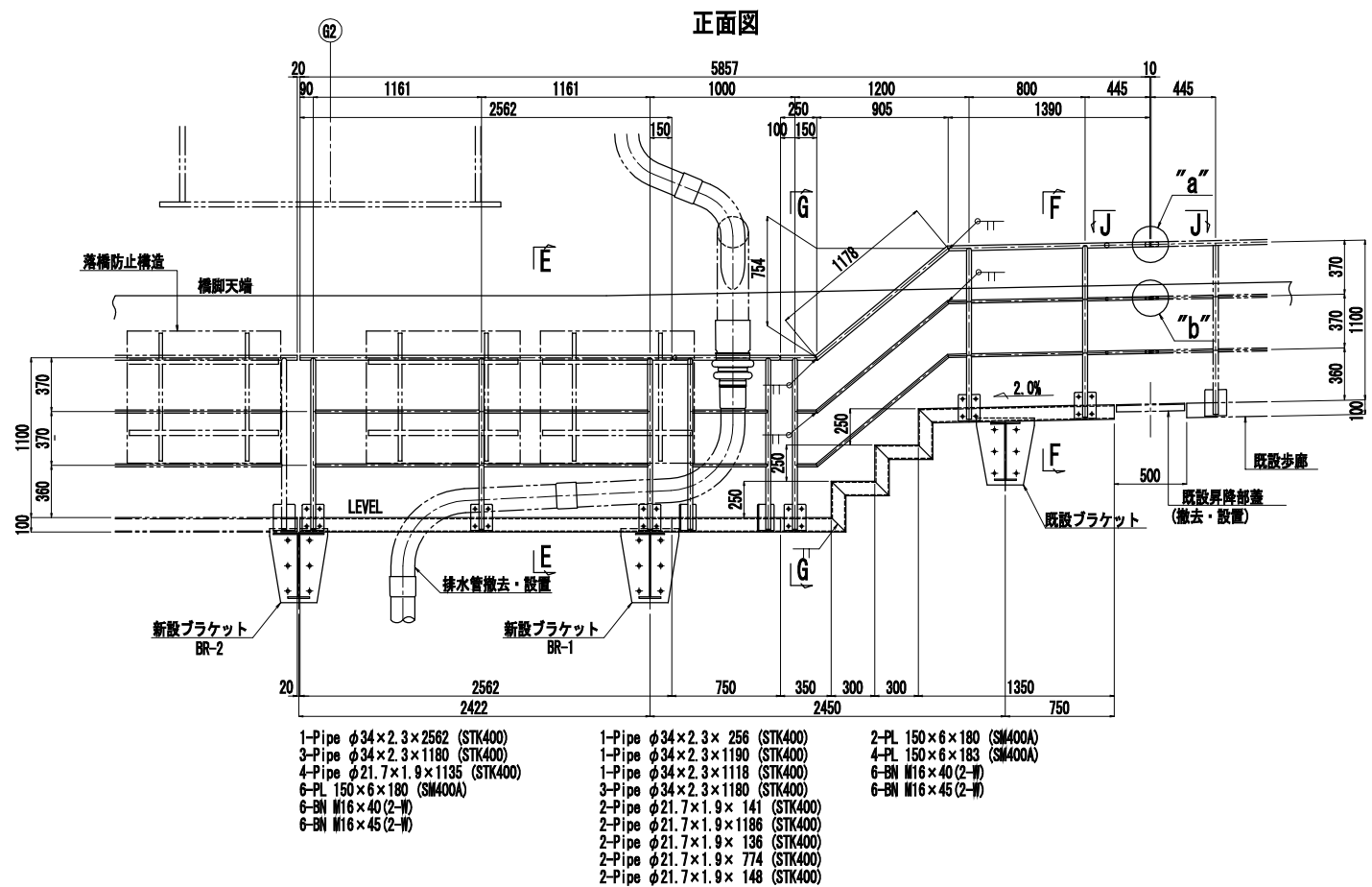
1-CH PL 480 $\times 3.2 \times 1420$
1-CH PL 1230 $\times 3.2 \times 3842$
2-FB 50 $\times 6 \times 490$
2-FB 50 $\times 6 \times 1240$
1-PL 100 $\times 8 \times 490$ (SM400A)
1-PL 100 $\times 8 \times 1230$ (SM400A)
1-PL 200 $\times 8 \times 1230$ (SM400A)
8-BN M16 $\times 45$ (2-1)
62-BN M10 $\times 30$ (1-1, 1-11)
7-BN M10 $\times 30$ (2-1)



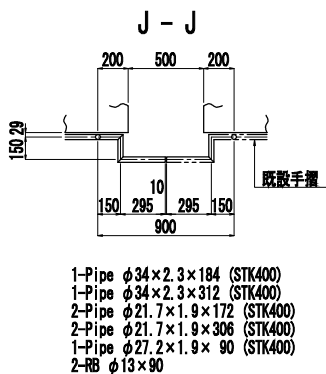
- 注)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. ナットは、全て締め止めナットを使用する。
 3. 新設部材は、全て落橋垂釣めつきとする。
(垂釣の戻厚は、JIS H8641によるものとする。
厚さ3.2mm以上の鋼材及び型鋼類は、HDZT77とする。
3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等は、HDZT49とする。)
 4. 部材の製作及び取付けは、現地実測確認の上実施すること。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	牛沢橋 検査路撤去再設置工 詳細図（その3）（参考図）		
縮 尺	1:50	図面番号	/
設計会社名	株式会社 富貴沢建設コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

牛沢橋 P1橋脚 検査路B 再設置
新設検査路 NK2



1-Pipe $\phi 34 \times 2.3 \times 1011$ (STK400)
2-Pipe $\phi 34 \times 2.3 \times 1180$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 735$ (STK400)
4-PL $150 \times 6 \times 180$ (SM400A)
4-BN $\#16 \times 40$ (2-#)
4-BN $\#16 \times 45$ (2-#)



1-Pipe $\phi 34 \times 2.3 \times 184$ (STK400)
1-Pipe $\phi 34 \times 2.3 \times 312$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 172$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 306$ (STK400)
1-Pipe $\phi 27.2 \times 1.9 \times 90$ (STK400)
2-RB $\phi 13 \times 90$

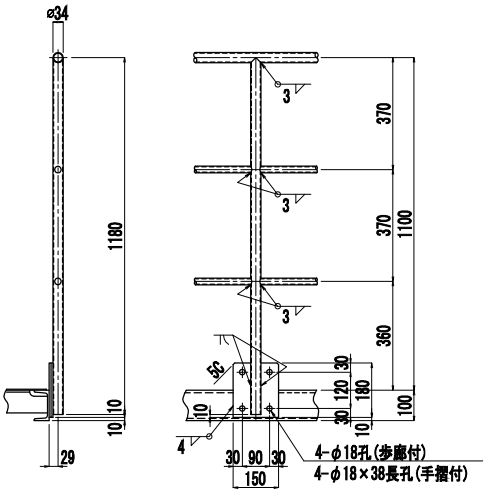
- 注)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. ナットは、全て施み止めナットを使用する。
 3. 新設部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
(亜鉛の膜厚は、JIS H8641によるものとする。
厚さ3.2mm以上の鋼材及び型鋼類は、HDZT77とする。
3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等は、HDZT49とする。)
 4. 部材の製作及び取付けは、現地実測確認の上実施すること。
 5. "a"部、"b"部詳細は、撤去・設置工詳細図(その37)を参照のこと。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	牛沢橋 検査路撤去再設置工 詳細図（その4）（参考図）		
縮尺	1:50	図面番号	/
設計会社名	株式会社 富貴沢建設コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

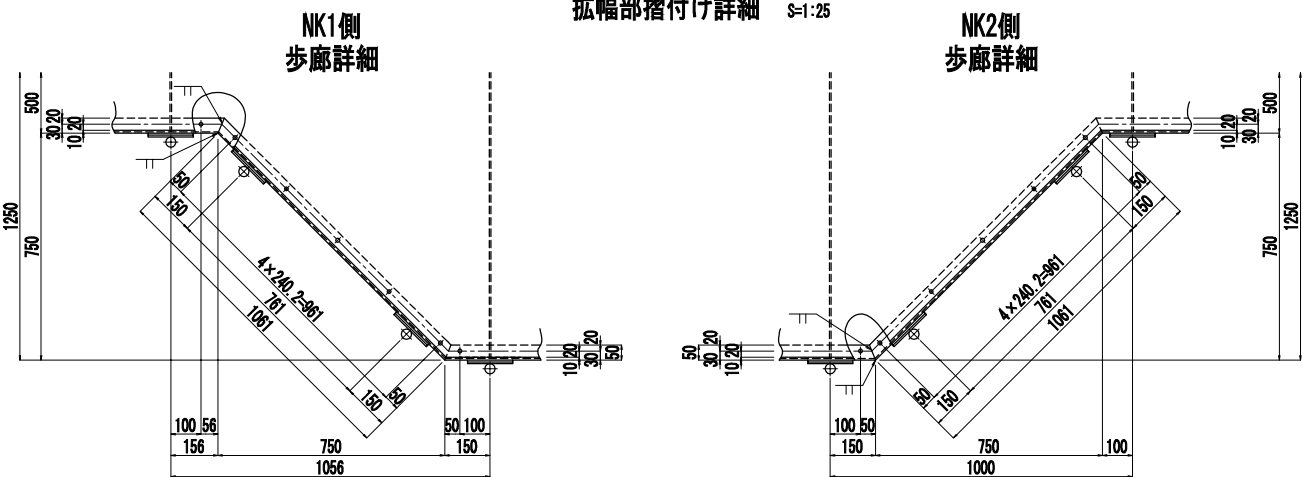
検査路撤去再設置工 詳細図（その5）（参考図）

牛沢橋 P1橋脚 検査路B 再設置
各部詳細図（1）

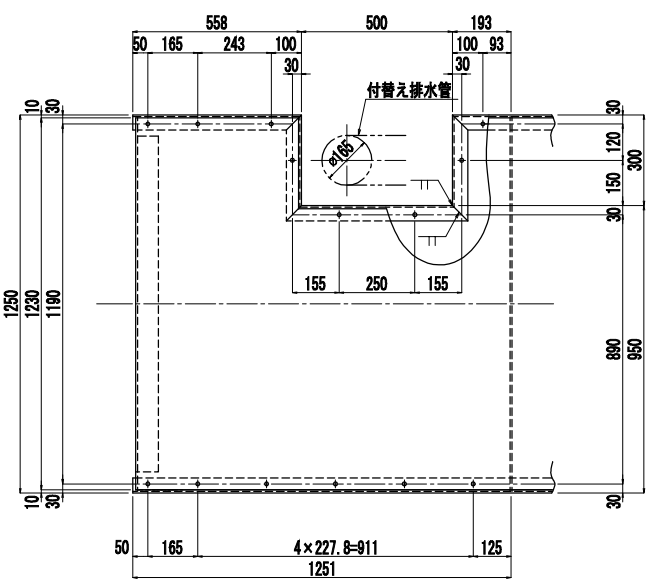
手摺取付部詳細 S=1:25



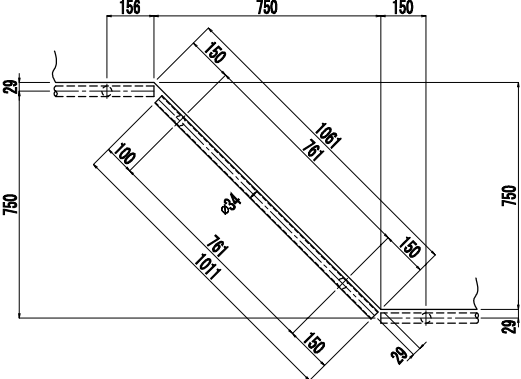
拡幅部摺付け詳細 S=1:25



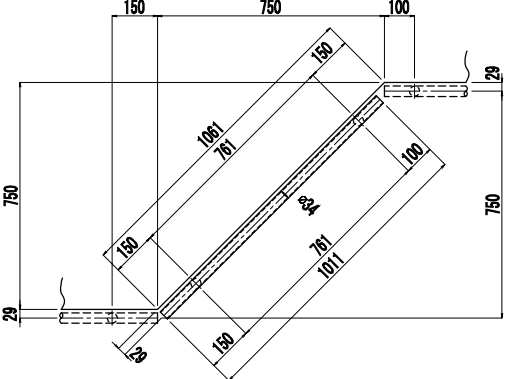
排水切欠き部詳細 S=1:25



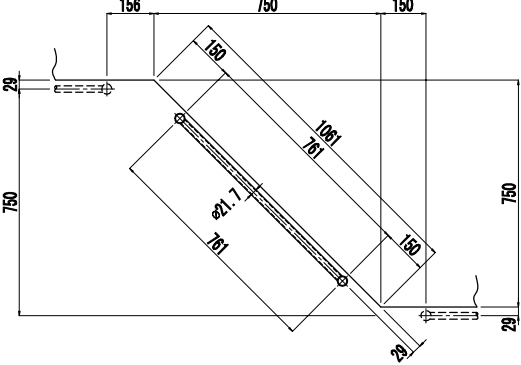
上段手摺詳細



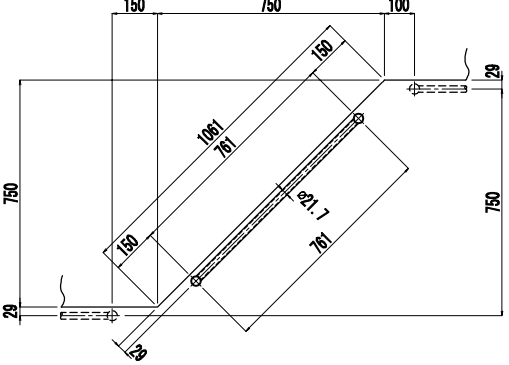
上段手摺詳細



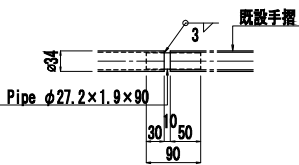
中段、下段手摺詳細



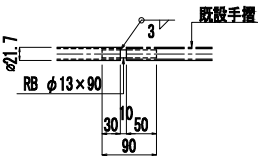
中段、下段手摺詳細



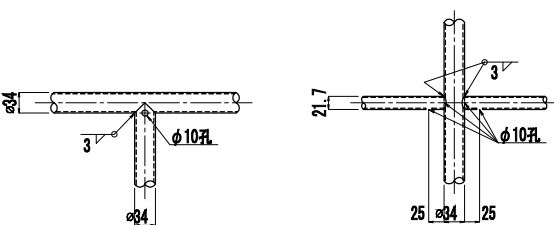
“a”部詳細 S=1:12.5



“b”部詳細 S=1:12.5



めっき用空気抜き孔詳細 S=1:12.5



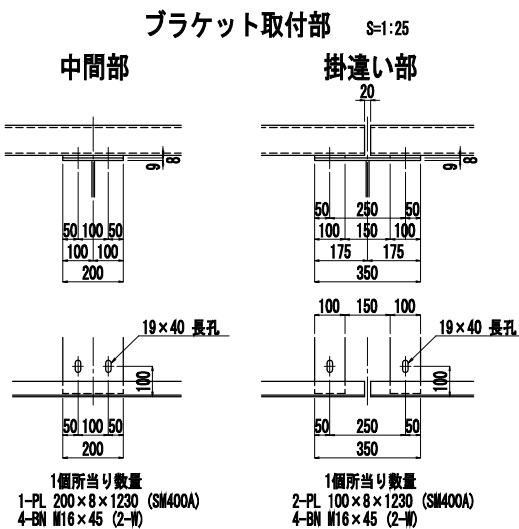
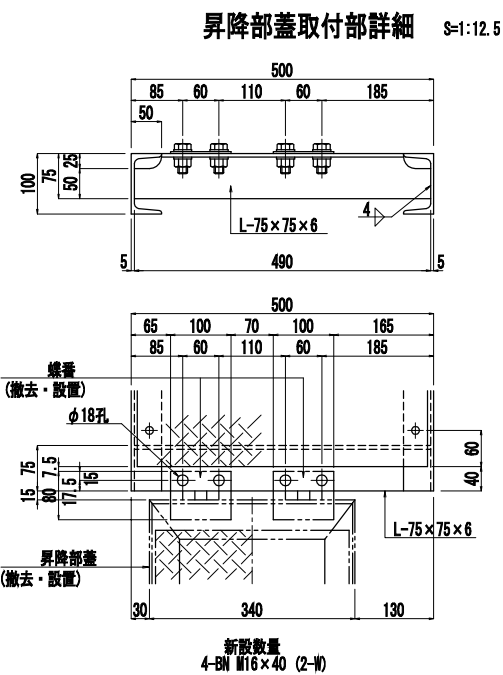
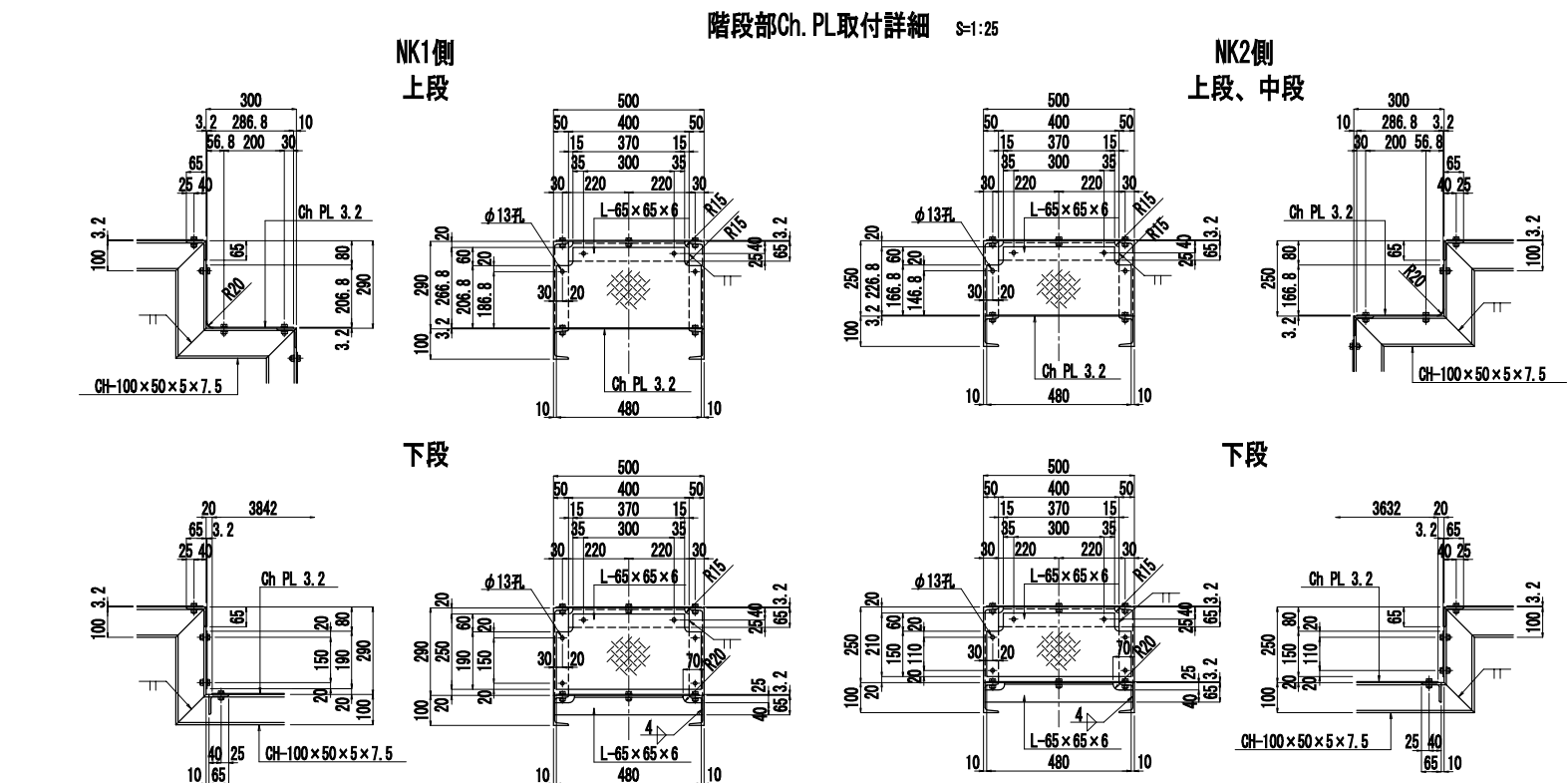
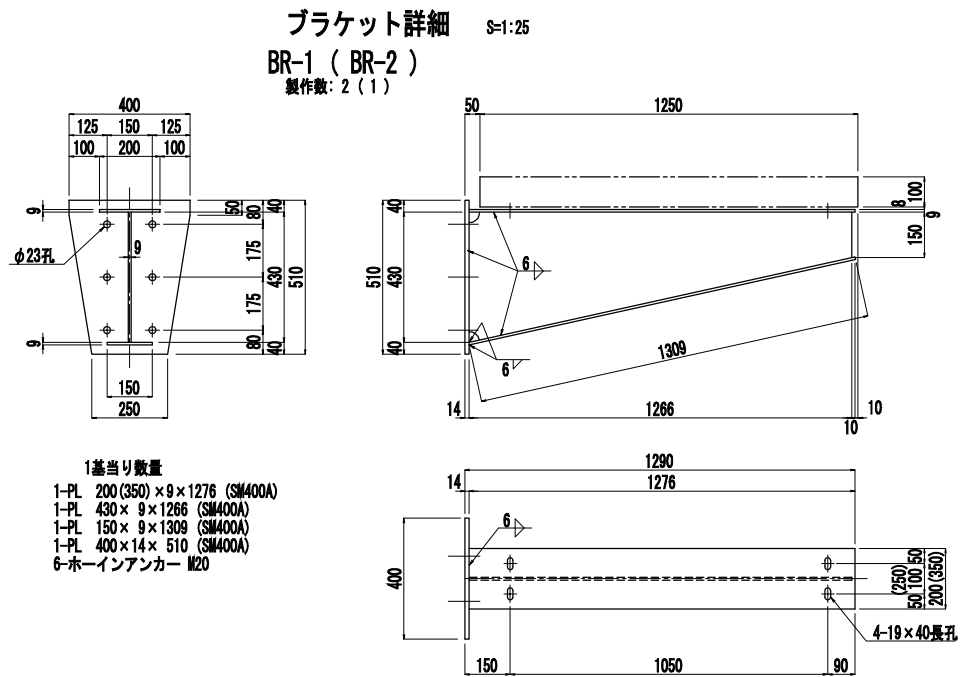
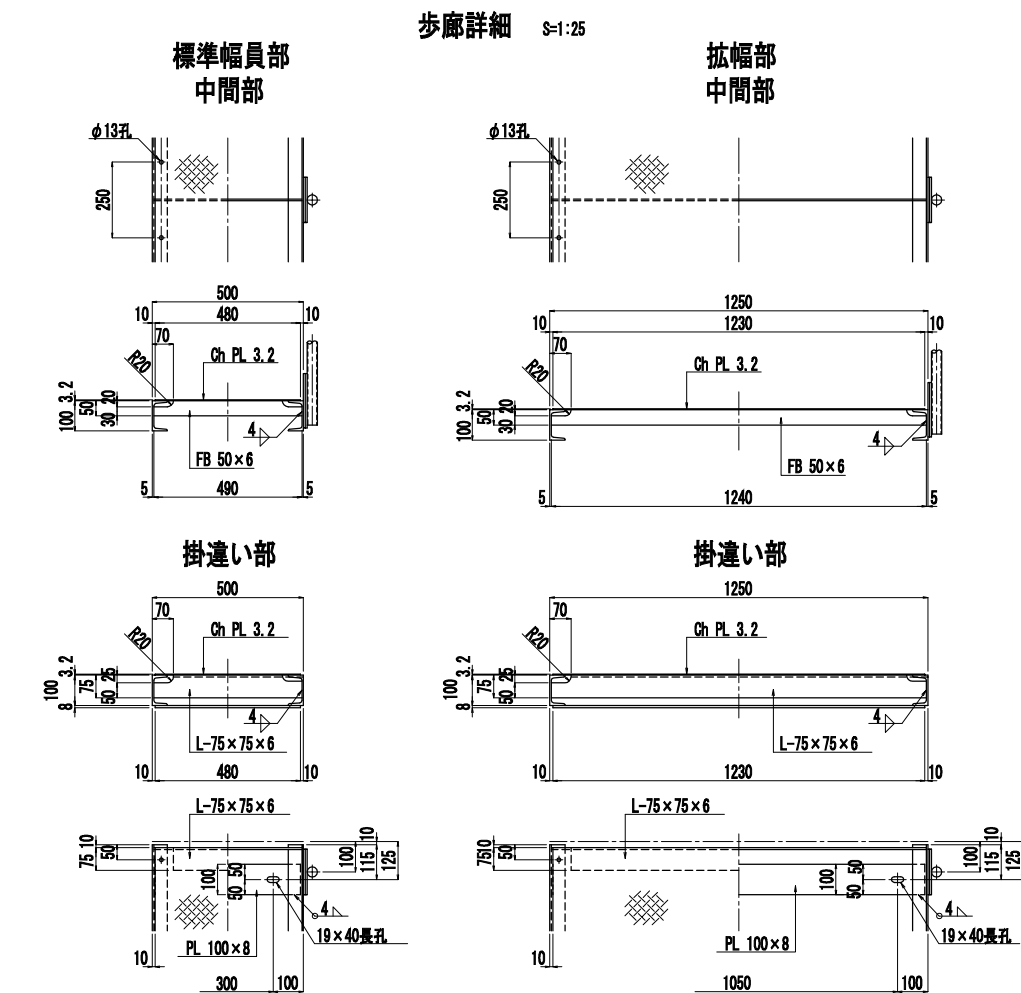
- 注)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. 特記なきスカーラップは、全て3Rとする。
 3. ナットは、全て締め止めナットを使用する。
 4. 新設部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
(亜鉛の膜厚は、JIS H8641によるものとする。
厚さ3.2mm以上の鋼材及び型鋼類は、HDZT77とする。
3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等は、HDZT49とする。)
 5. 部材の製作及び取付けは、現地実測確認の上実施すること。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	牛沢橋 検査路撤去再設置工 詳細図（その5）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 富貴沢建設コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

検査路撤去再設置工 詳細図（その6）（参考図）

牛沢橋 P1橋脚 検査路B 再設置
各部詳細図（2）

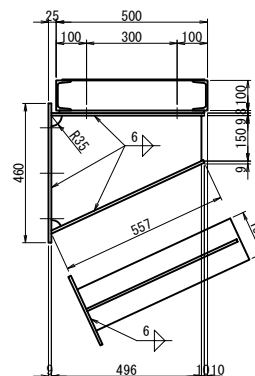
17/87



- 注)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. 特記なきスカーラップは、全て3Rとする。
 3. ナットは、全て締め止めナットを使用する。
 4. 新設部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
(重鉛の膜厚は、JIS H8641によるものとする。
厚さ3.2mm以上の鋼材及び型鋼鋼材は、HDZ177とする。
厚さ3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等は、HDZ149とする。)
 5. 部材の製作、取付けは、現地実測確認の上、実施すること。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	検査路撤去再設置工 詳細図（その6）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 富貴沢建設コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

ブラケット撤去詳細 S=1:25



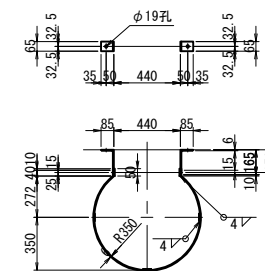
ブラケット撤去材料 1組あたり(計:4組)
1-PL 400x9x460
1-PL 200x9x506
1-PL 380x9x496
1-PL 150x9x557
6-コンクリートアンカー M16x100

Technical drawing of a rectangular plate. The overall width is 415 (125 + 300 + 90). The overall height is 200. The plate has a central horizontal slot with a width of 300 and a depth of 100. There are four holes, labeled 4-φ 19H7, arranged in two rows. The top row has two holes, and the bottom row has two holes. The distance from the left edge to the first hole in the top row is 125. The distance between the two holes in the top row is 300. The distance from the second hole in the top row to the right edge is 90. The distance from the top edge to the first hole in the top row is 50. The distance between the two holes in the top row is 100. The distance from the second hole in the top row to the bottom edge is 50. The distance from the left edge to the first hole in the bottom row is 125. The distance between the two holes in the bottom row is 300. The distance from the second hole in the bottom row to the right edge is 90. The distance from the top edge to the first hole in the bottom row is 150. The distance between the two holes in the bottom row is 100. The distance from the second hole in the bottom row to the bottom edge is 50. A dimension line indicates a distance of 6 from the left edge to the first hole in the bottom row.

右側 撤去材料 1組あたり(計:1組)

- 1-Pipe 25Ax5086(STK400)
- 7-Pipe 25Ax1180(STK400)
- 10-Pipe 15Ax 874(STK400)
- 2-Pipe 15Ax 227(STK400)
- 2-Pipe 15Ax 327(STK400)
- 14-PL 150x6x180
- 28-BN M16x40(座金付)

転落防止リング詳細 S=1:50



梯子撤去材料 1組あたり(計:1組)
2-FB 50x6x4750
14-RB ϕ 22x460
4-FB 50x6x1818
3-FB 50x6x3180
10-FB 65x6x250
10-コンクリートアンカー M16x100

右側 撤去材料 1組あたり(計:1組)

- 2-[100x50x5x7.5x4800
- 2-[100x50x5x7.5x500
- 1-FL PL 480x3.2x4780
- 4-FB 55x6x490
- 2-PL 200x8x480
- 42-BN M10x30(座金付)
- 8-BN M16x40(座金付)

- (注)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面に基に作図を行なっている。
 3. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。

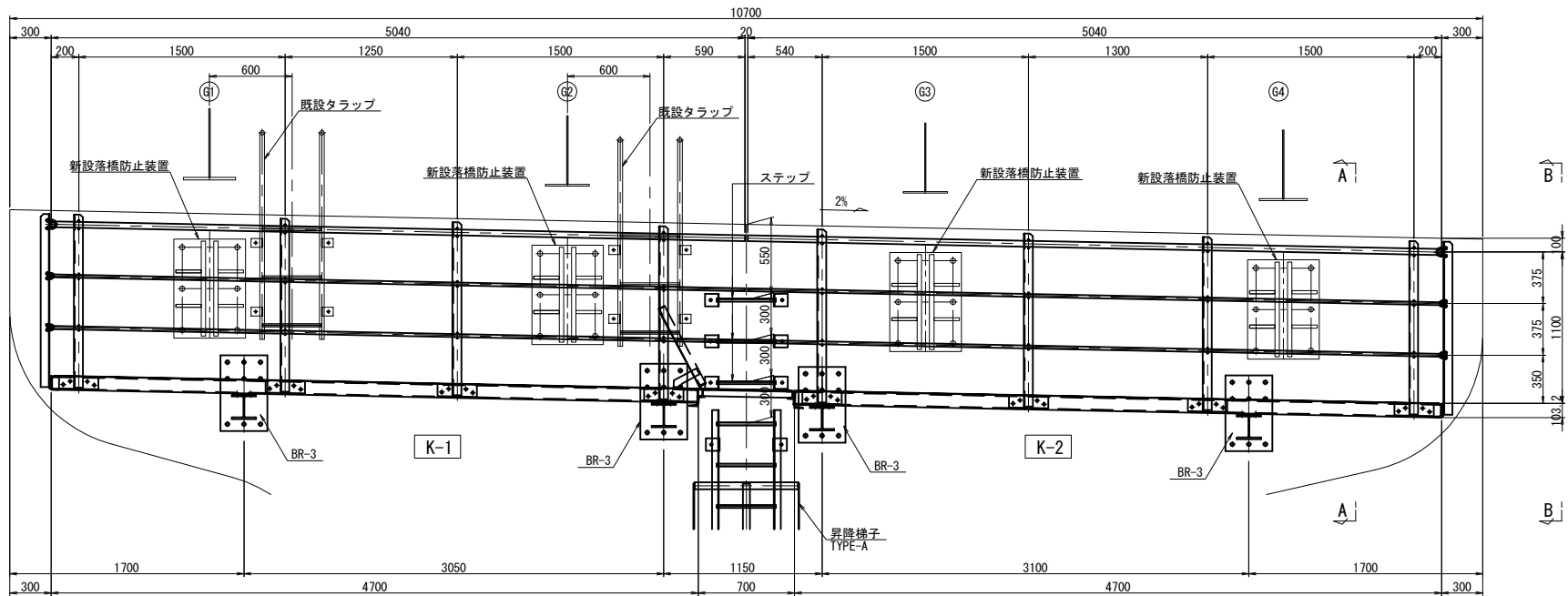
首都圏中央連絡自動車道			
入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 検査踏査再設置工 詳細図（その7）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所沢管理事務所		

検査路撤去再設置工 詳細図（その8）（参考図）

入間川高架橋 P8橋脚（上り線）（終点側）検査路B

19/87

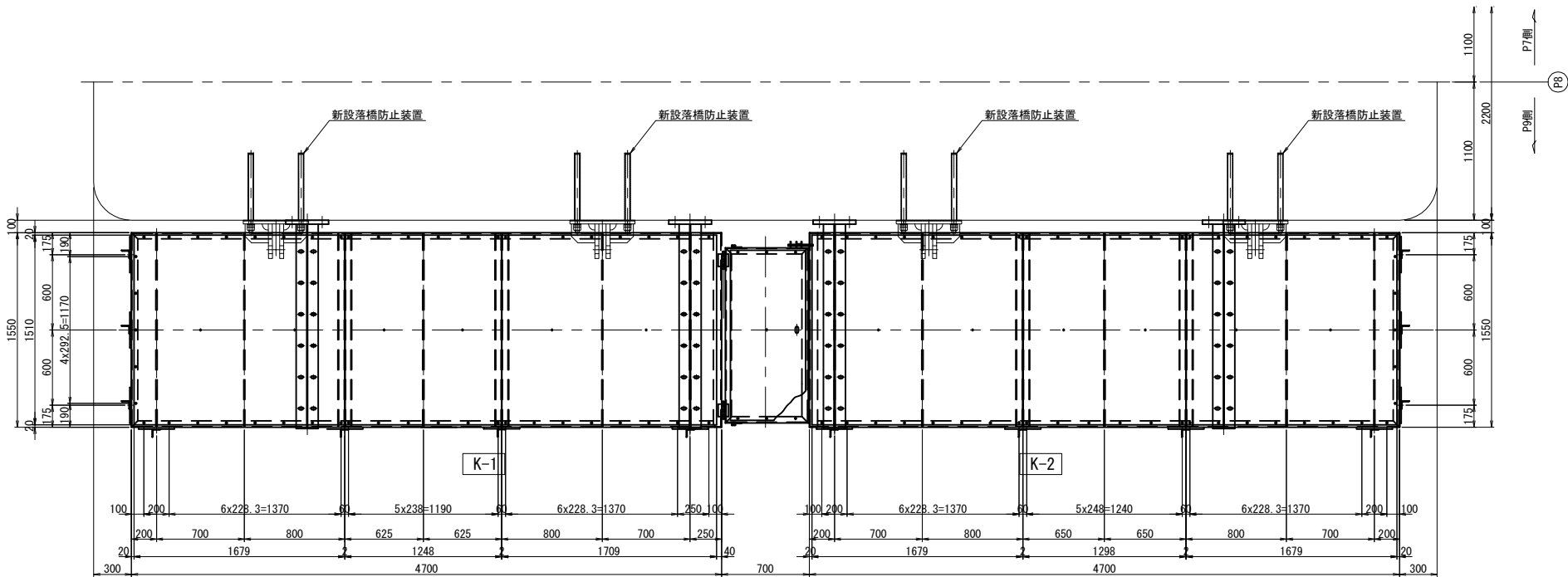
正面図 S=1:50



K-1手摺（製作数：1組）
1-Pipe φ42.7x2.3x5041 (STK400)
2-Pipe φ21.7x1.9x5041 (STK400)
4-L 65x65x6x1258
4-PL 90x12x287 (SM400A)
16-BN M16x45 (2-W)
4-U. ボルト 呼び径 32 (C形)
8-U. ボルト 呼び径 15 (C形)

K-2手摺（製作数：1組）
1-Pipe φ42.7x2.3x5041 (STK400)
2-Pipe φ21.7x1.9x5041 (STK400)
4-L 65x65x6x1258
4-PL 90x12x287 (SM400A)
16-BN M16x45 (2-W)
4-U. ボルト 呼び径 32 (C形)
8-U. ボルト 呼び径 15 (C形)

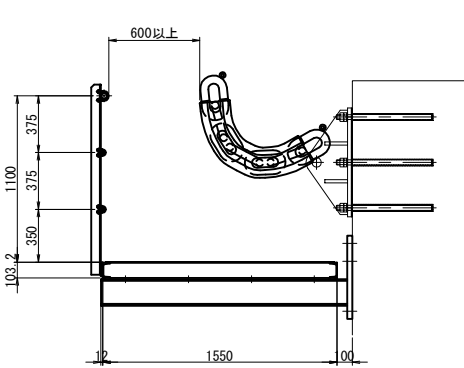
平面図 S=1:50



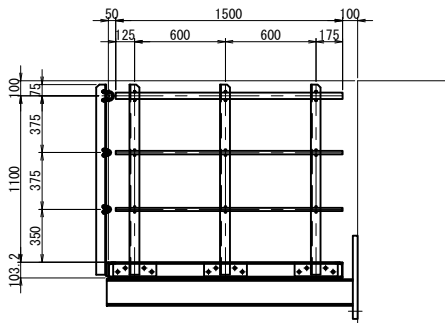
K-1歩廊（製作数：1組）
1-Ch. PL 1510x3.2x1680 (SS400相当品)
1-Ch. PL 1510x3.2x1250 (SS400相当品)
1-Ch. PL 1510x3.2x1710 (SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x4694
1-CH 100x50x5x7.5x1550
1-CH 125x65x6x8x1550
4-L 50x50x6x1540
5-FB 90x9x1540
49-BN M10x30 (1-W, 1-TW)
2-PL 160x12x1530 (SM400A)

K-2歩廊（製作数：1組）
1-Ch. PL 1510x3.2x1680 (SS400相当品)
1-Ch. PL 1510x3.2x1300 (SS400相当品)
1-Ch. PL 1510x3.2x1680 (SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x4694
1-CH 125x65x6x8x1550
1-CH 100x50x5x7.5x1550
4-L 50x50x6x1540
5-FB 90x9x1540
49-BN M10x30 (1-W, 1-TW)
2-PL 160x12x1530 (SM400A)

A - A S=1:50

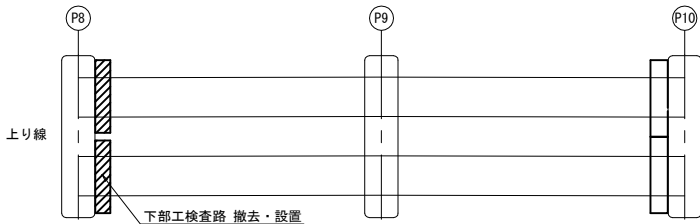


B - B S=1:50



手摺（製作数：2組）
1-Pipe φ42.7x2.3x1500 (STK400)
2-Pipe φ21.7x1.9x1500 (STK400)
3-L 65x65x6x1258
3-PL 90x12x285 (SM400A)
12-BN M16x45 (2-W)
3-U. ボルト 呼び径 32 (C形)
6-U. ボルト 呼び径 15 (C形)

配置図 S=1:500



- 注)
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
膜厚の種類は、JIS H8641 HDZT77とする。
ボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT49とする。
 - ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 検査路撤去再設置工 詳細図（その8）（参考図）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

ブラケット撤去詳細 S=1:25

Technical drawing of a bridge structure, likely a girder bridge, showing dimensions and components. The drawing includes a plan view (top) and a side elevation view (bottom).

Plan View Dimensions:

- Overall length: 10700
- Span length: 5069 (5x950=4750)
- End overhangs: 271, 229
- Internal spacing: 600
- Centerline offset: 20
- Bottom chord offset: 90, 80

Side Elevation View Dimensions:

- Overall height: 100
- Deck thickness: 370
- Internal spacing: 370
- Bottom chord offset: 360
- Bottom chord height: 100

Components and Labels:

- 新設落橋防止装置 (New bridge fall prevention device)
- 既設下工検査路撤去 (Existing under-construction inspection road removal)
- 既設ブラケット撤去 BR-1 (Existing bracket removal BR-1)
- 既設ブラケット撤去 BR-2 (Existing bracket removal BR-2)
- 既設下部工検査路撤去 (Existing under-construction inspection road removal)
- 新設落橋防止装置 (New bridge fall prevention device)

Notes:

- 2% (Slope indicator)
- BR-1, BR-2 (Bracket identifiers)

右側 撤去材料 1組あたり(計:1組)

- 1-Pipe 25Ax5086 (STK400)
- 7-Pipe 25Ax1180 (STK400)
- 10-Pipe 15Ax 924 (STK400)
- 2-Pipe 15Ax 227 (STK400)
- 14-PL 150x6x180
- 28-BN M16x40 (座金付)

[illegible]

右側 撤去材料 1組あたり(計:1組)

- 2-[100x50x5x7.5x5040
- 1-[100x50x5x7.5x500
- 1-FL PL 480x3.2x5020
- 1-FB 75x6x490
- 4-FB 55x6x490
- 1-PL 100x8x480
- 1-PL 200x8x480
- 40-BN M10x30(座金付)
- 6-BN M16x40(座金付)

注)

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面を基に作図を行なっている。
3. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 検査撤去撤去後設置工 詳細図（その９）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パンフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	関東日本高速道路株式会社 東 東 支 社 所 沢 管 理 事 務 所		

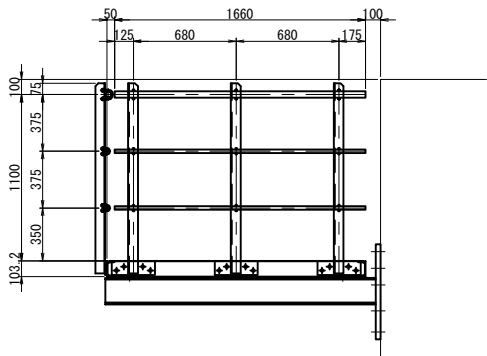
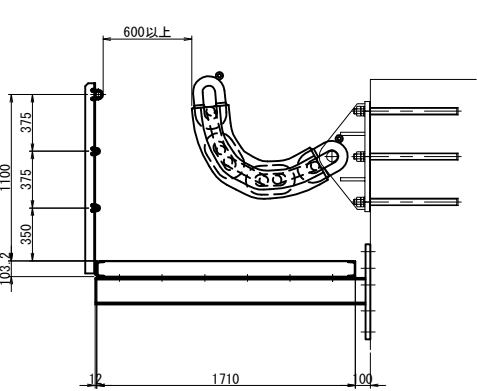
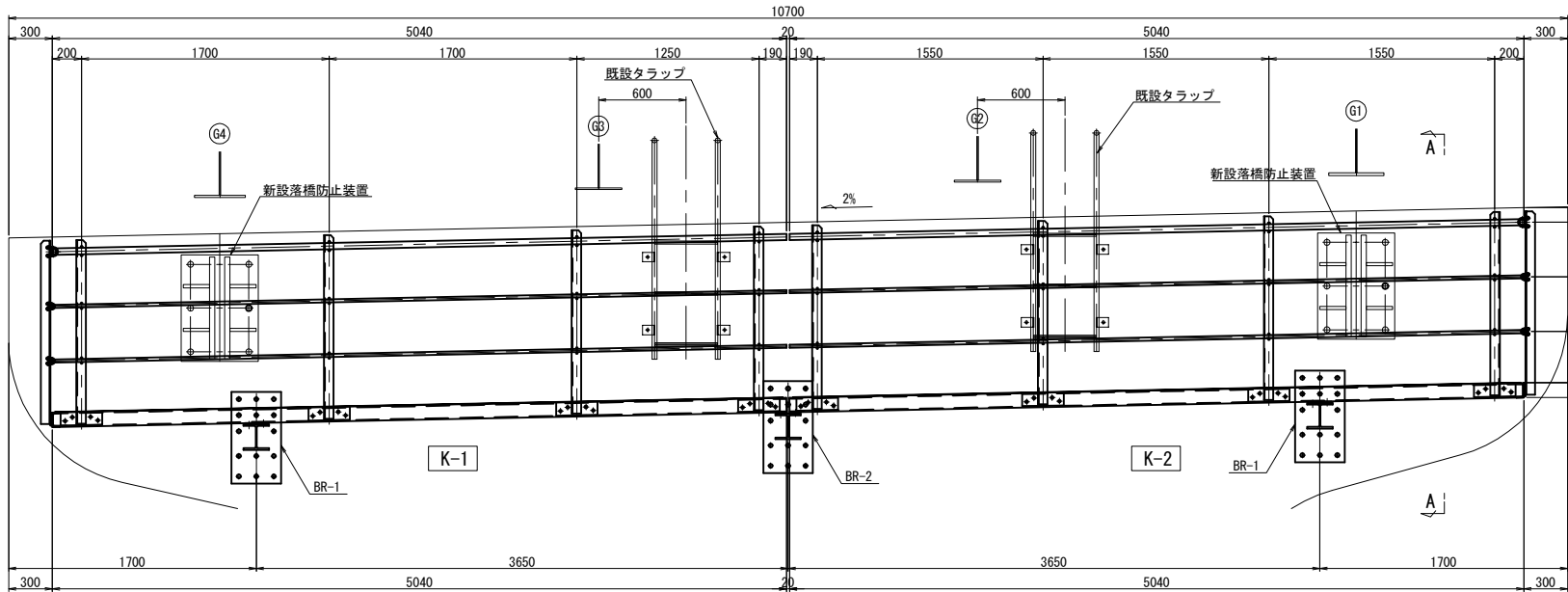
検査路撤去再設置工 詳細図（その１０）（参考図）

入間川高架橋 P10橋脚（上り線）（起点側）検査路B

正面図 S=1:50

A - A S=1:50

B - B S=1:50

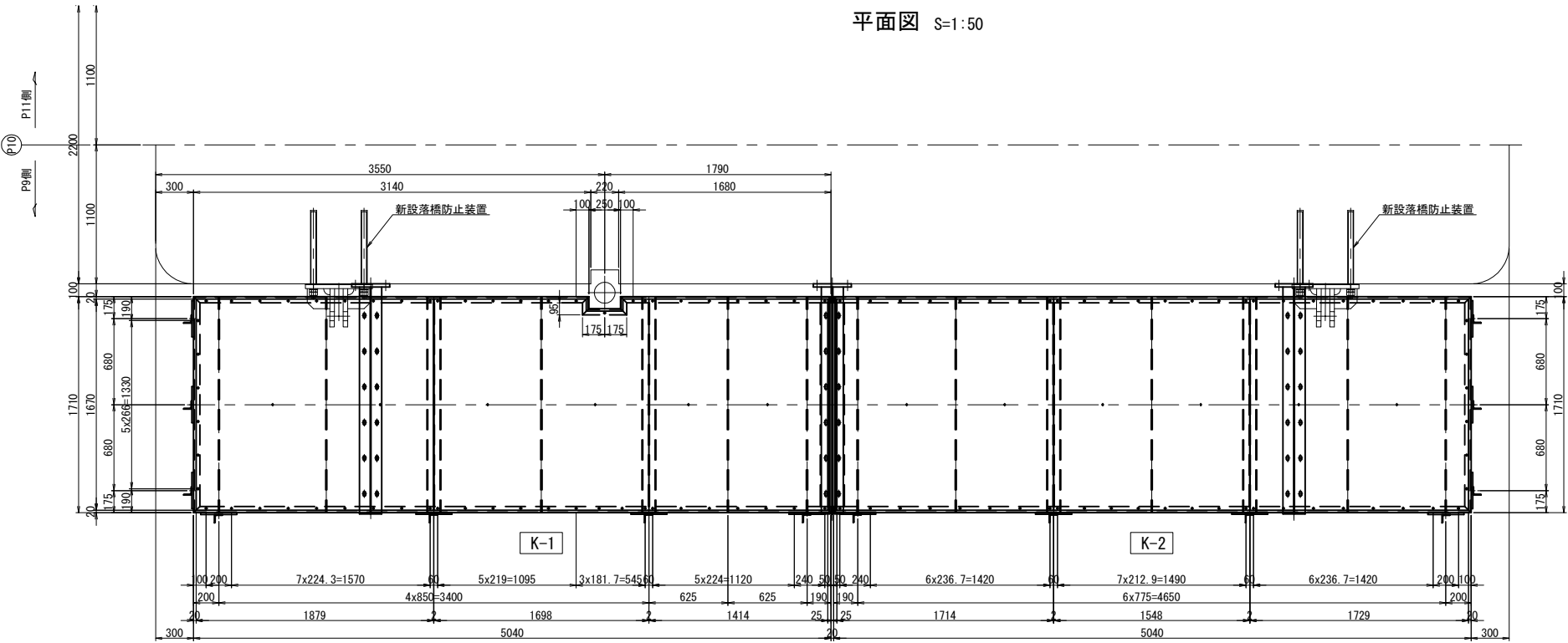


K-1手摺（製作数：1組）
1-Pipe φ42. 7x2. 3x5042 (STK400)
2-Pipe φ21. 7x1. 9x5041 (STK400)
4-L 65x65x6x1258
4-PL 90x12x287 (SM400A)
16-BN M16x45 (2-W)
4-U. ボルト 呼び径 32 (C形)
8-U. ボルト 呼び径 15 (C形)

K-2手摺（製作数：1組）
1-Pipe φ42. 7x2. 3x5042 (STK400)
2-Pipe φ21. 7x1. 9x5041 (STK400)
4-L 65x65x6x1258
4-PL 90x12x287 (SM400A)
16-BN M16x45 (2-W)
4-U. ボルト 呼び径 32 (C形)
8-U. ボルト 呼び径 15 (C形)

手摺（製作数：2組）
1-Pipe φ42. 7x2. 3x1660 (STK400)
2-Pipe φ21. 7x1. 9x1660 (STK400)
3-L 65x65x6x1258
3-PL 90x12x285 (SM400A)
12-BN M16x45 (2-W)
3-U. ボルト 呼び径 32 (C形)
6-U. ボルト 呼び径 15 (C形)

平面図 S=1:50



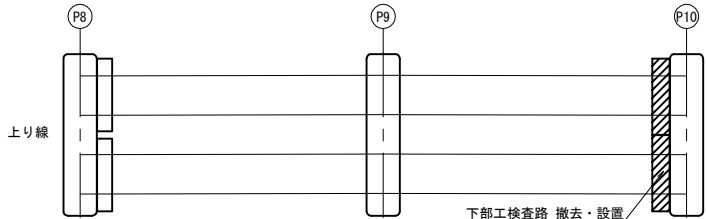
K-1歩廊（製作数：1組）
1-Ch. PL 1670x3. 2x1881 (SS400相当品)
1-Ch. PL 1670x3. 2x1698 (SS400相当品)
1-Ch. PL 1670x3. 2x1412 (SS400相当品)
1-CH 100x50x5x7. 5x5041
1-CH 100x50x5x7. 5x1710
1-CH 100x50x5x7. 5x3126
1-CH 100x50x5x7. 5x1665
1-CH 100x50x5x7. 5x350
2-CH 100x50x5x7. 5x145

1-L 75x75x6x1700
4-L 50x50x6x1700
5-FB 90x9x1700
56-BN M10x30 (1-W, 1-TW)
1-PL 160x12x1690 (SM400A)
1-PL 60x9x1690 (SM400A)

K-2歩廊（製作数：1組）
1-Ch. PL 1670x3. 2x1716 (SS400相当品)
1-Ch. PL 1670x3. 2x1548 (SS400相当品)
1-Ch. PL 1670x3. 2x1727 (SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7. 5x5041
1-CH 100x50x5x7. 5x1710

1-L 75x75x6x1700
4-L 50x50x6x1700
5-FB 90x9x1700
54-BN M10x30 (1-W, 1-TW)
1-PL 160x12x1690 (SM400A)
1-PL 60x9x1690 (SM400A)

配置図 S=1:500



- 注）
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
膜厚の種類は、JIS H8641 HDZT77とする。
ボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT49とする。
 - ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

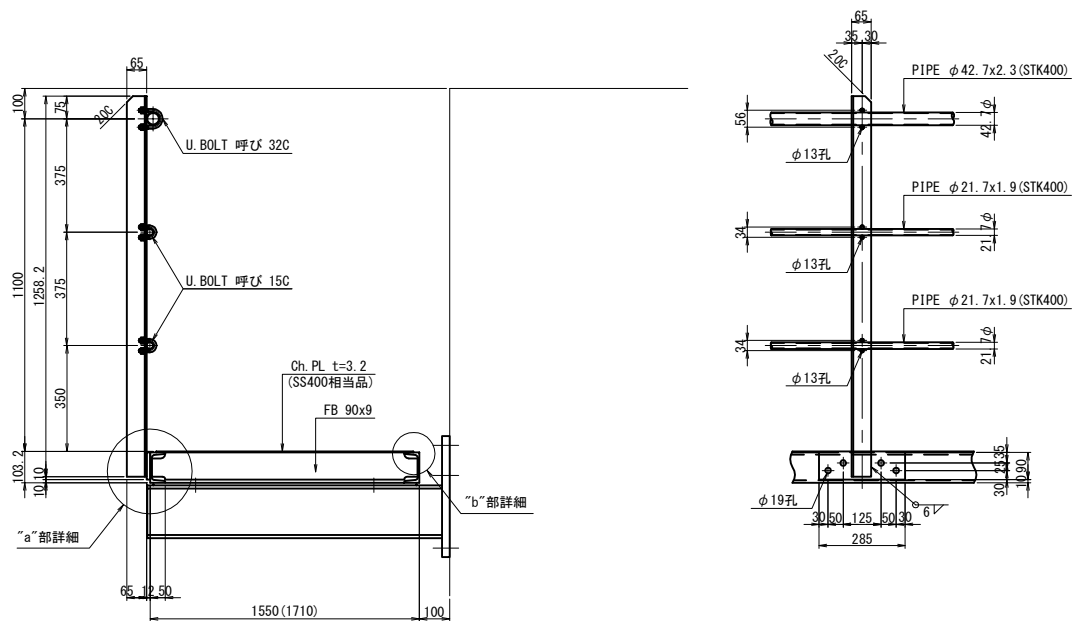
首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 検査路撤去再設置工 詳細図（その１０）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

検査路撤去再設置工 詳細図（その１１）（参考図）

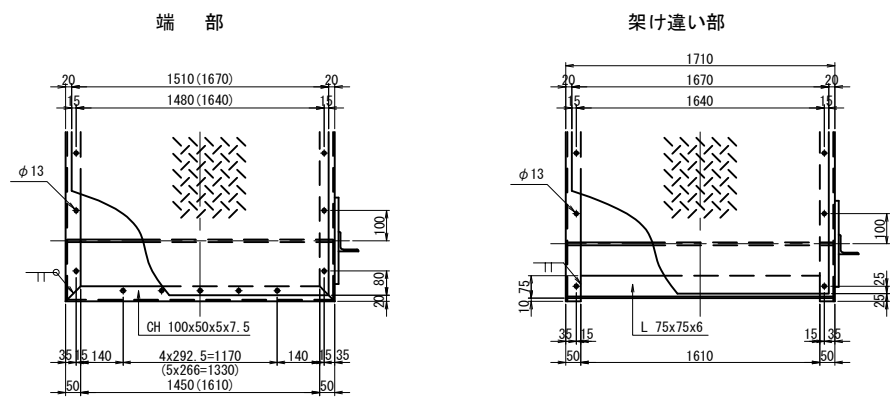
入間川高架橋 P8,P10橋脚（上り線）下部工検査路

22/87

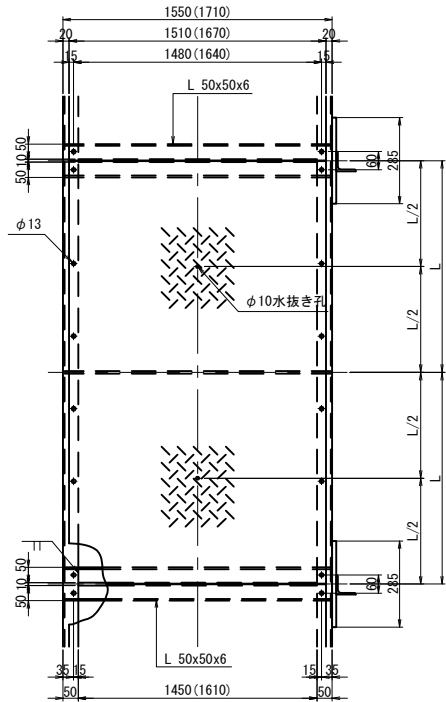
歩廊断面及び構造詳細 S=1:25



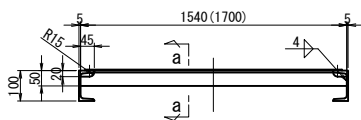
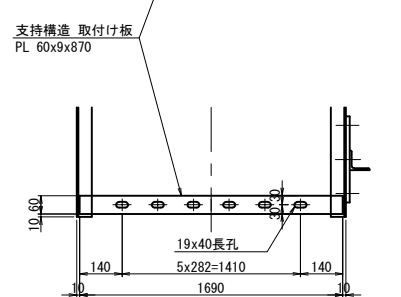
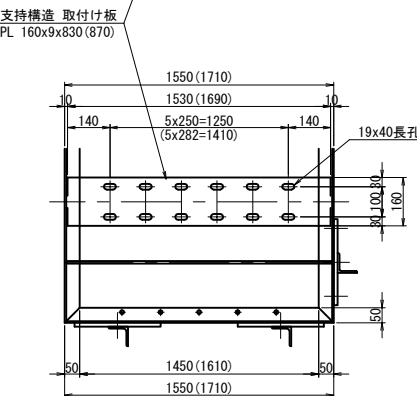
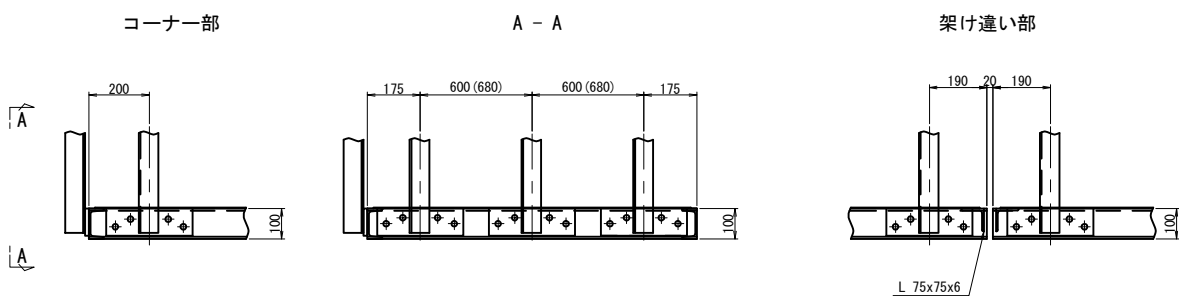
歩廊端部詳細 S=1:25



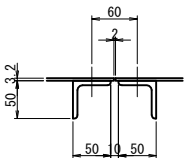
歩廊中間部詳細 S=1:25



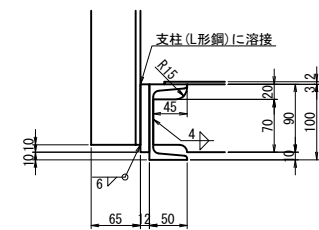
端支柱部側面図 S=1:25



a - a S=1:10

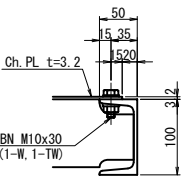


“a”部詳細 S=1:10

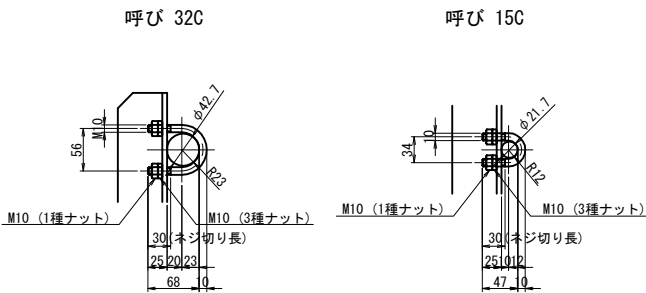


“b”部詳細 S=1:10

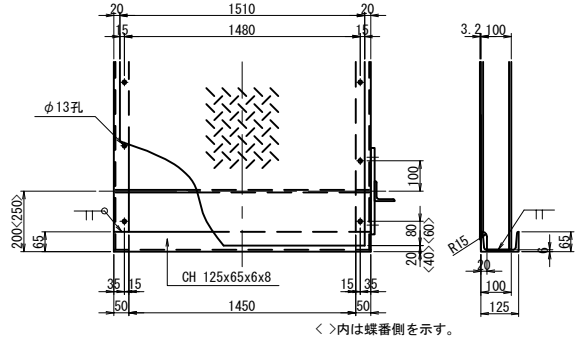
[- 100x50x5x7.5



U. ボルト詳細 S=1:10



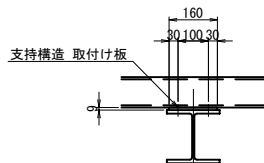
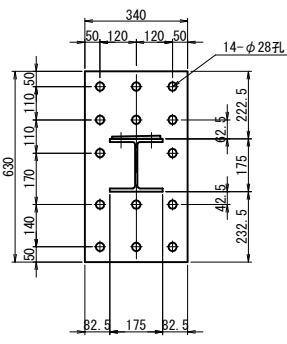
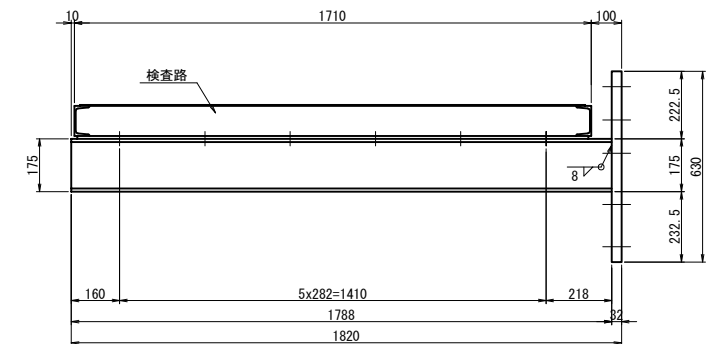
マンホール部 S=1:25



- 注)
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
膜厚の種類は、JIS H8641 HDZT77とする。
ボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT49とする。
 - ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
 - ()内数値はP10橋脚を示す。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事	入間川高架橋
図面の種類	検査路撤去再設置工 詳細図（その１１）（参考図）
縮尺	図示 図面番号 /
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社
施工会社名	東日本高速道路株式会社
事務所名	関東支社所沢管理事務所

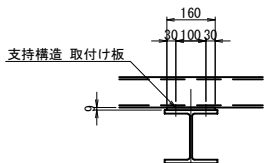
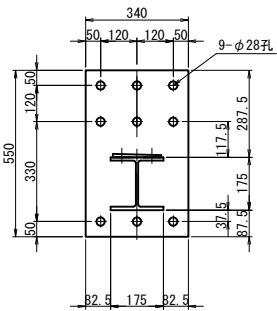
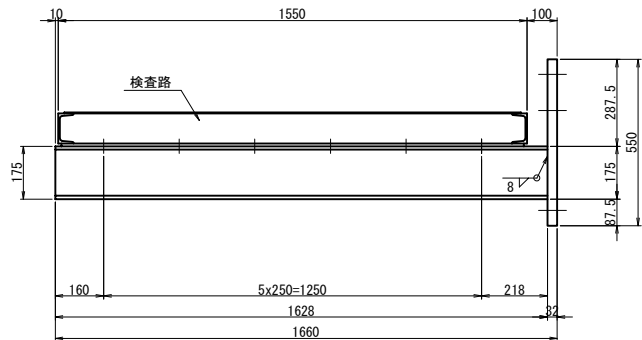
BR-1



	製作数
	BR-1
P10(起点側)	2

1-H 175x175x7.5x11x1788
1-BASE PL 630x32x340(SM400A)
12-BN M16x50(2-W)
14-打込式アンカー M24x200

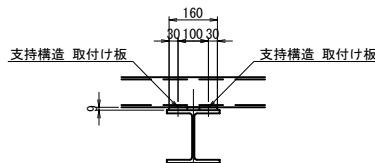
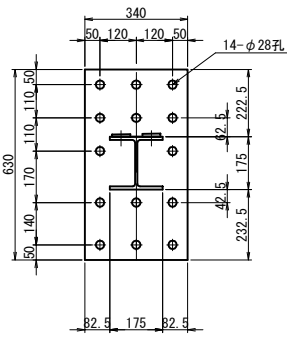
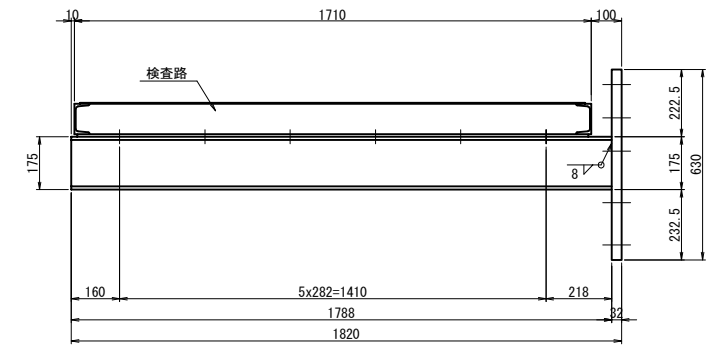
BR-3



	製作数
	BR-3
P8(終点側)	4

1-H 175x175x7.5x11x1628
1-BASE PL 550x32x340(SM400A)
12-BN M16x50(2-W)
9-打込式アンカー M24x200

BR-2



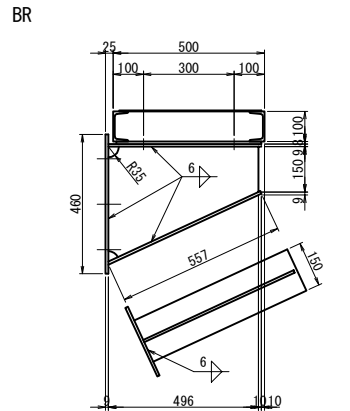
	製作数
	BR-2
P10(起点側)	1

1-H 175x175x7.5x11x1788
1-BASE PL 630x32x340(SM400A)
12-BN M16x50(2-W)
14-打込式アンカー M24x200

- 注)
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
膜厚の種類は、JIS H8641 HDZT77とする。
ボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT49とする。
 - ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

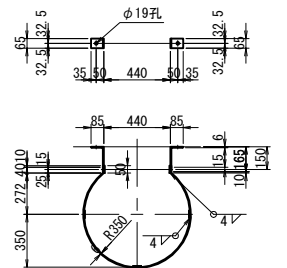
首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 検査路撤去再設置工 詳細図（その１３）（参考図）		
縮尺	1:25	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

ブラケット撤去詳細 S=1:25



Technical drawing of a rectangular plate. The overall width is 300 units. There are two vertical holes, each with a diameter of 6 units. The distance from the left edge to the center of the first hole is 125 units, and the distance between the centers of the two holes is 90 units. The total height of the plate is 200 units. The top flange has a thickness of 50 units, and the bottom flange has a thickness of 50 units. A dimension of 100 units indicates the distance from the top surface to the center of the holes. A note specifies '4-φ 19孔' (4 holes with diameter φ 19). A section line labeled 'A-A' is shown at the bottom right.

転落防止リング詳細 S=1:50



右側 撤去材料 1組あたり(計:1組)
 2-[100x50x5x7.5x4800
 2-[100x50x5x7.5x500
 1-FL PL 480x3.2x4780
 4-FB 55x6x490
 2-PL 200x8x480
 42-BN M10x30(座金付)
 8-BN M16x40(座金付)

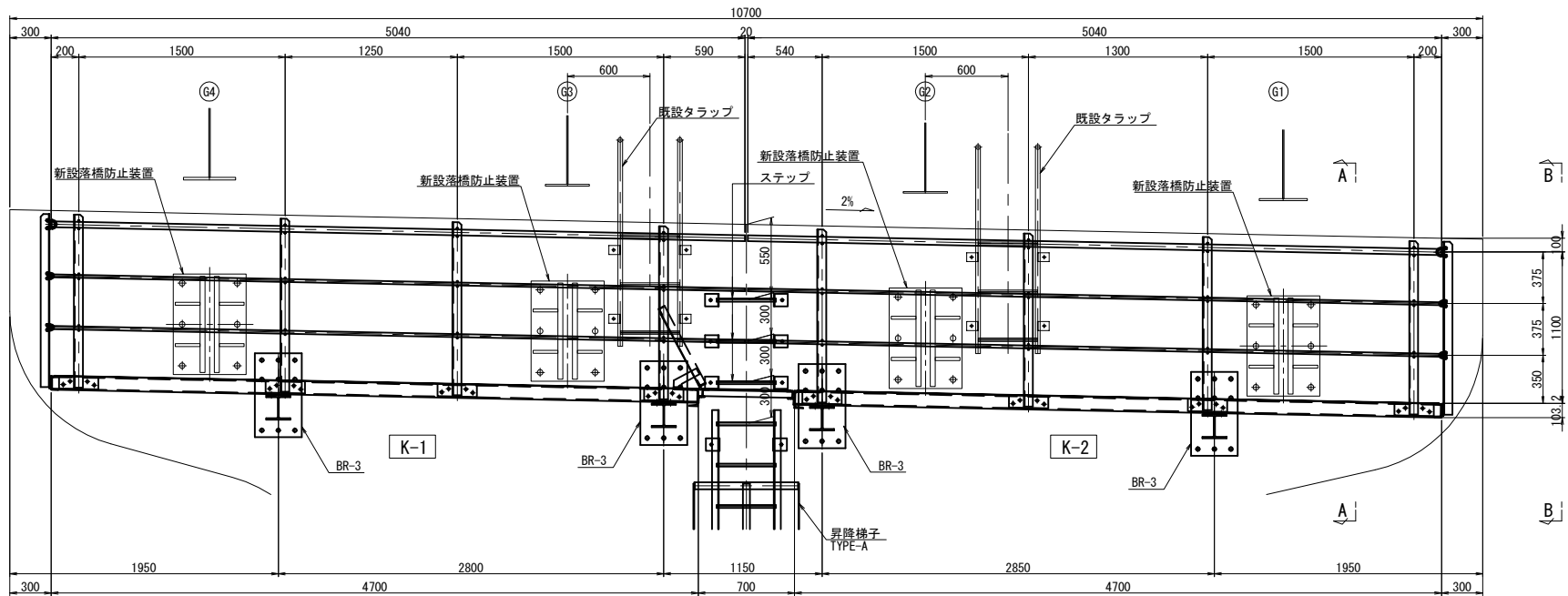
首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
入間川高架橋			
図面の種類	検査路撤去再設置工 詳細図（その１５）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

検査路撤去再設置工 詳細図（その１６）（参考図）

入間川高架橋 P8橋脚（下り線）（終点側）検査路B

27/87

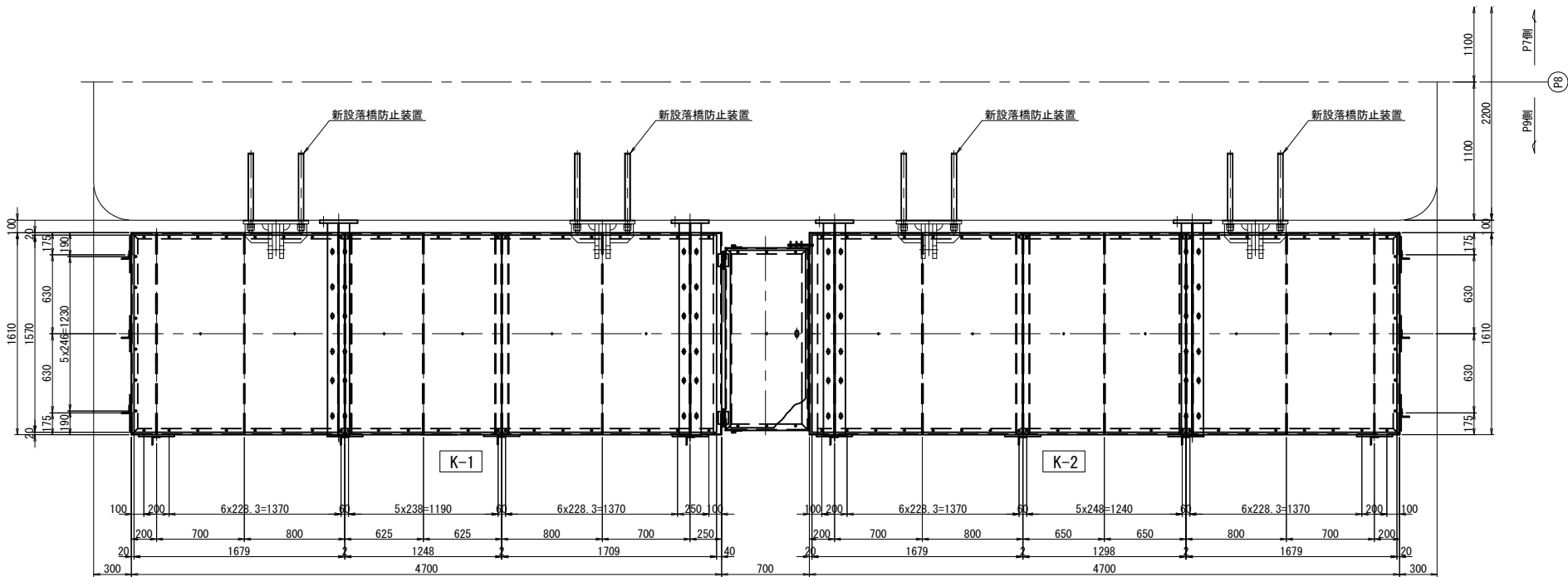
正面図 S=1:50



K-1手摺（製作数：1組）
1-Pipe φ42.7x2.3x5041 (STK400)
2-Pipe φ21.7x1.9x5041 (STK400)
4-L 65x65x6x1258
4-PL 90x12x287 (SM400A)
16-BN M16x45 (2-W)
4-U. ボルト 呼び径 32 (C形)
8-U. ボルト 呼び径 15 (C形)

K-2手摺（製作数：1組）
1-Pipe φ42.7x2.3x5041 (STK400)
2-Pipe φ21.7x1.9x5041 (STK400)
4-L 65x65x6x1258
4-PL 90x12x287 (SM400A)
16-BN M16x45 (2-W)
4-U. ボルト 呼び径 32 (C形)
8-U. ボルト 呼び径 15 (C形)

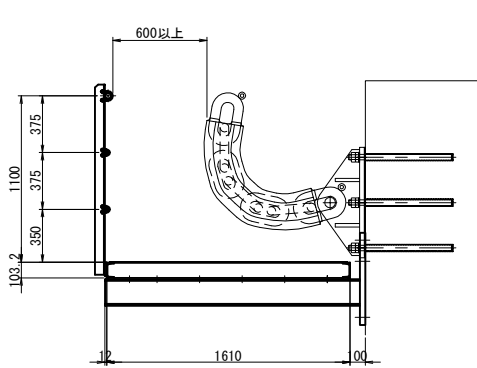
平面図 S=1:50



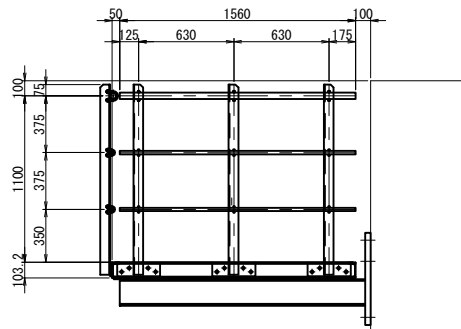
K-1歩廊（製作数：1組）
1-Ch. PL 1570x3.2x1680 (SS400相当品)
1-Ch. PL 1570x3.2x1250 (SS400相当品)
1-Ch. PL 1570x3.2x1710 (SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x4694
1-CH 100x50x5x7.5x1610
1-CH 125x65x6x8x1610
4-L 50x50x6x1600
5-FB 90x9x1600
50-BN M10x30 (1-W, 1-TW)
2-PL 160x12x1590 (SM400A)

K-2歩廊（製作数：1組）
1-Ch. PL 1570x3.2x1680 (SS400相当品)
1-Ch. PL 1570x3.2x1300 (SS400相当品)
1-Ch. PL 1570x3.2x1680 (SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x4694
1-CH 125x65x6x8x1610
1-CH 100x50x5x7.5x1610
4-L 50x50x6x1600
5-FB 90x9x1600
50-BN M10x30 (1-W, 1-TW)
2-PL 160x12x1590 (SM400A)

A - A S=1:50

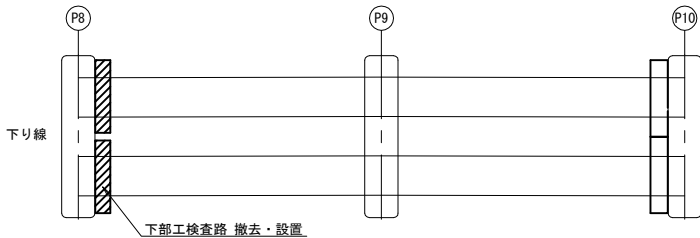


B - B S=1:50



手摺（製作数：2組）
1-Pipe φ42.7x2.3x1560 (STK400)
2-Pipe φ21.7x1.9x1560 (STK400)
3-L 65x65x6x1258
3-PL 90x12x285 (SM400A)
12-BN M16x45 (2-W)
3-U. ボルト 呼び径 32 (C形)
6-U. ボルト 呼び径 15 (C形)

配置図 S=1:500



- 注)
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
膜厚の種類は、JIS H8641 HDZT77とする。
ボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT49とする。
 - ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 検査路撤去再設置工 詳細図（その１６）（参考図）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

検査路撤去再設置工 詳細図（その１７）（参考図）

入間川高架橋 P10橋脚（下り線）（起点側）検査路B

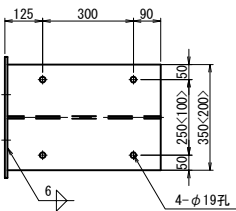
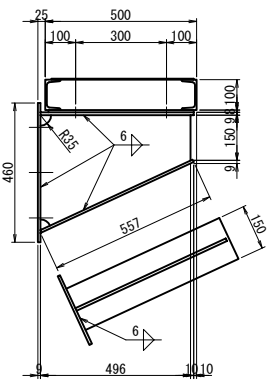
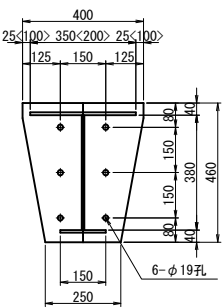
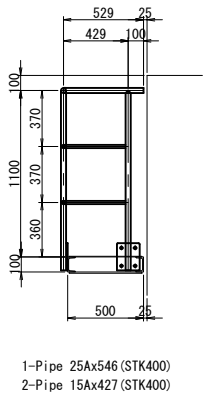
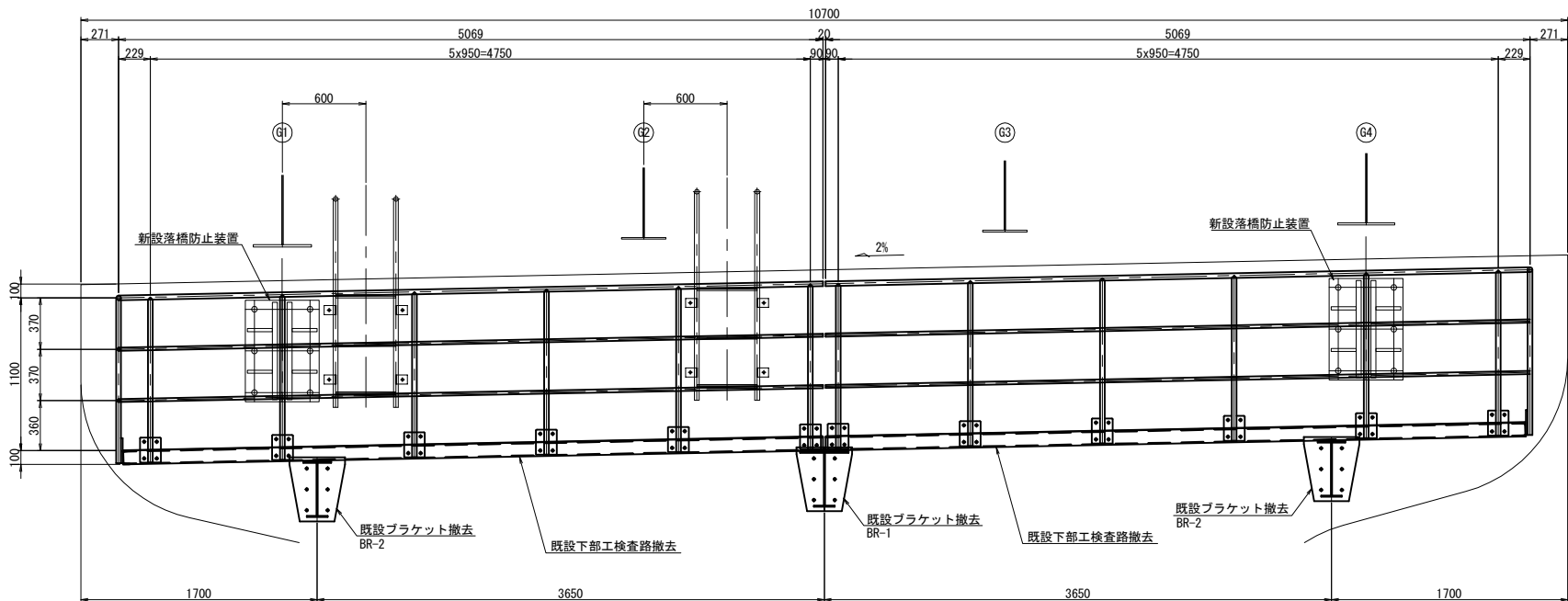
28/87

正面図 S=1:50

断面図 S=1:50

ブラケット撤去詳細 S=1:25

BR-1、<BR-2>

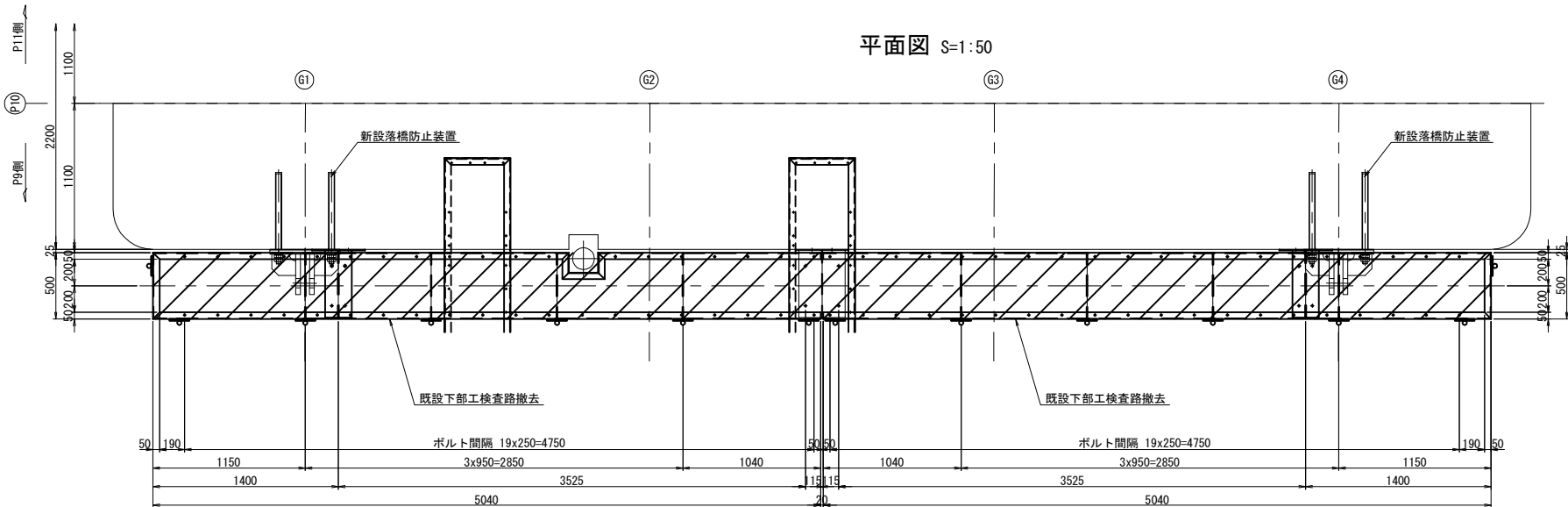


ブラケット撤去材料 1組あたり (計: 1<2>組)
1-PL 400x9x460
1-PL 350<200>x9x506
1-PL 380x9x496
1-PL 150x9x557
6-コンクリートアンカー M16x190

左側 撤去材料 1組あたり (計: 1組)
1-Pipe 25Ax5086 (STK400)
7-Pipe 25Ax1180 (STK400)
10-Pipe 15A 924 (STK400)
2-Pipe 15A 227 (STK400)
14-PL 150x6x180
28-BN M16x40 (座金付)

右側 撤去材料 1組あたり (計: 1組)
1-Pipe 25Ax5086 (STK400)
7-Pipe 25Ax1180 (STK400)
10-Pipe 15A 924 (STK400)
2-Pipe 15A 227 (STK400)
14-PL 150x6x180
28-BN M16x40 (座金付)

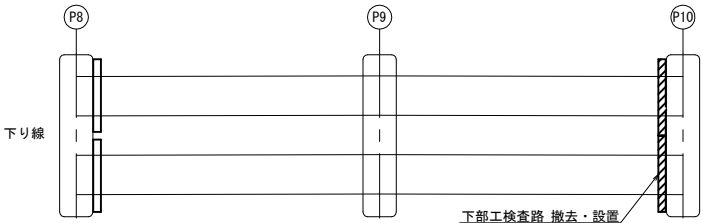
平面図 S=1:50



左側 撤去材料 1組あたり (計: 1組)
1-[100x50x5x7. 5x5040
1-[100x50x5x7. 5x500
1-[100x50x5x7. 5x3140
1-[100x50x5x7. 5x1680
1-[100x50x5x7. 5x320
2-[100x50x5x7. 5x200
1-FL PL 480x3. 2x5020
1-FB 75x6x490
4-FB 55x6x490
1-PL 100x8x480
1-PL 200x8x480
45-BN M10x30 (座金付)
6-BN M16x40 (座金付)

右側 撤去材料 1組あたり (計: 1組)
2-[100x50x5x7. 5x5040
1-[100x50x5x7. 5x500
1-FL PL 480x3. 2x5020
1-FB 75x6x490
4-FB 55x6x490
1-PL 100x8x480
1-PL 200x8x480
40-BN M10x30 (座金付)
6-BN M16x40 (座金付)

配置図 S=1:500



注)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面に基に作図を行なっている。
3. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 検査路撤去再設置工 詳細図（その１７）（参考図）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

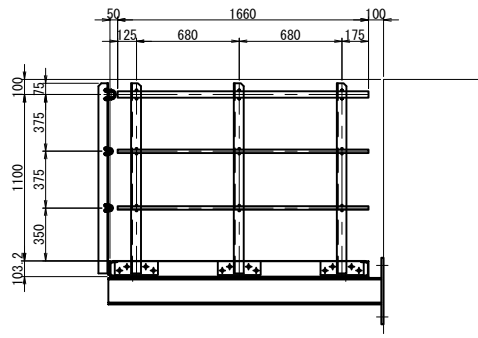
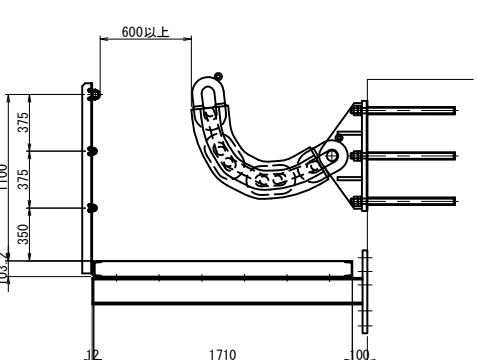
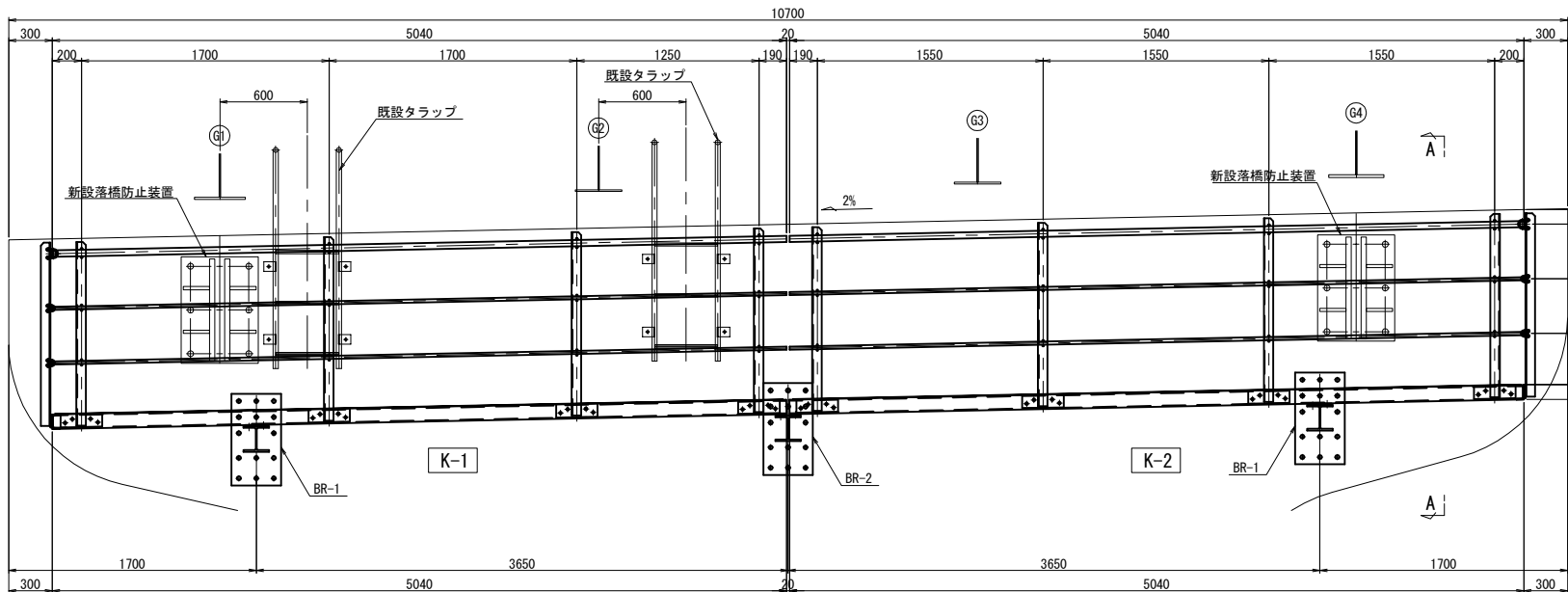
検査路撤去再設置工 詳細図（その１８）（参考図）

入間川高架橋 P10橋脚（下り線）（起点側）検査路B

正面図 S=1:50

A - A S=1:50

B - B S=1:50

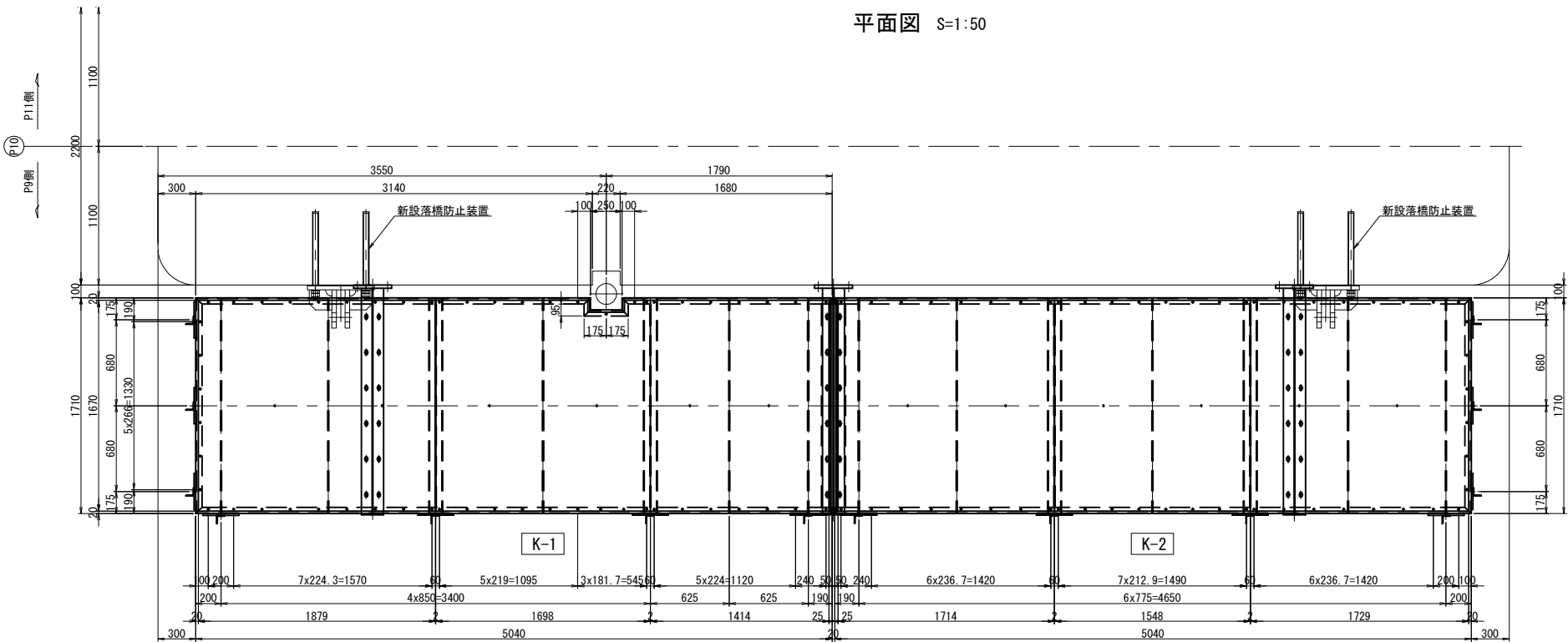


K-1手摺（製作数：1組）
1-Pipe φ42. 7x2. 3x5042 (STK400)
2-Pipe φ21. 7x1. 9x5041 (STK400)
4-L 65x65x6x1258
4-PL 90x12x287 (SM400A)
16-BN M16x45 (2-W)
4-U. ボルト 呼び径 32 (C形)
8-U. ボルト 呼び径 15 (C形)

K-2手摺（製作数：1組）
1-Pipe φ42. 7x2. 3x5042 (STK400)
2-Pipe φ21. 7x1. 9x5041 (STK400)
4-L 65x65x6x1258
4-PL 90x12x287 (SM400A)
16-BN M16x45 (2-W)
4-U. ボルト 呼び径 32 (C形)
8-U. ボルト 呼び径 15 (C形)

手摺（製作数：2組）
1-Pipe φ42. 7x2. 3x1660 (STK400)
2-Pipe φ21. 7x1. 9x1660 (STK400)
3-L 65x65x6x1258
3-PL 90x12x285 (SM400A)
12-BN M16x45 (2-W)
3-U. ボルト 呼び径 32 (C形)
6-U. ボルト 呼び径 15 (C形)

平面図 S=1:50



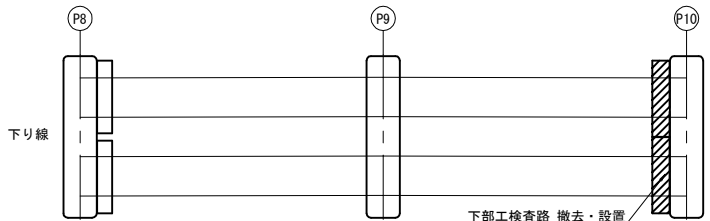
K-1歩廊（製作数：1組）
1-Ch. PL 1670x3. 2x1881 (SS400相当品)
1-Ch. PL 1670x3. 2x1698 (SS400相当品)
1-Ch. PL 1670x3. 2x1412 (SS400相当品)
1-CH 100x50x5x7. 5x5041
1-CH 100x50x5x7. 5x1710
1-CH 100x50x5x7. 5x3126
1-CH 100x50x5x7. 5x1665
1-CH 100x50x5x7. 5x350
2-CH 100x50x5x7. 5x145

1-L 75x75x6x1700
4-L 50x50x6x1700
5-FB 90x9x1700
56-BN M10x30 (1-W, 1-TW)
1-PL 160x12x1690 (SM400A)
1-PL 60x9x1690 (SM400A)

K-2歩廊（製作数：1組）
1-Ch. PL 1670x3. 2x1716 (SS400相当品)
1-Ch. PL 1670x3. 2x1548 (SS400相当品)
1-Ch. PL 1670x3. 2x1727 (SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7. 5x5041
1-CH 100x50x5x7. 5x1710

1-L 75x75x6x1700
4-L 50x50x6x1700
5-FB 90x9x1700
54-BN M10x30 (1-W, 1-TW)
1-PL 160x12x1690 (SM400A)
1-PL 60x9x1690 (SM400A)

配置図 S=1:500



- 注）
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
膜厚の種類は、JIS H8641 HDZT77とする。
ボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT49とする。
 - ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

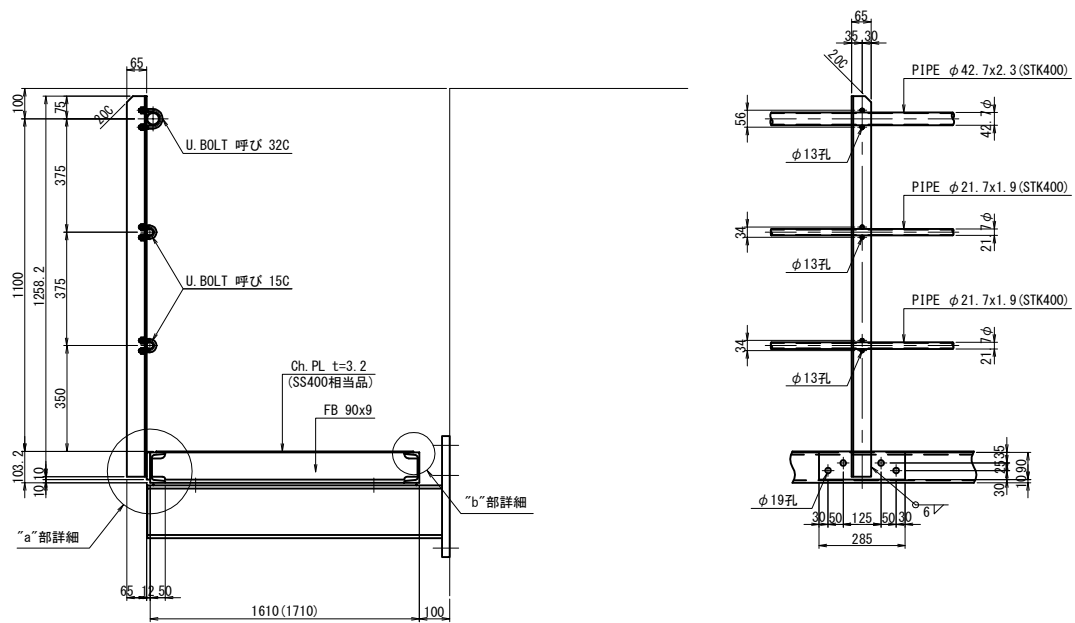
首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 検査路撤去再設置工 詳細図（その１８）（参考図）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

検査路撤去再設置工 詳細図（その１９）（参考図）

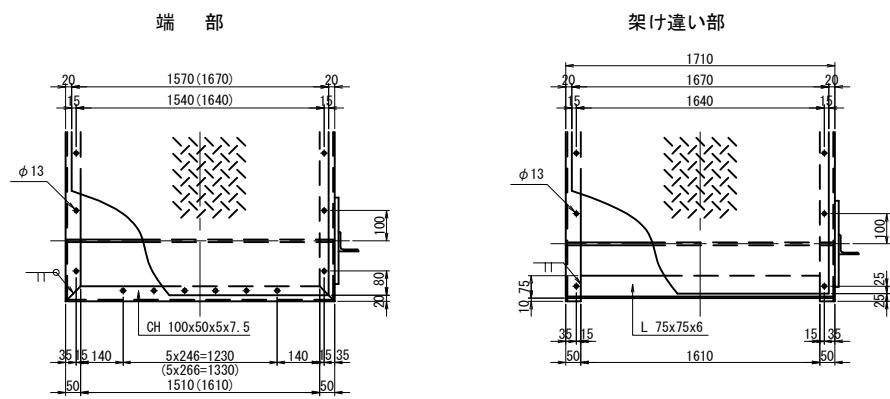
入間川高架橋 P8,P10橋脚（下り線）下部工検査路

30/87

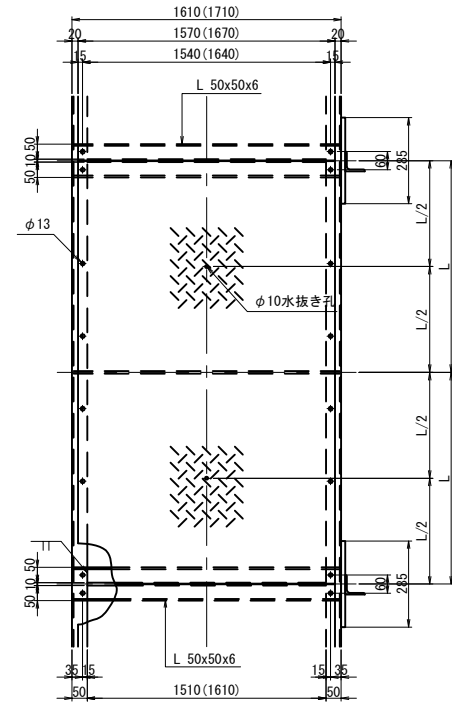
歩廊断面及び構造詳細 S=1:25



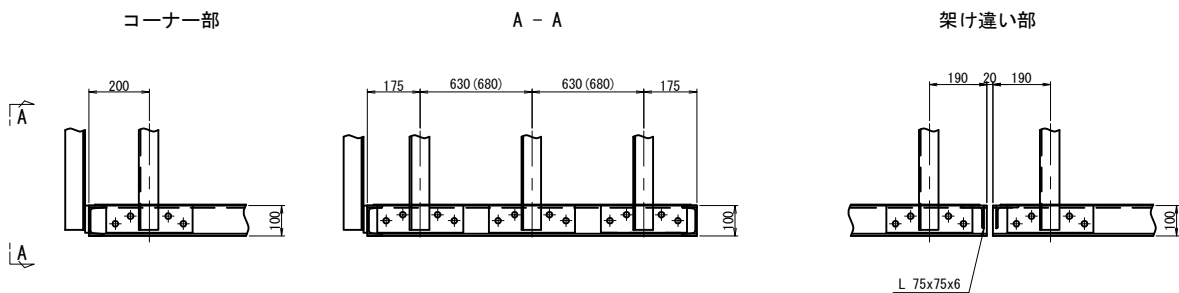
歩廊端部詳細 S=1:25



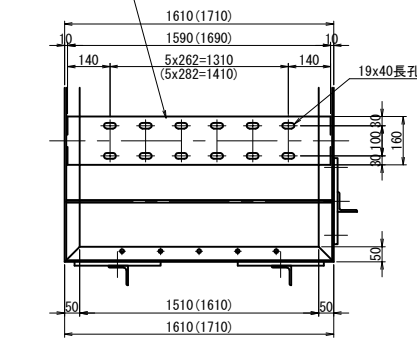
歩廊中間部詳細 S=1:25



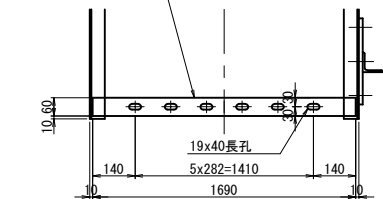
端支柱部側面図 S=1:25



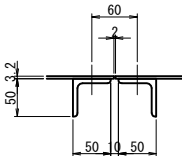
支持構造 取付け板
PL 160x12x1590 (1690)



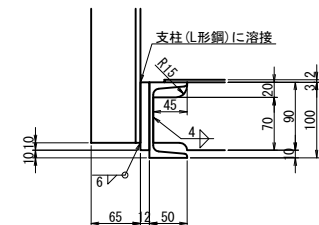
支持構造 取付け板
PL 60x9x1690



a - a S=1:10

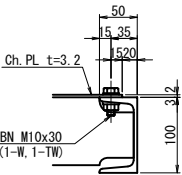


“a”部詳細 S=1:10

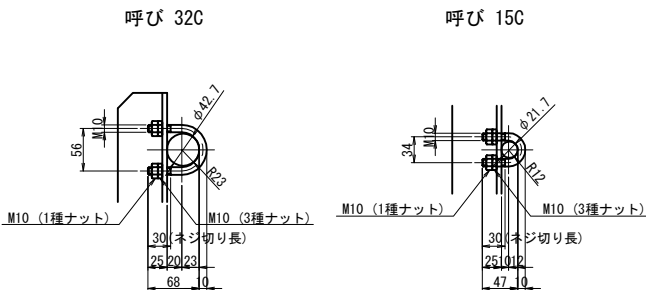


“b”部詳細 S=1:10

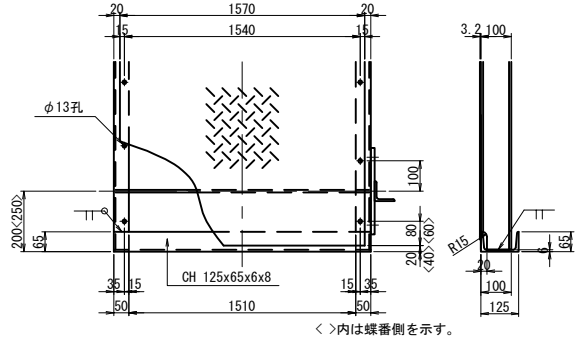
[- 100x50x5x7.5



U. ボルト詳細 S=1:10



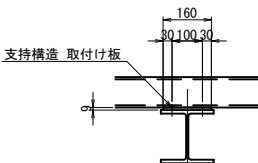
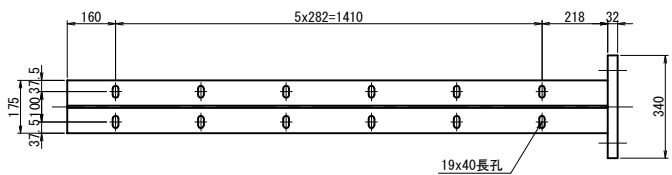
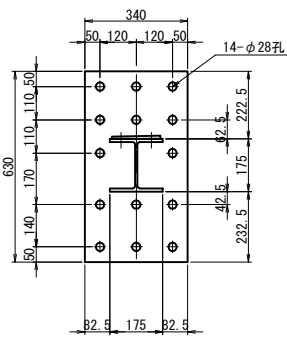
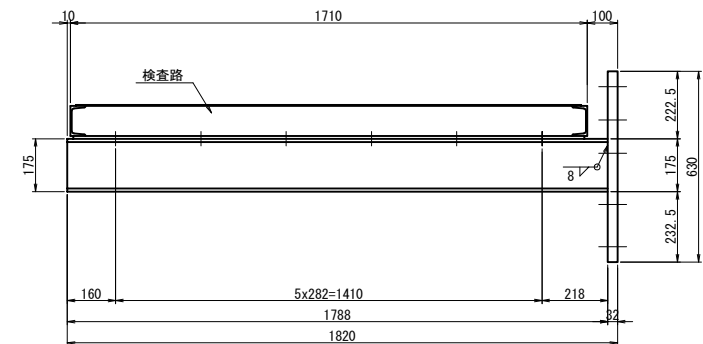
マンホール部 S=1:25



- 注)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
 3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
膜厚の種類は、JIS H8641 HDZT77とする。
ボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT49とする。
 4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
 5. () 内数値はP10橋脚を示す。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋	検査路撤去再設置工 詳細図（その１９）（参考図）	
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

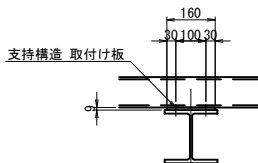
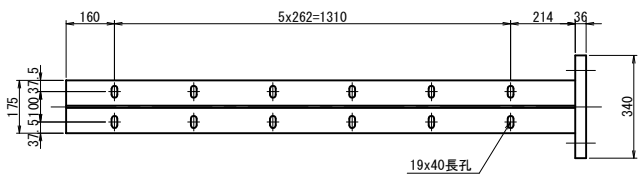
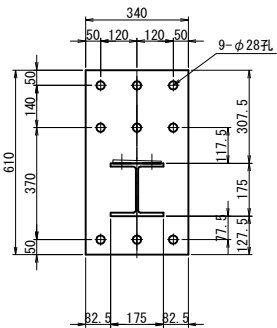
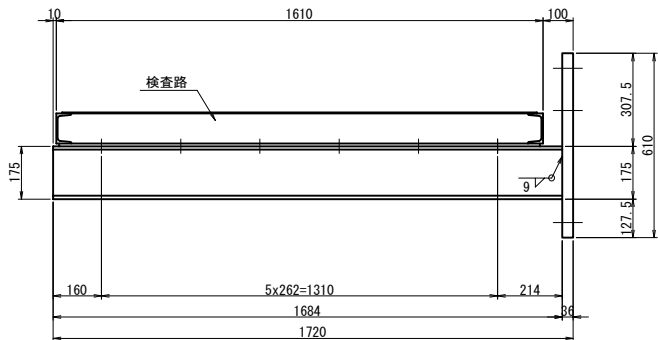
BR-1



	製作数
BR-1	2
P10(起点側)	

1-H 175x175x7.5x11x1788
1-BASE PL 630x32x340 (SM400A)
12-BN M16x50 (2-W)
14-打込式アンカー M24x200

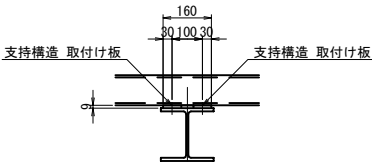
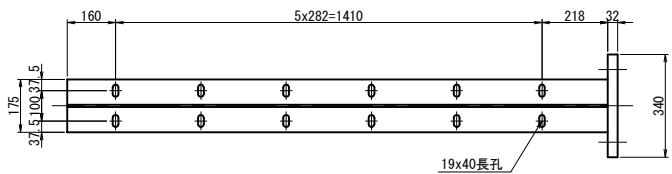
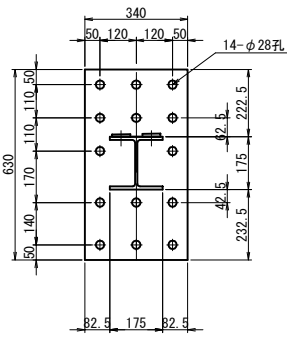
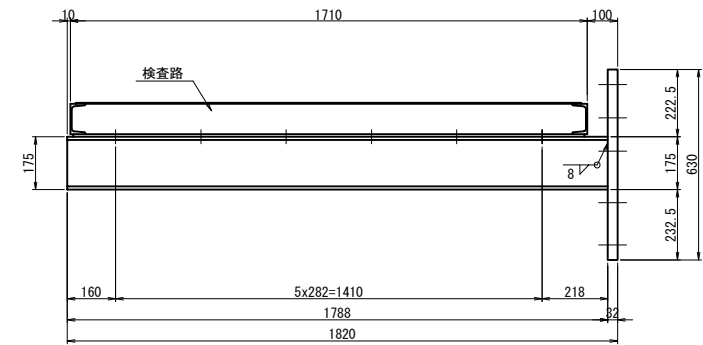
BR-3



	製作数
BR-3	4
P8(終点側)	

1-H 175x175x7.5x11x1688
1-BASE PL 610x36x340 (SM400A)
12-BN M16x50 (2-W)
9-打込式アンカー M24x200

BR-2



	製作数
BR-2	1
P10(起点側)	

1-H 175x175x7.5x11x1788
1-BASE PL 630x32x340 (SM400A)
12-BN M16x50 (2-W)
14-打込式アンカー M24x200

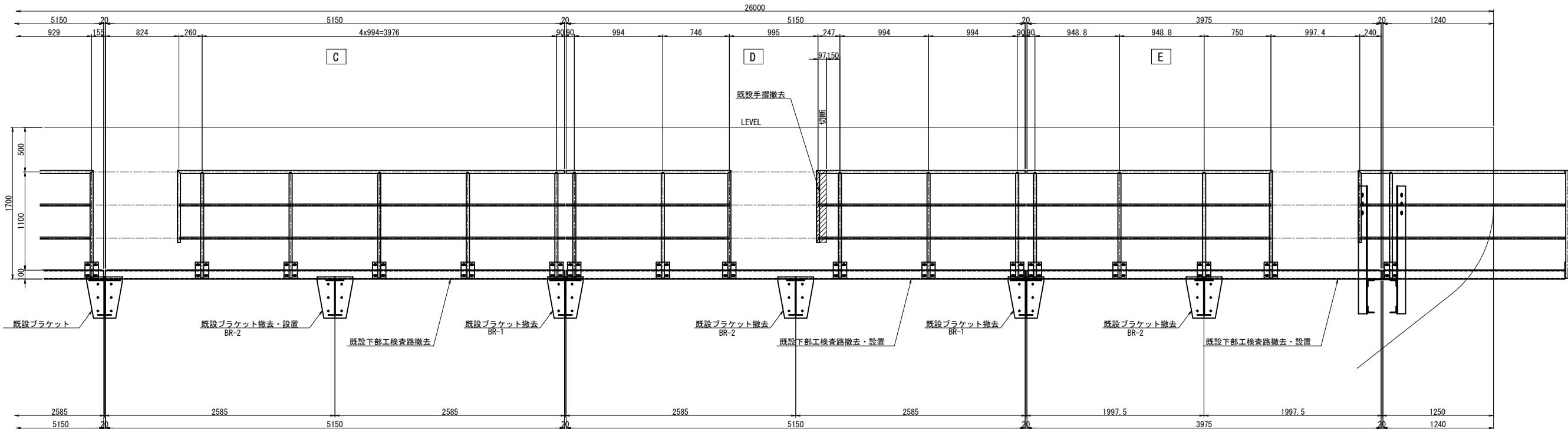
注)

- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
- 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
膜厚の種類は、JIS H8641 HDZT77とする。
ボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT49とする。
- ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 検査路撤去再設置工 詳細図（その２１）（参考図）		
縮尺	1:25	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所沢管理事務所		

入間川高架橋 P15橋脚（上り線）（起点側）検査路B

正面図



C撤去 材料 1組あたり(計:1組)
1-Pipe φ34.0x2.3x4343(STK400)
5-Pipe φ34.0x2.3x1190(STK400)
1-Pipe φ34.0x2.3x 807(STK400)
8-Pipe φ21.7x1.9x 968(STK400)
2-Pipe φ21.7x1.9x 234(STK400)
10-PL 150x6x180
20-BN M16x45

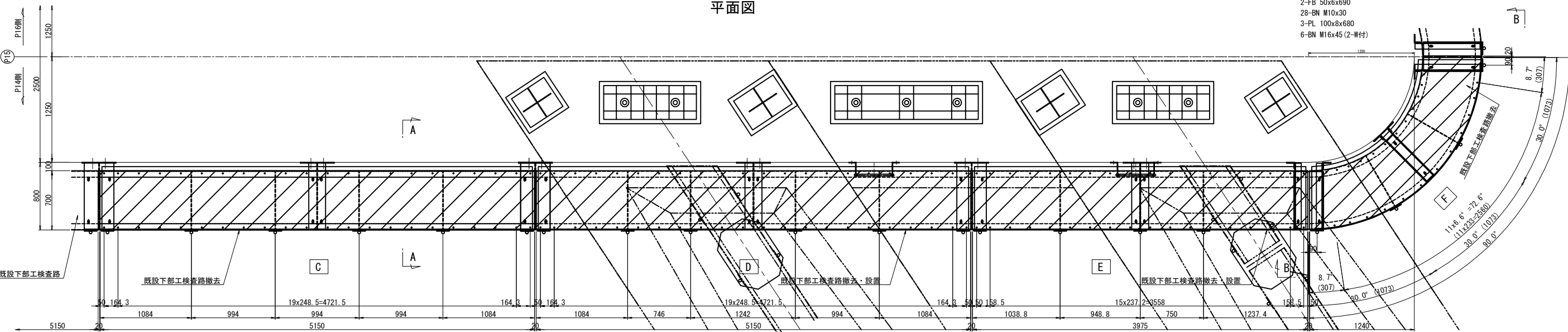
D撤去 材料 1組あたり(計:1組)
1-Pipe φ34.0x2.3x 114(STK400)
1-Pipe φ34.0x2.3x 807(STK400)
2-Pipe φ21.7x1.9x 75(STK400)

D撤去・設置 材料 1組あたり(計:1組)
1-Pipe φ34.0x2.3x1847(STK400)
1-Pipe φ34.0x2.3x2228(STK400)
5-Pipe φ34.0x2.3x1190(STK400)
1-Pipe φ34.0x2.3x1207(STK400)
6-Pipe φ21.7x1.9x 968(STK400)
2-Pipe φ21.7x1.9x 720(STK400)
2-Pipe φ21.7x1.9x 146(STK400)
12-PL 150x6x180
24-BN M16x45

E撤去・設置 材料 1組あたり(計:1組)
1-Pipe φ34.0x2.3x2755(STK400)
3-Pipe φ34.0x2.3x1190(STK400)
1-Pipe φ34.0x2.3x1207(STK400)
4-Pipe φ21.7x1.9x 923(STK400)
2-Pipe φ21.7x1.9x 724(STK400)
8-PL 150x6x180
16-BN M16x45

F撤去 材料 1組あたり(計:1組)
1-Ch PL 1114x3.2x2871
1-[100x50x5x7.5x3200
1-[100x50x5x7.5x2101
2-L 75x75x6x690
2-FB 50x6x690
28-BN M10x30
3-PL 100x8x680
6-BN M16x45 (2-W付)

平面図



C撤去 材料 1組あたり(計:1組)
1-Ch PL 740x3.2x5100
2-[100x50x5x7.5x5150
2-L 75x75x6x690
4-FB 50x6x690
44-BN M10x30
1-PL 200x8x680
2-PL 100x8x680
8-BN M16x45 (2-W付)

D撤去・設置 材料 1組あたり(計:1組)
1-Ch PL 740x3.2x5100
2-[100x50x5x7.5x5150
2-L 75x75x6x690
4-FB 50x6x690
44-BN M10x30
1-PL 200x8x680
2-PL 100x8x680
8-BN M16x45 (2-W付)

E撤去・設置 材料 1組あたり(計:1組)
1-Ch PL 740x3.2x3925
2-[100x50x5x7.5x3975
2-L 75x75x6x690
3-FB 50x6x690
36-BN M10x30
1-PL 200x8x680
2-PL 100x8x680
8-BN M16x45 (2-W付)

注)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、
すべて竣工図面を基に作図を行なっている。
3. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、
実測結果を反映のこと。

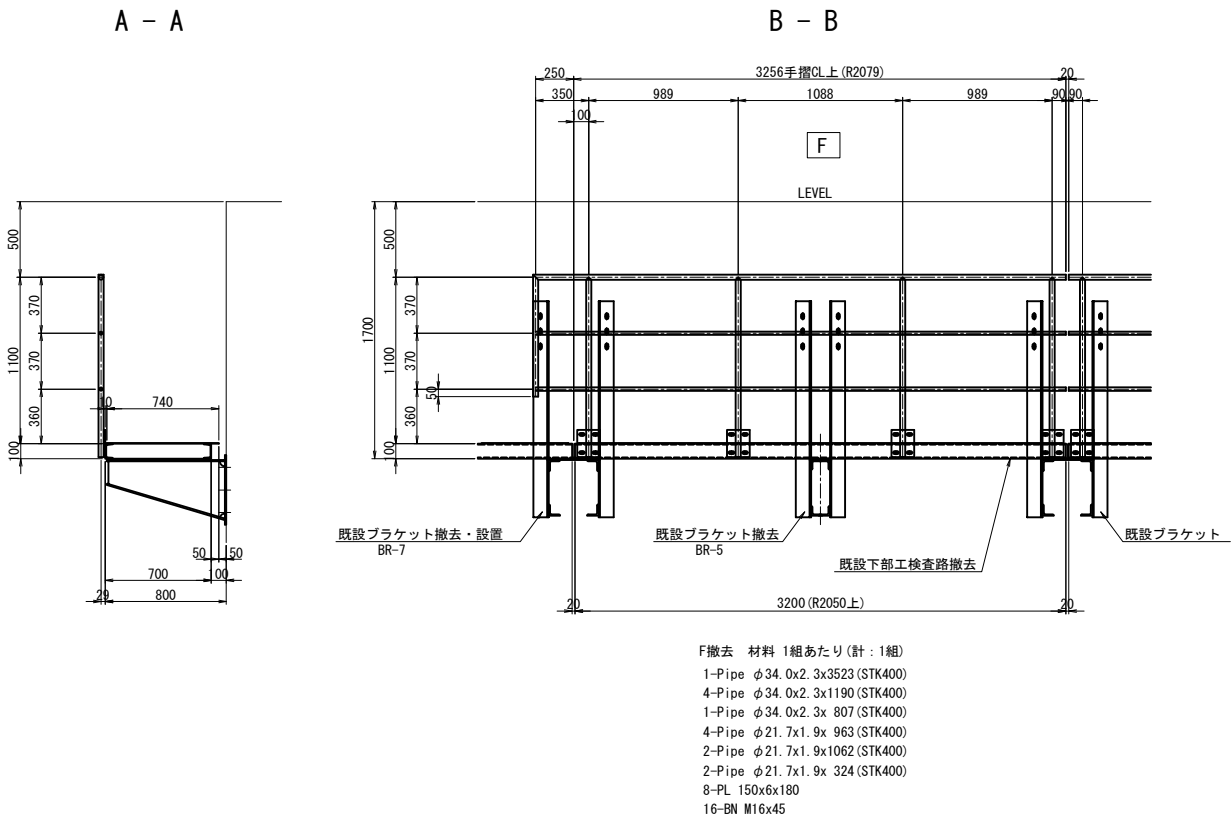
首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 検査路撤去再設置工 詳細図（その23）（参考図）		
縮尺	1:50	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

検査路撤去再設置工 詳細図（その２４）（参考図）

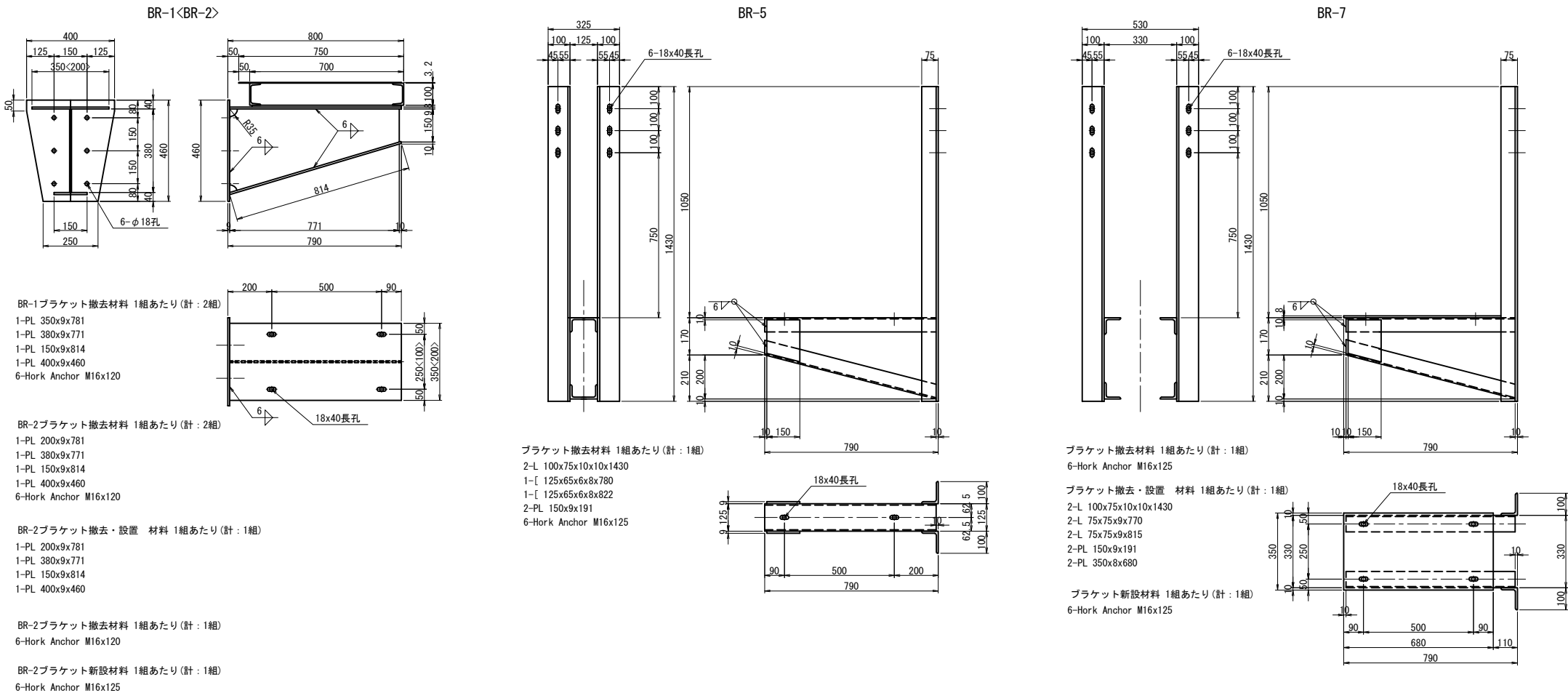
入間川高架橋 P15橋脚（上り線）（起点側）検査路B

35/87

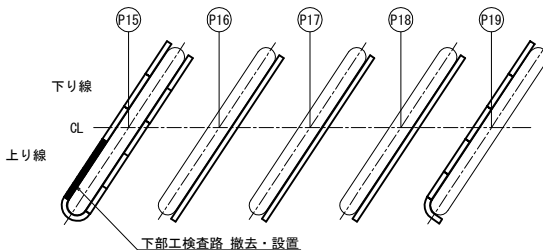
下部工検査路 撤去図 S=1:50



ブラケット撤去詳細 S=1:25



配置図 S=1:1000



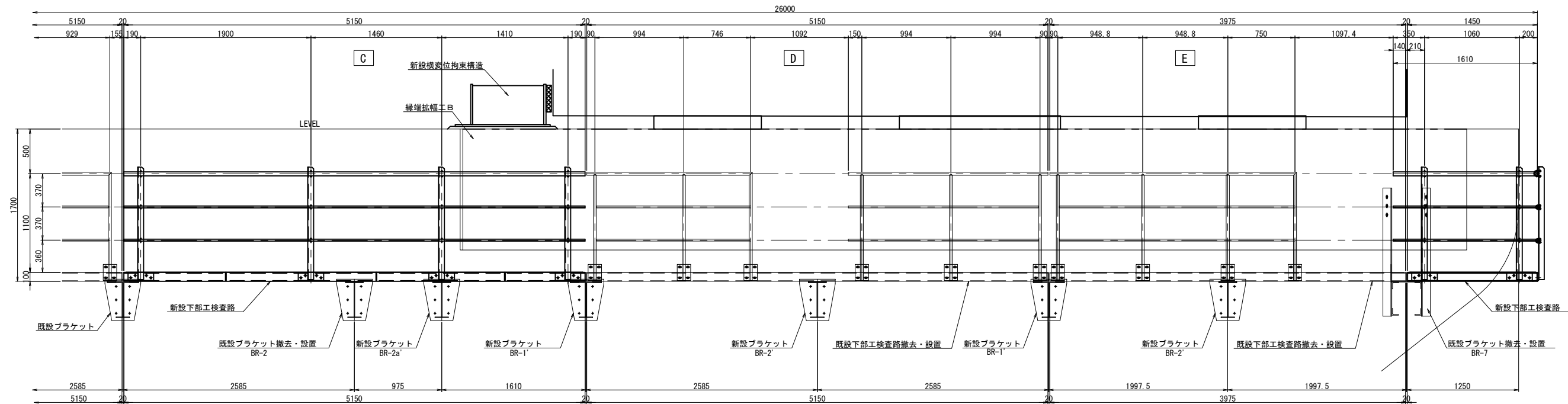
注)

- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面を基に作図を行なっている。
- 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 検査路撤去再設置工 詳細図（その２４）（参考図）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

入間川高架橋 P15橋脚（上り線）（起点側）検査路B

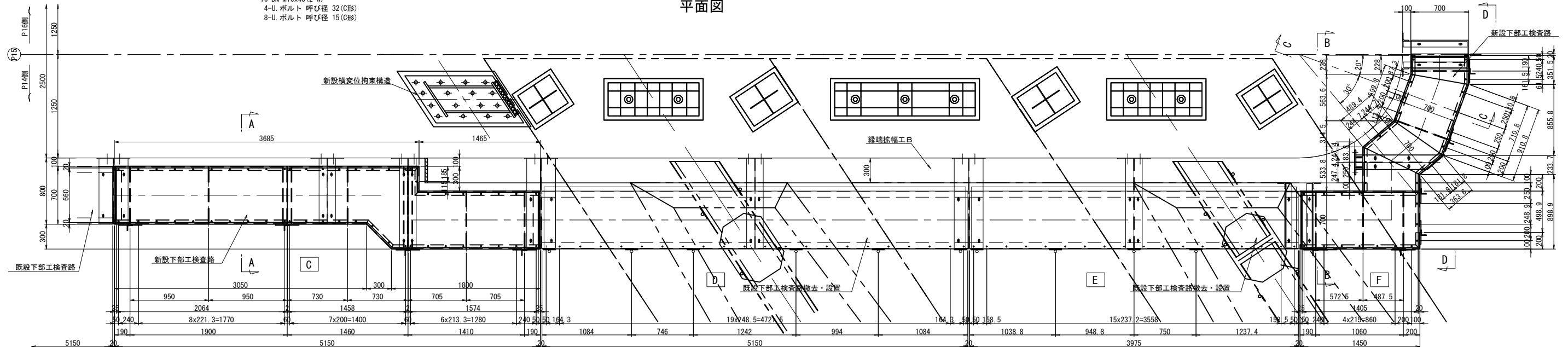
正面図



0手摺（製作数：1組）
1-Pipe φ42.7x2.3x3063 (STK400)
1-Pipe φ42.7x2.3x 442 (STK400)
1-Pipe φ42.7x2.3x1805 (STK400)
2-Pipe φ21.7x1.9x3054 (STK400)
2-Pipe φ21.7x1.9x 433 (STK400)
2-Pipe φ21.7x1.9x1805 (STK400)
4-L 65x65x6x1255
4-PL 90x12x285 (SM400A)
16-BN M16x45 (2-W)
4-U. ボルト 呼び径 32 (C形)
8-U. ボルト 呼び径 15 (C形)

F手摺（製作数：1組）
1-Pipe φ42.7x2.3x1610 (STK400)
2-Pipe φ21.7x1.9x1610 (STK400)
2-L 65x65x6x1255
2-PL 90x12x285 (SM400A)
8-BN M16x45 (2-W)
2-U. ボルト 呼び径 32 (C形)
4-U. ボルト 呼び径 15 (C形)

平面図

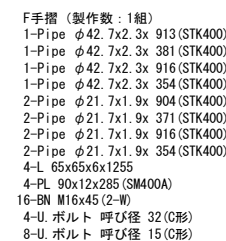


C歩廊（製作数：1組）
1-Ch. PL 660x3.2x2064 (SS400相当品)
1-Ch. PL 960x3.2x1458 (SS400相当品)
1-Ch. PL 960x3.2x1574 (SS400相当品)
1-OH 100x50x5x7.5x3685
1-OH 100x50x5x7.5x 350
1-OH 100x50x5x7.5x1515
1-OH 100x50x5x7.5x3071
1-OH 100x50x5x7.5x 445
1-OH 100x50x5x7.5x1800
2-L 75x75x6x690
2-L 50x50x6x690
2-L 50x50x6x990
5-FB 90x9x690
53-BN M10x30 (1-W, 1-TW)
1-PL 200x9x680 (SM400A)
1-PL 200x9x980 (SM400A)
2-PL 100x9x680 (SM400A)

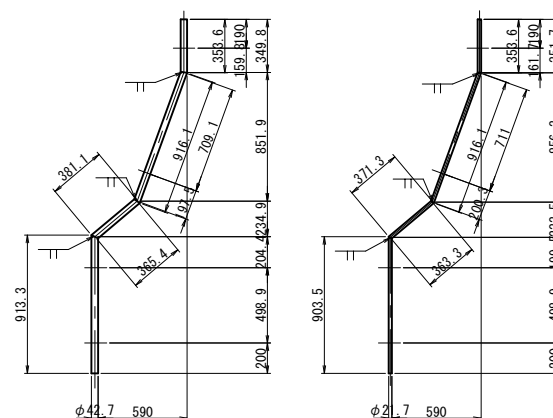
F歩廊（製作数：1組）
1-Ch. PL 660x3.2x1405 (SS400相当品)
1-Ch. PL 650x3.2x 544 (SS400相当品)
1-Ch. PL 660x3.2x 485 (SS400相当品)
1-Ch. PL 660x3.2x 902 (SS400相当品)
1-Ch. PL 660x3.2x 323 (SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x1450
1-CH 100x50x5x7.5x 700
1-CH 100x50x5x7.5x 534
1-CH 100x50x5x7.5x 503
1-CH 100x50x5x7.5x 622
1-CH 100x50x5x7.5x 237
1-CH 100x50x5x7.5x 352
1-CH 100x50x5x7.5x 911
1-CH 100x50x5x7.5x 387
1-CH 100x50x5x7.5x 222
2-L 75x75x6x690
5-FB 90x9x690
29-BN M10x30 (1-W, 1-TW)
2-PL 100x9x680 (SM400A)
1-PL 160x9x937 (SM400A)

- 注）
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
膜厚の種類は、JIS H8641 HDZT77とする。
ボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT49とする。
4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

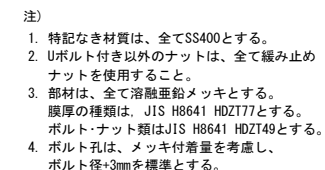
首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 検査路撤去再設置工 詳細図（その２５）（参考図）		
縮 尺	1:50	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		



手摺り詳細



BR-1' <BR-2' > (BR-2a')

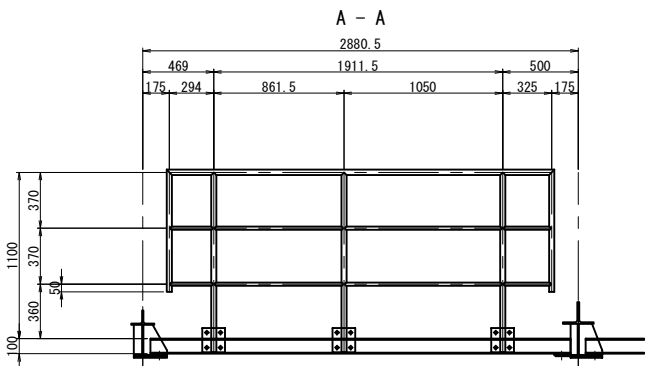


	首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事		
図面の種類	入間川高架橋 検査路撤去再設置 詳細図（その２６）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	バシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

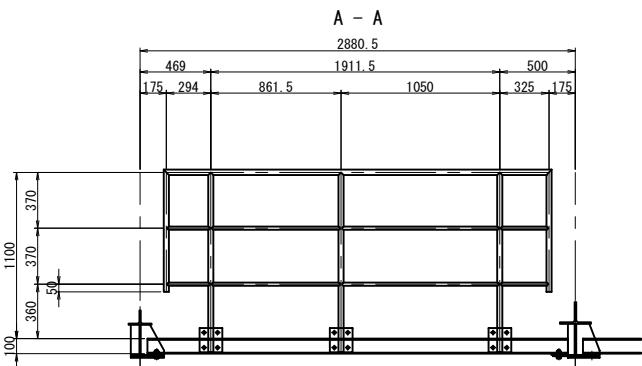
検査路撤去再設置工 詳細図（その２７）（参考図）

入間川高架橋 P15橋脚（上り線）（終点側）検査路A

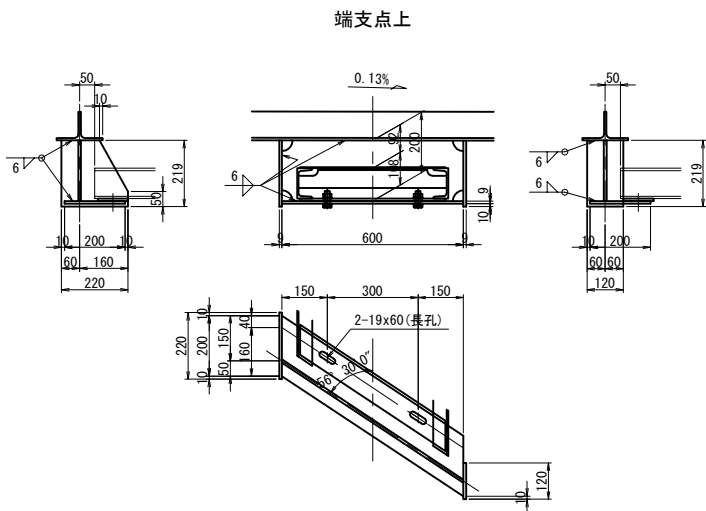
現況 S=1:50



設置後 S=1:50



受け台詳細 S=1:25



<H-9-1>

撤去・設置部材

- A - A
1-Pipe φ34.0x2.3x2566 (STK400)
3-Pipe φ34.0x2.3x1190 (STK400)
2-Pipe φ34.0x2.3x 807 (STK400)
2-Pipe φ21.7x1.9x1024 (STK400)
2-Pipe φ21.7x1.9x 836 (STK400)
2-Pipe φ21.7x1.9x 269 (STK400)
2-Pipe φ21.7x1.9x 299 (STK400)
3-PL 150x6x160

平面

- 1-[100x50x5x7.5x2814
1-[100x50x5x7.5x3112
1-CH. PL 480x3.2x3086
1-L 65x65x6x490
1-L 65x65x6x631
3-FB 50x6x490
6-PL 150x6x160
1-PL 100x8x480
1-PL 84x8x631

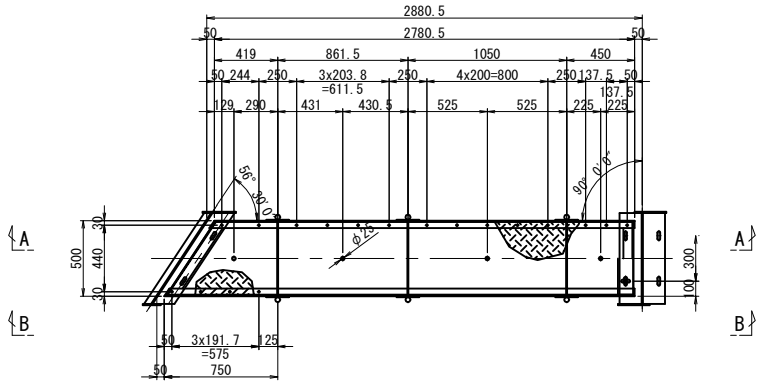
B - B

- 1-Pipe φ34.0x2.3x2271 (STK400)
2-Pipe φ34.0x2.3x1190 (STK400)
1-Pipe φ34.0x2.3x1207 (STK400)
1-Pipe φ34.0x2.3x 807 (STK400)
2-Pipe φ21.7x1.9x1024 (STK400)
2-Pipe φ21.7x1.9x 836 (STK400)
2-Pipe φ21.7x1.9x 299 (STK400)
3-PL 150x6x160

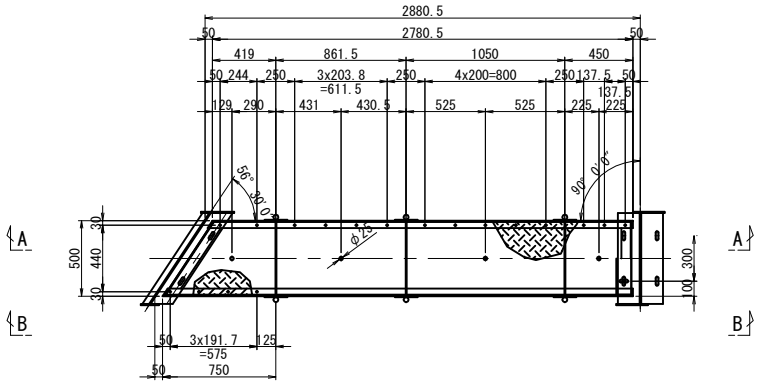
タラップ

- 2-L 50x50x4x450
1-RB φ22x430 (SR235)

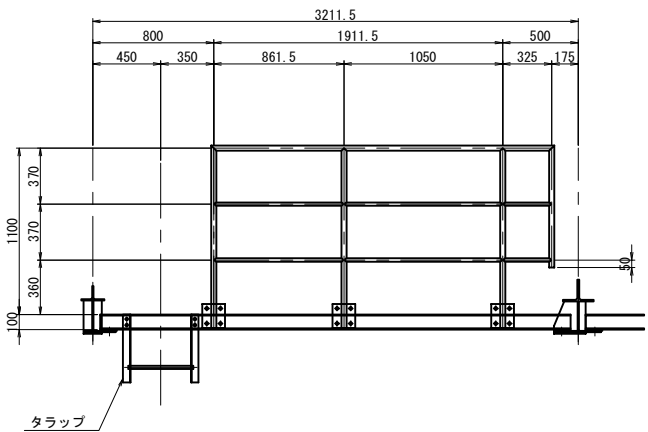
平面図 S=1:50



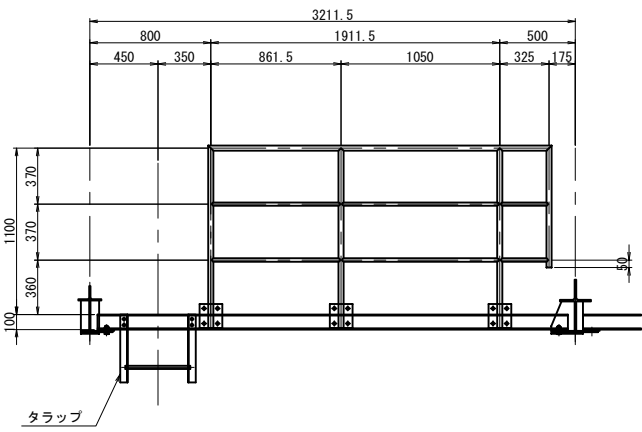
平面図 S=1:50



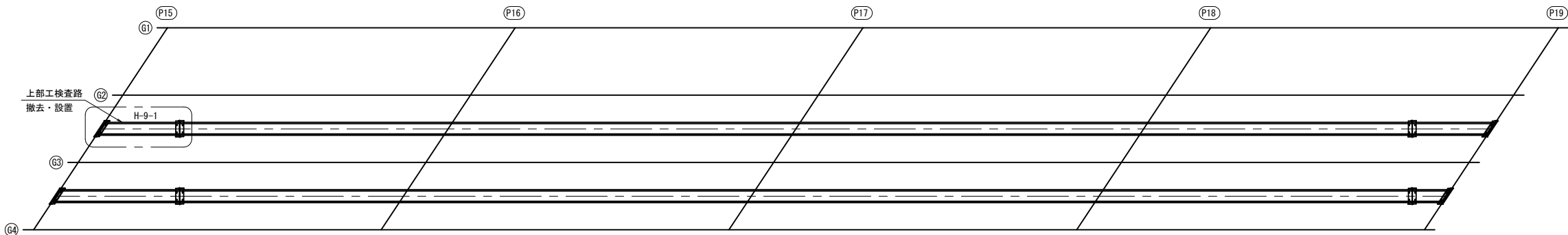
B - B S=1:50



B - B S=1:50



配置図 S=1:200



注)

- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面に基に作図を行なっている。
- 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 検査路撤去再設置工 詳細図（その２７）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

検査路撤去再設置工 詳細図（その２８）（参考図）

入間川高架橋 P15橋脚（上り線）（終点側）検査路A

39/87

現況 S=1:50

A - A

設置後 S=1:50

A - A

受け台詳細 S=1:25

端支点上

<H-13-1>

撤去・設置部材

A - A
1-Pipe $\phi 34.0 \times 2.3 \times 4286$ (STK400)
2-Pipe $\phi 34.0 \times 2.3 \times 807$ (STK400)
6-Pipe $\phi 34.0 \times 2.3 \times 1190$ (STK400)
4-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 624$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 907$ (STK400)
4-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 674$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 268$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 299$ (STK400)
6-PL 150x6x160

平面

1-[100x50x5x7.5x4535
1-[100x50x5x7.5x4833
1-CH. PL 480x3.2x4807
1-L 65x65x6x490
1-L 65x65x6x631
6-FB 50x6x490
12-PL 150x6x160
1-PL 100x8x480
1-PL 84x8x631

B - B

1-Pipe $\phi 34.0 \times 2.3 \times 3992$ (STK400)
1-Pipe $\phi 34.0 \times 2.3 \times 1207$ (STK400)
5-Pipe $\phi 34.0 \times 2.3 \times 1190$ (STK400)
1-Pipe $\phi 34.0 \times 2.3 \times 807$ (STK400)
6-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 624$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 957$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 299$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 674$ (STK400)
6-PL 150x6x160

タラップ

2-L 50x50x4x450
1-RB $\phi 22 \times 430$ (SR235)

平面図 S=1:50

A

平面図 S=1:50

A

中間部

B - B S=1:50

B

B - B S=1:50

B

配置図 S=1:200

P15

P16

P17

P18

P19

注)

- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面に基に作図を行なっている。
- 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。

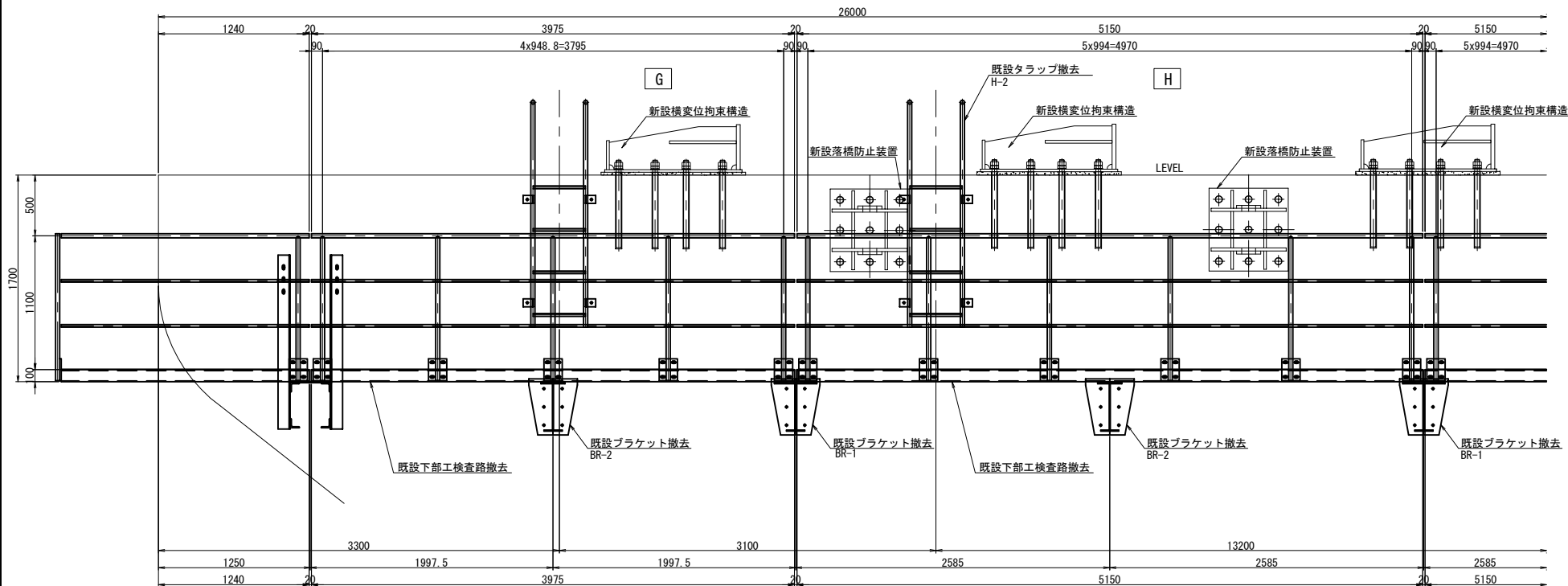
首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 検査路撤去再設置工 詳細図（その２８）（参考図）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

検査路撤去再設置工 詳細図（その２９）（参考図）

入間川高架橋 P15橋脚（上り線）（終点側）検査路B

40/87

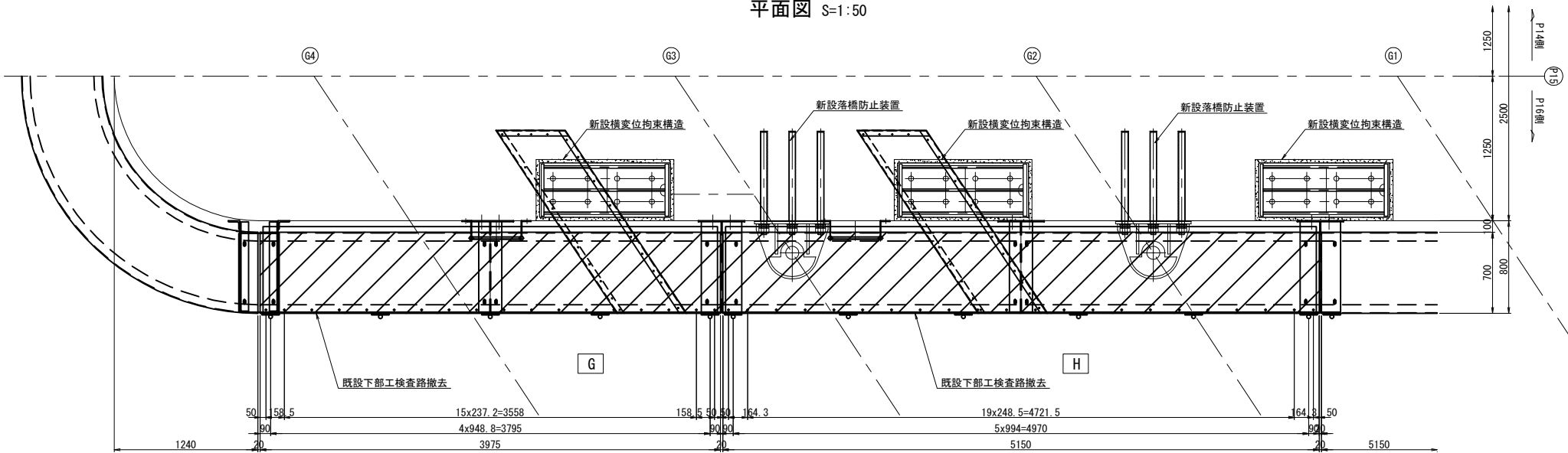
正面図 S=1:50



G撤去材料 1組あたり (計: 1組)
1-Pipe φ34.0x2.3x3975 (STK400)
5-Pipe φ34.0x2.3x1190 (STK400)
8-Pipe φ21.7x1.9x 923 (STK400)
10-PL 150x6x180
20-BN M16x45 (1-W, 1-SW)

H撤去材料 1組あたり (計: 1組)
1-Pipe φ34.0x2.3x5150 (STK400)
6-Pipe φ34.0x2.3x1190 (STK400)
10-Pipe φ21.7x1.9x 968 (STK400)
12-PL 150x6x180
24-BN M16x45 (1-W, 1-SW)

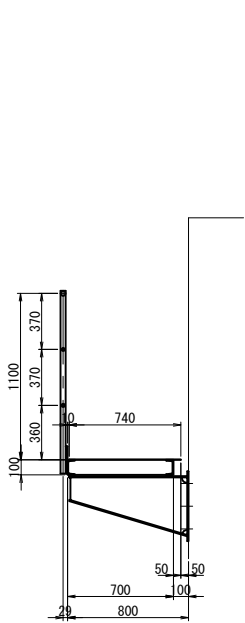
平面図 S=1:50



G撤去材料 1組あたり (計: 1組)
1-Ch PL 740x3.2x3925
2-[100x50x5x7.5x3975
2-L 75x75x6x690
3-FB 50x6x690
36-BN M10x30 (1-SW, 1-TW)
1-PL 200x8x680
1-PL 100x8x680
8-BN M16x45 (2-W付)

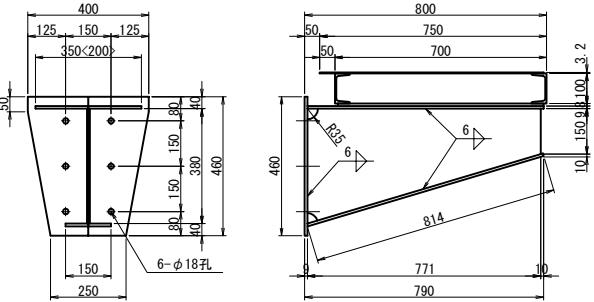
H撤去材料 1組あたり (計: 1組)
1-Ch PL 740x3.2x5100
2-[100x50x5x7.5x5150
2-L 75x75x6x690
4-FB 50x6x690
44-BN M10x30 (1-SW, 1-TW)
1-PL 200x8x680
3-PL 100x8x680
10-BN M16x45 (2-W付)

断面図 S=1:50



ブラケット撤去詳細 S=1:25

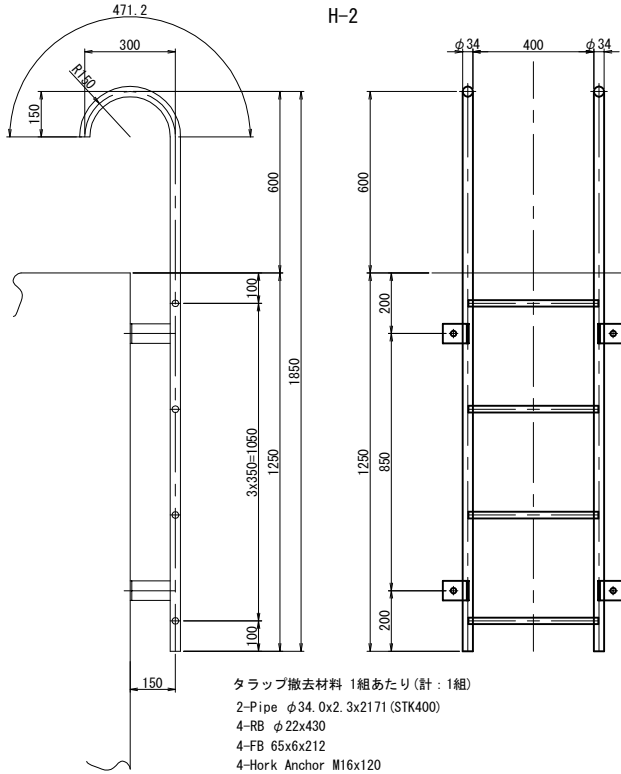
BR-1<BR-2>



ブラケット撤去材料 1組あたり (計: 各2組)
1-PL 350<200>x9x781
1-PL 380x9x771
1-PL 150x9x814
1-PL 400x9x460
6-Hork Anchor M16x120

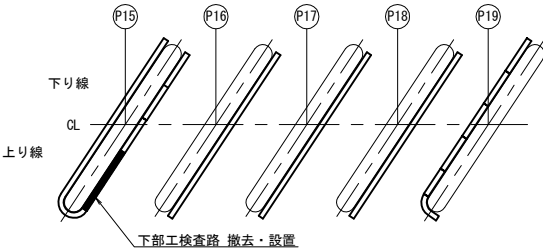
タラップ撤去詳細 S=1:25

H-2



タラップ撤去材料 1組あたり (計: 1組)
2-Pipe φ34.0x2.3x2171 (STK400)
4-RB φ22x430
4-FB 65x6x212
4-Hork Anchor M16x120

配置図 S=1:1000



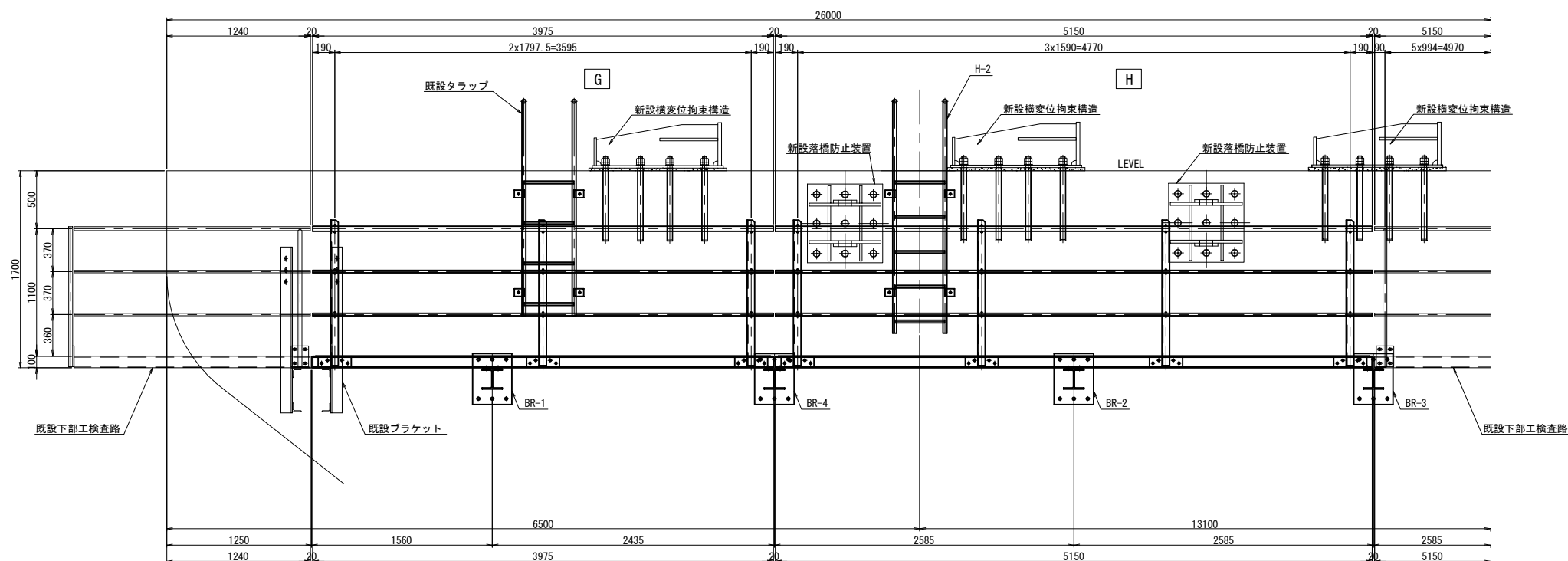
- 注)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面を基に作図を行なっている。
3. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 検査路撤去再設置工 詳細図（その２９）（参考図）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

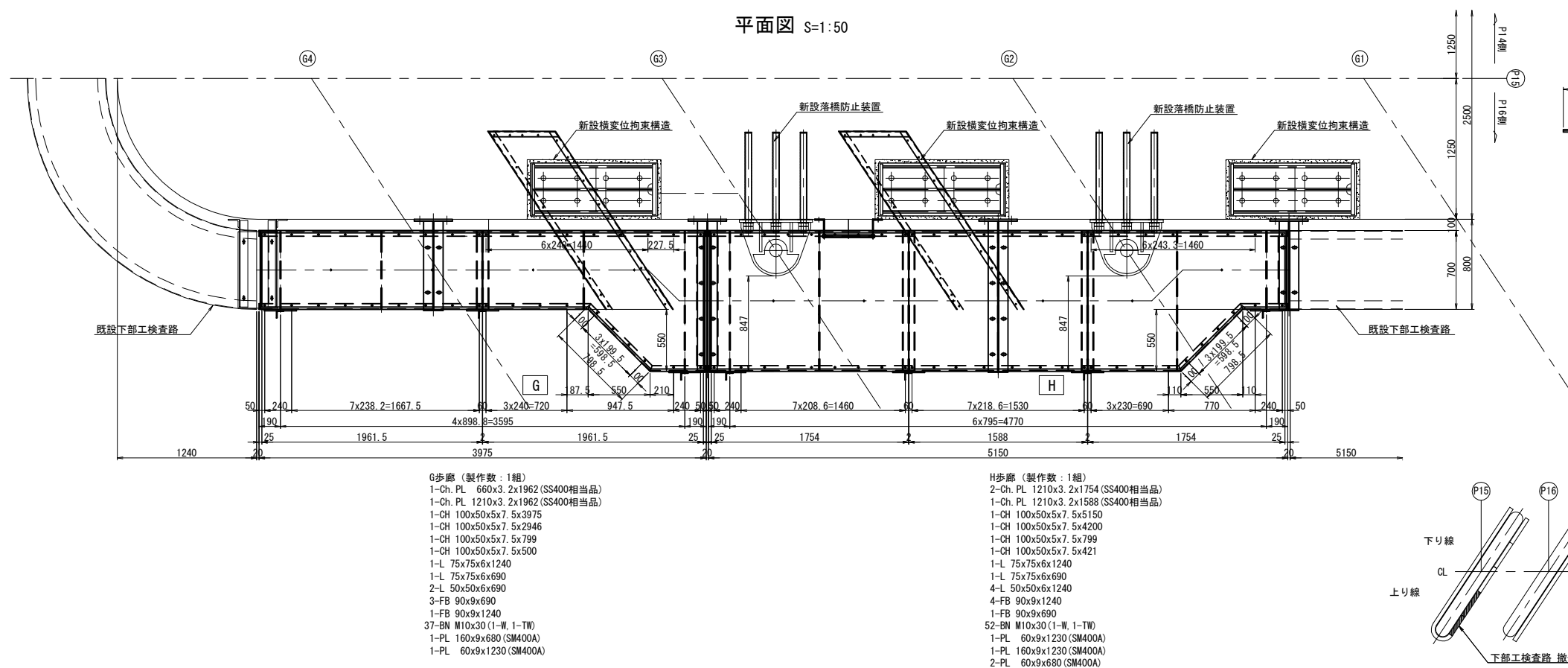
検査路撤去再設置工 詳細図 (その30) (参考図)

入間川高架橋 P15橋脚（上り線）（終点側）検査路B

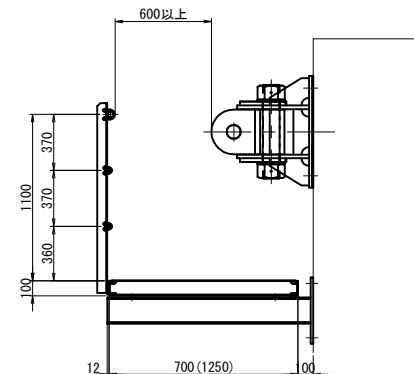
正面图 S=1:50



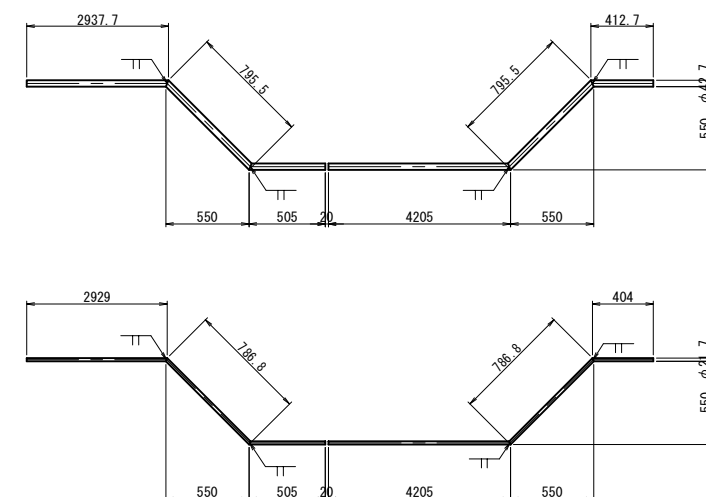
平面图 S=1:50



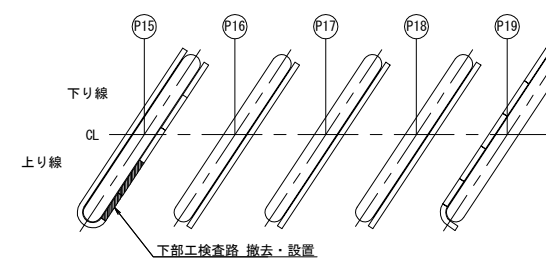
断面図 S=1:50



拡幅部手摺り詳細 S=1:50



配置図 S=1:1000



- 注)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
 3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
膜厚の種類は、JIS H8641 HDZT77とする。
ボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT49とする。
 4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。

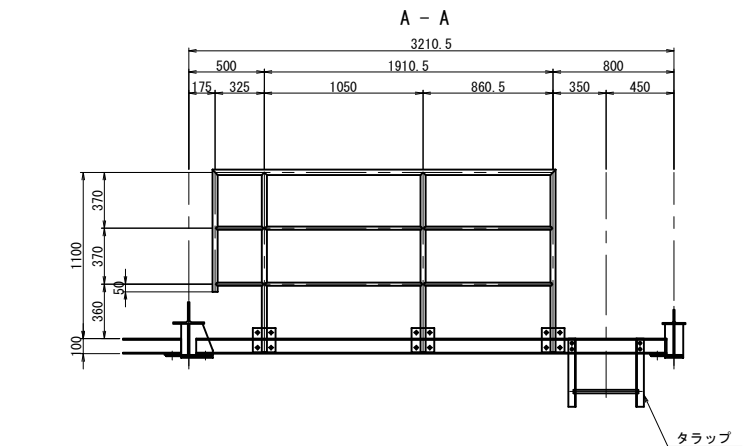
首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋対震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 検査撤去再設置 詳細図（その３）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所沢管理事務所		

検査路撤去再設置工 詳細図（その３１）（参考図）

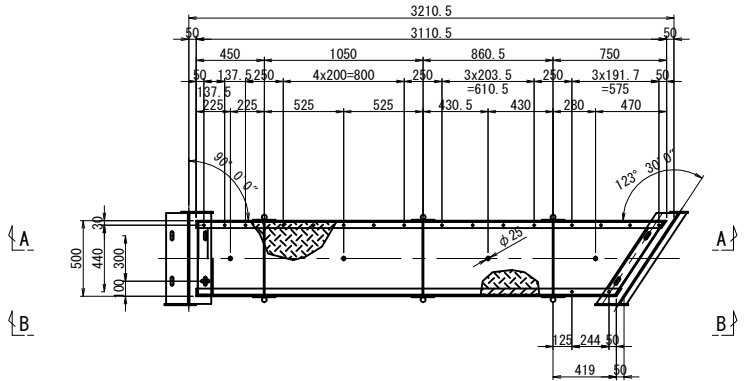
入間川高架橋 P19橋脚（上り線）（起点側）検査路A

42/87

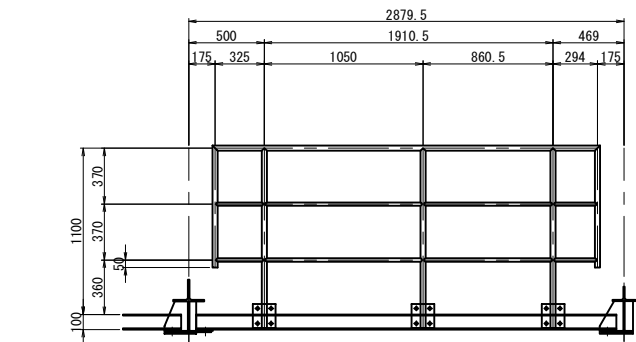
現況 S=1:50



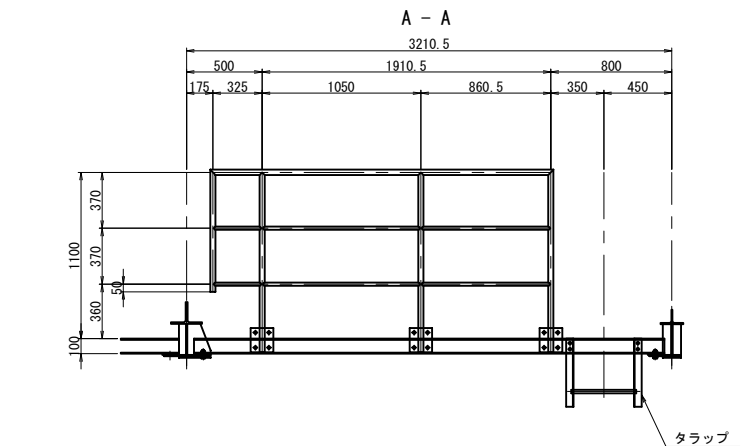
平面図 S=1:50



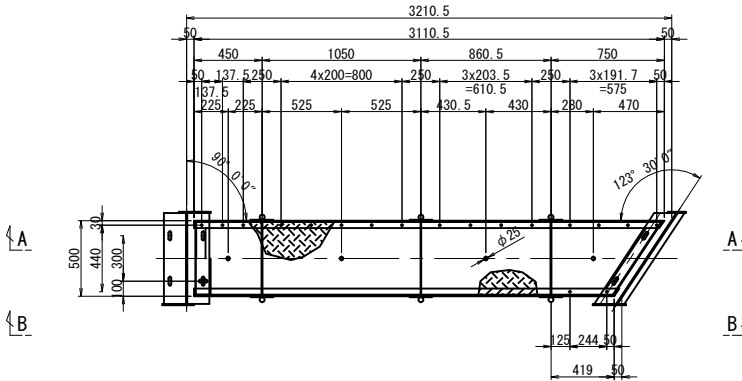
B - B S=1:50



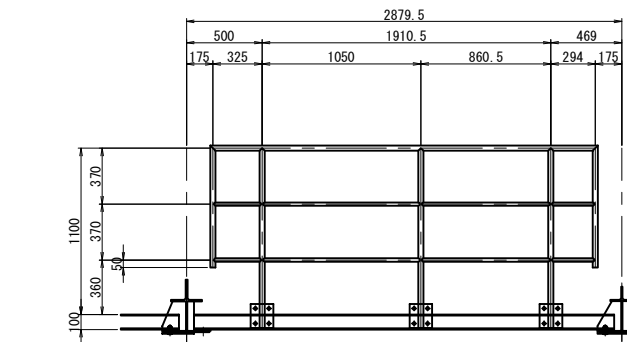
設置後 S=1:50



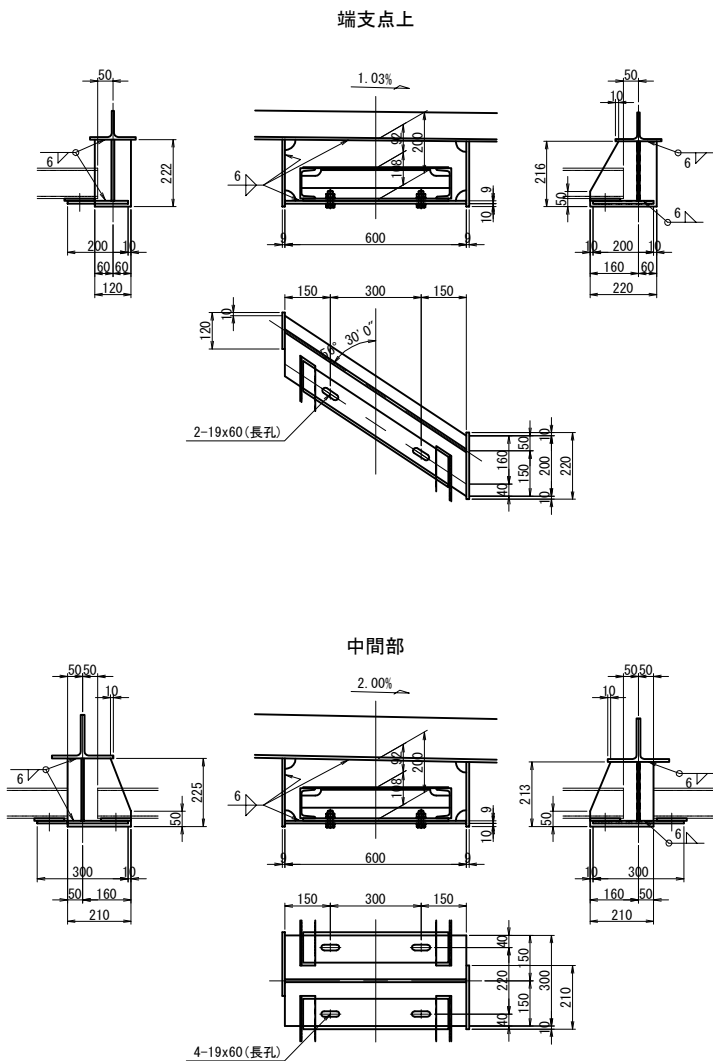
平面図 S=1:50



B - B S=1:50



受け台詳細 S=1:25



<H-17>

撤去・設置部材

A - A
1-Pipe $\phi 34.0 \times 2.3 \times 2270$ (STK400)
2-Pipe $\phi 34.0 \times 2.3 \times 1190$ (STK400)
1-Pipe $\phi 34.0 \times 2.3 \times 807$ (STK400)
1-Pipe $\phi 34.0 \times 2.3 \times 1207$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 299$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1024$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 835$ (STK400)
3-PL 150x6x160

平面

1-[100x50x5x7.5x3111
1-[100x50x5x7.5x2813
1-CH PL 480x3.2x3085
1-L 65x65x6x490
1-L 65x65x6x631
3-FB 50x6x490
6-PL 150x6x160
1-PL 100x8x480
1-PL 84x8x631

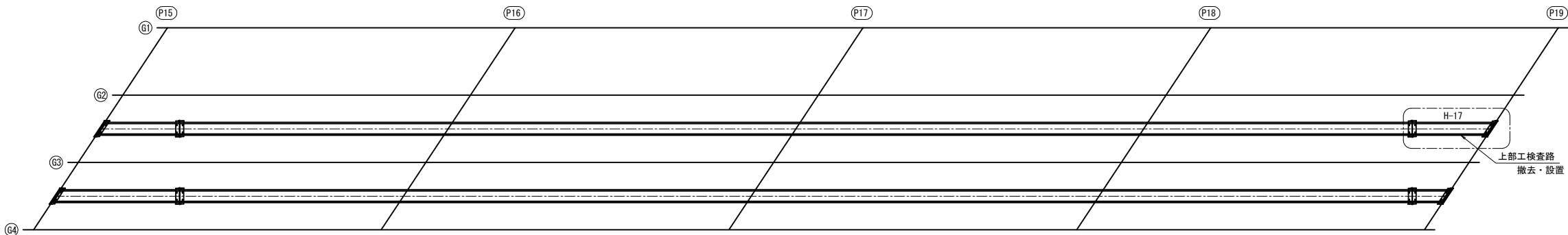
B - B

1-Pipe $\phi 34.0 \times 2.3 \times 2564$ (STK400)
3-Pipe $\phi 34.0 \times 2.3 \times 1190$ (STK400)
2-Pipe $\phi 34.0 \times 2.3 \times 807$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 299$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1024$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 835$ (STK400)
2-Pipe $\phi 21.7 \times 1.9 \times 268$ (STK400)
3-PL 150x6x160

タラップ

2-L 50x50x4x450
1-RB $\phi 22 \times 430$ (SR235)

配置図 S=1:200

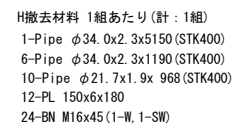


注)

- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面を基に作図を行なっている。
- 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 検査路撤去再設置工 詳細図（その３１）（参考図）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

正面図 S=1:50



L撤去材料 1組あたり(計:1組)
 1-Pipe φ34.0x2.3x3925(STK400)
 5-Pipe φ34.0x2.3x1190(STK400)
 8-Pipe φ21.7x1.9x 910(STK400)
 10-PL 150x6x180
 20-BN M16x45(1-W, 1-SW)

H撤去材料 1組あたり(計:1組)
 1-Ch PL 740x3.2x5100
 2-[100x50x5x7.5x5150
 2-L 75x75x6x690
 4-FB 50x6x690
 44-BN M10x30(1-SW, 1-TW)
 1-PL 200x8x680
 3-PL 100x8x680
 10-BN M16x45(2-冊付)

L撤去材料 1組あたり(計:1組)
 1-Ch PL 740x3. 2x3875
 2-[100x50x5x7. 5x3925
 2-L 75x75x6x690
 3-FB 50x6x690
 36-BN M10x30 (1-SW, 1-TW)
 1-PL 200x8x680
 1-PL 100x8x680
 8-BN M16x45 (2-W付)

ブラケット撤去詳細 S=1:25

[illegible]

1-PL 350<200>x9x781
1-PL 380x9x771
1-PL 150x9x814
1-PL 400x9x460
6-Hork Anchor M16x120

Technical drawing of a rectangular plate with the following dimensions and features:

- Overall width: 200
- Overall height: 350
- Internal width dimension: 500
- Internal height dimension: 250
- Top right corner radius: 90
- Bottom right corner radius: 50
- Bottom left corner radius: 50
- Bottom center feature: 18x40長孔 (18x40 long hole)
- Bottom left corner feature: 6 (likely a chamfer or fillet radius)

Technical drawing of a gate structure, labeled H-2. The drawing includes a side view on the left and a front view on the right.

Side View Dimensions:

- Top arc radius: 471.2
- Top arc chord length: 300
- Top arc height: 150
- Gate height: 600
- Gate width: 1850
- Gate thickness: 100
- Gate material: 3x350=1050
- Gate material: 1250
- Gate material: 850
- Gate material: 100
- Gate material: 150

Front View Dimensions:

- Gate height: 600
- Gate width: 400
- Gate thickness: 34
- Gate material: 200
- Gate material: 1250
- Gate material: 850
- Gate material: 200

Material Specifications:

- 2-Pipe $\phi 34$. 0x2. 3x2171 (STK400)
- 4-RB $\phi 22 \times 430$
- 4-FB $65 \times 6 \times 212$
- 4-Hork Anchor M16x120

注)

1. 特記なき材質は、全てS4400とする。
2. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面を基に作図を行っている。
3. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。

下り線

CL

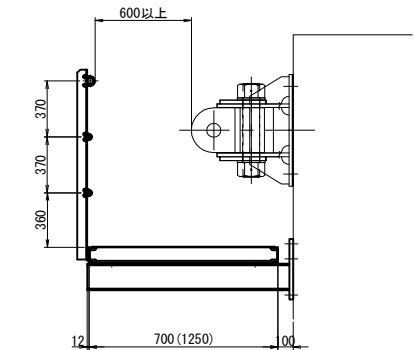
上り線

P15 P16 P17 P18 P19

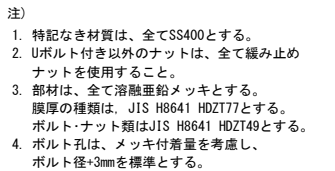
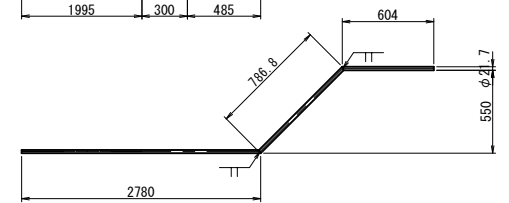
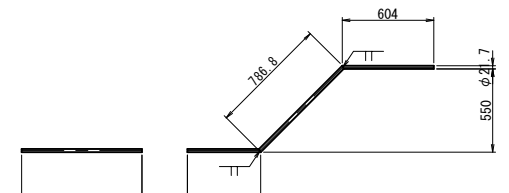
下部工検査路 撤去・設置

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 検査路撤去再設置 詳細図 (その３２) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パンフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 路況管理事務所		

断面図 S=1:50



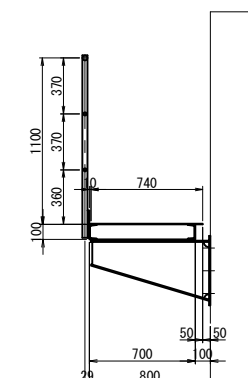
- L手摺 (製作数: 1組)
 1-Pipe φ4. 7x2. 3x1995 (STK400)
 1-Pipe φ4. 7x2. 3x485 (STK400)
 1-Pipe φ4. 7x2. 3x796 (STK400)
 1-Pipe φ4. 7x2. 3x613 (STK400)
 1-Pipe φ21. 7x1. 9x1995 (STK400)
 1-Pipe φ21. 7x1. 9x485 (STK400)
 2-Pipe φ21. 7x1. 9x787 (STK400)
 2-Pipe φ21. 7x1. 9x604 (STK400)
 1-Pipe φ21. 7x1. 9x2780 (STK400)
 4-L 65x65x6x1255
 4-PL 90x12x25 (SM400A)
 16-BN M16x45 (2-W)
 4-U. ボルト 呼び径 32 (C形)
 8-U. ボルト 呼び径 15 (C形)



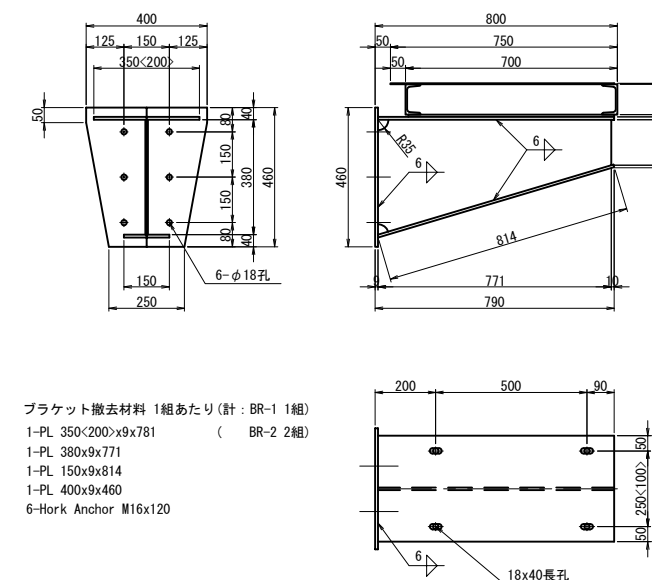
- L 步履 (製作数: 1組)
 1-CH 1L 1210x3, 2x3875 (SS400相当品)
 1-CH 100x50x5x7. 5x3925
 1-CH 100x50x5x7. 5x2775
 1-CH 100x50x5x7. 5x799
 1-CH 100x50x5x7. 5x621
 1-L 75x75x6x1240
 1-L 75x75x6x690
 4-FB 90x9x1240
 1-FB 90x9x953
 1-FB 90x9x930
 40-BN M10x30 (1-W, 1-TW)
 1-PL 60x9x1230 (SM400A)
 1-PL 160x9x1230 (SM400A)

首都圏中央連絡自動車道			
入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 検査撤去后再設置工 詳細図（その３３）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	バシフィックコンサルタツツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 沼沢管理事務所		

ブラケット撤去詳細 S=1:25



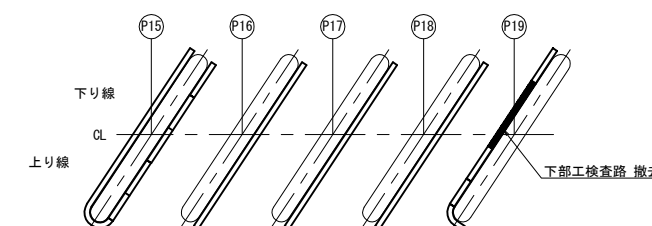
S=1 : 25



注)

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面を基に作図を行なっている。
3. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。

平面图 S=1:50



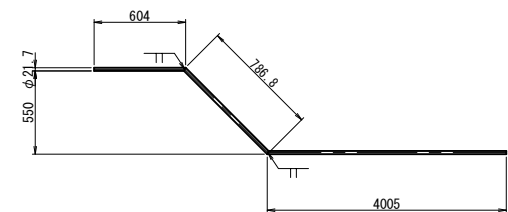
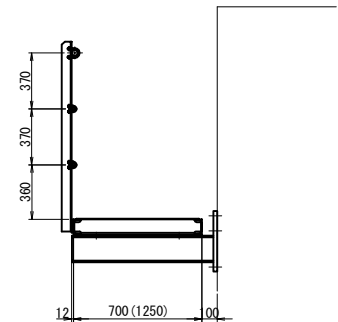
H撤去材料 1組あたり(計:1組)
1-Pipe φ34.0x2.3x5150(STK400)
6-Pipe φ34.0x2.3x1190(STK400)
10-Pipe φ21.7x1.9x 968(STK400)
12-PL 150x6x180
24-BN M16x45(1-W, 1-SW)

H撤去材料 1組あたり(計:1組)

- 1-Ch PL 740x3.2x5100
- 2-[100x50x5x7.5x5150
- 2-L 75x75x6x690
- 4-FB 50x6x690
- 44-BN M10x30(1-SW, 1-TW)
- 1-PL 200x8x680
- 1-PL 100x8x680
- 6-BN M16x45(2-W付)

	首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事		
図面の種類	入間川高架橋 検査撤去後再設置工 詳細図（その３４）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パンフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

断面図 S=1:50



下り線

QL

上り線

P15 P16 P17 P18 P19

下部工検査路 撤去

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
膜厚の種類は、JIS H8641 HDZ777とする。
ボルト・ナット類はJIS H8641 HDZ749とする。
4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。

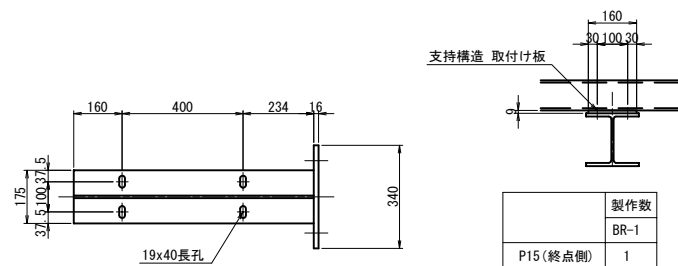
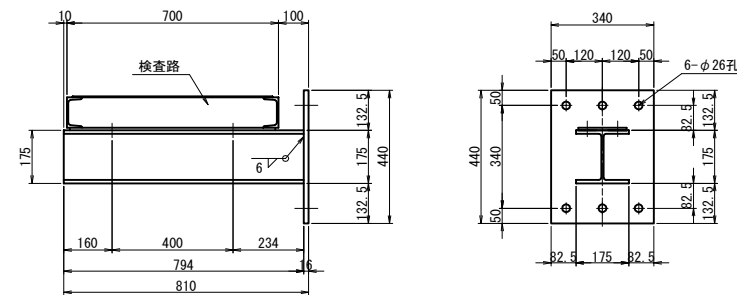
首都圏中央連絡自動車道			
入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 検査撤去后再設置 詳細図（その３５）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタツツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社沼沢管理事務所		

2-L 50x50x6x1240
2-L 50x50x6x840
1-FB 90x9x690
1-FB 90x9x953
1-FB 90x9x1240
2-FB 90x9x840
55-BN M10x30 (1-W, 1-TW)
1-PL 60x9x680 (SM400A)
1-PL 160x9x1230 (SM400A)
1-PL 60x9x830 (SM400A)

H2歩郎（製作数：1組）
 2-CH. PL 810x3. 2x1754 (SS400相当品)
 1-CH. PL 810x3. 2x1588 (SS400相当品)
 2-CH 100x50x5x7. 5x5150
 2-L 75x75x6x840
 4-L 50x50x6x840
 5-FB 90x9x840
 52-BN M10x30 (1-W, 1-TW)
 2-PL 60x9x830 (SM400A)
 1-PL 160x9x830 (SM400A)

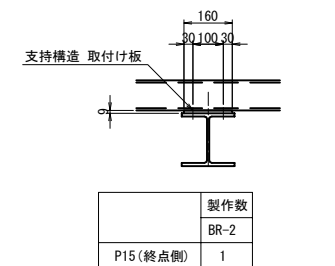
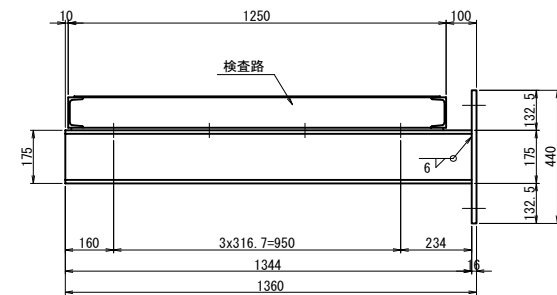
タラップ詳細 S=1:25

BR-1



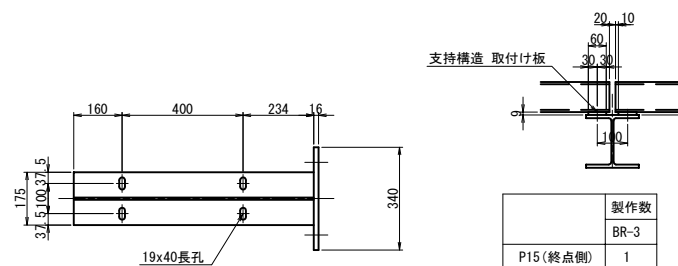
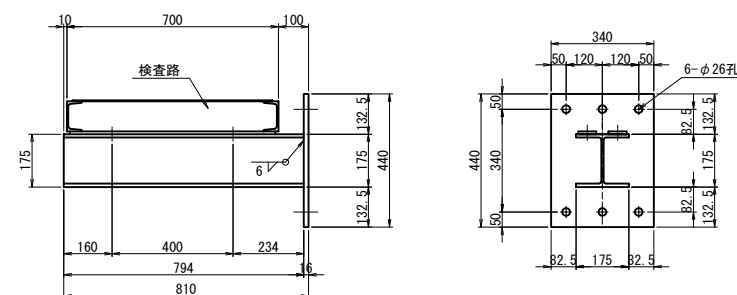
1-H 175x175x7.5x11x794
1-BASE PL 440x16x340 (SM400A)
4-BN M16x50 (2-W)
6-打込式アンカー M22x200

BR-2



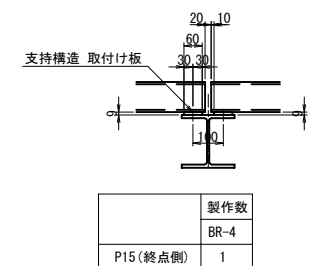
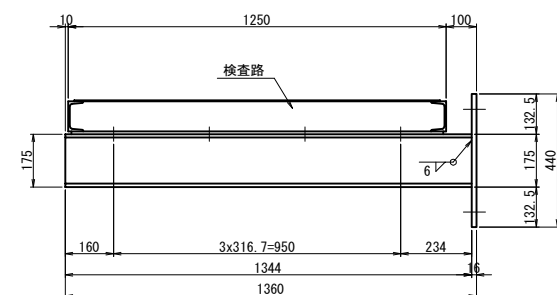
1-H 175x175x7.5x11x1344
1-BASE PL 440x16x340 (SM400A)
8-BN M16x50 (2-W)
6-打込式アンカー M22x200

BR-3



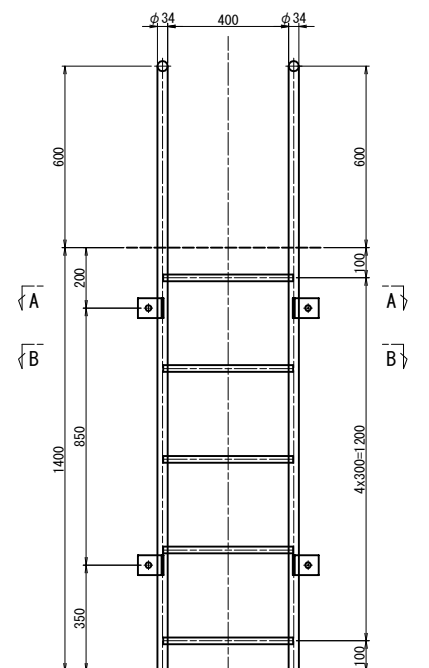
1-H 175x175x7.5x11x794
1-BASE PL 440x16x340 (SM400A)
4-BN M16x50 (2-W)
6-打込式アンカー M22x200

BR-4



1-H 175x175x7.5x11x1344
1-BASE PL 440x16x340 (SM400A)
8-BN M16x50 (2-W)
6-打込式アンカー M22x200

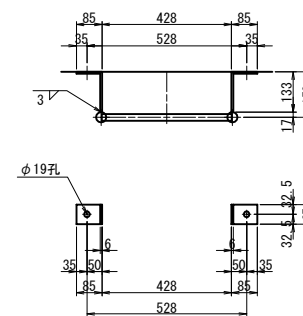
H-2



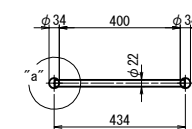
タラップ新設材料 (1組当たり)
2-Pipe φ34.0x2.3x2322 (STK400)
5-RB φ22x430
4-FB 65x6x212
4-Hork Anchor M16x125

	製作数
	H-2
P15 (終点側)	1
P19 (起点側)	2

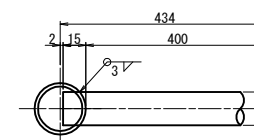
A - A



B - B



a部詳細図 S=1:5

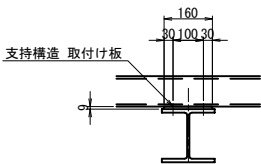
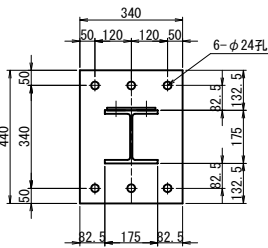
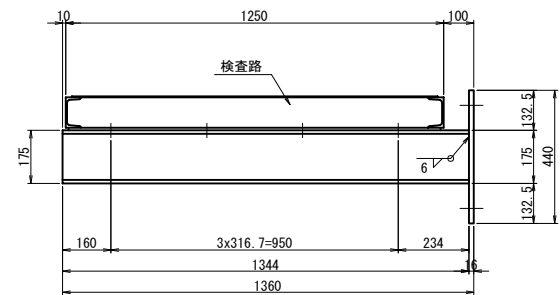


- (注)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
 3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
膜厚の種類は、JIS H8641 HDZT77とする。
ボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT49とする。
 4. ボルト孔は、メッキ厚を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 検査路撤去再設置 詳細図（その３７）（参考図）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パンフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

ブラケット詳細

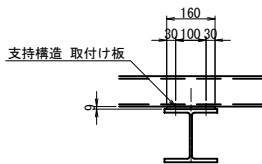
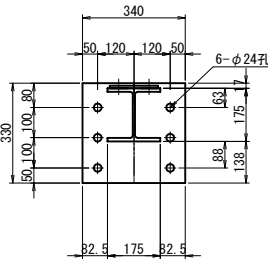
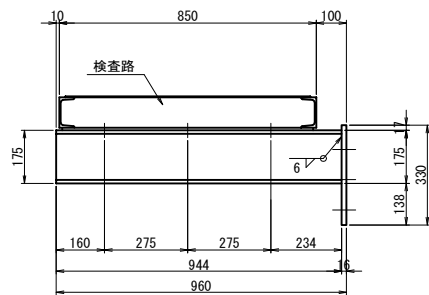
BR-5



	製作数
	BR-5
P19 (起点側)	3

1-H 175x175x7.5x11x1344
1-BASE PL 440x16x340 (SM400A)
8-BN M16x50 (2-M)
6-打込式アンカー M20x200

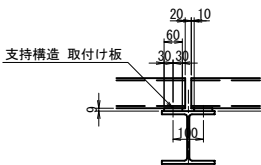
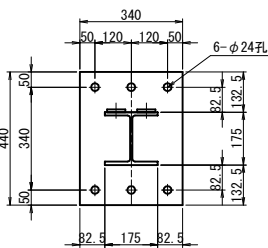
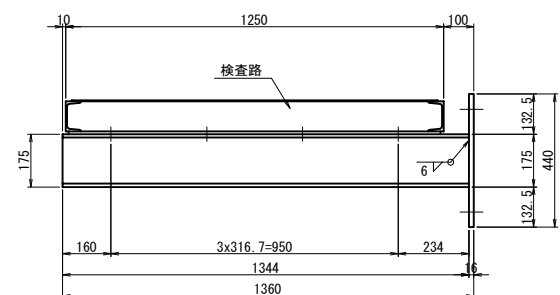
BR-6



	製作数
	BR-6
P19 (起点側)	1

1-H 175x175x7.5x11x944
1-BASE PL 330x16x340 (SM400A)
6-BN M16x50 (2-M)
6-打込式アンカー M20x200

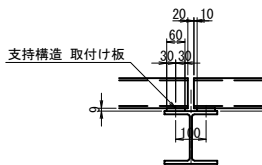
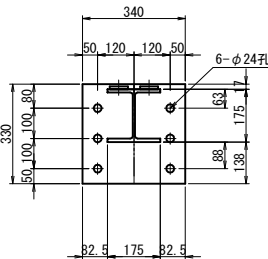
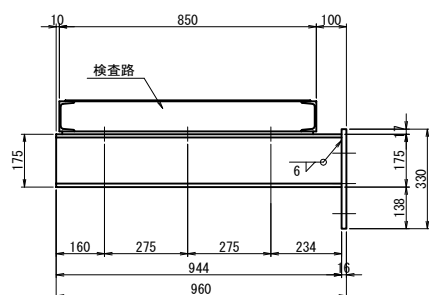
BR-7



	製作数
	BR-7
P19 (起点側)	1

1-H 175x175x7.5x11x1344
1-BASE PL 440x16x340 (SM400A)
8-BN M16x50 (2-M)
6-打込式アンカー M20x200

BR-8



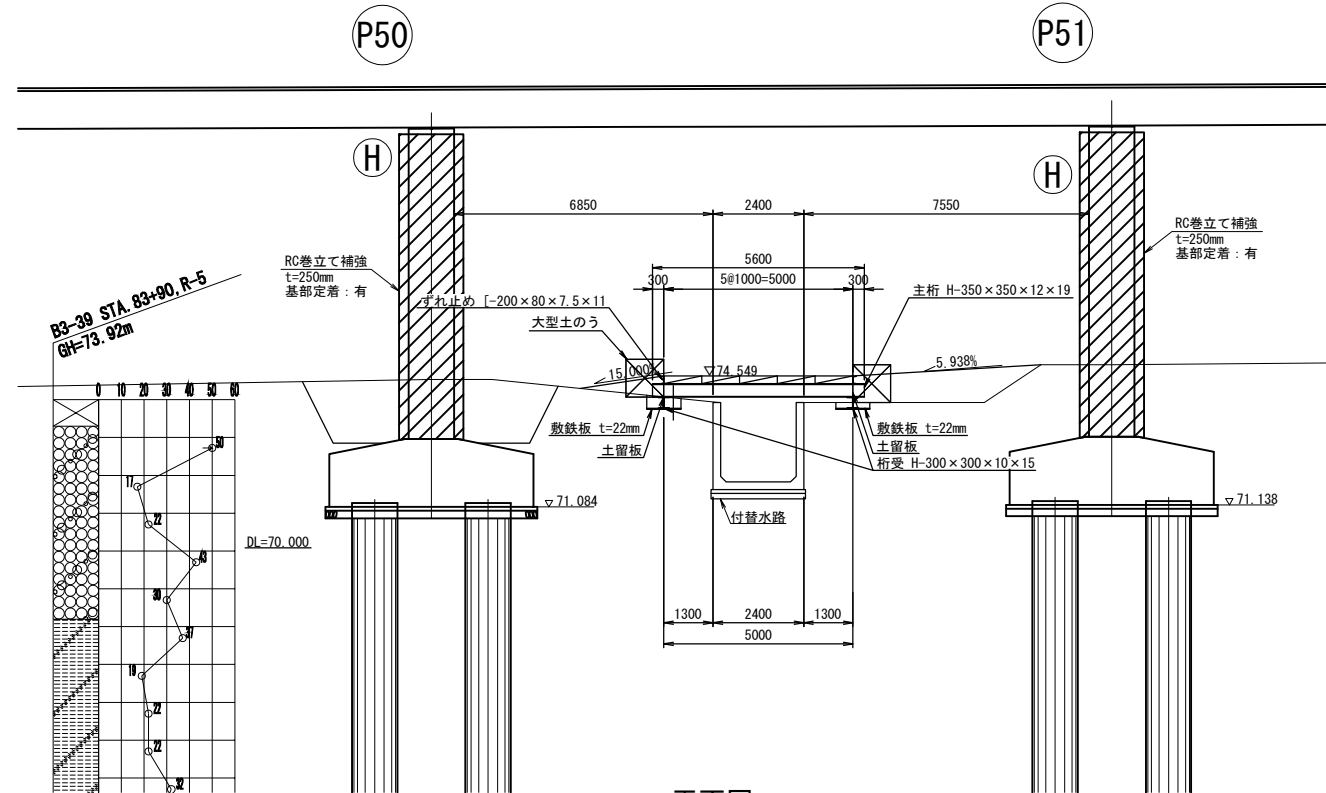
	製作数
	BR-8
P19 (起点側)	2

1-H 175x175x7.5x11x944
1-BASE PL 330x16x340 (SM400A)
6-BN M16x50 (2-M)
6-打込式アンカー M20x200

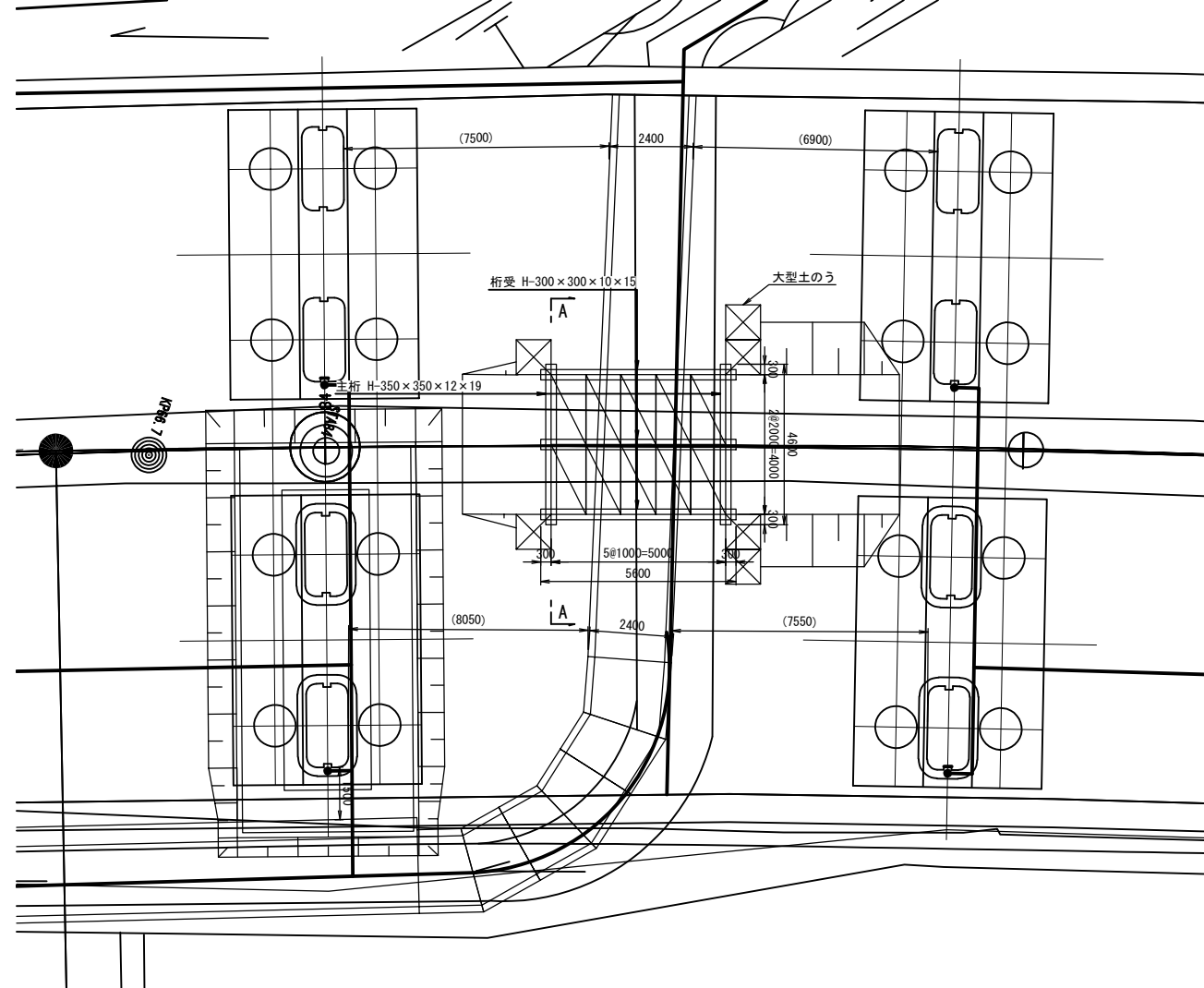
- 注)
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
膜厚の種類は、JIS H8641 HDZT77とする。
ボルト・ナット類はJIS H8641 HDZT49とする。
 - ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

	首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事		
図面の種類	入間川高架橋 検査路撤去再設置工 詳細図（その３８）（参考図）		
縮尺	1:25	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

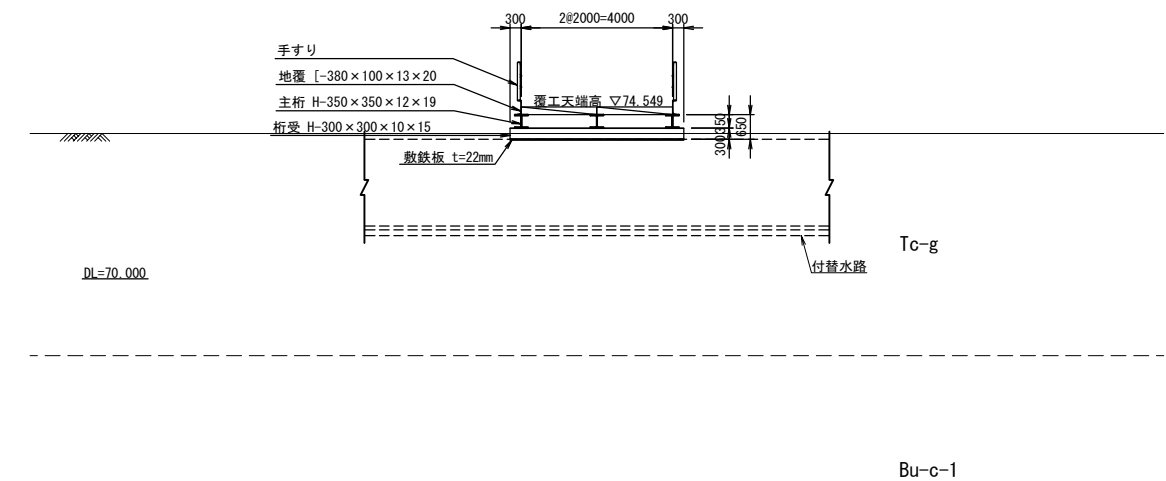
側面図



平面図



A-A断面



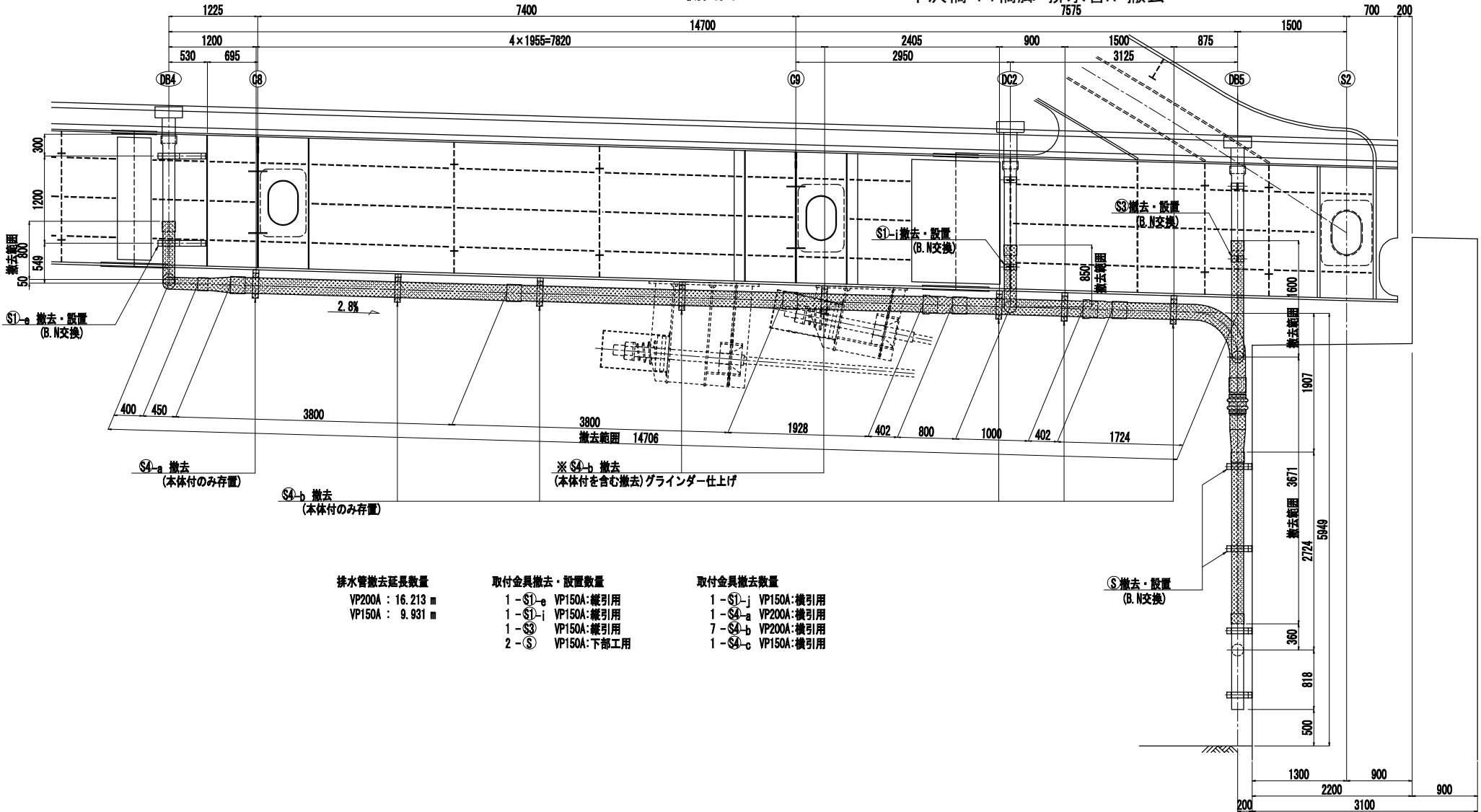
下り線

上り線

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 工事用進入路工（参考図）		
縮尺	1:200	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社所沢管理事務所		

撤去・設置工 詳細図（その1）（参考図） S=1:75

側面図 牛沢橋 P1橋脚 排水管A 撤去



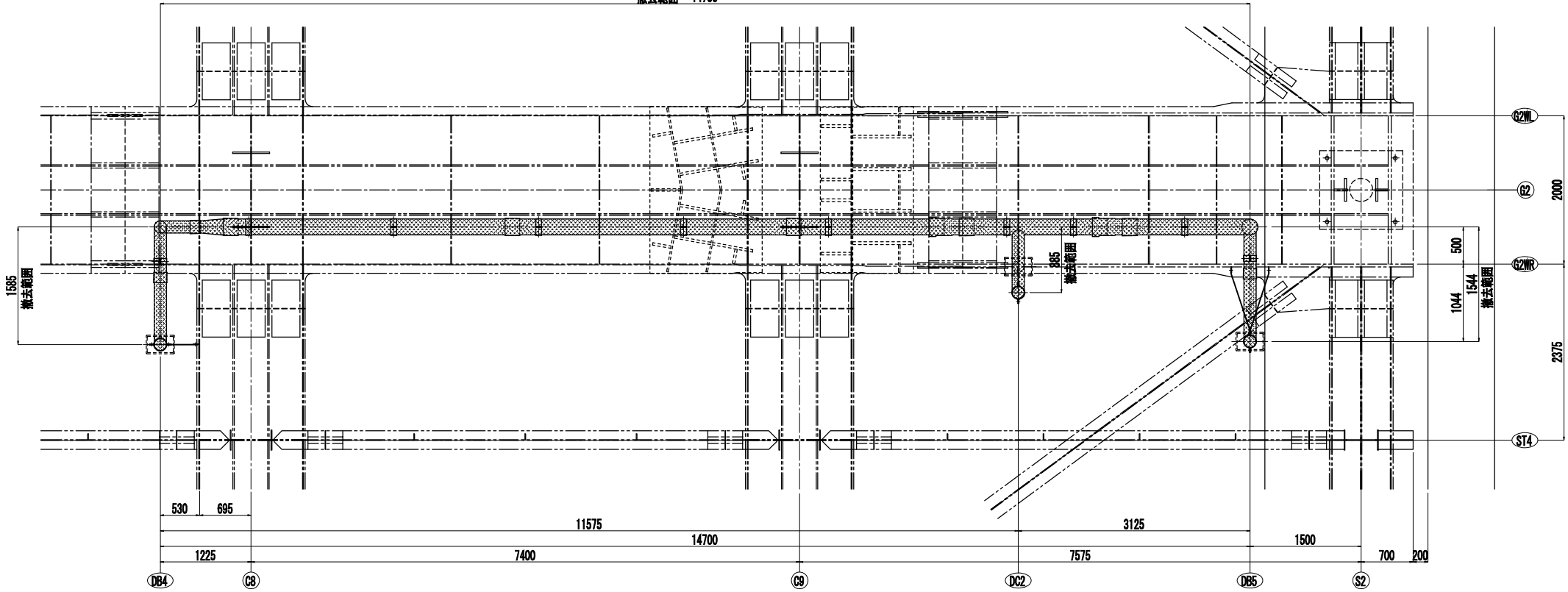
排水管撤去延長数量
VP200A : 16.213 m
VP150A : 9.931 m

取付金具撤去・設置数量
1 - S1-e VP150A:横引用
1 - S1-i VP150A:横引用
1 - S3 VP150A:横引用
2 - S4 VP150A:下部工用

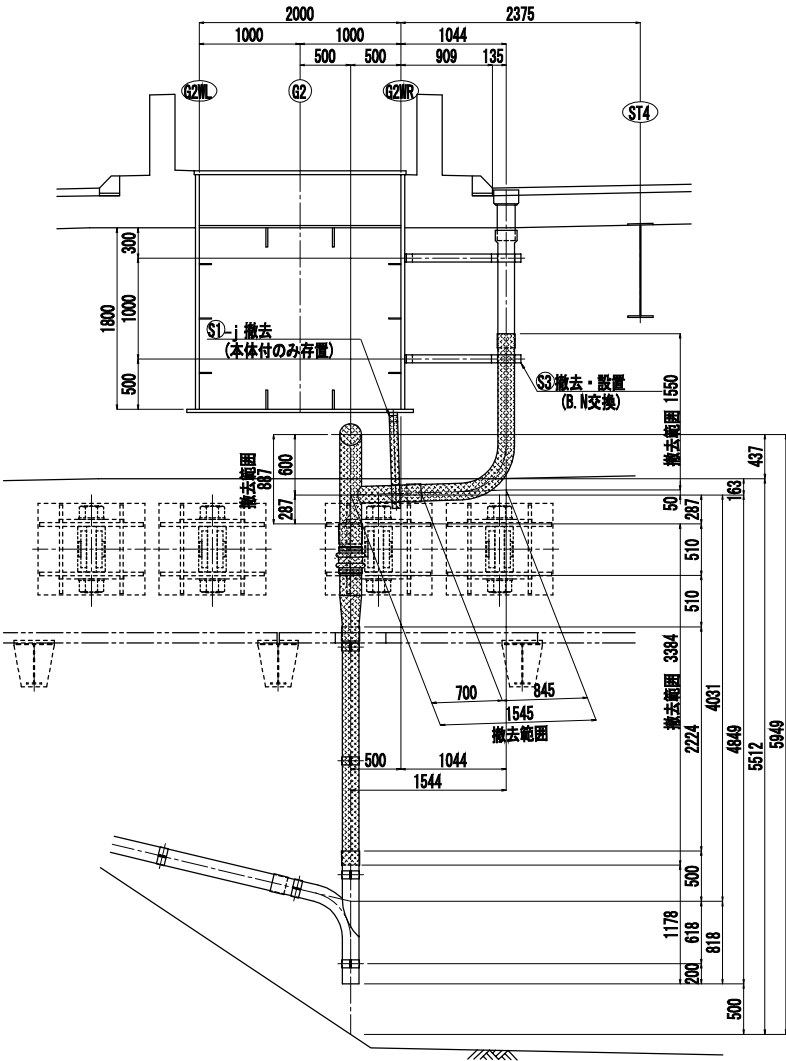
取付金具撤去数量
1 - S1-j VP150A:横引用
1 - S4-a VP200A:横引用
7 - S4-b VP200A:横引用
1 - S4-c VP150A:横引用

平面図

撤去範囲 14700

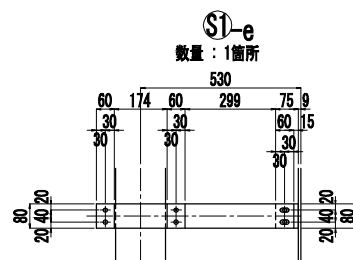


DB5 断面



注)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. ナットは全て緩み止め機能付きとする。
3. ※印付部材以外は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の膜厚はJIS H 8641:2021 HDZT77とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及びボルト・ナット
ワッシャ類はHDZT49とする。

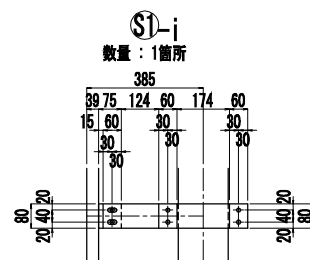
首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	牛沢橋 撤去・設置工 詳細図（その1）（参考図）		
縮 尺	1:75	図面番号	/
設計会社名	株式会社 富貴沢建設コンサルタンツ		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 所沢管理事務所		



Technical drawing of a shaft assembly. The shaft has a diameter of $\phi 18$ mm. Key dimensions include a total length of 530 mm, a distance of 174 mm from the left end to the first key, and a distance of 299 mm from the first key to the second key. The shaft is supported by bearings with a distance of 60 mm between them. The drawing is labeled "取り換え B.N" (Replacement B.N).

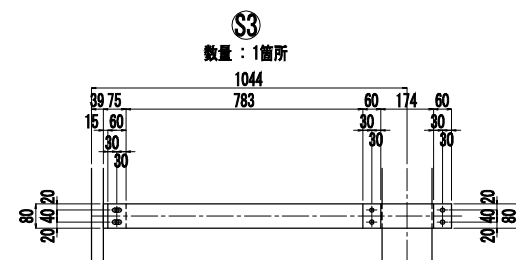
撤去数量
2 - B. N M12×40 <2-W付>
2 - B. N M12×45 <2-W付>

取り換え新設数量
2 - B. N M12×35 <1-U. Nut, 2-冊付>
2 - B. N M12×40 <1-U. Nut, 2-冊付>



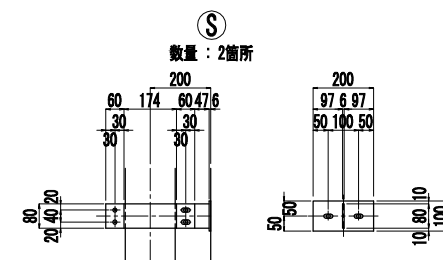
撤去数量
2 - B.N M12×40 <2-W付>
2 - B.N M12×45 <2-W付>

取り換え新設数量
2 - B.N M12×35 <1-U. Nut, 2-W付>
2 - B.N M12×40 <1-U. Nut, 2-W付>



撤去数量
2 - B. N M12×40 <2-付>
2 - B. N M12×50 <2-付>

取り換え新設数量
2 - B.N M12×35 <1-U. Nut. 2-付>
2 - B.N M12×45 <1-U. Nut. 2-付>



撤去数量
2 - B.N M12×40 <2-付>
2 - B.N M12×45 <2-付>
2 - ホールインアンカー M12

取り換え新設数量
2 - B.N M12×35 <1-U. Nut, 2-ワ付>
2 - B.N M12×40 <1-U. Nut, 2-ワ付>
2 - ホールインアンカー M12×125

取り換え ホールインアンカー

[illegible]

撤去数量

2 - PL	80 × 4.5 × 390
1 - PL	80 × 6 × 541
4 - B. N	M12 × 40 <2-W付>
2 - B. N	M12 × 45 <2-W付>



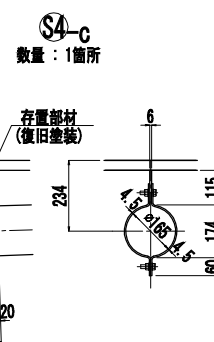
※印部以外存置部材
(復旧塗装)

Dimensions shown:

- Top View: 6, 2.6, 4.5, 105.5, 60, 22.5
- Side View: 80, 20, 40, 20, 32, 250, 95.5, 30, 30, 60, 22.5

撤去数量：6箇所
2 - PL 80×4.5×480
2 - B.N M12×40 <2-W付>
2 - B.N M12×45 <2-W付>

※ 撤去数量：2箇所
1 - PL 80×6×95
2 - PL 80×4.5×480
2 - B.N M12×40 <2-箇所>
2 - B.N M12×45 <2-箇所>



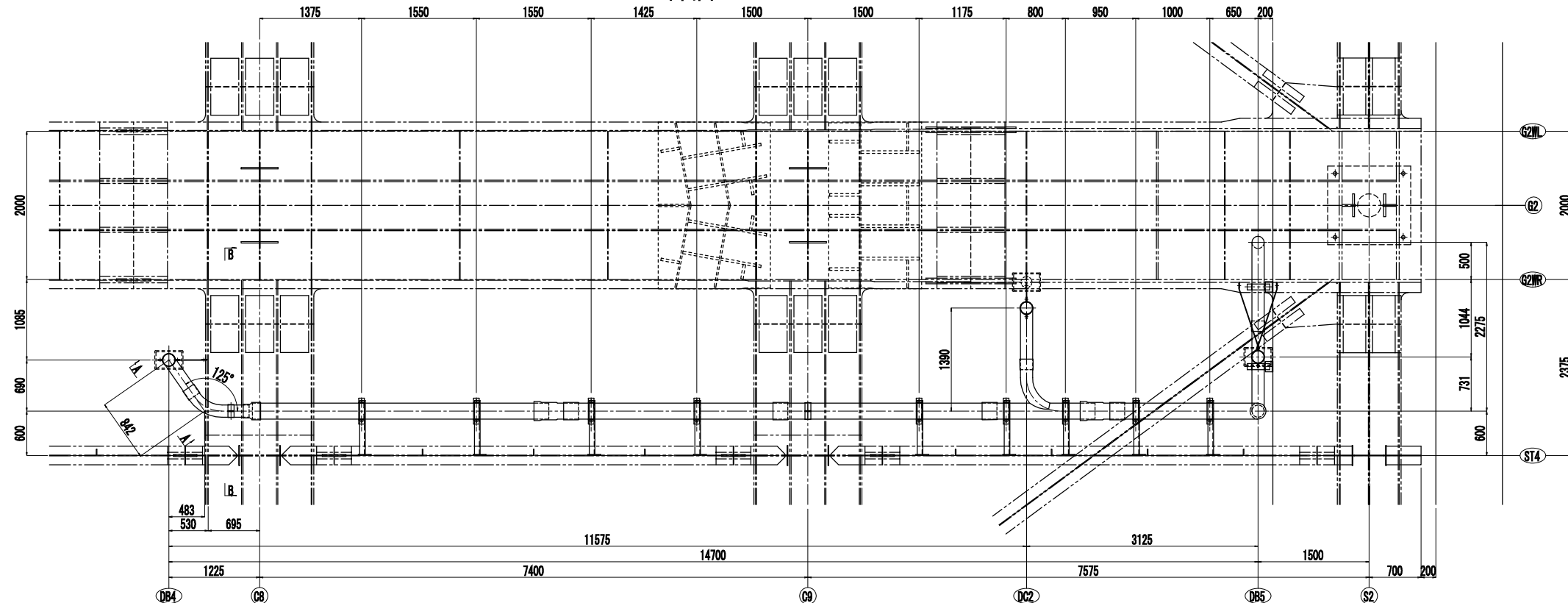
撤去数量

2 - PL	80×4.5×480
2 - B. N	M12×40 <2-W付>
2 - B. N	M12×45 <2-W付>

注)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. ナットは全て緩み止め機能付きとする。
3. ※印付部材以外は、全て落盤止め機能付きとする。
垂鉛の膜厚はJIS H 8641:2021 HDZT77とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及びボルト・ナット
ワッシャー類はHDZT49とする。

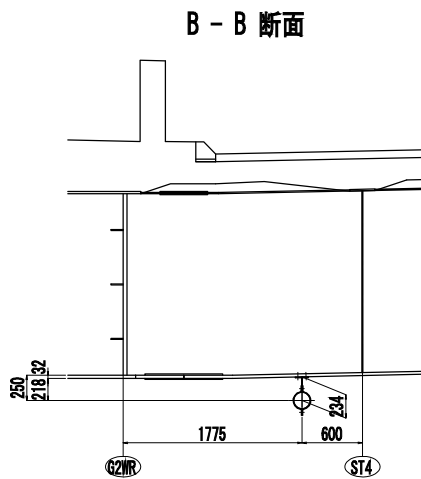
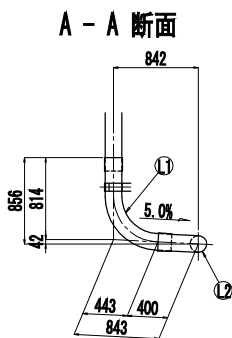
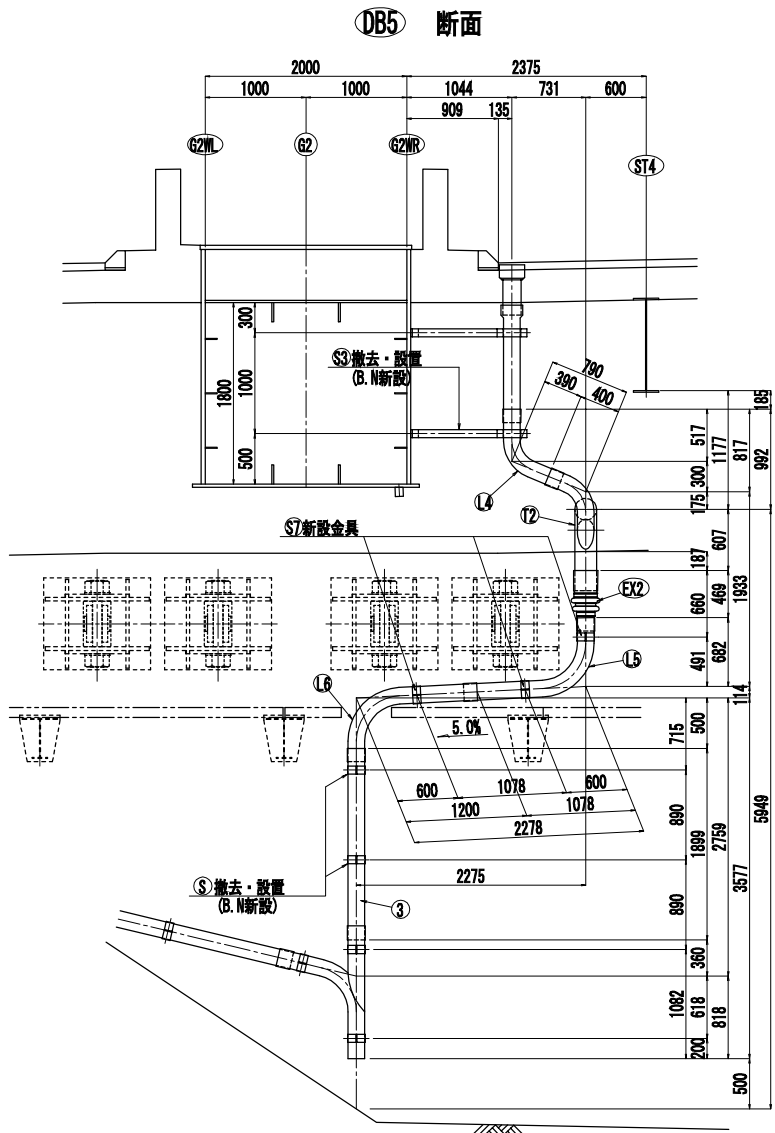
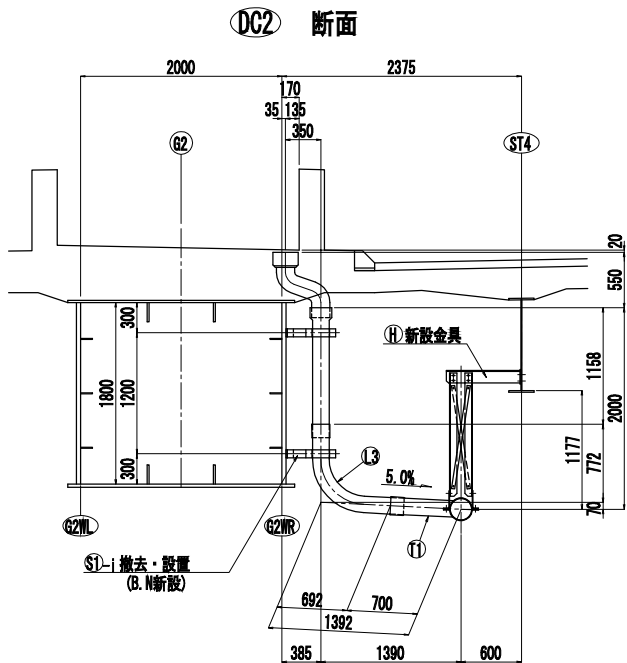
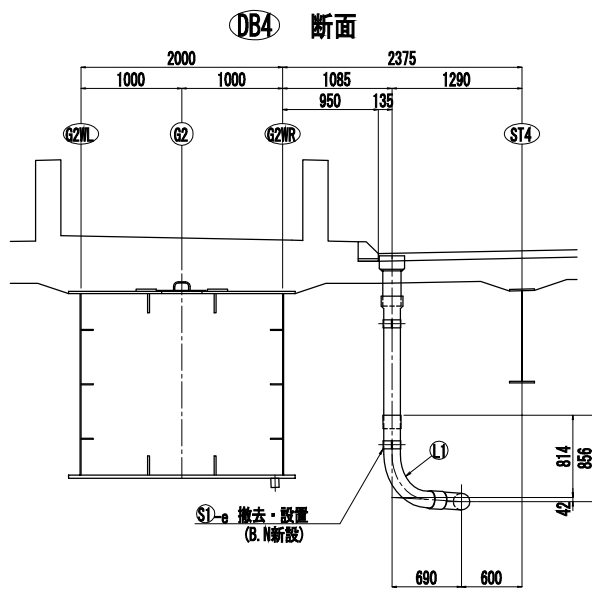
首都圏中央連絡自動車道 入間川高梁橋耐震補強工事			
牛 伏 橋			
図面の種類	撤去・設置工 詳細図（その2）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 富貴建設コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

平面图



注)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. ナットは全て緩み止め機能付きとする。
3. ※印付部材以外は、全て落盤亜鉛めっきとする。
亜鉛の膜厚はJIS H 8641:2021 HDZT77とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及びボルト・ナット
ワッシャ類はHDZT49とする。

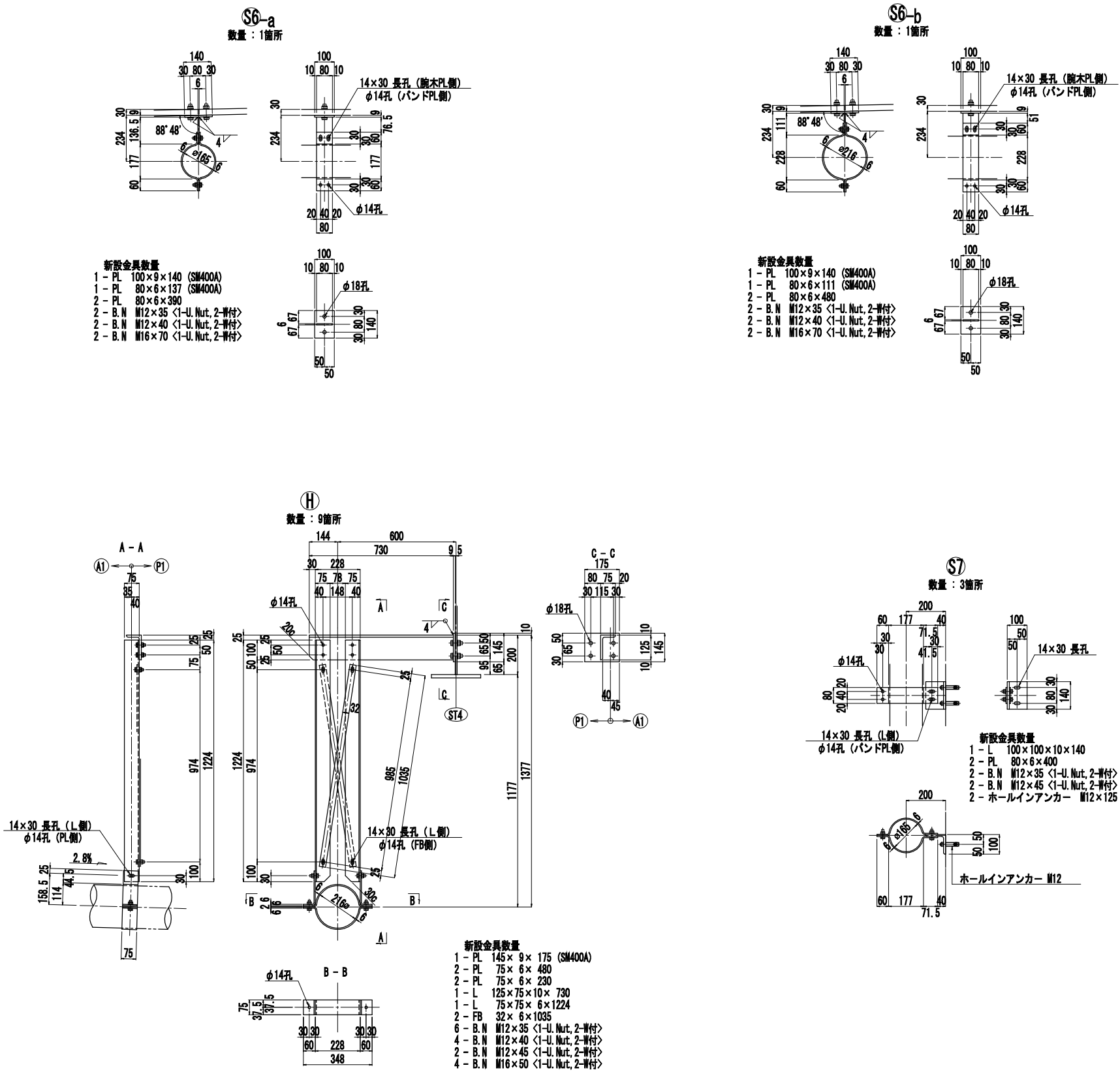
首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	牛沢橋 撤去・設置工 詳細図（その3）（参考図）		
縮 尺	1:75	図面番号	/
設計会社名	株式会社 富貴沢建設コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所沢管理事務所		



注)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. ナットは全て緩み止め機能付きとする。
3. ※印付部材以外は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の膜厚はJIS H 8641:2021 HDZ177とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及びボルト・ナット
ワッシャ類はHDZ149とする。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	牛沢橋		
	撤去・設置工 詳細図（その4）（参考図）		
縮 尺	1:75	図面番号	/
設計会社名	株式会社 富貴沢建設コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

牛沢橋 P1橋脚 排水管A 設置
新設金具詳細図



注)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. ナットは全て緩み止め機能付きとする。
3. ※印付部材以外は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の膜厚はJIS H 8641:2021 HDZT77とする。
但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及びボルト・ナット
ワッシャ類はHDZT49とする。

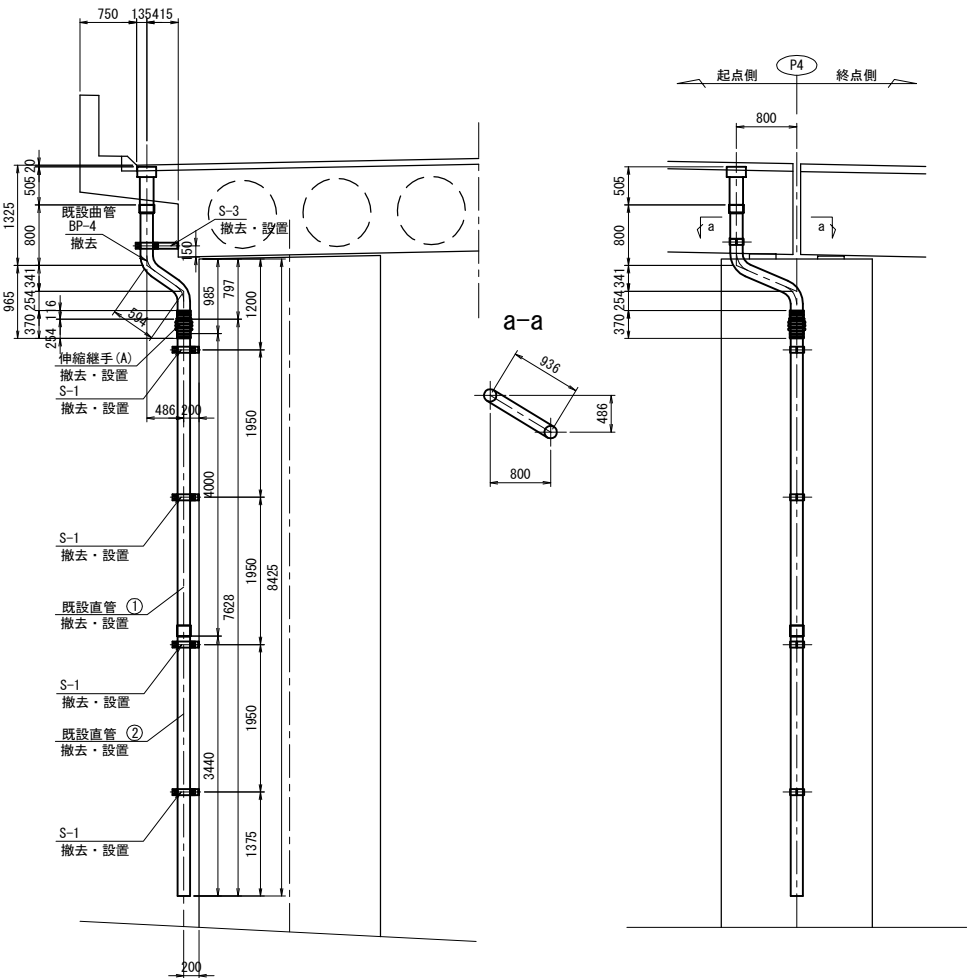
首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	牛沢橋 撤去・設置工 詳細図（その5）（参考図）		
縮 尺	1:25	図面番号	/
設計会社名	株式会社 富貴沢建設コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

撤去・設置工 詳細図（その8）（参考図）

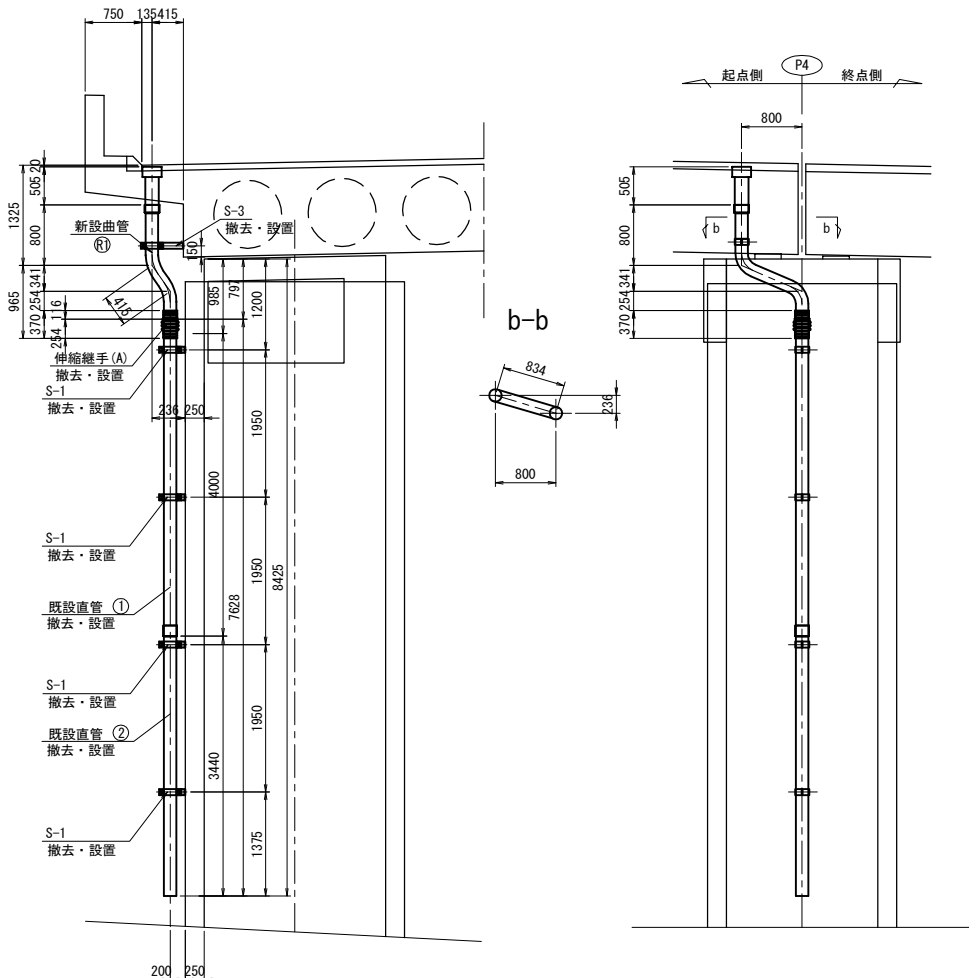
入間川高架橋 P4橋脚（上り線）排水管A

58/87

既設撤去図 S=1:100



設置図 S=1:100



排水撤去・設置 材料数量

〈撤去材料〉

支持金具

S-1 4個（コンクリートアンカーのみ）

曲管

BP-4 1-PIPE 150A x 2010（スリーブ付き）

〈撤去・設置数量〉

支持金具

S-1 4個

S-3 1個

直管

① 1-PIPE 150A x 4000（スリーブ付き）

② 1-PIPE 150A x 3580（スリーブ付き）

伸縮継手

A 1個

〈新設数量〉

支持金具

S-1 4個（コンクリートアンカーのみ）

曲管

① 1個

撤去流水延長 単位：(m)

下部工 VPI50A 2.010

撤去・設置流水延長 単位：(m)

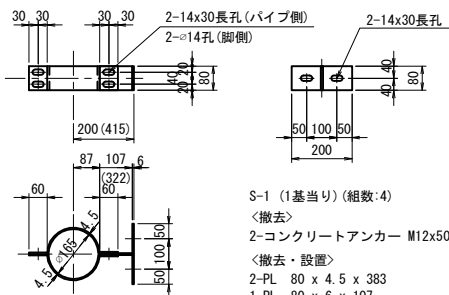
下部工 VPI50A 7.628

新設流水延長 単位：(m)

下部工 VPI50A 1.927

支持金具詳細 S=1:25

S-1 (S-3)



S-1 (1基当り) (組数:4)

〈撤去〉

2-コンクリートアンカー M12x50 (1-N, 1-W付)

〈撤去・設置〉

2-PL 80 x 4.5 x 383

1-PL 80 x 6 x 107

1-PL 80 x 6 x 200

4-BN M12 x 40

〈新設〉

2-コンクリートアンカー M12x120

S-3 (1基当り) (組数:1)

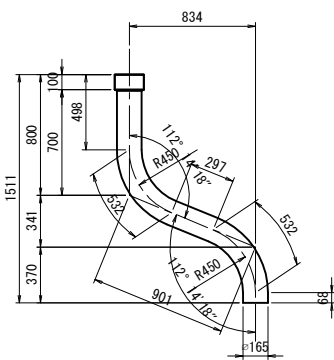
〈撤去・設置〉

2-PL 80 x 4.5 x 383

4-BN M12 x 40

加工管詳細 S=1:50

①

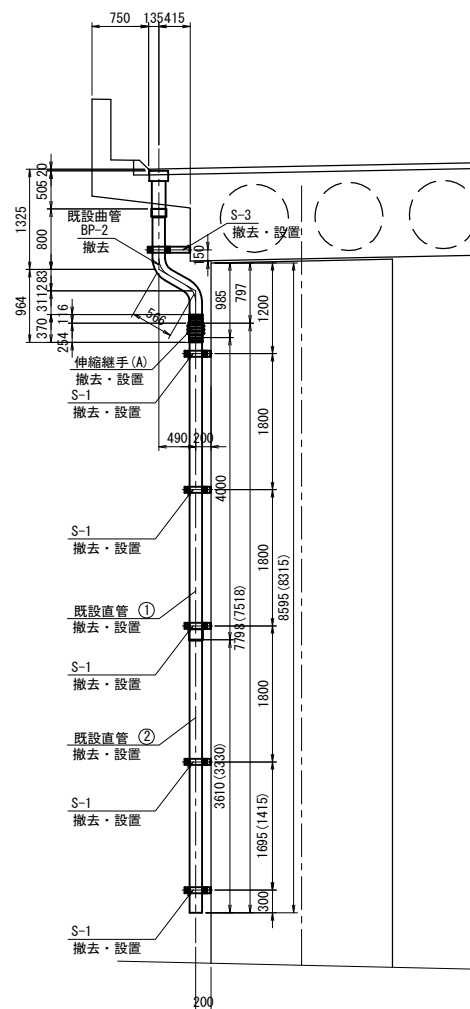


1-PIPE 150A x 1927（スリーブ付き）

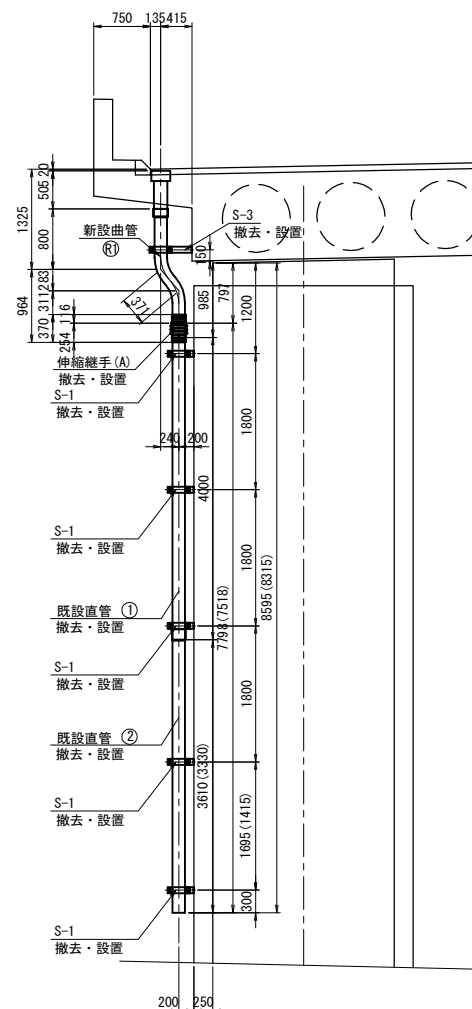
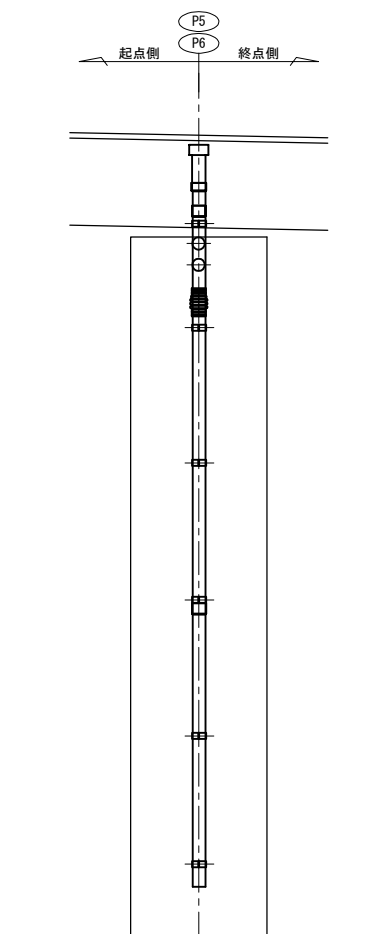
- 注）
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
亜鉛の膜厚はJIS H 8641:2021 HDZT77とする。但し、
厚さ3.2mm未満の鋼材及びボルト・ナット・ワッシャ
類はHDZT49とする。
 - ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mm
を標準とする。
 - 工場制作は現場実測確認のうえ行うものとする。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋		
	撤去・設置工 詳細図（その8）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

設置図 S=1:100



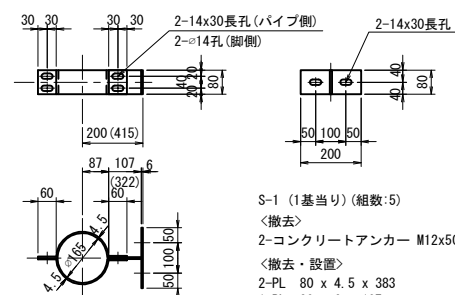
() 内寸法はP6橋脚を示す。



() 内寸法はP6橋脚を示す。

加工管詳細 S=1:50

S-1 (S-3)

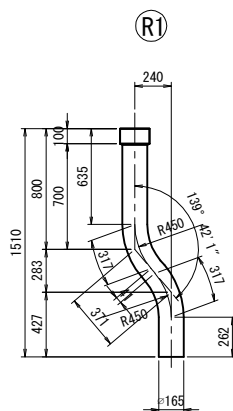


S-1 (1基当り) (組数:5)

＜撤去＞
2-コンクリートアンカー M12x50 (1-N, 1-W付)

＜撤去・設置＞
2-PL 80 x 4.5 x 383
1-PL 80 x 6 x 107
1-PL 80 x 6 x 200
4-BN M12 x 40

＜新設＞
2-コンクリートアンカー M12x120



1-PIPE 150A x 1572(スリーブ付き)

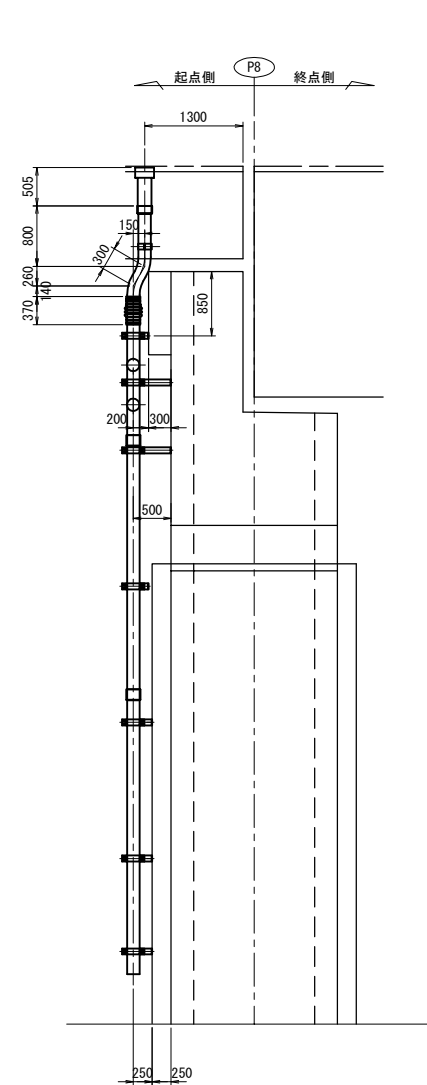
排水撤去・設置		材料数量
〈撤去材料〉		
支持金具		
S-1		5個 (コンクリートアンカーのみ)
曲管		
BP-2	1-PIPE 150A x 1730 (スリーブ付き)	
〈撤去・設置数量〉		
支持金具		
S-1		5個
S-3		1個
直管		
①	1-PIPE 150A x 4000 (スリーブ付き)	
②	1-PIPE 150A x 3750 (3470) (スリーブ付き)	
伸縮継手		
A		1個
〈新設数量〉		
支持金具		
S-1		5個 (コンクリートアンカーのみ)
曲管		
RI		1個
撤去流水延長		単位: (m)
下部工	VP150A	1. 730
撤去・設置流水延長		単位: (m)
下部工	VP150A	7. 798 (7. 518)
新設流水延長		単位: (m)
下部工	VP150A	1. 572

注)

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 部材は全て溶融鋳造めっき仕上とする。
亜鉛の膜厚はJIS H 8641:2021 H02T77とする。但し、
厚さ3.2mm未満の鋼材及びボルト・ナット・ワッシャー
類はH02T49とする。
3. ナットは全て緩み付くナットを使用すること。
4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mm
を標準とする。
5. 工場制作は現場実測確認のうえ行うものとする。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋対震補強工事	
図面の種類	撤去・設置工 詳細図（その９）（参考図）
縮 尺	図示 図面番号 /
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 沼沢管理事務所

設置図 S=1:100

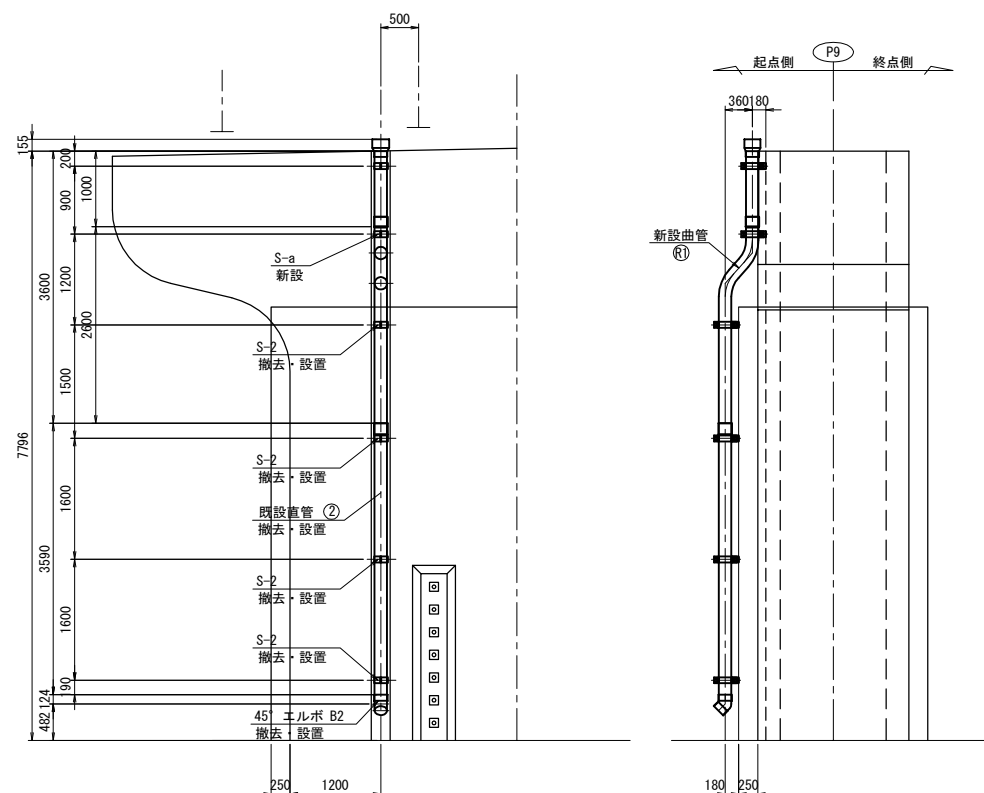


新設流水延長		単位: (m)
下部工	VP150A	1.345

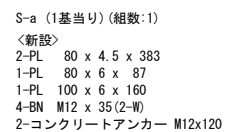
1-PIPE 150A x 1345(スリーブ付き)

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
入間川高架橋			
図面の種類	撤去・設置工 詳細図（その１０）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所沢管理事務所		

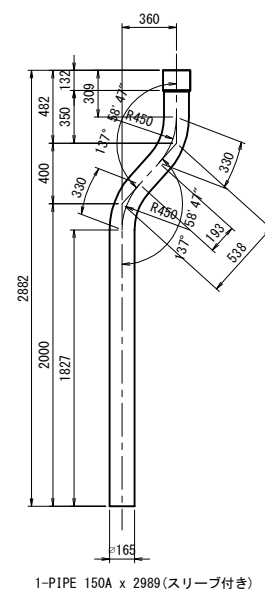
設置図 S=1:100



S-2, S-a



R1



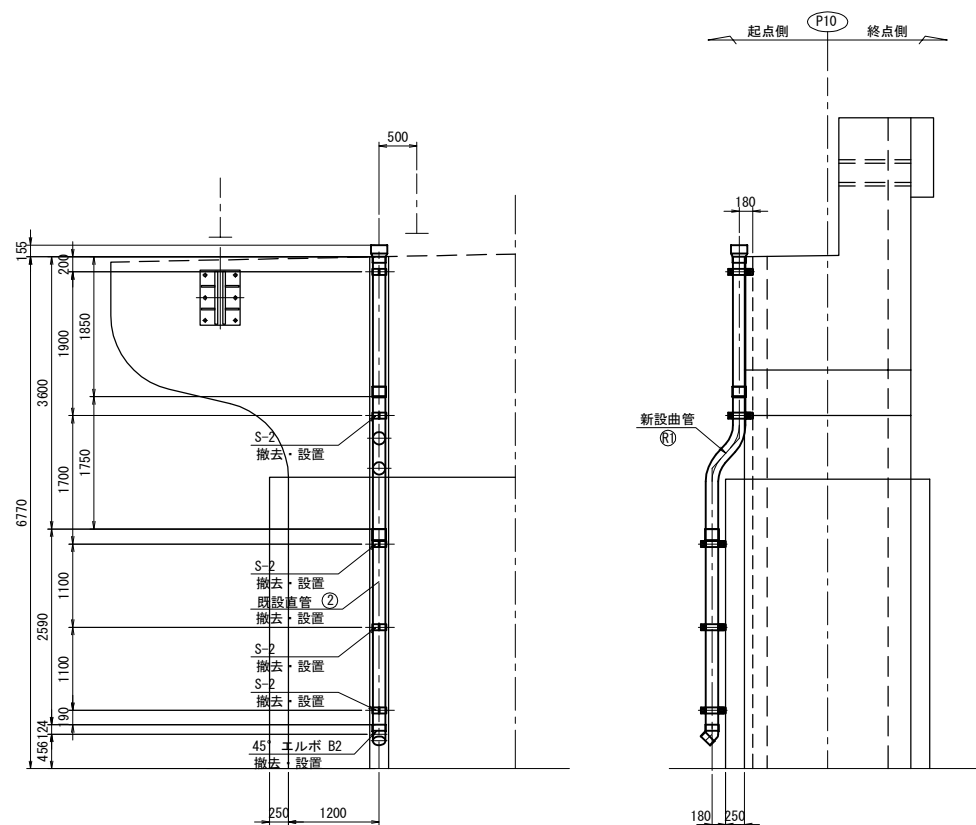
新設流水延長		単位: (m)
下部工	VP150A	2.989

注)

1. 特記な材質材は、全てSS400とする。
2. 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上とする。
部材の膜厚はJIS H 8641:2021 H2T77とする。但し、
厚さ3.2mm未満の鋼材及びボルト・ナット・ワッシャー
類はH2T49とする。
3. ナットは全て緩み防止のナットを使用すること。
4. ボルト孔は、めっき付着量を考慮し、ボルト径+3mm
を標準とする。
5. 工場制作は現場実測確認のうえ行うものとする。

	首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事		
図面の種類	入間川高架橋 撤去・設置工 詳細図（その１１）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	バシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

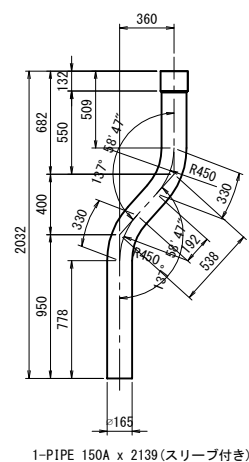
設置図 S=1:100



新設流水延長		單位: (m)
下部工	VP150A	2 139

S=1 : 50

R1

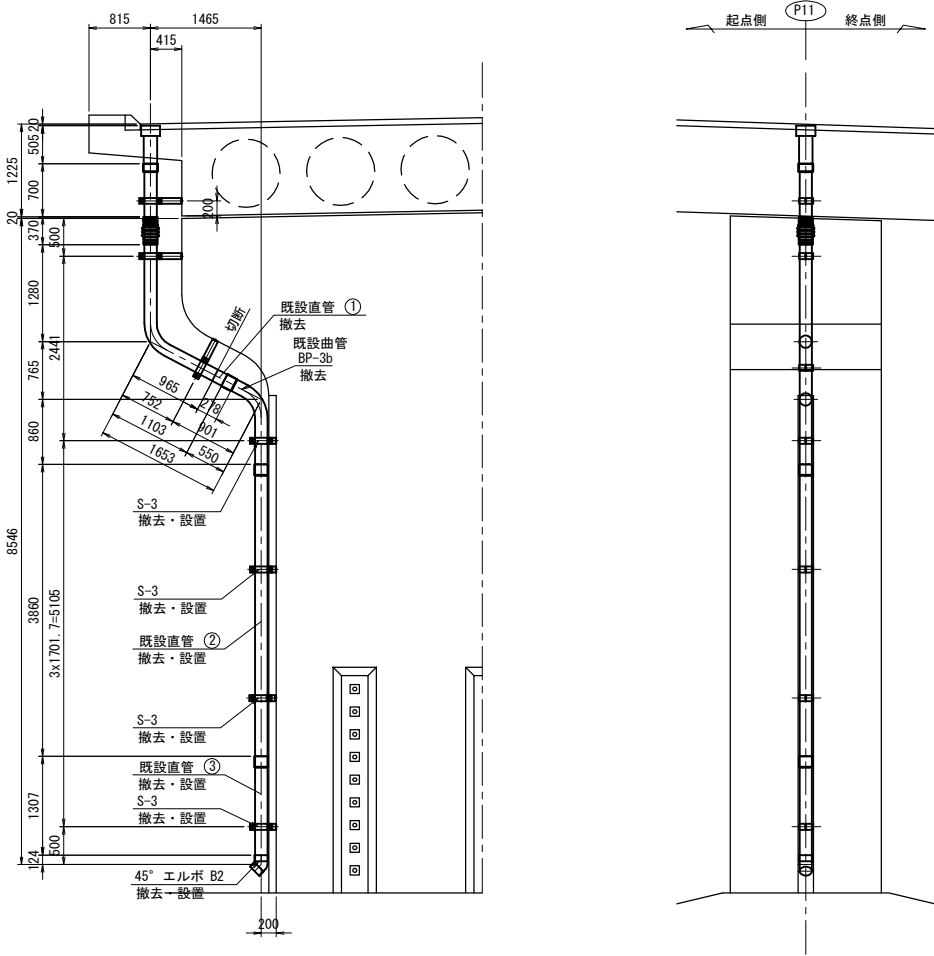


	首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事		
図面の種類	入間川高架橋 撤去・設置工 詳細図（その１２）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

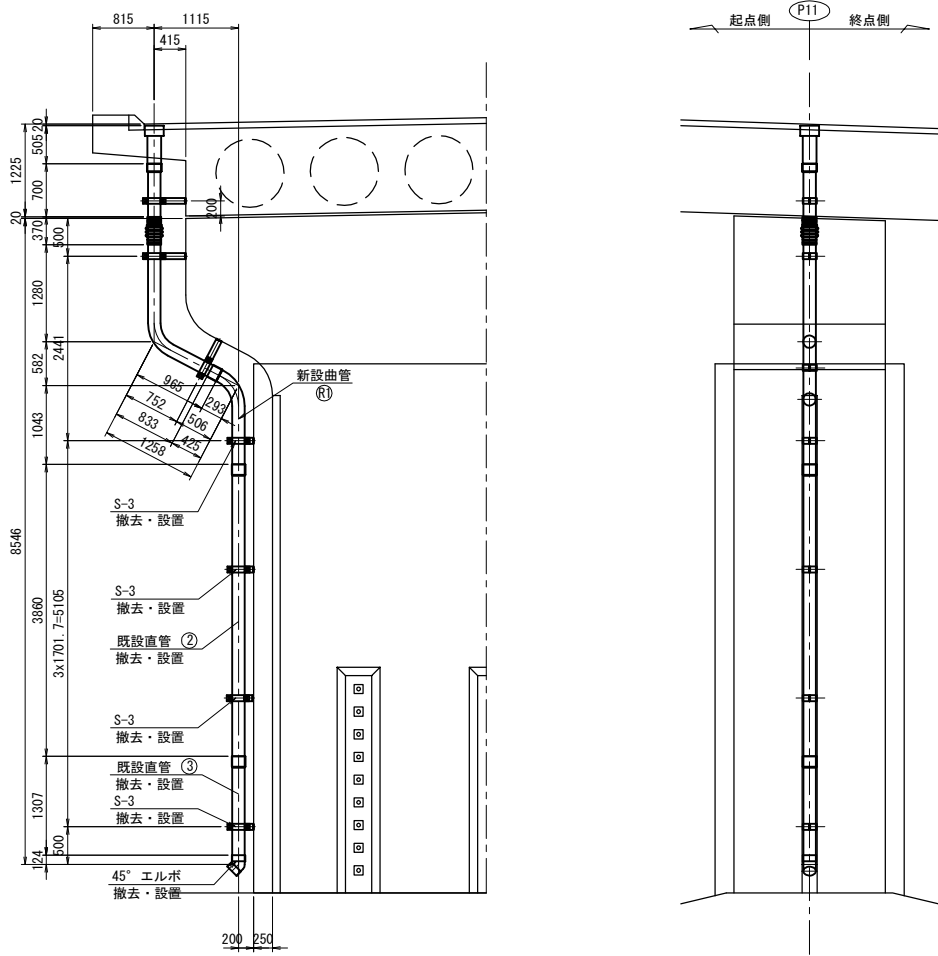
撤去・設置工 詳細図（その１３）（参考図）

入間川高架橋 P11橋脚（上り線）排水管A

既設撤去図 S=1:100



設置図 S=1:100



排水撤去・設置 材料数量

〈撤去材料〉

支持金具

S-3 4個（コンクリートアンカーのみ）

直管

① 1-PIPE 150A x 278

曲管

BP-3b 1-PIPE 150A x 1502(スリーブ付き)

〈新設数量〉

支持金具

S-3 4個

直管

② 1-PIPE 150A x 4000(スリーブ付き)

③ 1-PIPE 150A x 1387(スリーブ付き)

45° エルボ

B2 1個

〈新設数量〉

支持金具

S-3 4個（コンクリートアンカーのみ）

曲管

R1 1個

撤去流水延長 単位：(m)

下部工	VP150A	1.502+0.278-0.140=1.640
-----	--------	-------------------------

撤去・設置流水延長 単位：(m)

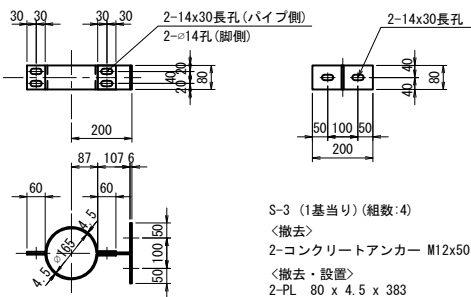
下部工	VP150A	3.860+1.307+0.124=5.291
-----	--------	-------------------------

新設流水延長 単位：(m)

下部工	VP150A	1.552
-----	--------	-------

支持金具詳細 S=1:25

S-3



S-3 (1基当り) (組数:4)

〈撤去〉

2-コンクリートアンカー M12x50 (1-N, 1-W付)

〈撤去・設置〉

2-PL 80 x 4.5 x 383

1-PL 80 x 6 x 107

1-PL 80 x 6 x 200

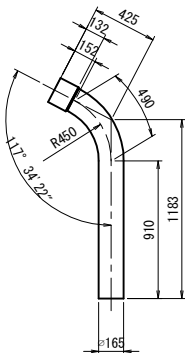
4-BN M12 x 40

〈新設〉

2-コンクリートアンカー M12x120

加工管詳細 S=1:50

R1



1-PIPE 150A x 1552(スリーブ付き)

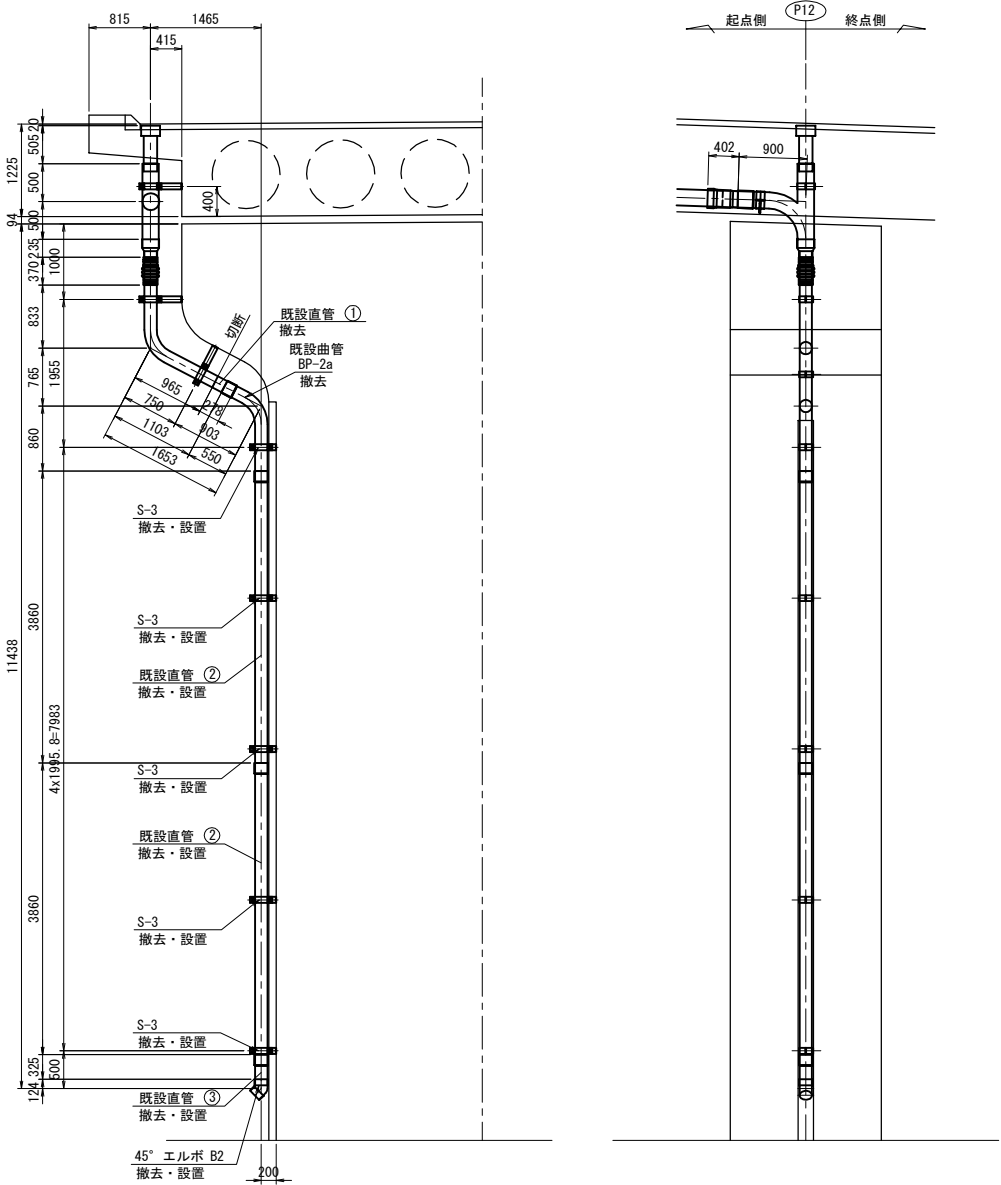
- 注)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
垂鉛の膜厚はJIS H 8641:2021 HDZT77とする。但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及びボルト・ナット・ワッシャ類はHDZT49とする。
 3. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
 5. 工場制作は現場実測確認のうえ行うものとする。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋		
	撤去・設置工 詳細図（その１３）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

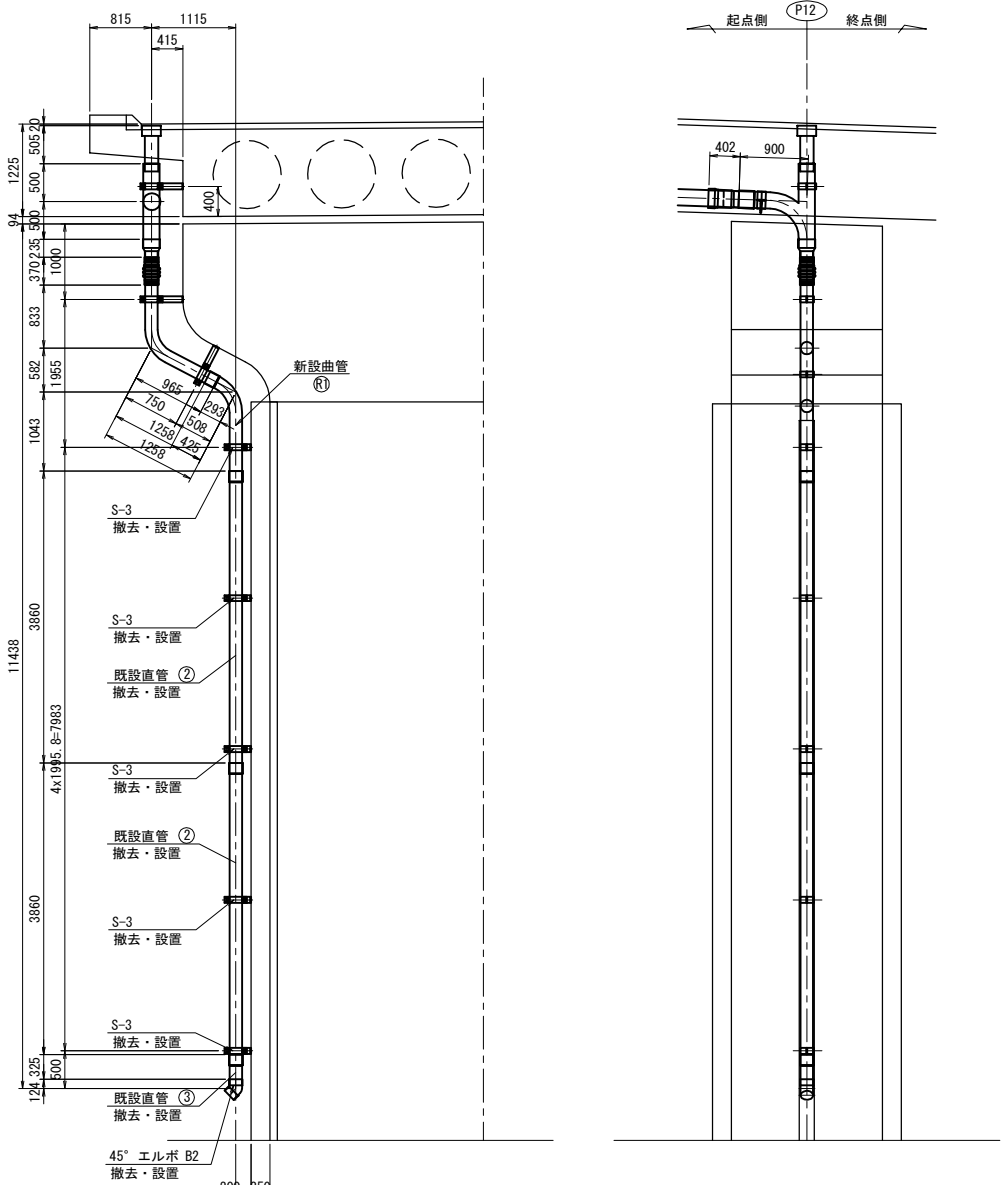
撤去・設置工 詳細図（その１４）（参考図）

入間川高架橋 P12橋脚（上り線）排水管A

既設撤去図 S=1:100



設置図 S=1:100



排水撤去・設置 材料数量

＜撤去材料＞

支持金具

S-3 5個（コンクリートアンカーのみ）

直管

① 1-PIPE 150A x 278

曲管

BP-2a 1-PIPE 150A x 1502(スリーブ付き)

＜撤去・設置数量＞

支持金具

S-3 5個

直管

② 2-PIPE 150A x 4000(スリーブ付き)

③ 1-PIPE 150A x 405(スリーブ付き)

45° エルボ

B2 1個

＜新設数量＞

支持金具

S-3 5個（コンクリートアンカーのみ）

曲管

(R) 1個

撤去流水延長 単位：(m)

下部工	VP150A	1.502+0.278-0.140=1.640
-----	--------	-------------------------

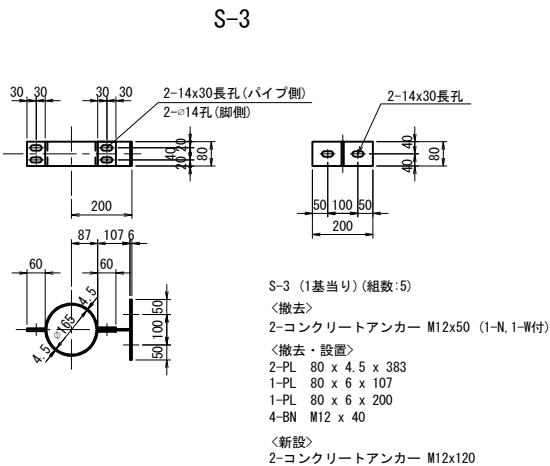
撤去・設置流水延長 単位：(m)

下部工	VP150A	3.860*2+0.325+0.124=8.169
-----	--------	---------------------------

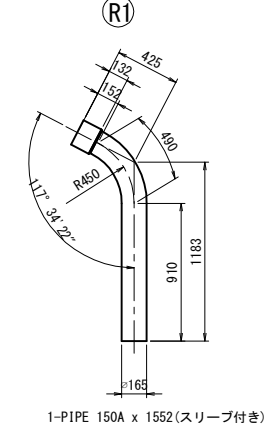
新設流水延長 単位：(m)

下部工	VP150A	1.552
-----	--------	-------

支持金具詳細 S=1:25

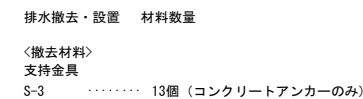


加工管詳細 S=1:50



- 注)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
亜鉛の膜厚はJIS H 8641:2021 HDZT77とする。但し、
厚さ3.2mm未満の鋼材及びボルト・ナット・ワッシャ
類はHDZT49とする。
 3. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mm
を標準とする。
 5. 工場制作は現場実測確認のうえ行うものとする。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 撤去・設置工 詳細図（その１４）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		



直管
④ 1-PIPE 150A x 399
⑤ 1-PIPE 150A x 397

曲管
BP-2b 2-PIPE 150A x 1502(スリーブ付き)

〈撤去・設置数量〉

支持金具
S-3 13個

直管

①	4-PIPE 150A x 4000(スリーブ付き)
②	1-PIPE 150A x 1940(スリーブ付き)
③	1-PIPE 150A x 2015(スリーブ付き)

45° エルボ 2個

〈新設数量〉

支持金具
S-3 13個 (コンクリートアンカーのみ)

曲管
(R1) 2個

撤去・設置流水延長		単位: (m)
下部工	VP150A	3.860*4+1.860+1.935+0.124*2=19.483

新設流水延長		単位: (m)
下部工	VP150A	1.675*2=3.350

注)

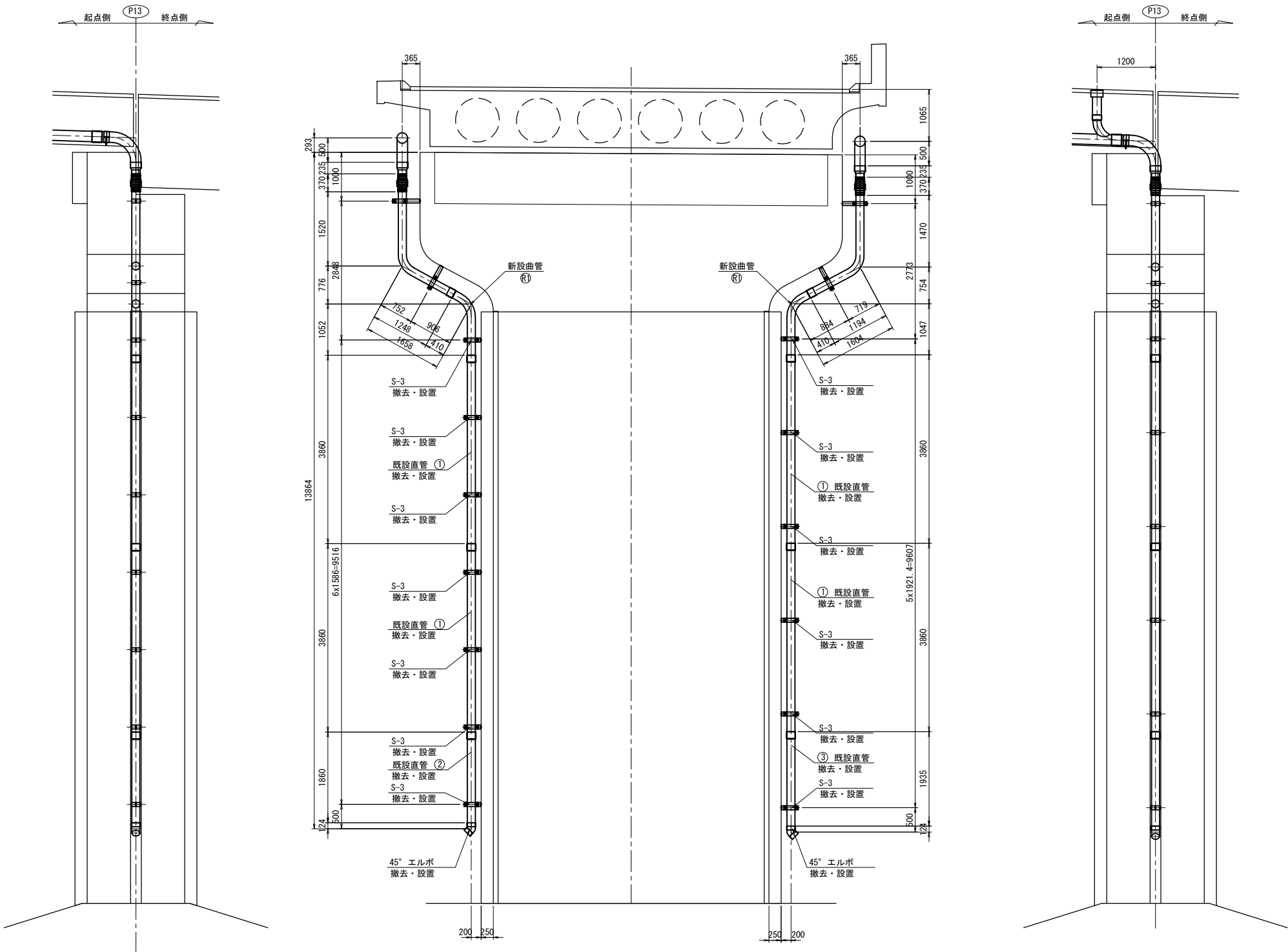
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上とする。
金輪の膜厚はJIS H 8641:2021 HDZT77とする。但し、
厚さ3.2mm未満の鋼材及びボルト・ナット・ワッシャー
類はHDZT49とする。
3. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mm
を標準とする。
5. 工場制作は現場実測確認のうえ行うものとする。

首都圏中央連絡自動車道			
入間川高架耐震補強工事			
入間川高架橋			
図面の種類	撤去・設置図 詳細図（その１５）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

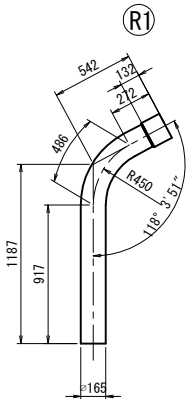
撤去・設置工 詳細図（その１６）（参考図）

入間川高架橋 P13橋脚（上り線）排水管A

設置図 S=1:100



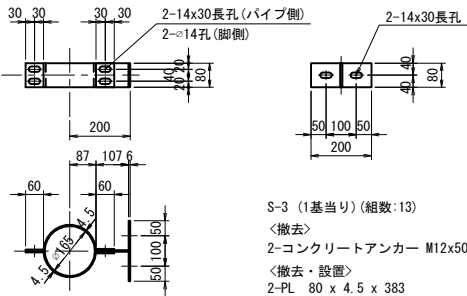
加工管詳細 S=1:50



2-PIPE 150A x 1675 (スリーブ付き)

支持金具詳細 S=1:25

S-3



S-3 (1基当り) (組数:13)
<撤去>
2-コンクリートアンカー M12x50 (1-N, 1-W付)
<撤去・設置>
2-PL 80 x 4.5 x 383
1-PL 80 x 6 x 107
1-PL 80 x 6 x 200
4-BN M12 x 40
<新設>
2-コンクリートアンカー M12x120

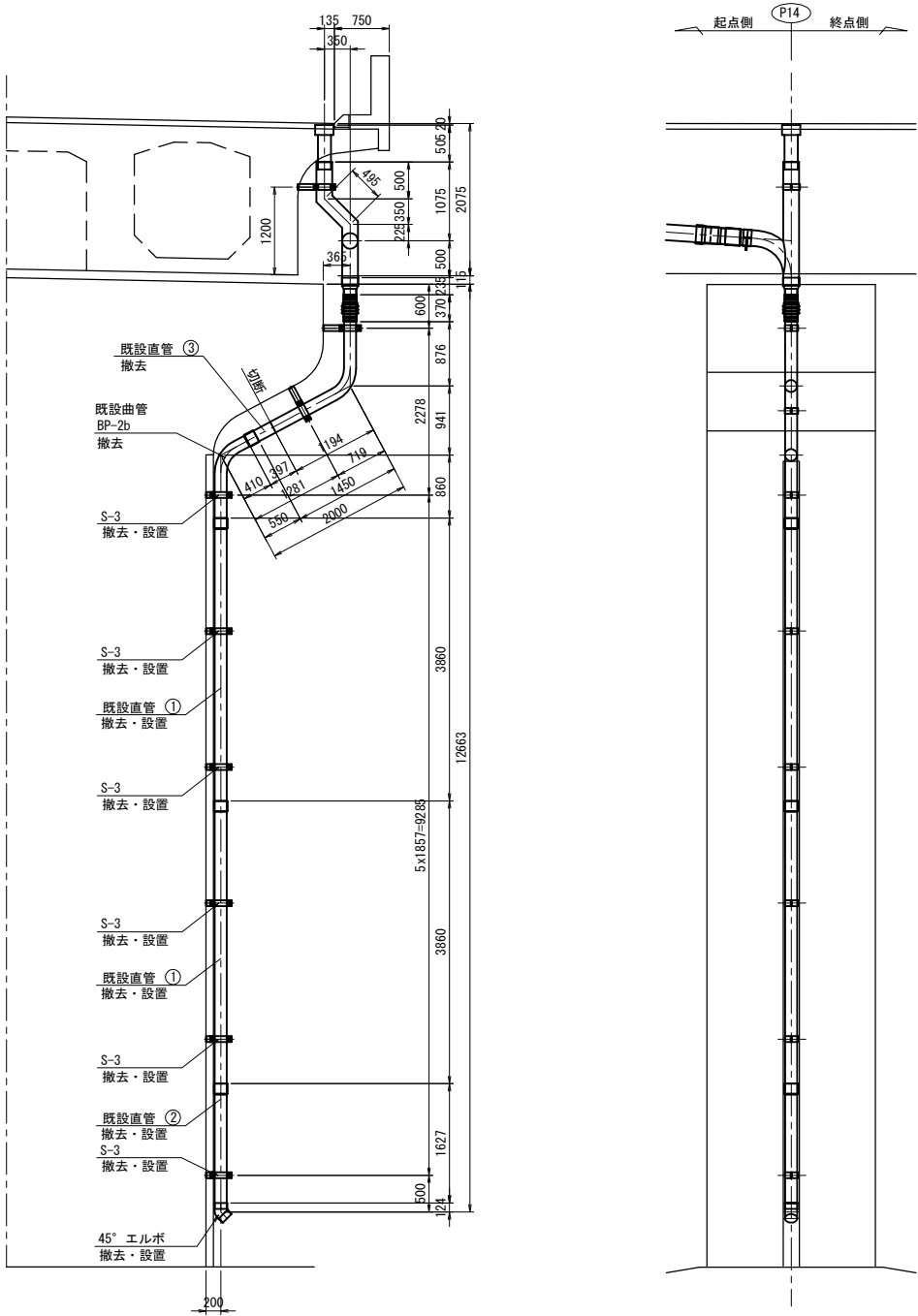
- 注)
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
亜鉛の膜厚はJIS H 8641:2021 HDZT77とする。但し、
厚さ3.2mm未満の鋼材及びボルト・ナット・ワッシャ
類はHDZT49とする。
 - ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mm
を標準とする。
 - 工場制作は現場実測確認のうえ行うものとする。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋		
	撤去・設置工 詳細図（その１６）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

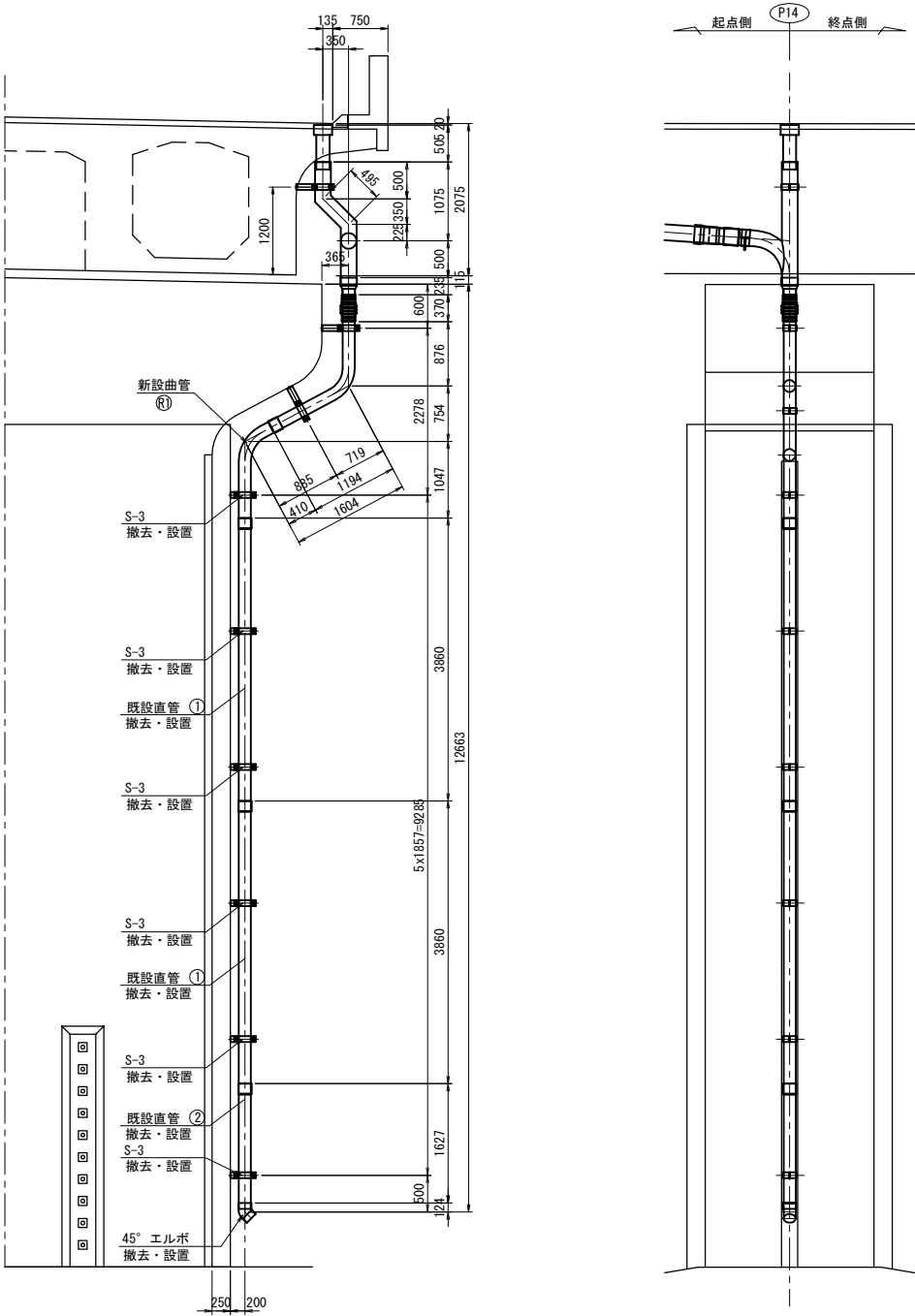
撤去・設置工 詳細図（その１７）（参考図）

入間川高架橋 P14橋脚（上り線）排水管A

既設撤去図 S=1:100



設置図 S=1:100



排水撤去・設置 材料数量

＜撤去材料＞

支持金具

S-3 6個（コンクリートアンカーのみ）

直管

③ 1-PIPE 150A x 397

曲管

BP-2b 1-PIPE 150A x 1502(スリーブ付き)

＜撤去・設置数量＞

支持金具

S-3 6個

直管

① 2-PIPE 150A x 4000(スリーブ付き)

② 1-PIPE 150A x 1707(スリーブ付き)

45° エルボ

..... 1個

＜新設数量＞

支持金具

S-3 6個（コンクリートアンカーのみ）

曲管

① 1個

撤去流水延長 単位：(m)

下部工	VP150A	0.397+1.502=1.899
-----	--------	-------------------

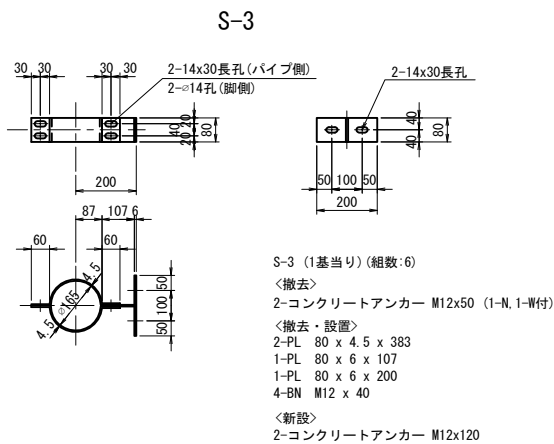
撤去・設置流水延長 単位：(m)

下部工	VP150A	3.860*2+1.627+0.124=9.471
-----	--------	---------------------------

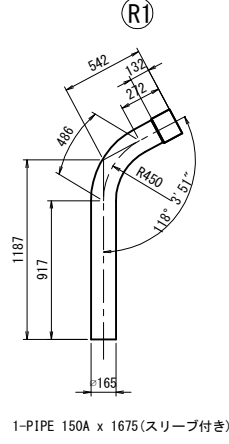
新設流水延長 単位：(m)

下部工	VP150A	1.675
-----	--------	-------

支持金具詳細 S=1:25



加工管詳細 S=1:50



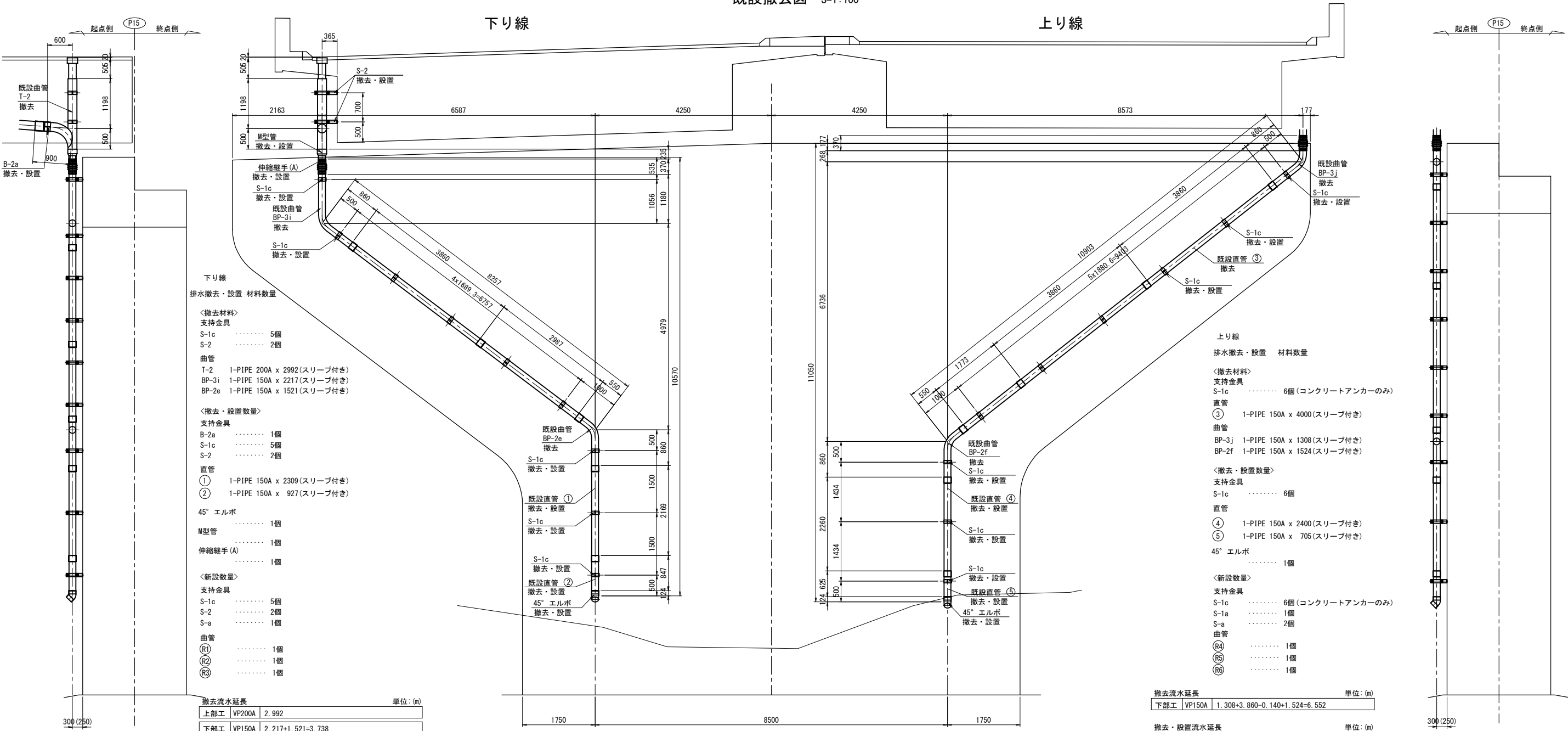
- 注）
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
垂鉛の膜厚はJIS H 8641:2021 HDZT77とする。但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及びボルト・ナット・ワッシャ類はHDZT49とする。
 3. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
 5. 工場制作は現場実測確認のうえ行うものとする。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 撤去・設置工 詳細図（その１７）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

撤去・設置工 詳細図（その１８）（参考図）

入間川高架橋 P15橋脚（上り線）排水管A

既設撤去図 S=1:100



下り線
排水撤去・設置 材料数量

- <撤去材料>
支持金具
S-1c 5個
S-2 2個
曲管
T-2 1-PPIPE 200A x 2992 (スリーブ付き)
BP-3i 1-PPIPE 150A x 2217 (スリーブ付き)
BP-2e 1-PPIPE 150A x 1521 (スリーブ付き)
<撤去・設置数量>
支持金具
B-2a 1個
S-1c 5個
S-2 2個
直管
① 1-PPIPE 150A x 2309 (スリーブ付き)
② 1-PPIPE 150A x 927 (スリーブ付き)
45° エルボ 1個
M型管 1個
伸縮継手 (A) 1個
<新設数量>
支持金具
S-1c 5個
S-2 2個
S-a 1個
曲管
(R1) 1個
(R2) 1個
(R3) 1個

撤去流水延長			単位: (m)
上部工	VP200A	2.992	
下部工	VP150A	2.217+1.521=3.738	

撤去・設置流水延長			単位: (m)
下部工	VP150A	0.235+0.370+2.169+0.847+0.124=3.745	

新設流水延長			単位: (m)
上部工	VP200A	2.592	
下部工	VP150A	2.375+1.824=4.199	

上り線
排水撤去・設置 材料数量

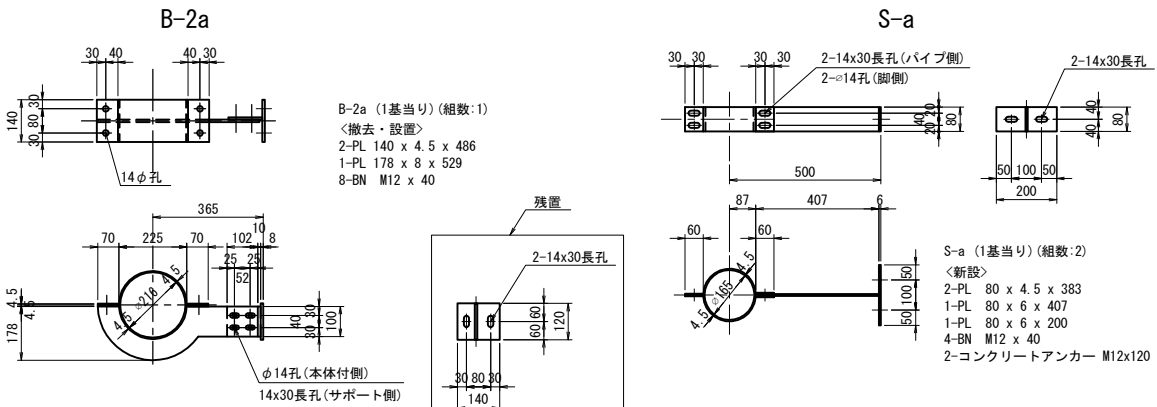
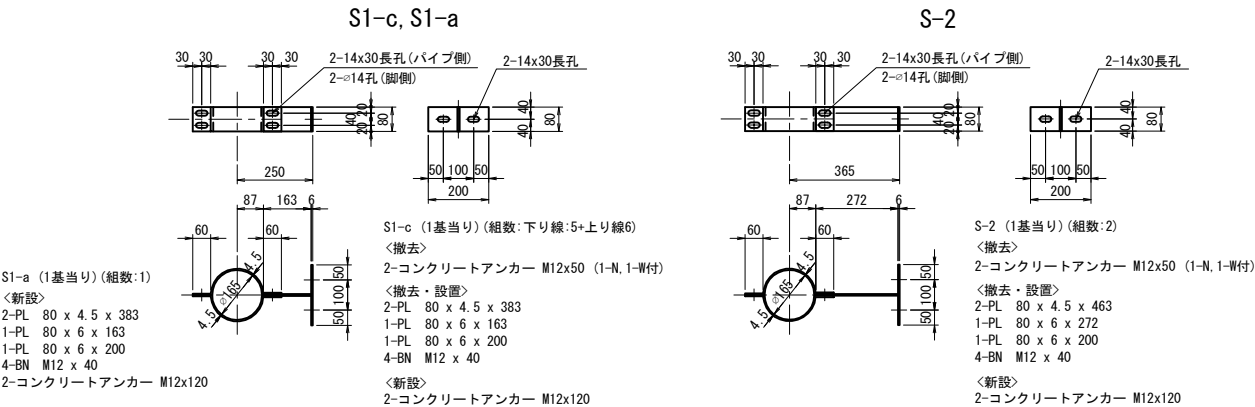
- <撤去材料>
支持金具
S-1c 6個 (コンクリートアンカーのみ)
直管
③ 1-PPIPE 150A x 4000 (スリーブ付き)
曲管
BP-3j 1-PPIPE 150A x 1308 (スリーブ付き)
BP-2f 1-PPIPE 150A x 1524 (スリーブ付き)
<撤去・設置数量>
支持金具
S-1c 6個
直管
④ 1-PPIPE 150A x 2400 (スリーブ付き)
⑤ 1-PPIPE 150A x 705 (スリーブ付き)
45° エルボ 1個
<新設数量>
支持金具
S-1c 6個 (コンクリートアンカーのみ)
S-1a 1個
S-a 2個
曲管
(R4) 1個
(R5) 1個
(R6) 1個

撤去流水延長			単位: (m)
下部工	VP150A	1.308+3.860+0.140+1.524=6.552	

撤去・設置流水延長			単位: (m)
下部工	VP150A	2.260+0.625+0.124=3.009	

新設流水延長			単位: (m)
下部工	VP150A	1.819+2.851+2.918=7.588	

支持金具詳細 S=1:25



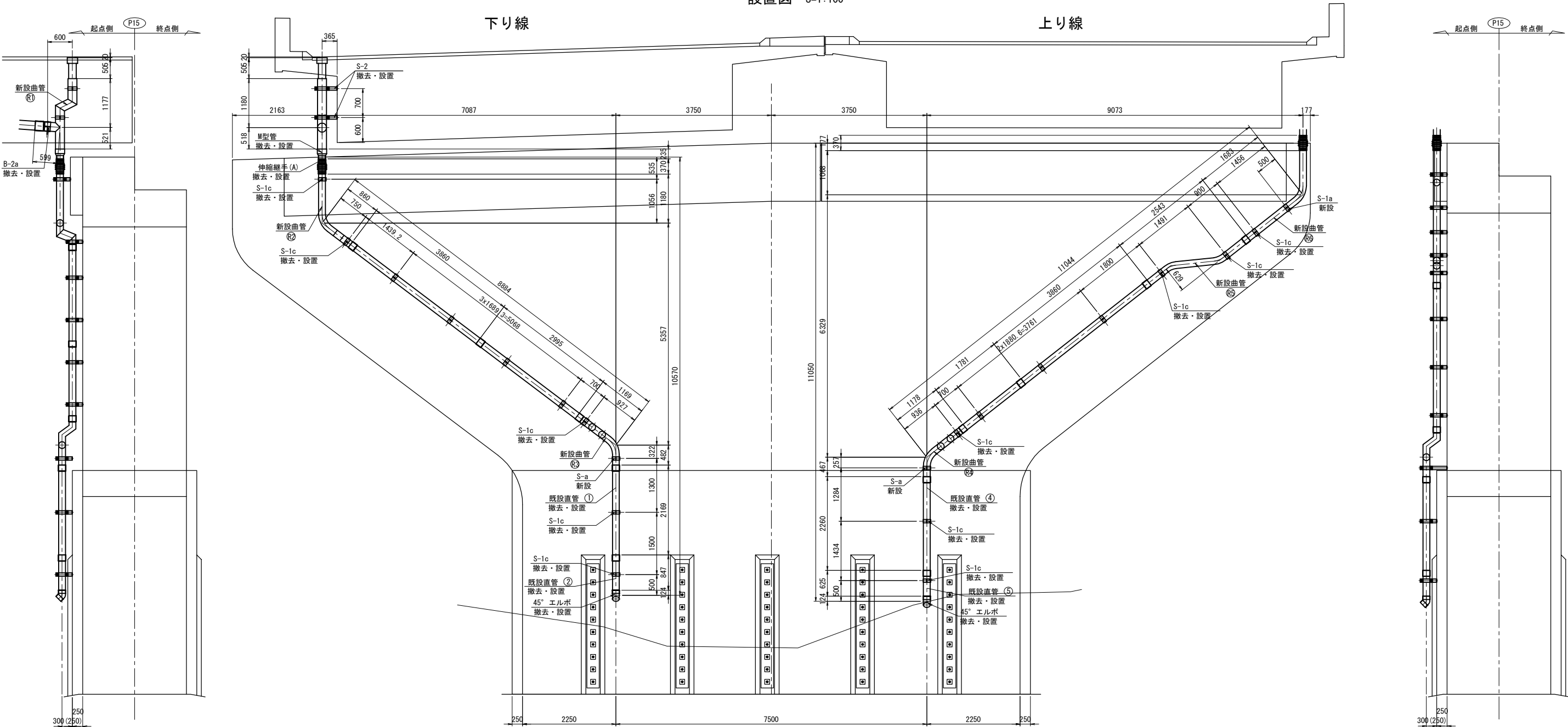
- 注)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
垂鉛の膜厚はJIS H 8641:2021 HDZT77とする。但し、
厚さ3.2mm未満の鋼材及びボルト・ナット・ワッシャ
類はHDZT49とする。
3. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mm
5. 工場制作は現場実測確認のうえ行うものとする。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 撤去・設置工 詳細図（その１８）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

撤去・設置工 詳細図（その１９）（参考図）

入間川高架橋 P15橋脚（上り線）排水管A

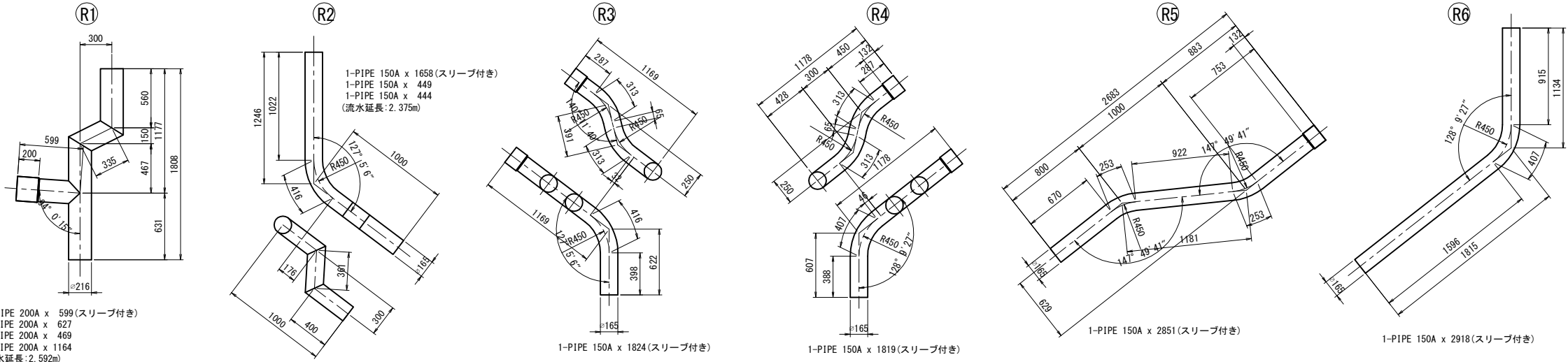
設置図 S=1:100



()内は橋軸直角方向を示す。

()内は橋軸直角方向を示す。

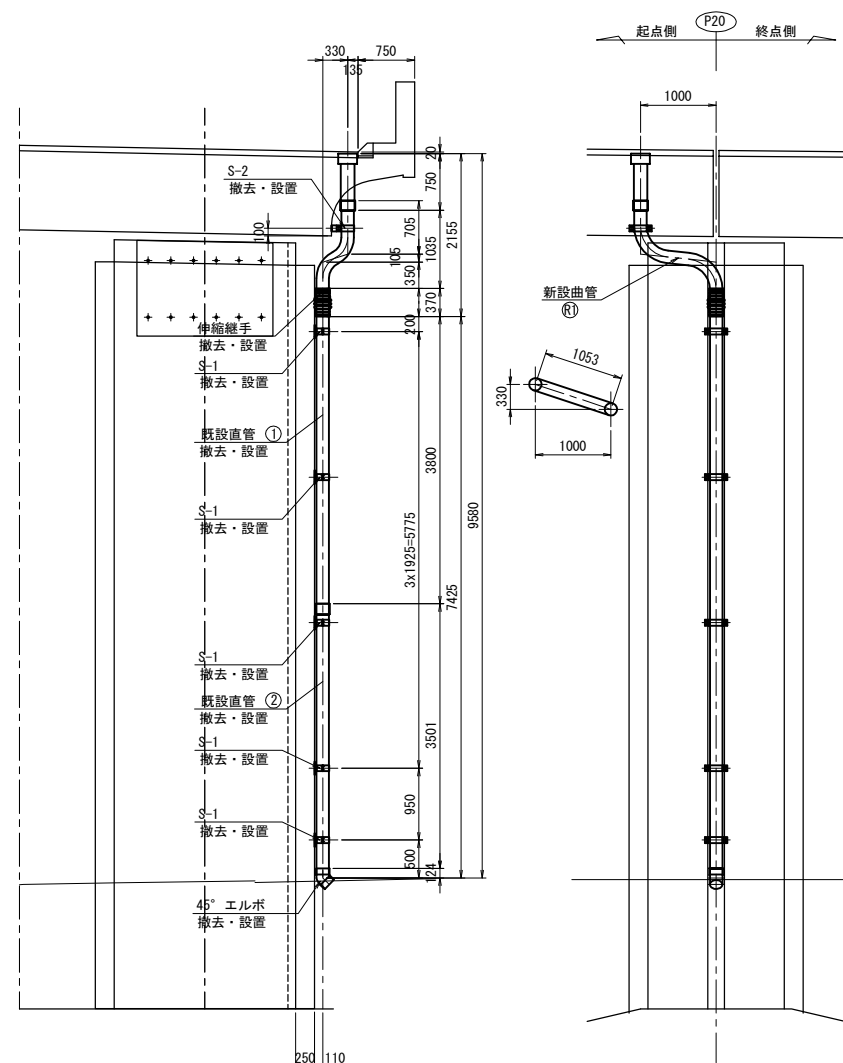
加工管詳細 S=1:50



- 注)
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。垂鉛の膜厚はJIS H 8641:2021 HDZT77とする。但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及びボルト・ナット・ワッシャ類はHDZT49とする。
 - ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
 - 工場制作は現場実測確認のうえ行うものとする。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 撤去・設置工 詳細図（その１９）（参考図）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

設置図 S=1:100



BP-1 1-PIPE 150A x 1599(スリーブ付き)

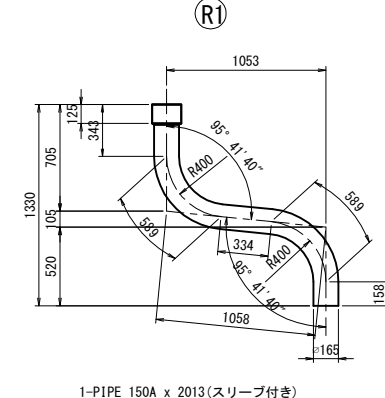
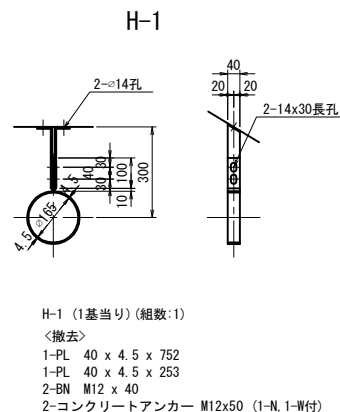
..... 1個

S-1 518

(R1) 1個

新設流水延長		単位: (m)
下部工	VP150A	2.013

加工管詳細 S=1:50



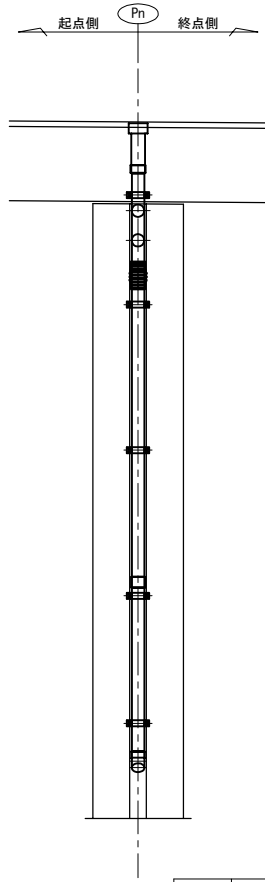
注)

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上とする。
3. 厚さの底厚はJIS H 8641:2021 HDT77とする。但し、重量3.2mm未満の鋼材及びボルト・ナット・ワッシャー類はHDT49とする。
4. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
5. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
5. 工場制作は現場実測確認のうえ行うものとする。

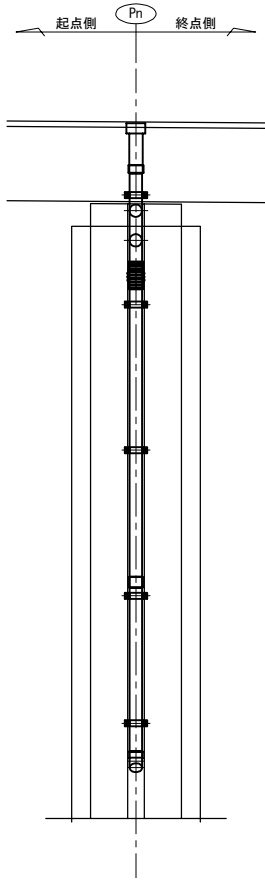
首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 撤去・設置工 詳細図（その２０）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 沼沢管理事務所		

撤去・設置工 詳細図（その２１）（参考図）
入間川高架橋 P21-P28, P30-P33, P36, P38-P40橋脚（上り線）排水管A

既設撤去図 S=1:100

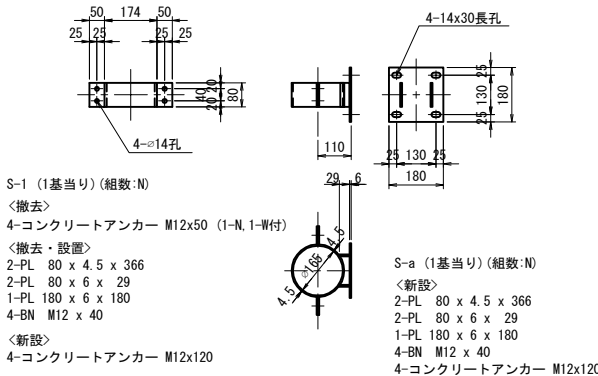


設置図 S=1:100

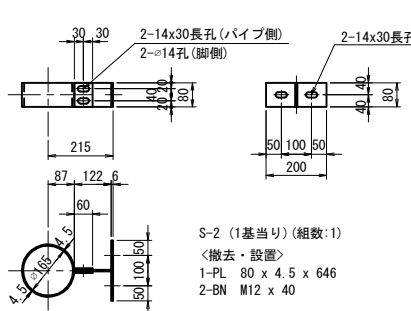


	H1	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	N
P21	8455	6237	2313	1925	3850	1687	2393	6.607	4
P22	8068	5850	1926	1925	3850	1300	2006	6.220	4
P23	7485	5267	1343	1925	3850	717	1423	5.637	4
P24	6833	4615	691	1957.5	3915	0	771	4.985	3
P25	6478	4260	336	1780	3560	0	416	4.630	3
P26	6453	4235	311	1767.5	3535	0	391	4.605	3
P27	6459	4241	317	1770.5	3541	0	397	4.611	3
P28	6496	4278	354	1789	3578	0	434	4.648	3
P30	6667	4449	525	1874.5	3749	0	605	4.819	3
P31	6800	4582	658	1941	3882	0	738	4.952	3
P32	6964	4746	822	2023	4046	0	902	5.116	3
P33	7161	4943	1019	1925	3850	393	1099	5.313	4
P36	7888	5670	1746	1925	3850	1120	1826	6.040	4
P38	8392	6174	2250	1925	3850	1624	2330	6.544	4
P39	8641	6423	2499	1925	3850	1873	2579	6.793	4
P40	8895	6675	2751	2000	4000	1975	2831	7.045	4

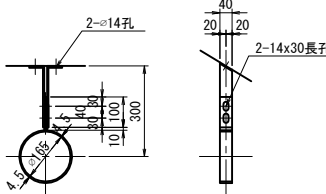
支持金具詳細 S=1:25



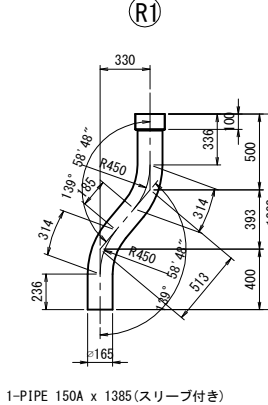
S-2



H-1



加工管詳細 S=1:50



排水撤去・設置	材料数量
---------	------

〈撤去材料〉

支持金具

S-1 N個（コンクリートアンカーのみ）

H-1 1個

曲管

BP-1 1-PIPE 150A x 1599(スリーブ付き)

〈撤去・設置数量〉

支持金具

S-1 N個

S-2 14

直管
① 1-PIPE 150A x 4000

② 1-PIPE 150A x L6 (スリーブ付き)

45° エルボ

..... 1個

伸縮継手

〈新設数量〉

支持金具

S-1 N個(コンクリートアンカーのみ)

S-a 1個

曲管

① R1 1個

撤去流水延長		単位: (m)
下部工	VP150A	1.599

撤去・設置流水延長		単位: (m)
下部工	VP150A	0.370+L1=L7

新設流水延長		単位: (m)
下部工	VP150A	1.385

注)

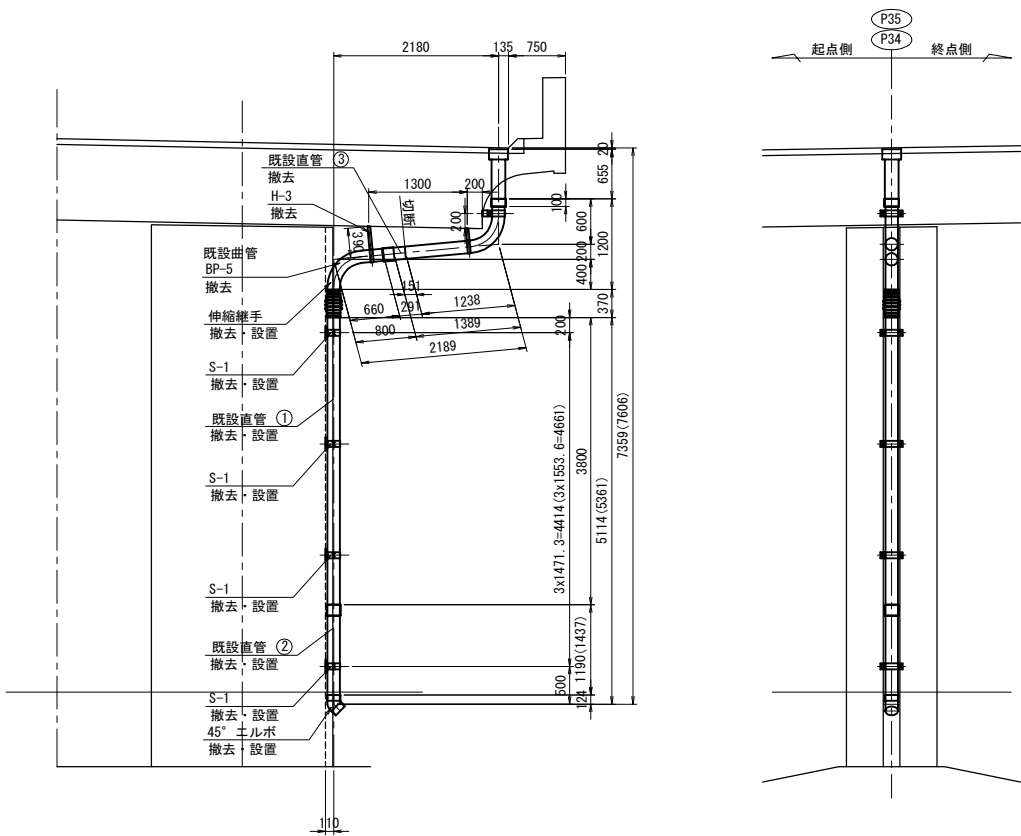
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上とする。
亜鉛の膜厚はJIS H 8641:2021 HDZT77とする。但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及びポルト・ナット・ワッシャ類はHDZT49とする。
3. 部材は全て緩み止めナットを使用すること。
4. ポルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ポルト径+3mmを標準とする。
5. 工場制作は現場実測確認のうえ行うものとする。

首都圏中央連絡自動車道			
入間川高架橋耐震補強工事			
入間川高架橋			
図面の種類	撤去・設置工 詳細図 (その21) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パンフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 沼沢管理事務所		

撤去・設置工 詳細図（その２２）（参考図）

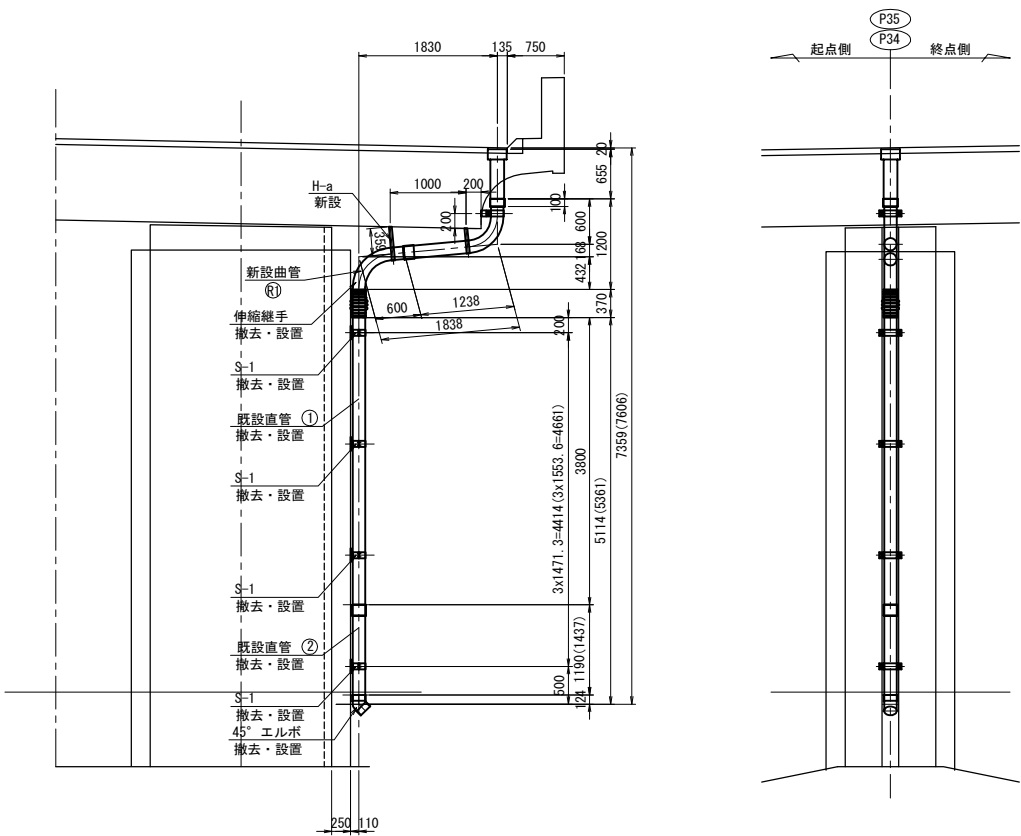
入間川高架橋 P34, P35橋脚（上り線）排水管A

既設撤去図 S=1:100



() 内寸法はP35橋脚を示す。

設置図 S=1:100



() 内寸法はP35橋脚を示す。

排水撤去・設置 材料数量

＜撤去材料＞

支持金具

S-1 4個(コンクリートアンカーのみ)

H-3 1個

直管

③ 1-PIPE 150A x 291

曲管

BP-5 1-PIPE 150A x 1202(スリーブ付き)

＜撤去・設置数量＞

支持金具

S-1 4個

直管

① 1-PIPE 150A x 4000

② 1-PIPE 150A x 1270(1517)(スリーブ付き)

45° エルボ

..... 1個

伸縮継手

..... 1個

＜新設数量＞

支持金具

S-1 4個(コンクリートアンカーのみ)

H-a 1個

曲管

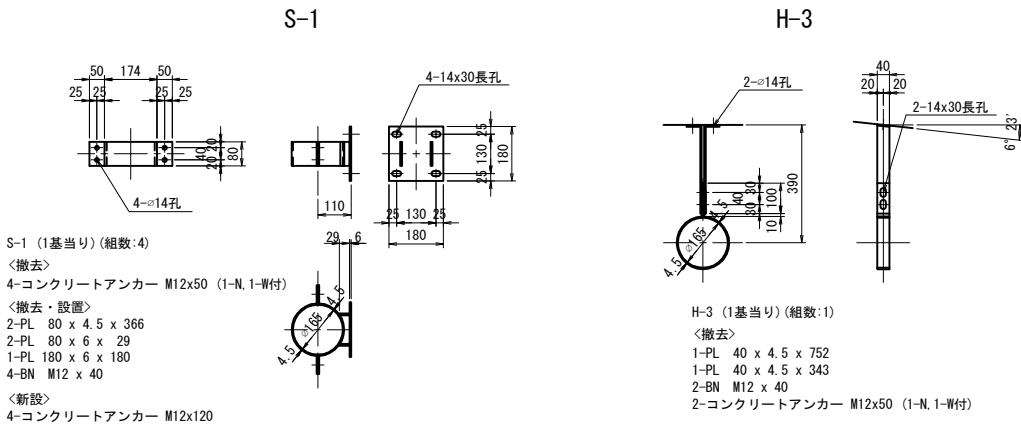
① 1個

撤去流水延長			単位:(m)
下部工	VP150A	1.202+0.151=1.353	

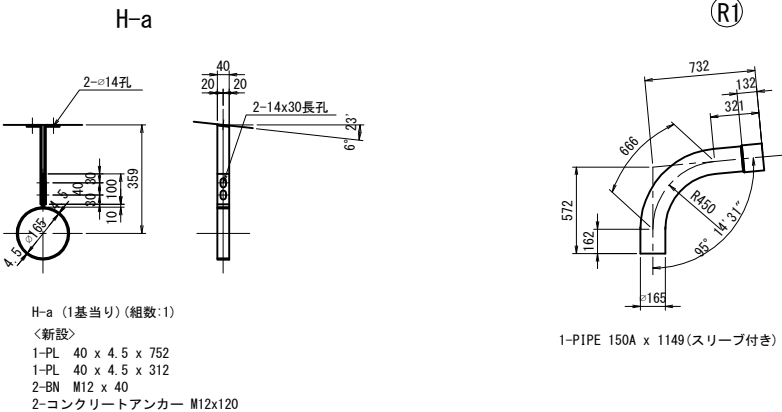
撤去・設置流水延長			単位:(m)
下部工	VP150A	0.370+5.114=5.484(0.370+5.361=5.731)	

新設流水延長			単位:(m)
下部工	VP150A	1.149	

支持金具詳細 S=1:25



加工管詳細 S=1:50



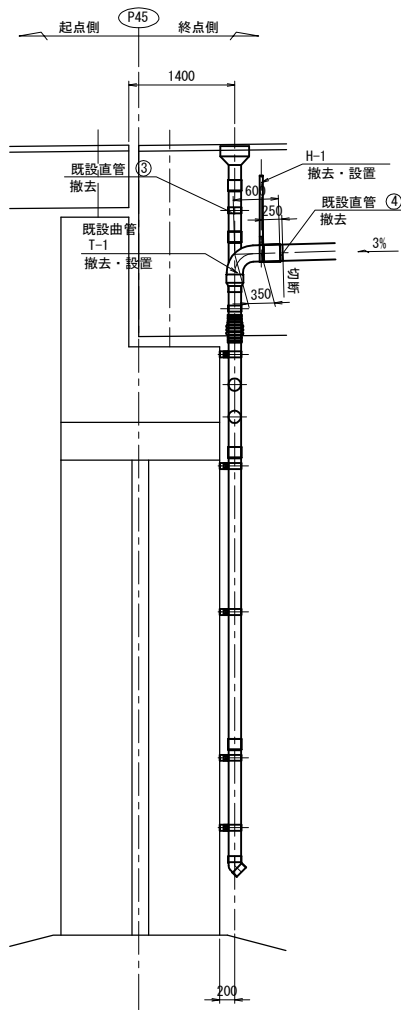
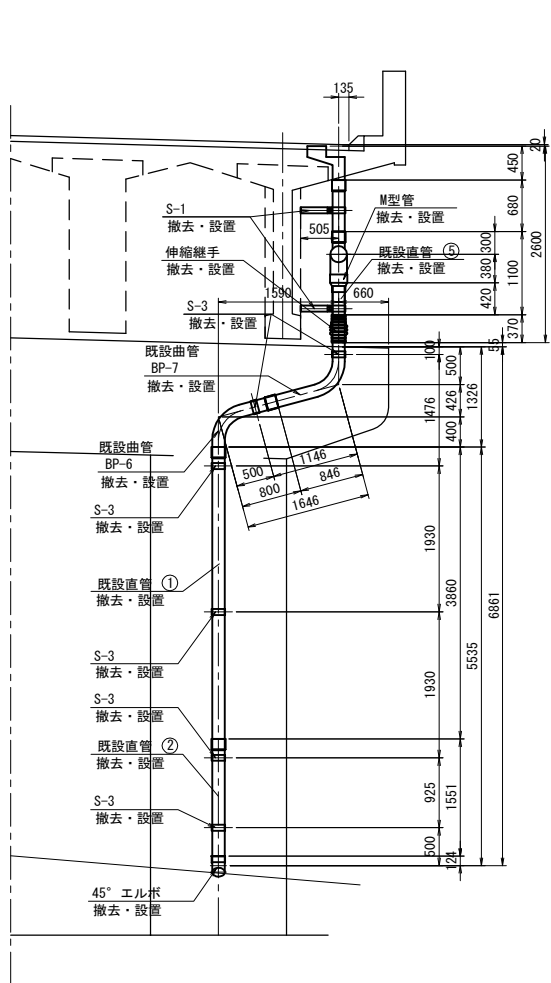
- 注)
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
垂鉛の膜厚はJIS H 8641:2021 HDZT77とする。但し、
厚さ3.2mm未満の鋼材及びボルト・ナット・ワッシャ
類はHDZT49とする。
 - ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mm
を標準とする。
 - 工場制作は現場実測確認のうえ行うものとする。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 撤去・設置工 詳細図（その２２）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

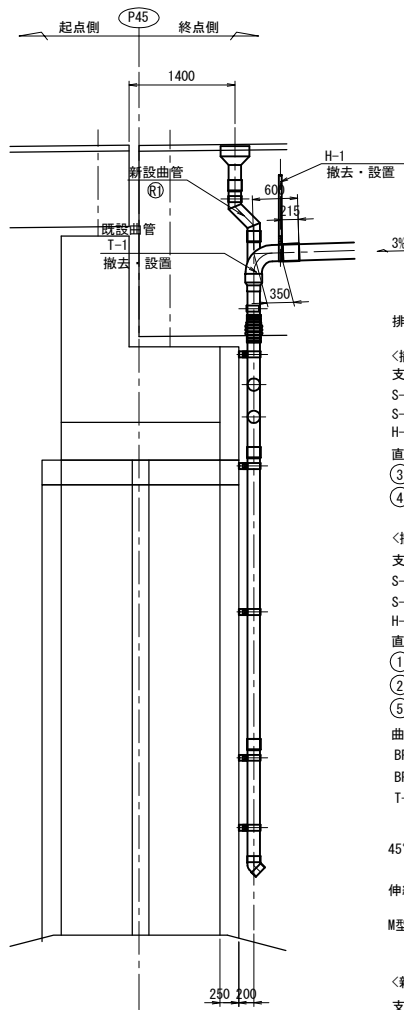
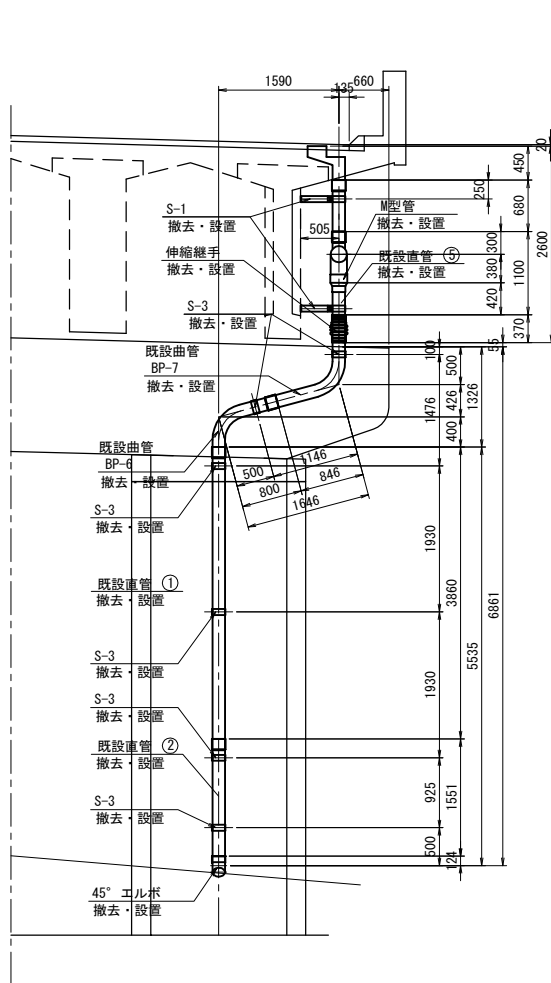
撤去・設置工 詳細図（その24）（参考図）
入間川高架橋 P45橋脚（上り線）排水管A

74/87

既設撤去図 S=1:100



設置図 S=1:100



排水撤去・設置 材料数量

〈撤去材料〉

支持金具

- S-1 2個（コンクリートアンカーのみ）
S-3 6個（コンクリートアンカーのみ）
H-1 1個（コンクリートアンカーのみ）

直管

- ③ 1-PIPE 150A x 819（スリーブ付き）
④ 1-PIPE 200A x 250

〈撤去・設置数量〉

支持金具

- S-1 2個
S-3 6個
H-1 1個

直管

- ① 1-PIPE 150A x 4000（スリーブ付き）
② 1-PIPE 150A x 1631（スリーブ付き）
⑤ 1-PIPE 150A x 494

曲管

- BP-6 1-PIPE 150A x 1250（スリーブ付き）
BP-7 1-PIPE 150A x 1516（スリーブ付き）
T-1 1-PIPE 150A x 300（スリーブ付き）
1-PIPE 200A x 879（スリーブ付き）

45° エルボ

- 1個

伸縮継手

- 1個

M型管

- 1個

〈新設数量〉

支持金具

- S-1 2個（コンクリートアンカーのみ）
S-3 6個（コンクリートアンカーのみ）
H-1 1個（コンクリートアンカーのみ）

曲管

- ⑤ 1個

撤去流水延長

単位：(m)

上部工	VP150A	0.819+0.250=1.069
下部工	VP150A	-

撤去・設置流水延長

単位：(m)

上部工	VP150A	0.300+0.420=0.720
上部工	VP200A	0.879
下部工	VP150A	0.370+1.250+1.516-0.140*2+5.535=8.391

新設流水延長

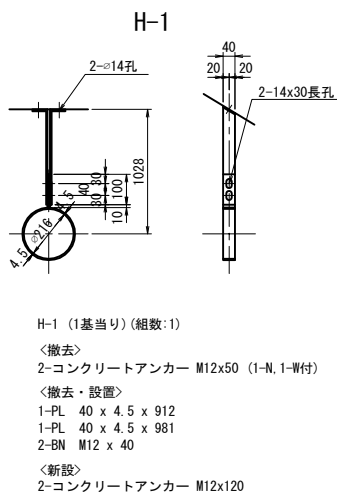
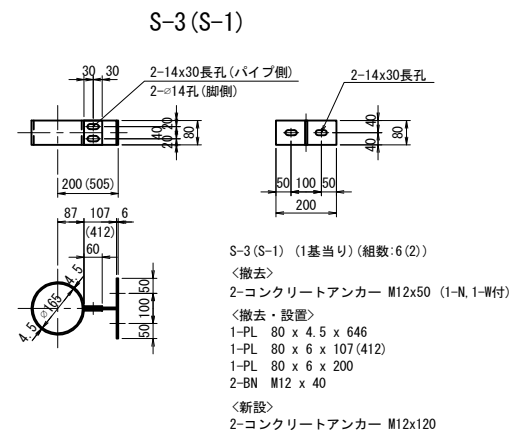
単位：(m)

上部工	VP150A	0.916
-----	--------	-------

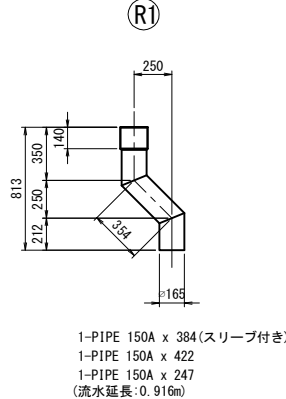
注）

- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
垂鉛の膜厚はJIS H 8641:2021 HDZT77とする。但し、
厚さ3.2mm未満の鋼材及びボルト・ナット・ワッシャ
類はHDZT49とする。
- ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
- ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mm
を標準とする。
- 工場制作は現場実測確認のうえ行うものとする。

支持金具詳細 S=1:25



加工管詳細 S=1:50



首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋	撤去・設置工 詳細図（その24）（参考図）	
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

Technical drawing showing a vertical pipe layout with dimensions and labels. The drawing includes a side view and a top view.

Side View Dimensions (mm):

- Horizontal distance from wall to pipe center: 1590
- Horizontal distance from pipe center to wall: 660
- Vertical distance from top horizontal line to first elbow: 100
- Vertical distance from first elbow to second elbow: 1476
- Vertical distance from second elbow to third elbow: 400
- Vertical distance from third elbow to fourth elbow: 426
- Vertical distance from fourth elbow to fifth elbow: 500
- Vertical distance from fifth elbow to sixth elbow: 1326
- Vertical distance from sixth elbow to seventh elbow: 1930
- Vertical distance from seventh elbow to eighth elbow: 3860
- Vertical distance from eighth elbow to ninth elbow: 1930
- Vertical distance from ninth elbow to tenth elbow: 6147
- Vertical distance from tenth elbow to eleventh elbow: 1537
- Vertical distance from eleventh elbow to twelfth elbow: 2163
- Vertical distance from twelfth elbow to thirteenth elbow: 500
- Vertical distance from thirteenth elbow to fourteenth elbow: 426
- Total vertical distance from top horizontal line to bottom horizontal line: 7473

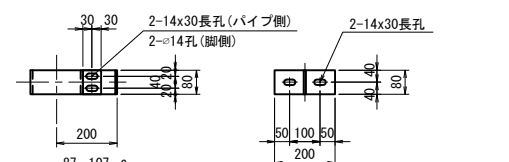
Top View Dimensions (mm):

- Horizontal distance from wall to pipe center: 1590
- Horizontal distance from pipe center to wall: 660
- Horizontal distance from pipe center to wall: 500
- Horizontal distance from pipe center to wall: 800
- Horizontal distance from pipe center to wall: 1146
- Horizontal distance from pipe center to wall: 846
- Horizontal distance from pipe center to wall: 1646

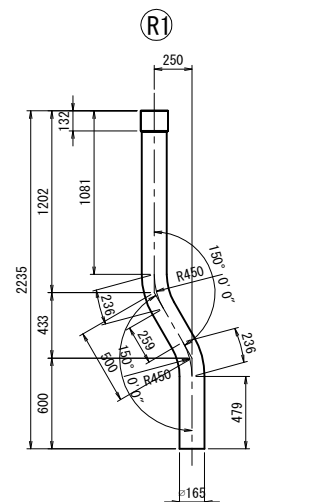
Labels:

- S-3 撤去・設置 (S-3 Removal/Installation)
- 既設直管 ① 撤去・設置 (Existing Straight Pipe ① Removal/Installation)
- S-3 撤去・設置 (S-3 Removal/Installation)
- S-3 撤去・設置 (S-3 Removal/Installation)
- 既設直管 ② 撤去 (Existing Straight Pipe ② Removal)
- S-3 撤去・設置 (S-3 Removal/Installation)
- 45° エルボ 撤去・設置 (45° Elbow Removal/Installation)

S-3



加工管詳細 S=1:50



排水撤去・設置 材料数量

＜撤去材料＞

支持金具

S-3 4個 (コンクリートアンカーのみ)

直管

(2) 1-PIPE 150A x 2243(スリーブ付き)

〈撤去・設置数量〉

支持金具

S-3 4個

直管

① 1-PIPE 150A x 4000 (スリーブ付き)

45° エルボ

..... 14個

〈新設数量〉

S-3 4個 (コンクリートアンカーのみ)

曲管

(R1) 1個

撤去流水延長 單位: (m)

下部工	VP150A	2.243
-----	--------	-------

撤去・設置流水延長 單位: (m)

下部工	VP150A	$3.920+0.124=4.044$
-----	--------	---------------------

新設流水延長 單位: (m)

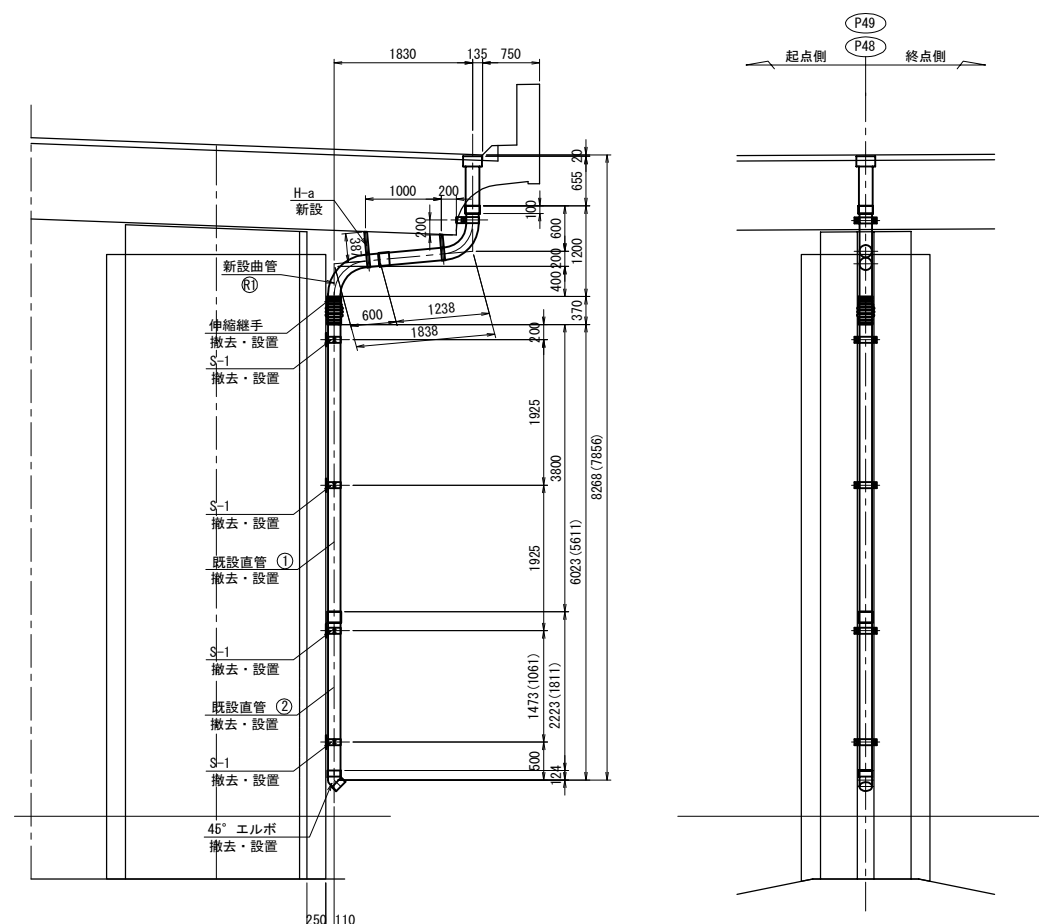
下部工	VP150A	2.291
-----	--------	-------

注)

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げるとする。
亜鉛の膜厚はJIS H 8641:2021 H0Z777とする。但し、
厚さ3.2mm未満の鋼材及びボルト・ナット・ワッシャー
類はH0Z749とする。
3. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mm
を標準とする。
5. 工場制作は現場実測確認のうえ行うものとする。

	首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事		
図面の種類	入間川高架橋 撤去・設置工 詳細図（その２５）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	バシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

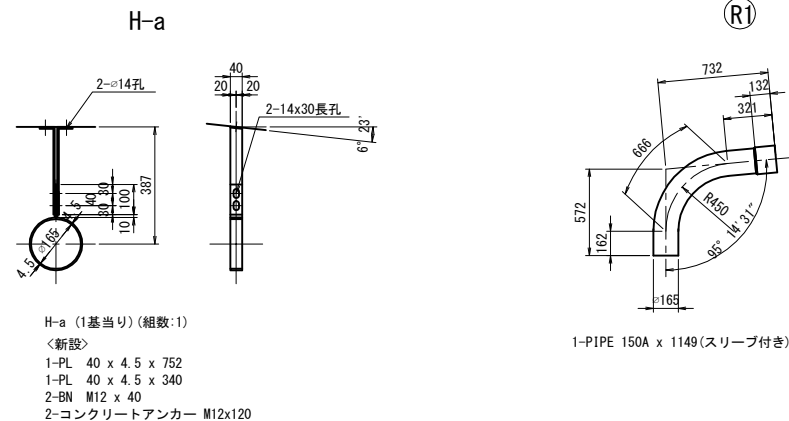
設置図 S=1:100



() 内寸法はP49橋脚を示す。

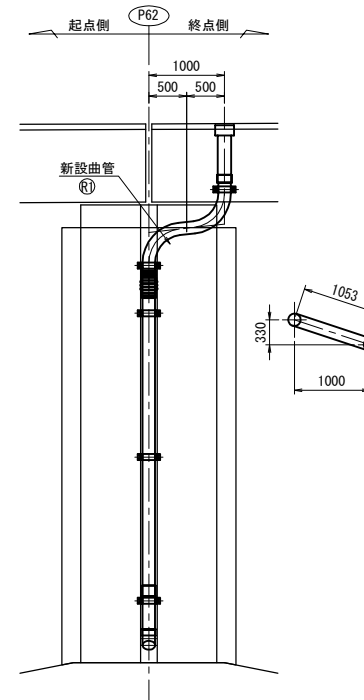
新設流水延長		単位: (m)
下部工	VP150A	1.149

加工管詳細 S=1:50



	首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事		
図面の種類	入間川高架橋 撤去・設置工 詳細図（その２６）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パンフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 所沢管理事務所		

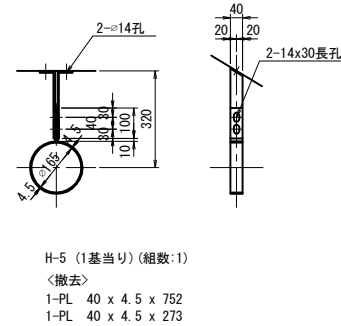
設置図 S=1:100



新設流水延長		単位: (m)
下部工	VP150A	2.028

加工管詳細 S=1:50

H-5



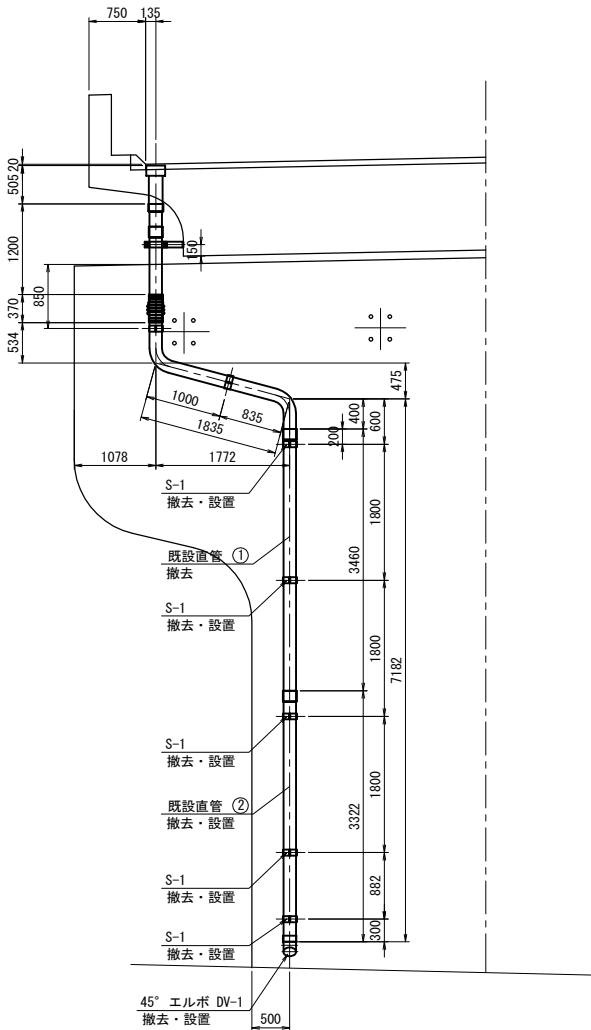
1-PIPE 150A x 2028(スリーブ付き)

	首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事		
図面の種類	入間川高架橋 撤去・設置工 詳細図（その２７）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

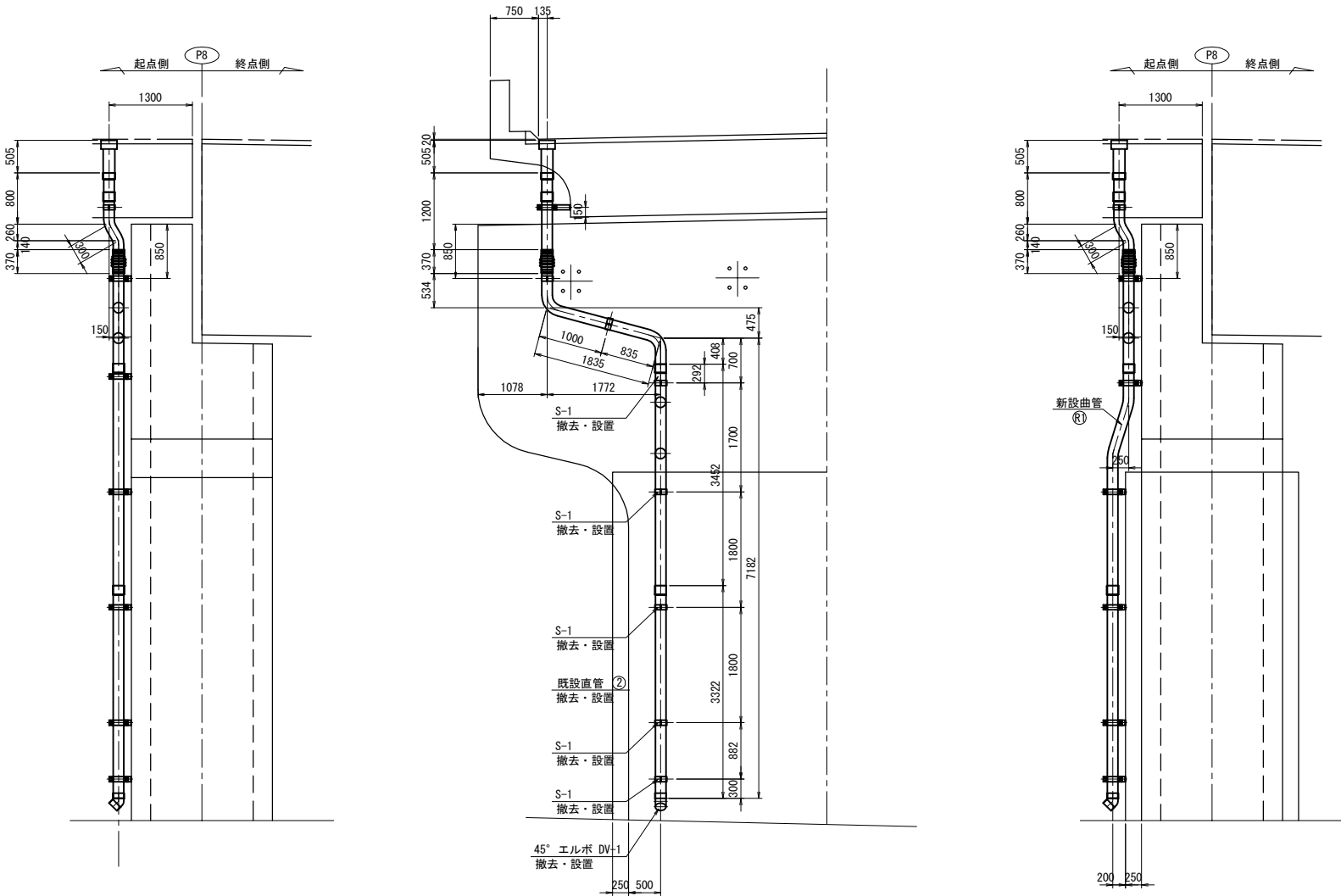
撤去・設置工 詳細図（その２８）（参考図）

入間川高架橋 P8橋脚（下り線）排水管A

既設撤去図 S=1:100



設置図 S=1:100



排水撤去・設置 材料数量

＜撤去材料＞

支持金具

S-1 5個（コンクリートアンカーのみ）

直管

① 1-PIPE 150A x 3600(スリーブ付き)

＜新設数量＞

支持金具

S-1 5個

直管

② 1-PIPE 150A x 3322(スリーブ付き)

45° エルボ

DV-1 1個

＜新設数量＞

支持金具

S-1 5個（コンクリートアンカーのみ）

曲管

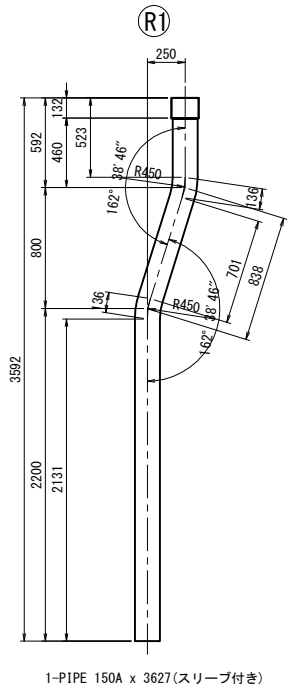
(R1) 1個

撤去流水延長		単位：(m)
下部工	VP150A	3.600

撤去・設置流水延長		単位：(m)
下部工	VP150A	3.322

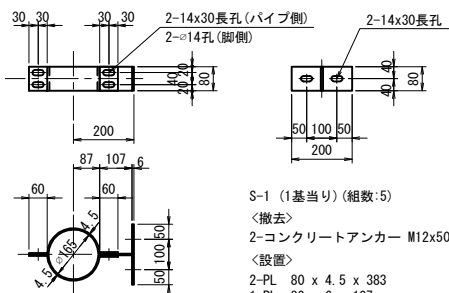
新設流水延長		単位：(m)
下部工	VP150A	3.627

加工管詳細 S=1:50



支持金具詳細 S=1:25

S-1



S-1 (1基当り) (組数:5)

＜撤去＞

2-コンクリートアンカー M12x50 (1-N, 1-W付)

＜設置＞

2-PL 80 x 4.5 x 383

1-PL 80 x 6 x 107

1-PL 80 x 6 x 200

4-BN M12 x 40

＜新設＞

2-コンクリートアンカー M12x120

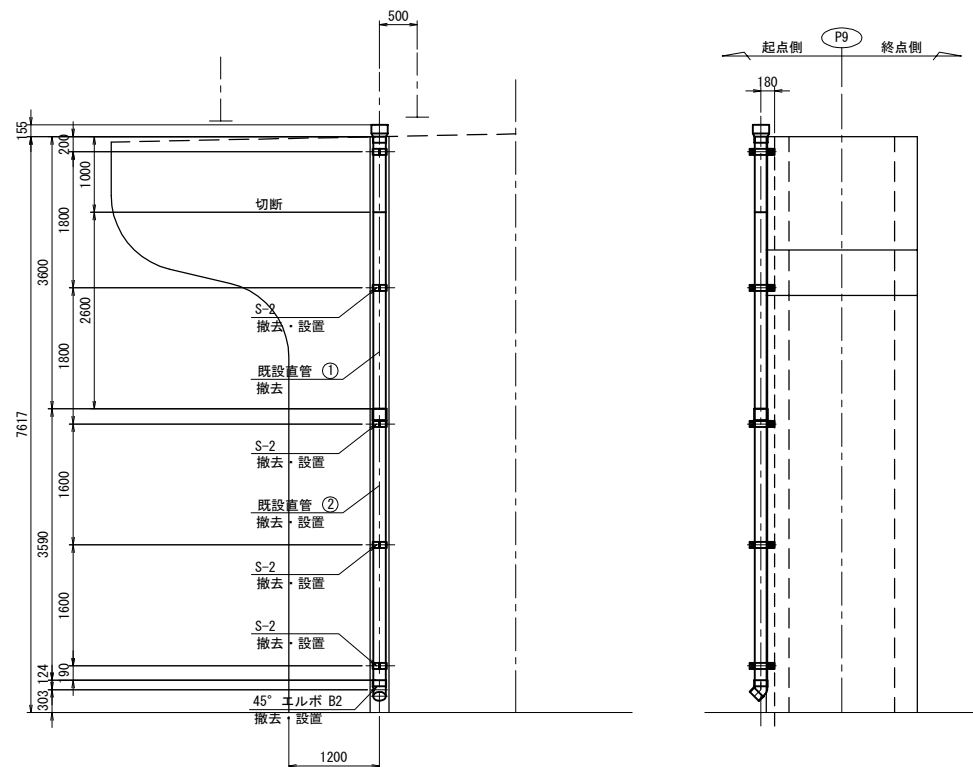
- 注)
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
亜鉛の膜厚はJIS H 8641:2021 HDZT77とする。但し、
厚さ3.2mm未満の鋼材及びボルト・ナット・ワッシャ
類はHDZT49とする。
 - ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mm
を標準とする。
 - 工場制作は現場実測確認のうえ行うものとする。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 撤去・設置工 詳細図（その２８）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

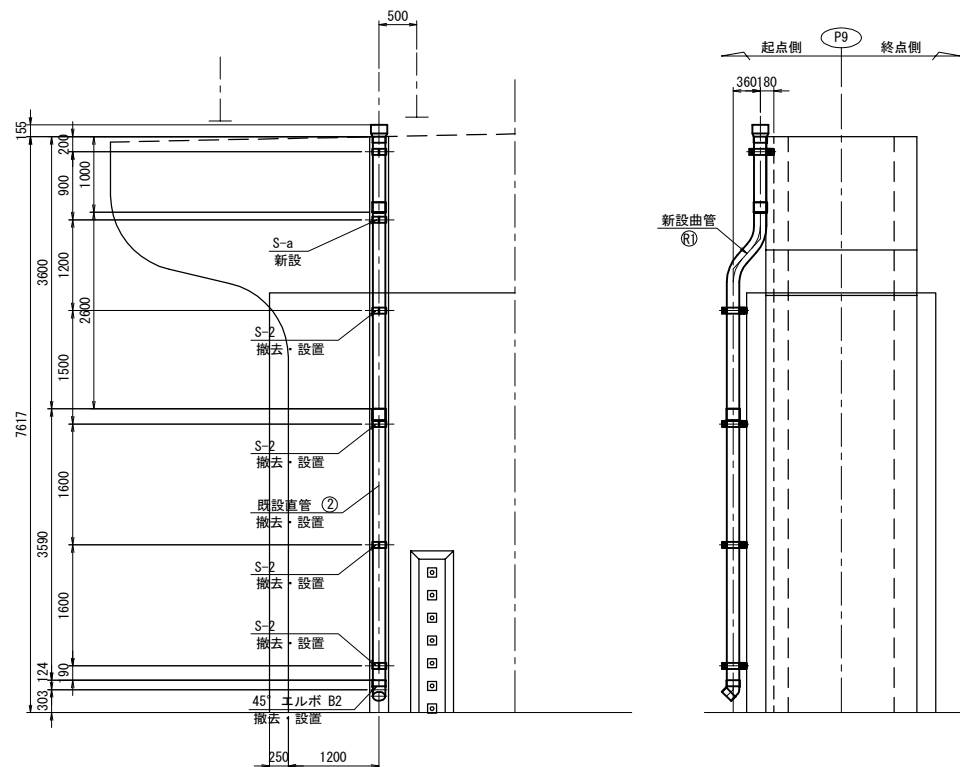
入間川高架橋 P9橋脚（下り線）排水管A

入間川高架橋 P9橋脚（下り線）排水管A

既設撤去図 S=1:100

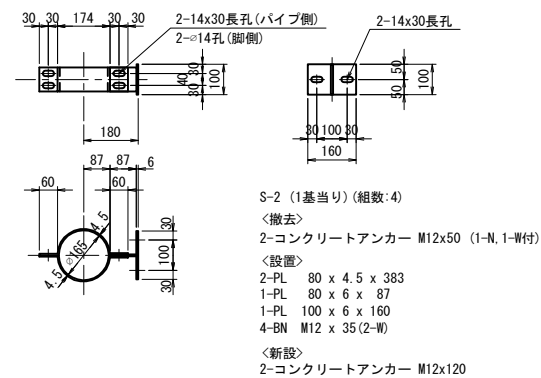


設置図 S=1:100



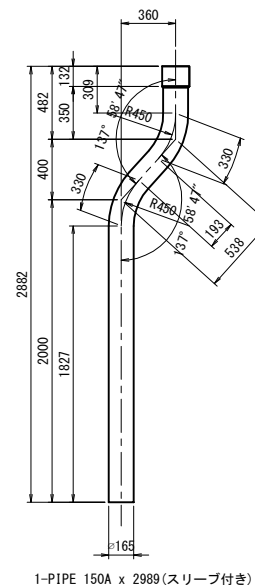
支持金具詳細 S=1:25

S-2, S-a



加工管詳細 S=1:50

R1



1-PIPE 150A x 2989(スリーブ付き)

排水撤去・設置 材料数量

＜撤去材料＞

支持金具

S-2 4個 (コンクリートアンカーのみ)

直管

① 1-PIPE 150A x 2750

〈撤去・設置数量〉

支持金具

S-2

直管

＜新設数＞

支持

S-2 4個（コンクリートアンカーのみ）

S-a

曲管

撤去流水延長		単位: (m)
下部工	VP150A	2.750

撤去・設置流水延長		単位: (m)
下部工	VP150A	3.590+0.124=3.714

新設流水延長		単位: (m)
下部工	VP150A	2.989

注)

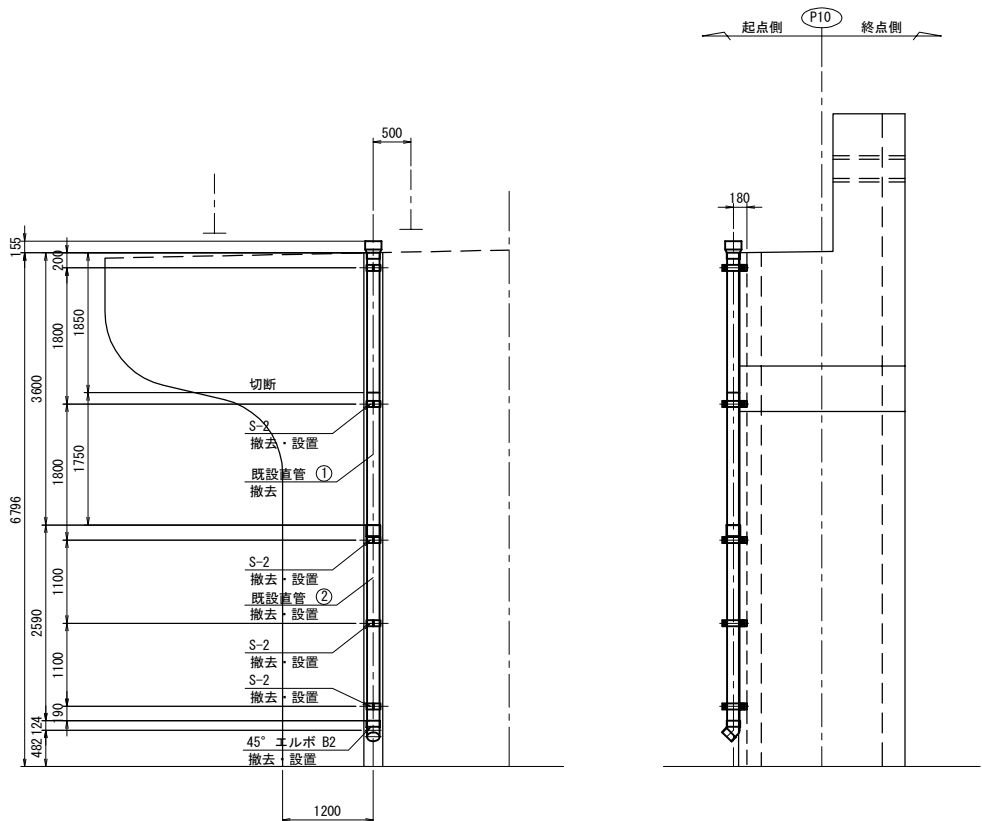
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 部材は全て溶融鋳めったき仕上げとする。
亜鉛の膜厚はJIS H 8641:2021 HDZT77とする。但し、厚さ3.2mm未満の鋼材及びボルト・ナット・ワッシャー類はHDZT49とする。
3. ナットは全て緩み防止ナットを使用すること。
4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
5. 工場制作は現場実測確認のうえ行うものとする。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
入間川高架橋			
図面の種類	撤去・設置工 詳細図（その２９）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 速達管理事務所		

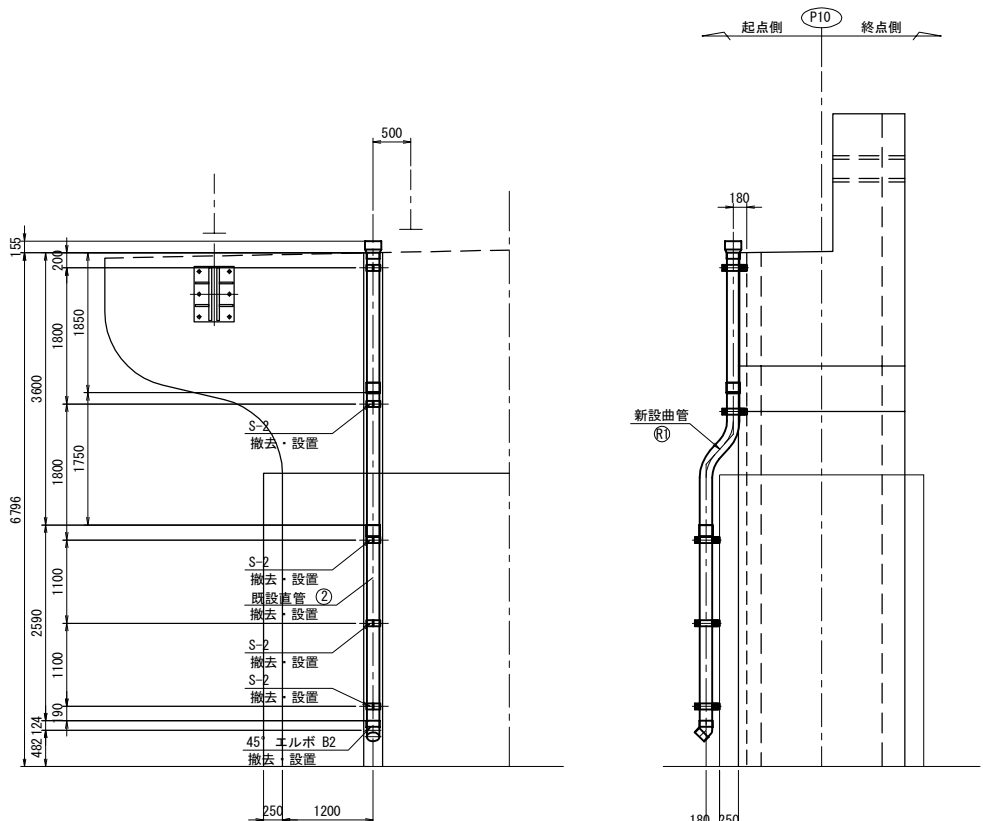
撤去・設置工 詳細図（その３０）（参考図）

入間川高架橋 P10橋脚（下り線）排水管A

既設撤去図 S=1:100



設置図 S=1:100



排水撤去・設置 材料数量

＜撤去材料＞

支持金具

S-2 4個（コンクリートアンカーのみ）

直管

① 1-PIPE 150A x 1900

＜撤去・設置数量＞

支持金具

S-2 4個

直管

② 1-PIPE 150A x 2670（スリーブ付き）

45° エルボ

B2 1個

＜新設数量＞

支持金具

S-2 4個（コンクリートアンカーのみ）

曲管

③ 1個

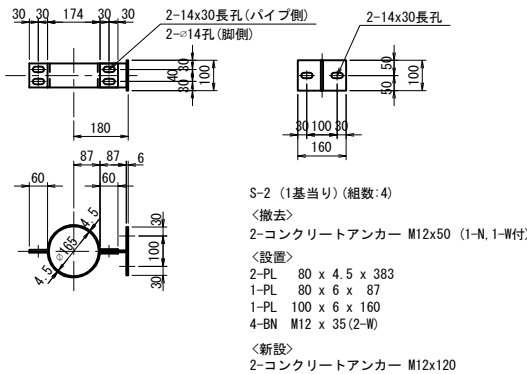
撤去流水延長			単位：(m)
下部工	VP150A	1.900	

撤去・設置流水延長			単位：(m)
下部工	VP150A	2.590+0.124=2.714	

新設流水延長			単位：(m)
下部工	VP150A	2.139	

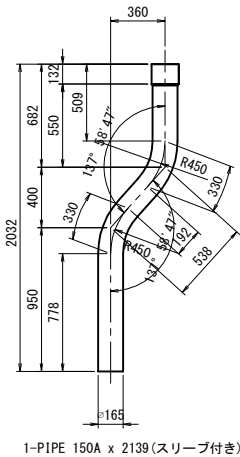
支持金具詳細 S=1:25

S-2



加工管詳細 S=1:50

③

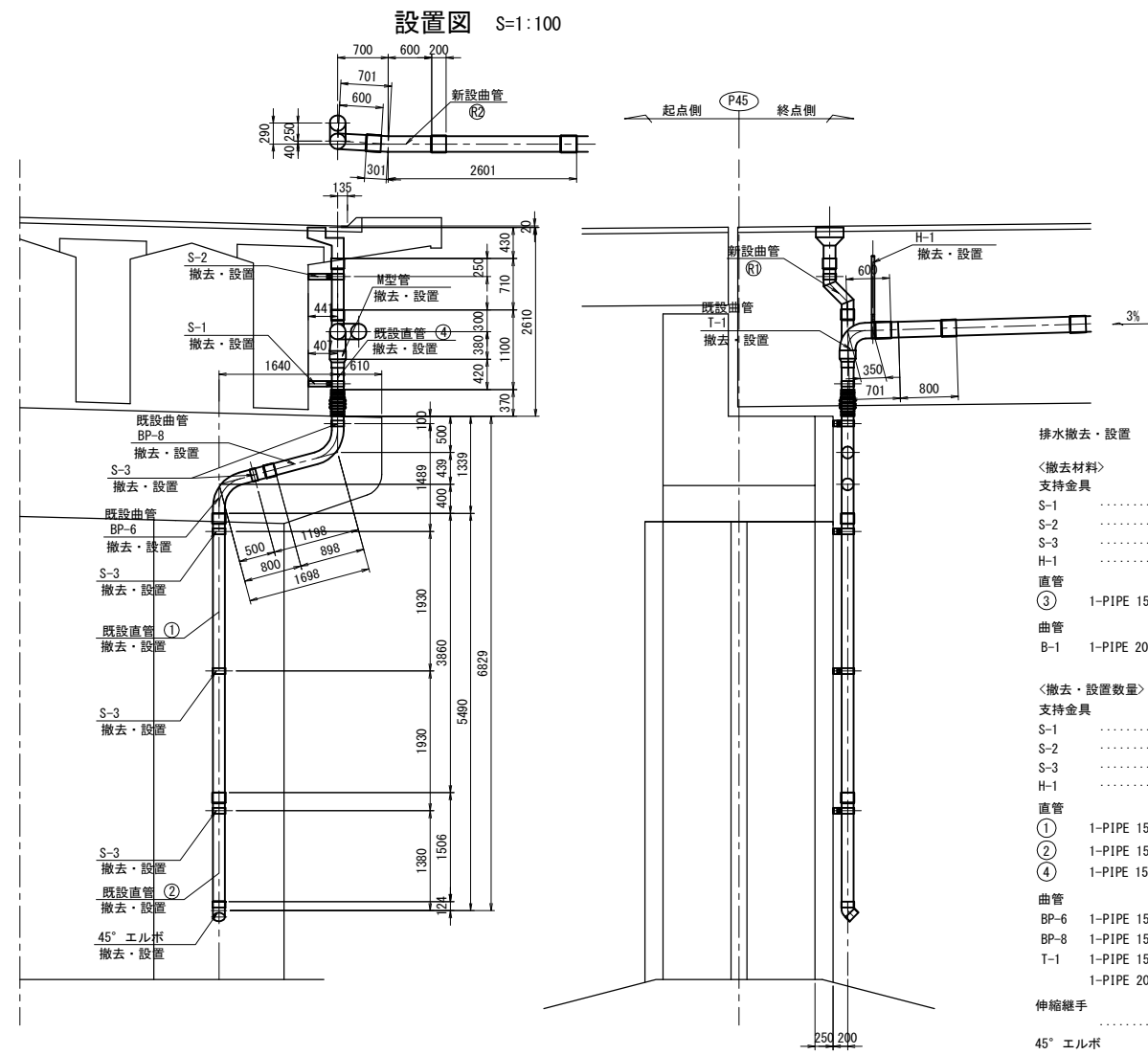
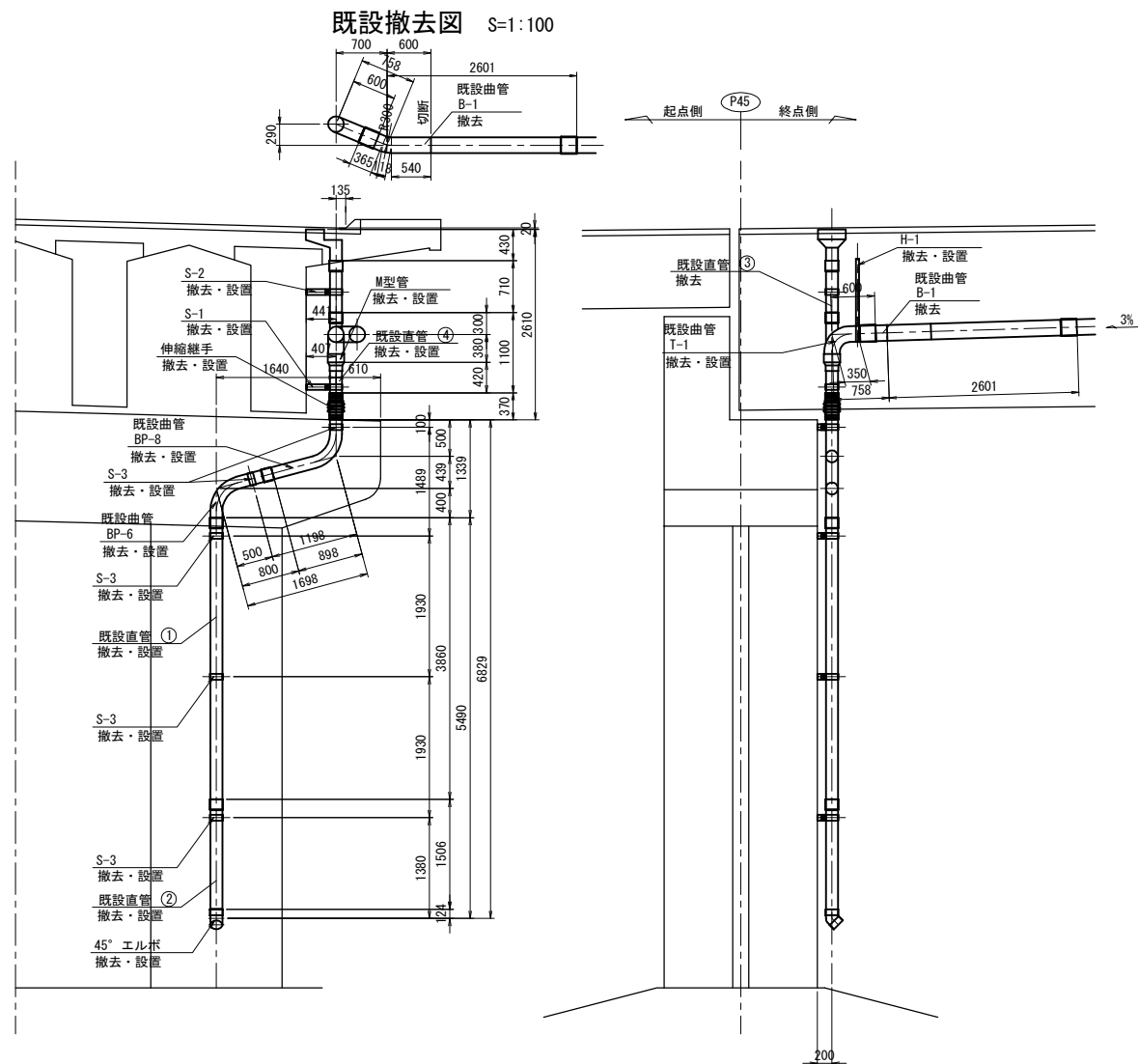


- 注）
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
亜鉛の膜厚はJIS H 8641:2021 HDZT77とする。但し、
厚さ3.2mm未満の鋼材及びボルト・ナット・ワッシャ
類はHDZT49とする。
 - ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mm
を標準とする。
 - 工場制作は現場実測確認のうえ行うものとする。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 撤去・設置工 詳細図（その３０）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

撤去・設置工 詳細図 (その31) (参考図)

入間川高架橋 P45橋脚（下り線）排水管A



排水撤去・設置 材料数量

<撤去材料>

支持金具

S-1		1個（コンクリートアンカーのみ）
S-2		1個（コンクリートアンカーのみ）
S-3		5個（コンクリートアンカーのみ）
H-1		1個（コンクリートアンカーのみ）

③ 1-PIPE 150A x 850(スリーブ付き)

曲管
B-1 1-PIPE 200A x 1023

〈撤去・設置数量〉

支持金具		
S-1		1個
S-2		1個
S-3		5個
H-1		1個

直管

- ① 1-PIPE 150A x 4000 (スリーブ付き)
- ② 1-PIPE 150A x 1586 (スリーブ付き)
- ④ 1-PIPE 150A x 494

曲管

BP-6	1-PIPE 150A x 1250(スリーブ付き)
BP-8	1-PIPE 150A x 1568(スリーブ付き)
T-1	1-PIPE 150A x 300(スリーブ付き)
	1-PIPE 200A x 879(スリーブ付き)

伸縮継手 1個

45° エルボ 1個

M型管 1個

〈新設数量〉

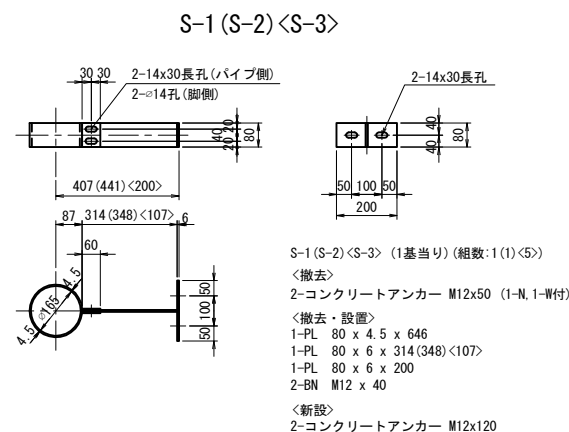
支持金具

S-1		1個 (コンクリートアンカーのみ)
S-2		1個 (コンクリートアンカーのみ)
S-3		5個 (コンクリートアンカーのみ)
H-1		1個 (コンクリートアンカーのみ)

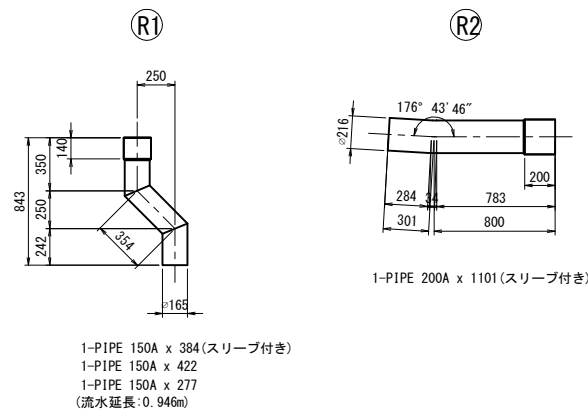
曲管

①R1		1個
①R2		1個

支持金具詳細 S=1:25



加工管詳細 S=1:50



注)

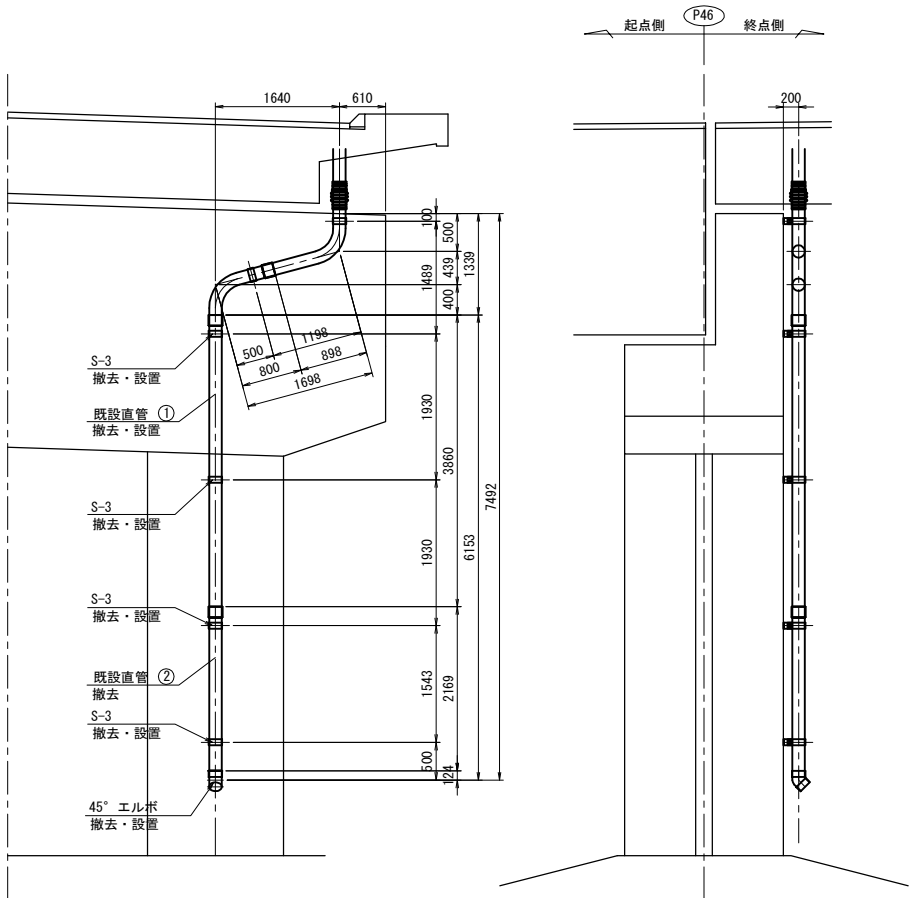
1. 特記なき材質材は、全てSS400とする。
2. 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上とする。
亜鉛の膜厚はJIS H 8641:2021 HDZ777とする。但し、
厚さ3.2mm未満の鋼材及びボルト・ナット・ワッシャ
類はHDZ749とする。
3. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mm
を標準とする。
5. 工場制作は現場実測確認のうえ行うものとする。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 撤去・設置工 詳細図（その３１）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	バシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支店 総管理事務所		

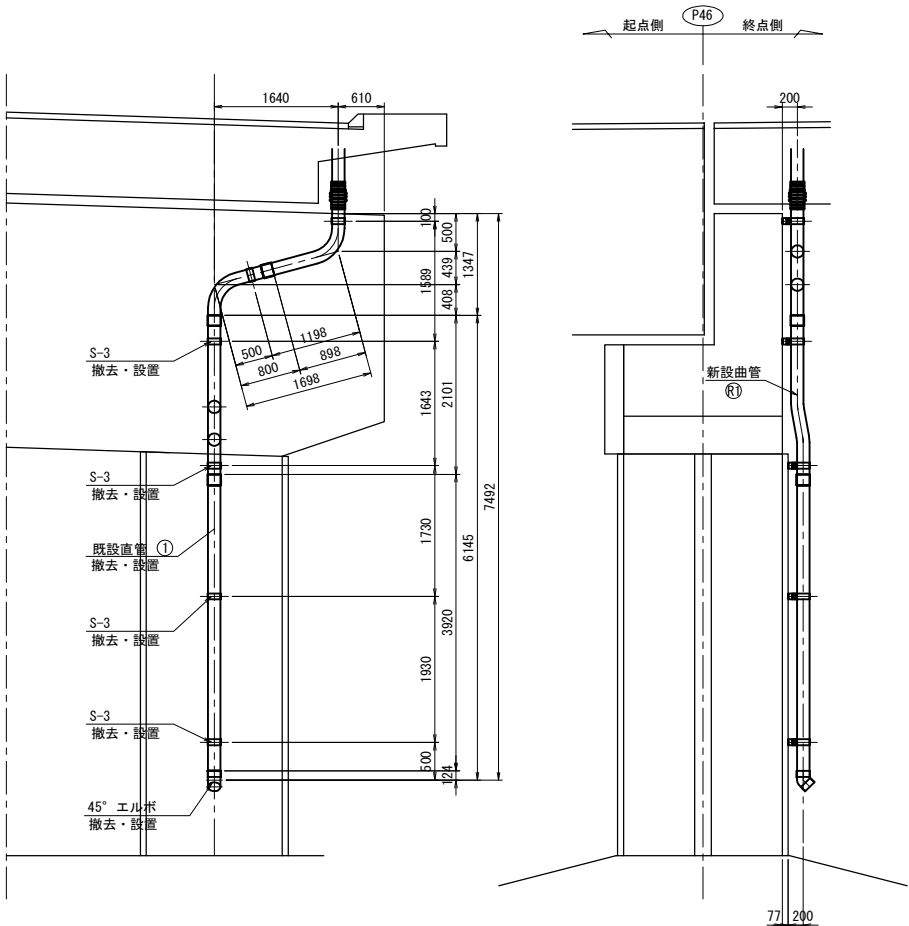
撤去・設置工 詳細図（その３２）（参考図）

入間川高架橋 P46橋脚（下り線）排水管A

既設撤去図 S=1:100



設置図 S=1:100



排水撤去・設置 材料数量

〈撤去材料〉

支持金具

S-3 4個（コンクリートアンカーのみ）

直管

② 1-PIPE 150A x 2249 (スリーブ付き)

〈新設数量〉

支持金具

S-3 4個

直管

① 1-PIPE 150A x 4000 (スリーブ付き)

45° エルボ

..... 1個

〈新設数量〉

支持金具

S-3 4個（コンクリートアンカーのみ）

曲管

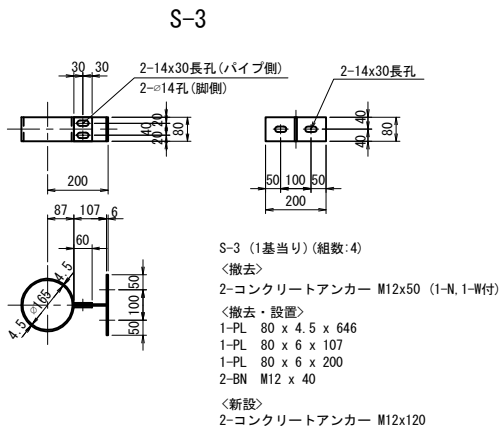
① 1個

撤去流水延長			単位：(m)
下部工	VP150A	2.249	

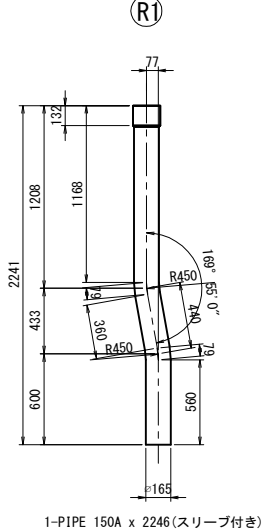
撤去・設置流水延長			単位：(m)
下部工	VP150A	3.920+0.124=4.044	

新設流水延長			単位：(m)
下部工	VP150A	2.246	

支持金具詳細 S=1:25



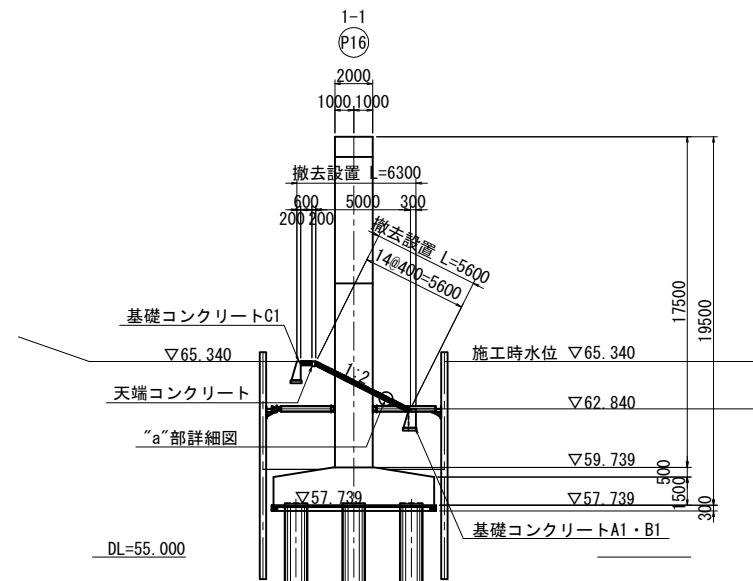
加工管詳細 S=1:50



- 注)
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
亜鉛の膜厚はJIS H 8641:2021 HDZT77とする。但し、
厚さ3.2mm未満の鋼材及びボルト・ナット・ワッシャ
類はHDZT49とする。
 - ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mm
を標準とする。
 - 工場制作は現場実測確認のうえ行うものとする。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 撤去・設置工 詳細図（その３２）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

断面图 S=1:400



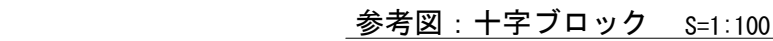
張りブロック (埼玉県タイプ)
(400 × 400 × 120)

裏込材 (C40~0)

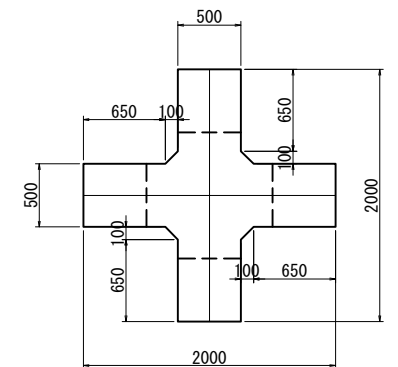
100

凡例

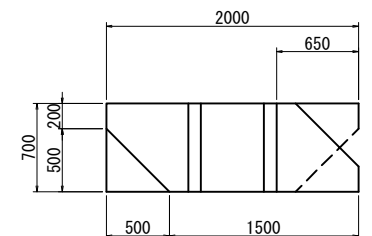
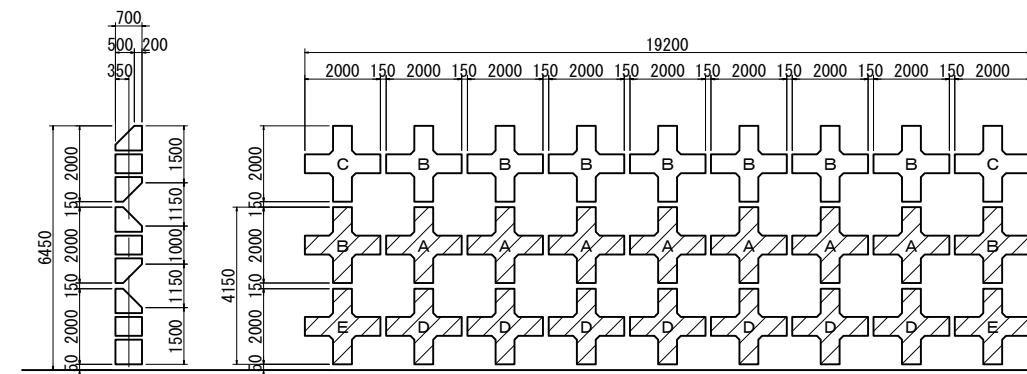
	撤去設置範圍
---	--------



参考図：十字ブロック S=1:60



参考図：十字ブロック S=1:200



ブロック			単位	A型	B型	C型	D型	E型
一辺 2m 厚さ 0.7m	平 型	コンクリート	m ³	0.99	0.97	0.95	1.05	1.03
		型 枠	m ²	4.9	4.8	4.8	5.0	5.0
		鉄 筋 D19	kg	9.6	7.6	5.6	7.6	5.6

(注)

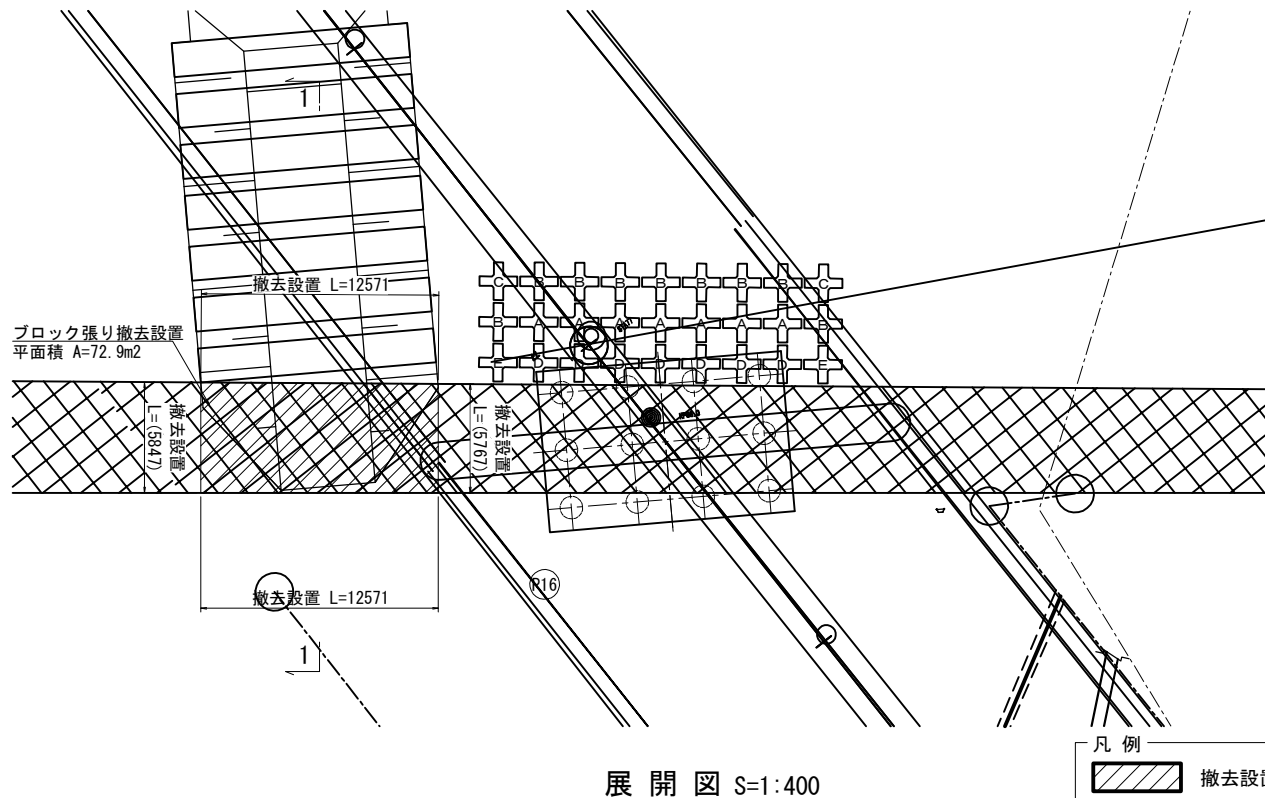
1. 竣工図が不足するため、本図面は「首都圏中央連絡自動車道 入間川第二高架橋他2橋（その2）工事 工事写真」に示される断面図と平面図を基に作成したものである。
2. 工事に際しては、事前に現地計測を行い、撤去設置範囲を調整すること。
3. 十字ブロックの撤去設置に際しては、現況のまま撤去することが困難な場合、撤去可能な寸法形状に分割すること。このとき、現況復旧が必要であるが、現況の配筋仕様が不明であるため、施工時に現況の配筋仕様を確認すること。また、ブロック同士の連結部の詳細も不明であるため、施工時に現況の連結構造を確認すること。

首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 撤去・設置工 詳細図（その３３）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パンフィックンコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

撤去・設置工 詳細図 (その34) (参考図)

P17橋脚 護岸ブロック

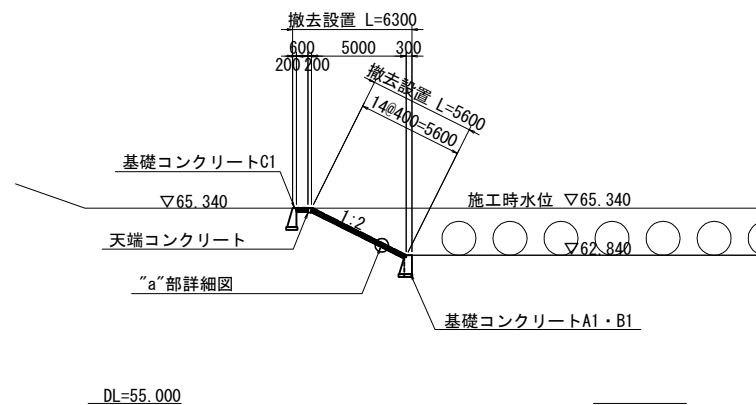
平面图 S=1:400



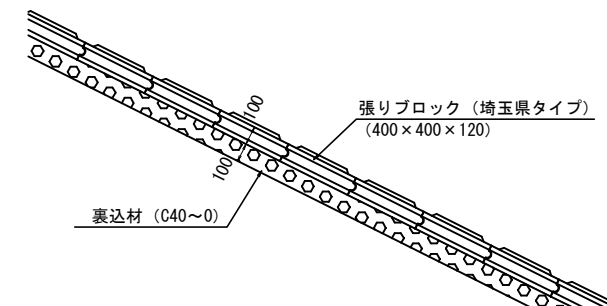
展開図 S=1:400

断面図 S=1:400

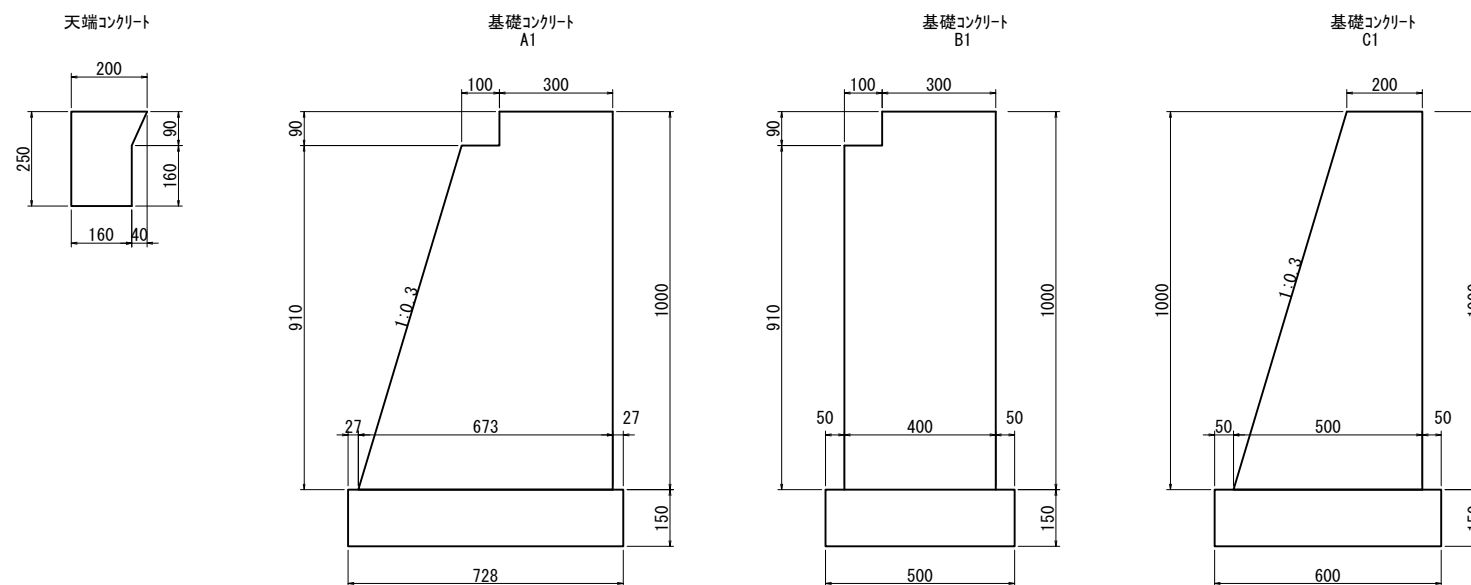
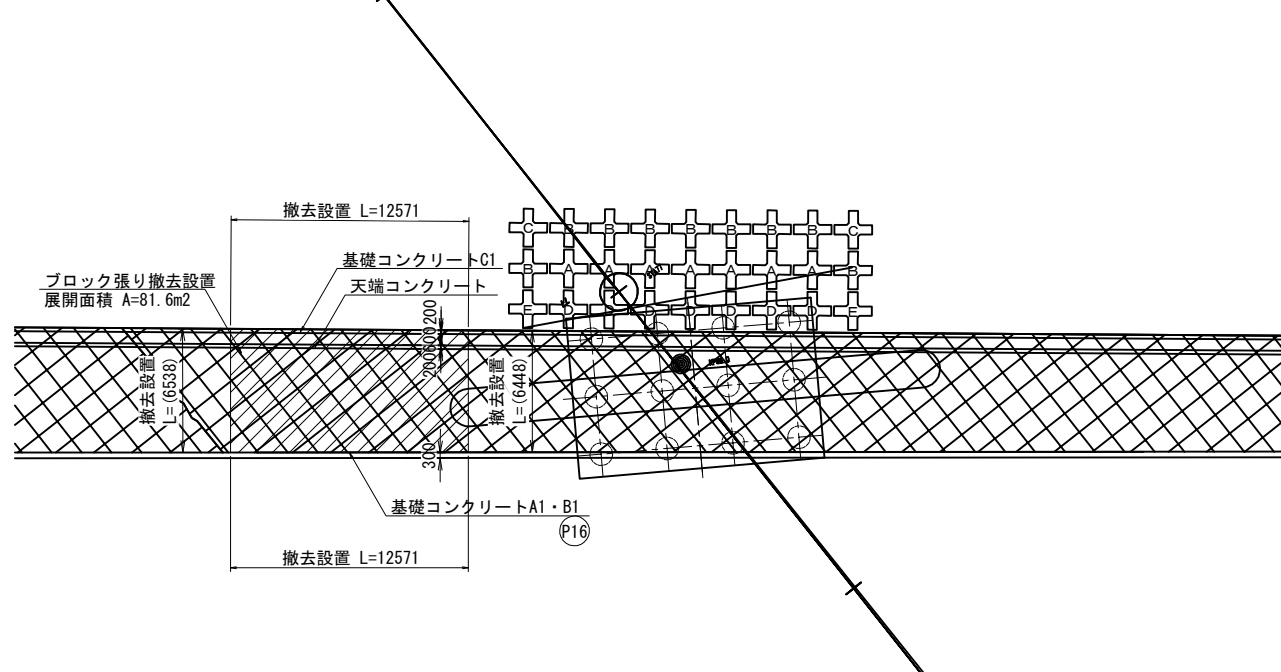
1-1



“a”部詳細図 S=1:40



詳細図 S=1:20



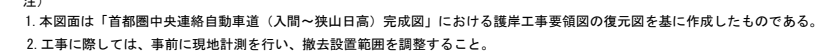
注)

1. 竣工図が不足するため、本図面は「首都圏中央連絡自動車道 入間川第二高架橋橋2橋（その2）工事 工事写真」に示される断面図や平面図を基に作成したものである。

2. 工事に際しては、事前に現地計測を行い、撤去設置範囲を調整すること。

	首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事		
図面の種類	入間川高架橋 撤去・設置工 詳細図（その３４）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	関東東高速道路建設株式会社 東京支社 所沢管理事務所		

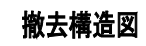
基礎コンクリート



首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
入間川高架橋			
図面の種類	撤去・設置工 詳細図（その３５）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタツツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 沼沢管理事務所		

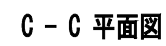
落橋防止構造現況構造図

牛沢橋 P1橋脚 落橋防止構造



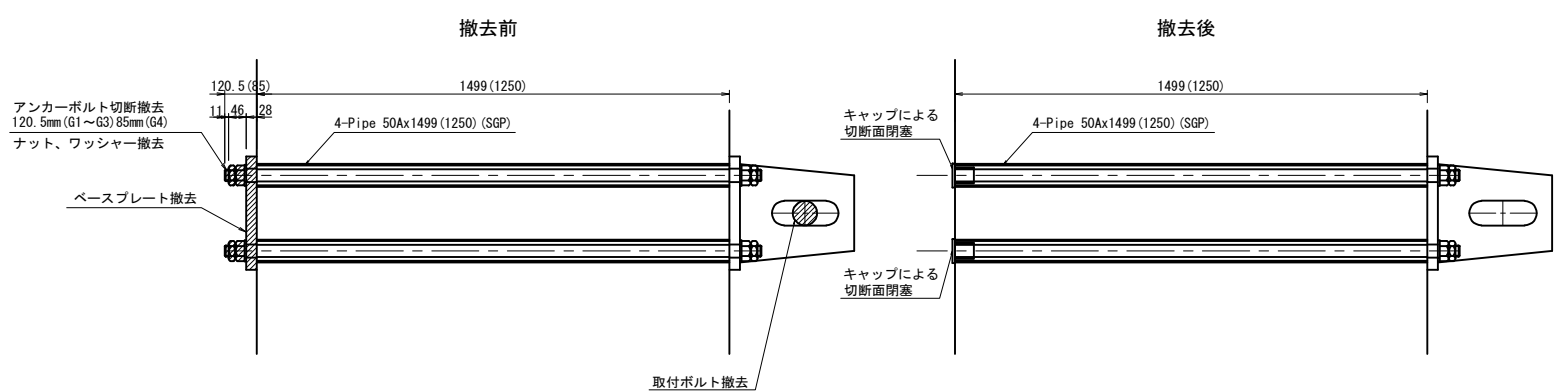
P1橋脚 既設落橋防止装置撤去数量

2-RB $\phi 150 \times 650$
 4-割ピン $\phi 13 \times 200$
 4-PL $\phi 250 \times 18$
 4-Nut M150<第3種>



首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	牛沢橋 撤去 詳細図 (その1) (参考図)		
縮 尺	1:75	図面番号	/
設計会社名	株式会社 富貴建設コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		

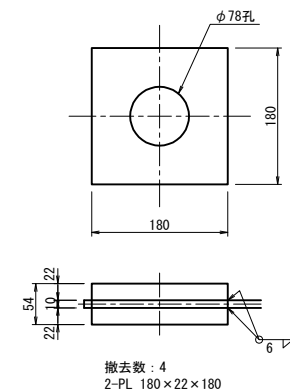
側面図 S=1:20
P15(起点側)
G1~G3(G4)



ベースプレート詳細図 S=1:20
P15(起点側)



補強板詳細図 S=1:10



首都圏中央連絡自動車道 入間川高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入間川高架橋 撤去工 詳細図（その2）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社所沢管理事務所		